

# 年報29（平成28年度版）

千葉県立中央博物館



# 目次

平成28年度1年間のあゆみ	1
平成28年度のトピック	2

## I 資料収集・整理保存

第1 本館	
1 資料の登録	3
2 資料の収集	4
3 資料の借用	4
4 資料の利用	6
5 保存環境の整備等	12
6 図書	13
第2 大利根分館	
1 資料の登録	14
2 資料の収集	14
3 資料の借用	14
4 資料の利用	15
第3 大多喜城分館	
1 資料の登録	17
2 資料の収集	17
3 資料の借用	17
4 資料の利用	18
第4 分館海の博物館	
1 資料の登録	21
2 資料の収集	21
3 資料の借用	21
4 資料の利用	23
5 保存環境の整備等	23

## II 調査研究

1 重点研究	24
2 地域研究	24
3 普遍研究	30
4 地域研究(分館海の博物館)	38
5 専門研究(分館海の博物館)	38
6 研究員の執筆・研究発表	39
7 外部資金等による研究	51
8 研究交流	54
9 研究成果の公表・周知	59

## III 展示

第1 本館	
1 常設展示	61
2 企画展	62
3 季節展	63
4 生熊園トピックス展	64
5 トピックス展	64
6 ミニトピックス展	65
7 研究紹介展示	66
8 その他の展示	66
9 出前展示	67
第2 大利根分館	
1 企画展	69
2 テーマ展示	69
第3 大多喜城分館	
1 常設展示	70
2 企画展	70
3 テーマ展示	70

## 第4 分館海の博物館

1 常設展示	72
2 マリンサイエンスギャラリー	72
3 収蔵資料展	72
4 その他の展示	73

## IV 教育普及

第1 本館	
1 展示観覧支援	74
2 講座・観察会等の開催	79
3 アウトリーチ支援	88
4 職場体験・インターンシップ・ 博物館実習・教員研修等	98
5 市民参画	101
第2 大利根分館	
1 展示観覧支援	106
2 講座・観察会等の開催	106
3 川のフィールドミュージアム事業	107
4 アウトリーチ支援	107
第3 大多喜城分館	
1 展示観覧支援	111
2 講座・観察会等の開催	111
3 アウトリーチ支援	112
4 市民参画	117
第4 分館海の博物館	
1 展示観覧支援	118
2 講座・観察会等の開催	118
3 アウトリーチ支援	121
4 職場体験・インターンシップ・ 博物館実習・教員研修等	125

## V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行	126
2 インターネットによる情報発信	128
3 マスコミ等を通じた情報発信	131
4 郵メンバー	141

## VI 千葉県立博物館ネットワーク

1 千葉県立博物館情報システム	142
2 千葉県立博物館文化セミナー	142

## VII 入館者状況

1 月別入館者数	143
2 団体入館状況	146
3 種類・地域内訳	147

## VIII 予算・決算

1 歳入決算	151
2 歳出決算	151
3 外部資金	151

## IX 組織・運営

1 千葉県博物館協議会	152
2 職員	152
3 分掌	153
4 運営推進チーム	153

# 平成28年度1年間のあゆみ

## 平成28年

- 4月1日(金) 特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」(～4月19日)【大多喜城分館】  
生命のにぎわいー生物多様性写真展ー(～5月8日)【本館】  
マリンサイエンスギャラリー「毒をもつ海の生きものー食べるため・食べられないためー」  
(～5月8日)【分館海の博物館】  
トピックス展示「印半纏の世界」(～5月8日)【大利根分館】  
春の展示「石材が語る 火山がつくった日本列島」(～6月5日)【本館】  
ミニトピックス展「子供たちが調べた『房州石』」(～6月5日)【本館】  
ミニトピックス展「山岳鳥瞰図作家・五百沢智也氏が描いた山 その3 日本各地の火山地形」  
(～6月5日)【本館】
- 4月23日(土) 研究紹介展示「新種のダイオウグソクムシ化石『コミナトダイオウグソクムシ』」(～9月19日)【本館】
- 5月28日(土) 企画展「江戸時代房総名所めぐり」(～6月26日)【大利根分館】
- 6月14日(金) ミニトピックス展「山岳鳥瞰図作家・五百沢智也氏が描いた山 その4 富士山ー遠景・中景・近景ー」  
(～8月31日)【本館】
- 6月15日(土) 施設無料開放(千葉県民の日)
- 7月5日(火) 生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」(～9月4日)【本館】
- 7月9日(土) 夏休み展示「妖怪になった動物たち」(～8月28日)【大利根分館】  
企画展「驚異の深海生物ー新たなる“深”世界へー」(～9月29日)【本館】
- 7月14日(木) 収蔵資料展「大多喜城の歴史と絵図」(～10月16日)【大多喜城分館】
- 7月16日(土) 収蔵資料展「海の絶滅危惧種」(～8月31日)【分館海の博物館】
- 7月20日(火) ミニトピックス展「新属新種アワイルカ 千葉県鋸南町で化石発見！」(～9月4日)【本館】
- 9月10日(土) 収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし」(～3月31日)【大利根分館】
- 9月15日(木) 特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」(～10月16日)【大多喜城分館】
- 10月21日(金) 企画展「甦った受難の刀剣～千葉県赤羽刀～」(～12月11日)【大多喜城分館】
- 10月22日(土) 秋の展示「屏風絵の世界ー職人尽絵を中心にー」(～12月25日)【本館】
- 11月3日(木・祝) 施設無料開放(文化の日)  
自然誌フェスタ千葉【本館】  
海のアート展「海の不思議ないきもの」(1月29日)【分館海の博物館】
- 11月8日(火) 生態園トピックス展「身近な植物にも「へー」がある」(～9月4日)【本館】
- 12月15日(木) 特別公開Ⅱ「重要文化財 大薙刀」(～2月12日)【大多喜城分館】
- 12月17日(土) 研究紹介展示「80年ぶりの再発見! ツメナガイバラモエビ」(～3月31日)【本館】
- 12月20日(火) ミニトピックス展「干支にちなんでー酉年ー」(～1月15日)【本館】

## 平成29年

- 1月7日(土) 3館連携企画作品展覧会(巡回展) ちば生きもの科学クラブ2016(～1月29日)【本館】
- 1月11日(水) トピックス展「まるごとチーバくん展～ありがとう10周年～」(～1月31日)【本館】
- 1月13日(金) 古い道具とむかしのくらし(～3月10日)【本館】
- 2月11日(土) マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」(～5月7日)【分館海の博物館】
- 2月17日(金) ミニトピックス展「地面の下から新種の昆虫発見！」(～3月30日)【本館】
- 3月4日(土) 春の展示「五七五で自然を切り取るー生態園を子どもの目で詠むとー」(～5月21日)【本館】
- 3月7日(火) ミニトピックス展「九十九里の真冬の屋気楼と、日本・世界各地の屋気楼」(～3月31日)【本館】  
生命のにぎわいー生物多様性写真展ー(～3月31日)【本館】
- 3月16日(木) 特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」(～3月31日)【大多喜城分館】
- 3月18日(土) 中央図書館・中央博物館共同企画「祝日本遺産 北総四都市江戸巡り」(～4月9日)【本館】

## 平成 28 年度のトピック

本館では、企画展「驚異の深海生物―新たなる“深”世界へ―」を開催し、71日の開催で38,060人の来場があり、好評であった。期間中に合わせ、本館職員が発見した新種についての報道リリースを行うなどの広報活動を行った。

また、千葉県総合企画部報道広報課と共同主催したトピックス展「まるごとチーバくん展～ありがとう 10周年～」、中央図書館との共同企画「祝日本遺産 北総四都市江戸巡り」など、県の他部署との連携による展示を開催した。さらに、そごう千葉店でのディスカバーちばウィークス「驚異の深海生物パネル展」、アリオ蘇我での「中央博の課外事業 in アリオ蘇我」など、企業との連携も進め、館外での広報にも努めた。

大利根分館では、5月28日から6月26日企画展「江戸時代房総名所めぐり」を開催したほか、トピックス展示「印半纏の世界」や本館と協力を行い夏休み展示「妖怪になった動物たち」を開催し、利根川流域を中心とした房総の歴史文化に関する展示を行った。また、川のフィールドミュージアム事業として、水郷民俗調査隊・いきもの調査隊を行い、住民や近隣中学校生徒とともに利根川下流周辺地域の歴史や文化、自然について、参加者と現地調査等を実施し、その成果を「たかつぼ通信」に掲載し発表した。また、小学3年社会科の「古い道具とむかしの暮らし」単元にあわせた、館蔵資料による出前展示と授業を実施した。

大多喜城分館では、10月21日から12月11日まで企画展「甦った受難の刀剣～千葉県の赤羽刀～」を開催したほか、特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」、特別公開Ⅱ「重要文化財 大薙刀」を開催し、文化財の普及にも努めた。

分館海の博物館では、平成28年度から引き続き、5月8日まで、マリンサイエンスギャラリー「毒をもつ海の生きもの―食べるため・食べられないため―」を開催したほか、平成29年2月11日からはマリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」を開催した。

千葉県博図公連携事業実行委員会（構成団体：千葉県立中央博物館、千葉県立西部図書館、八千代市立郷土博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、君津市教育委員会／事務局：千葉県立中央博物館）では、平成26年度・27年度に引き続き、文化庁の文化芸術振興費補助金「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の採択を受け、「博物館・図書館・公民館との連携による地域文化発信事業」を行い、3年間のまとめとして、フォーラムを行った。

# I 資料収集・整理保存

## 第1 本館

### 1 資料の登録

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	哺乳類	71	5,358	685
	鳥類	0	1,666	0
	魚類	1,552	17,720	17,582
	両棲・は虫類	0	2,054	0
	昆虫	12,054	172,748	65,491
	甲殻類	507	13,978	12,297
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	8	612	571
	クモ類	42	1,043	238
	軟体動物	414	74,890	1,847
	多毛類	0	1,101	2
	その他無脊椎動物	0	76	2
動物資料小計		14,648	291,246	98,715
植物・菌類資料	維管束植物	10,345	349,055	47,418
	蘚苔類	819	38,688	4,956
	藻類	90	6,110	3,377
	地衣類	3,422	24,355	6,206
	担子菌類	1,395	24,807	6,265
	子囊菌類他	13	3,092	190
	変形菌類	10	186	2
植物・菌類資料小計		16,094	446,293	68,414
地学資料	岩石・鉱物	448	17,858	17,907
	地層(はぎとりなど)	0	26	22
	植物化石	0	115	50
	脊椎動物化石	2	8,193	7,625
	軟体動物化石	280	5,941	5,428
	その他無脊椎動物化石	201	3,223	1,932
	地学景観画像	0	217	217
	その他	0	819	0
地学資料小計		931	36,392	33,181
自然誌資料合計		31,673	773,931	200,310
歴史資料	古文書・古典籍	4	1,765	1,011
	美術工芸品	0	1,020	571
	埋蔵文化財	0	3,285	3,055
	その他	49	1,570	22
歴史資料小計		53	7,640	4,659
特殊資料・貴重書	リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	-
	その他稀観本	0	50	-
	特殊資料・貴重書小計		0	5,447
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	-
	生態・環境にかかわる映像資料	4,311	22,932	-
	生態・環境にかかわる文献資料	0	81	-
	環境教育資料	0	8	-
	地域の生態系に関する資料	14	40	-
生態・環境資料小計		4,325	24,929	0
図書資料	図書(冊数)	1,462	51,362	15,089
	雑誌(冊数)	1,729	85,120	-
	雑誌(誌数)※合計には含まない	25	5,208	-
	図書資料(冊数)小計		3,191	136,482
合計		39,242	948,429	220,058

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

## 2 資料の収集

### (1) 資料収集点数

種別	件数	点数
寄贈	6	4,834
寄託	5	32
保管換え	2	148

種別	件数	点数
仮保管	1	10
館員による収集	-	31,212
合計	14	36,236

### (2) 内訳(寄贈、寄託、仮保管)

収集種別	資料系	資料名	点数	寄贈者・寄託者・原所蔵者
寄贈	地学資料	千葉県産第四紀貝類ほかの化石コレクション	4,828	個人
	歴史資料	明治九年改正地券ほか	2	個人
		菱田忠義コレクション: 絵葉書一式(県内、県外、海外絵葉書一式)	1件	個人
		菱田忠義コレクション: 観光チラシ等一式(県内鳥瞰図、観光チラシ)	1件	個人
		菱田忠義コレクション: 国体関係資料一式(若潮国体関係資料)	1件	個人
図書資料	菱田忠義コレクション: 図書一式	1件	個人	
寄託	歴史資料	鑄銅唐草文釣燈籠ほか	3	笠森寺
		板絵馬著色武者絵(弁慶)ほか	2	縣神社
		大絵馬(会津藩士遊泳)ほか	2	三柱神社
		地引網絵馬(天保14年)ほか	5	玉前神社
		伊能忠敬書簡ほか	20	九十九里町
保管換え	歴史資料	名所案内入 最新鉄道図 附名所登山案内図 附大都市電車図ほか	2	旧千葉県立上総博物館
	図書資料	図書	146	千葉県立中央図書館
仮保管	歴史資料	千葉寺経塚出土遺物	10	千葉県立千葉高等学校
館員による収集	動物資料		14,550	
	植物・菌類資料		16,094	
	地学資料		505	
	生態環境資料		14	
	歴史資料	支那事变国債郵便局売出し案内パンフレット(12月13日~24日売出し分)ほか	2	
		寛永通寶など貨幣一式(紙幣含む)ほか	44	
大日本帝国政府軍用手票・五十銭(龍)ほか		3		

## 3 資料の借用

### (1) 常設展示資料の借用

資料名	点数	借用先	展示室名
サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部	房総の地学
ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校	房総の地学
馬蹄石	1	個人	房総の地学
銚子産化石・岩石	105	個人	房総の地学
ナウマン象臼歯化石ほか	23	個人	房総の地学
石筍ほか	2	個人	房総の地学
ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人	房総の地学
漂着物	33	個人	房総の生物
中山新田 I 遺跡出土石器ほか	546	千葉県教育委員会	房総の歴史
鳥浜貝塚出土クワミほか	11	福井県立若狭歴史民俗資料館	房総の歴史
下ヶ戸宮前貝塚出土骨角製刺突具	7	我孫子市教育委員会	房総の歴史
姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学	房総の歴史

資料名	点数	借用先	展示室名
林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市教育委員会	房総の歴史
城の腰遺跡出土石器ほか	95	千葉県教育振興財団	房総の歴史
本名輪遺跡出土炭化米	一式	君津市教育委員会	房総の歴史
西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会	房総の歴史
三田遺跡出土赤彩土器ほか	40	芝山町教育委員会	房総の歴史
山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会	房総の歴史
四留作第1号墳出土鋤先ほか	35	木更津市教育委員会	房総の歴史
新坂1号墳出土円頭大刀ほか	60	山武市教育委員会	房総の歴史
宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会	房総の歴史
鉄帽ほか	18	印西市立印旛歴史民俗資料館	房総の歴史
草木撰種録ほか	3	個人	房総の歴史
村明細帳・年貢割付状	2	個人	房総の歴史
地租改正の丈量器具	一式	富津市文化協会	房総の歴史
職工人夫心得ほか	4	個人	房総の歴史
古文書資料	1,525	個人	房総の歴史
飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館	房総の歴史

(2) 企画展示資料の借用

ア 企画展「驚異の深海生物 -新たなる深世界へ-

資料名	点数	借用先
深海生物液浸標本	23	海洋研究開発機構
深海魚剥製	2	海洋研究開発機構
船舶模型	5	海洋研究開発機構
しんかい 6500 覗き窓	1	海洋研究開発機構
加圧したカップ	10	海洋研究開発機構
大型魚類剥製	7	神奈川県立生命の星地球博物館
深海生物液浸標本	10	東京大学大気海洋研究所
深海生物液浸標本	4	国立科学博物館
ダイオウイカ魚拓	1	国立科学博物館
ダイオウイカ触腕	1	国立科学博物館
メンダコレプリカ	2	国立科学博物館
深海性等脚類標本	5	北九州市立自然史・歴史博物館
深海生物液浸標本	2	アクアマリンふくしま
宝石サンゴ類標本	3	立正大学
深海性魚類標本	1	高知大学理学部
深海性魚類標本	1	京都大学理学部
深海性魚類標本	1	Academia Sinica, Taipei
深海性魚類標本	1	Zoological Museum, University of Copenhagen, Denmark
深海性甲殻類標本	1	Museum national d'Histoire naturelle, Paris
センジュエビ類化石標本	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
シーラカンスレプリカ	1	個人
マッコウクジラ胃内容物液浸標本	1	国立科学博物館
マッコウクジラのバイオロギング用データロガー	一式	東京大学大気海洋研究所
ミミズ生態画像	1	個人



イ 春の展示「五七五で自然を切り取る～生態園を子供の目で読むと～」

資料名	点数	借用先
ジョロウグモ生態画像	1	個人

- (3) 調査等  
該当なし

#### 4 資料の利用

- (1) 資料利用件数

種別	件数	点数
閲覧	8	32
撮影	8	40
貸出	32	223
研究用貸出	9	401

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	51	156
複製	0	0
標本データの提供	1	177,680
学習キットの貸出	26	68
その他	1	5

- (2) 内訳(閲覧)

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	職人尽絵九十六図貼り交ぜ屏風、和国諸職絵づくし、彩画職人部類	3	板橋区立郷土資料館
歴史資料	和国諸職絵づくし(上)、彩画職人部類(上)	2	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「鮎富神社」、最新版 稲毛海岸の勝景(絵葉書)、国幣中社玉前神社 参拝記念絵葉書、成田名勝絵葉書(成田名勝)、房州随一 保田町海水浴場写真集(安房名所)	5	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	千葉県文化財実態調査事業－絵馬・奉納額・建築彫刻－資料	1	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	総州真景図藁	1	香取市教育委員会
歴史資料	浅間山古墳遺物	21	高崎市観音塚古墳考古資料館
歴史資料	千葉寺経塚出土資料	1	千葉寺
歴史資料	上総久留里古城山絵図	1	君津市立久留里城址資料館

- (3) 内訳(撮影)

資料系	資料名	点数	利用者
動物資料	アカガイほか貝類標本	6	個人
動物資料	マダライルカ全身骨格ほか海生哺乳類骨格標本	7	太地町立くじらの博物館
歴史資料	上総久留里古城山絵図	1	君津市立久留里城址資料館
歴史資料	総州真景図藁	1	香取市教育委員会
歴史資料	和国諸職絵づくし、彩画職人部類	2	板橋区立郷土資料館
歴史資料	浅間山古墳遺物	21	高崎市観音塚古墳考古資料館
歴史資料	千葉教会教会堂(模型)	1	千葉県文書館
歴史資料	千葉寺経塚出土資料	1	千葉寺

- (4) 内訳(貸出)

資料系	資料名	点数	利用者
動物資料	ダイオウソデガイほか貝類標本 10 点、オオトビナナフシの一種ほか昆虫標本 8 点	18	萩博物館
動物資料	カタツムリ標本(ミスジマイマイ)	15	株式会社 テレビ東京
動物資料	アオダイショウの骨格標本	1	株式会社 共同テレビジョン
動物資料	哺乳類頭骨標本	19	大網白里市立増穂中学校
動物資料	フリマングース、アカゲザル剥製	2	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
動物資料	哺乳類剥製写真	3	袖ヶ浦市教育委員会

資料系	資料名	点数	利用者
動物資料	オオツタノハほか貝類標本	6	沖縄県立博物館・美術館
動物資料	ニホンジカ頭骨ほか哺乳類骨格標本	11	千葉市立都賀小学校
動物資料	哺乳類・鳥類骨格標本	6	株式会社 共同テレビジョン
植物資料	ワタ・クズ・カラムシほか植物標本、アサレブリカ	12	袖ヶ浦市郷土博物館
地学資料	空中写真、鳥瞰図	6	大町市立大町山岳博物館
地学資料	銚子層群産アンモナイト化石	2	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
地学資料	千葉石	1	大阪市立自然史博物館
歴史資料	愛知県伊川津貝塚出土縄文人頭骨	1	東京女学館小学校
歴史資料	浅間山古墳遺物写真	10	株式会社 新泉社
歴史資料	千葉県史編さん考古部会関係資料(松岡古墳遺物写真)	1	株式会社 新泉社
歴史資料	江戸名所図会、成田名所図会、成田鉄道ガソリン動客車(模型)	4	千葉県立現代産業科学館
歴史資料	浅間山古墳遺物	11	高崎市観音塚古墳考古資料館
歴史資料	浅間山古墳遺物の写真	8	高崎市観音塚古墳考古資料館
歴史資料	上総久留里古城山絵図	1	君津市立久留里城址資料館
歴史資料	和国諸職絵づくし(上)、彩画職人部類(上)	2	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「飽富神社」	1	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	梵鐘(宝亀五年二月十二日在銘)(複製)	1	千葉県教育振興財団
歴史資料	江戸風俗図屏風	1	京都文化協会
歴史資料	『利根川図志』巻一	1	八戸市立博物館
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真および関連写真パネル	65	フィールドミュージアム・三番瀬の会
生態・環境資料	ムナグロ鳴声-旭市神宮寺-	1	八戸市立博物館
貴重書	『大和本草巻之十五 巻之十六』	1	八戸市立博物館
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「珍花福寿草」	1	埼玉県立自然の博物館
貴重書	植物和本 大和本草(五之六、附録之一二、諸品図)、 日本山海名産圖會(五)、有用植物圖説(解説巻二、図画卷二)	6	袖ヶ浦市郷土博物館
貴重書	バンクス「バンクス世界一周航海日誌復刻版」全2巻、「キャプ テン・クック世界一周航海完全公式記録」テキスト2、3巻(第1回 航海)	4	株式会社 東急文化村

(5)内訳(研究用貸出)

資料系	資料名	点数	利用者
動物資料	昆虫	11	個人
動物資料	昆虫	25	個人
動物資料	昆虫	117	個人
動物資料	昆虫	1	個人
動物資料	魚類	102	個人
動物資料	貝類	3	個人
動物資料	貝類	132	個人
動物資料	魚類	7	個人
植物資料	菌類	3	個人

(6)内訳(デジタル情報の複製)

資料系	資料名	点数	利用者
動物資料	マッコウクジラの骨格標本の写真	1	千葉市科学館
動物資料	ツノゼミ標本写真	1	株式会社 河出書房新社
動物資料	マスカラット剥製写真	1	茨城県生活環境部環境政策課
動物資料	マダライルカ骨格標本の写真	1	株式会社 童夢
植物資料	ヤクシマセミタケほか画像	4	株式会社 岩波書店

資料系	資料名	点数	利用者
地学資料	ナウマンゾウ復元骨格写真	1	株式会社 技術評論社
地学資料	鯨の発掘中頭骨写真	3	株式会社 道の駅しようなん
地学資料	ナウマンゾウ復元骨格写真	1	株式会社 ベネッセコーポレーション
地学資料	コミナトダイオウグソクムシの写真及び模式図	2	株式会社 ベネッセコーポレーション
地学資料	袖ヶ浦市吉野田の発掘現場の様子、ニホンジカとシカ類の化石写真ほか	5	袖ヶ浦市郷土博物館
地学資料	鳥瞰図ほかパネル	4	大町市立大町山岳博物館
地学資料	屏風ヶ浦海食崖航空斜め写真	1	銚子市ジオパーク推進室
地学資料	石英閃緑岩標本写真	1	株式会社 日本入試センター
歴史資料	千葉県文化財実態調査事業－絵馬・奉納額・建築彫刻－資料	1	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	上総久留里古城山絵図	1	君津市立久留里城址資料館
歴史資料	干鯛	1	株式会社 テレビ東京制作
歴史資料	「日本博覧図」より「海水浴場加納屋支店海気館」	1	千葉県みどりの協会
歴史資料	干鯛 写真、べ粕 写真	2	東京法令出版株式会社
歴史資料	職人尽絵九十六図貼り交ぜ屏風より画像	3	板橋区立郷土資料館
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「濱口儀兵衛店」	1	広川町教育委員会
歴史資料	べ粕 写真	1	株式会社 天夢人
歴史資料	『利根川図志』巻一より「ネネコ河童」、 『和漢三才図会』巻之四十より「川太郎」	2	富里市立図書館
歴史資料	上総笠盛寺岩作り観音、下総舟橋大神宮、下総銚子の浜外浦、 成田香取鹿島息栖細見絵図	4	千葉県立現代産業科学館
歴史資料	下総銚子の浜外浦	1	銚子市ジオパーク推進室
歴史資料	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	千葉県総合企画部報道広報課
歴史資料	和国諸職絵づくし(上)より「こうかき・はたおり」、 彩画職人部類(上)より「織殿」	2	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	上総国分寺(模型)	1	市原市教育委員会ふるさと文化課
歴史資料	蒸気船通運丸(模型)	1	個人
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「鮑富神社」	1	袖ヶ浦市郷土博物館
歴史資料	『利根川図志』巻一	1	株式会社 朝日新聞社 前橋総局
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「千葉県佐倉同協社全図」	1	株式会社 フジテレビジョン
歴史資料	『日本博覧図千葉県初編』より「鮑富神社」	1	袖ヶ浦市企画財政部企画課
歴史資料	『利根川図志』巻一	1	八戸市立博物館
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真:べか船・打瀬船	2	日本海事科学振興財団 船の科学館
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真:印旛沼(臼井の渡船場ほか)	5	佐倉市
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真:佐倉の祭礼に関するもの	26	佐倉山車人形保存会
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真:奈良屋前交差点	1	株式会社 三越伊勢丹 三越千葉店
生態・環境資料	故・林辰雄氏撮影写真:東京都江東区の祭礼、芸妓に関するもの	9	株式会社 いき出版
生態・環境資料	三宅島のシジュウカラの鳴き声	18	慶應義塾大学環境情報学部
生態・環境資料	野鳥の鳴き声	64	港区環境リサイクル支援部
貴重書	「カーチス植物学雑誌」の画像	11	株式会社 淡交社
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「江戸自慢三十六興 堀きり花菖蒲」「三十六花撰 東都入谷朝顔」「江戸自慢三十六興 深川八まん 牡丹」「江戸風俗十二ヶ月の内 九月染井菊造りの 元祖」「三十六花撰 東京堀切花菖蒲」「松葉蘭譜」の画像	6	株式会社 日本経済新聞社
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「風俗東之錦(植木福 寿草売り)」の画像	4	株式会社 毎日放送
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「珍花福寿草」	1	埼玉県立自然の博物館
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「名誉色咲分 尾州 楼小町仲の町ㇿ子」の画像	1	株式会社 ピーエーブックス (パイインターナショナル)

資料系	資料名	点数	利用者
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画「草花植木づくし(おもちゃ絵)」の画像	1	時蔵株式会社
貴重書	菌類古典籍コレクション「イタリア産普通種食用キノコ、および間違えやすい毒キノコ図譜」「バイエルン・パラティネート・レーゲンスブルク地方の菌類原色彩色図譜」の画像	5	日本きのこマイスター協会
貴重書	菌類古典籍コレクション「フランス植物」「バイエルン・パラティネート・レーゲンスブルク地方の菌類原色彩色図譜」の画像	2	日本きのこマイスター協会
貴重書	菌類古典籍コレクション「菌草譜」「福草考」の画像	6	日本きのこマイスター協会
貴重書	菌類古典籍コレクション「フランス植物誌」「菌草譜」の画像	2	日本きのこマイスター協会
貴重書	菌類古典籍コレクション「ポーレットの菌類図譜」の画像	1	株式会社 主婦の友社
貴重書	『大和本草卷之十五 卷之十六』	1	八戸市立博物館

(7)内訳(複製)

該当なし

(8)内訳(標本データの提供)

資料系	分野	S-Net、GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685
	魚類	0	9,043
	昆虫	0	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	0	7,450
	小計	0	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	0	87,045
	蘚苔類	0	10,395
	藻類	0	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
	小計	0	116,258
合計		0	177,680

S-Net.....サイエンスミュージアムネット(国立科学博物館)

GBIF.....地球規模生物多様性情報機構(国立研究開発法人科学技術振興機構)

千葉県 GIS.....ちば情報マップ(千葉県総務部情報システム課)

(9)内訳(学習キットの貸出)

資料名	利用者	利用点数
昆虫標本作製キット国語編	筑波大学附属聴覚特別支援学校	1
	立命館宇治中学校	1
生命と大地の歴史を体感する化石セット	江戸川区こども科学館	8
	江戸川区こども科学館	3
	武蔵野市立関前南小学校	4
	新潟薬科大学応用生命科学部	1
	千葉県立千葉盲学校	6
	江戸川区臨海科学教育センター	2
	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	1

資料名	利用者	利用点数
生命と大地の歴史を体感する化石セット	大網白里市立大網小学校	4
	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	1
	日立市民科学文化財団	2
	木更津市立金田小学校	6
	株式会社 ホリプロ	2
	よこはまユース	1
	調布市立第三中学校	1
	君津市立君津中学校	7
	千葉県立千葉盲学校	6
	南九州市立知覧小学校	2
	千葉市立有吉中学校	1
	印西市立西の原中学校校	2
	人類進化学習キット	広島県立賀茂高等学校
滋賀大学教育学部附属中学校		1
市川市立高谷中学校		1
神奈川県立横浜緑ヶ丘高校		1
水学習キット	水環境研究所	2

(10)内訳(その他)

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	浅間山古墳遺物写真	5	株式会社 新泉社

(11)資料の館内利用

資料系	資料名	点数	利用方法
動物資料	海綿動物標本	1	展示利用
動物資料	刺胞動物標本	4	展示利用
動物資料	頭足類標本	6	展示利用
動物資料	貝類標本	56	展示利用
動物資料	甲殻類標本	39	展示利用
動物資料	棘皮動物標本	9	展示利用
動物資料	その他無脊椎動物標本	4	展示利用
動物資料	尾索動物標本	1	展示利用
動物資料	魚類液浸標本	190	展示利用
動物資料	魚類骨格標本	2	展示利用
動物資料	貝類標本	4	展示利用
動物資料	昆虫標本	93	展示利用
動物資料	哺乳類標本	7	展示利用
動物資料	鳥類標本	37	展示利用
動物資料	両生類模型	2	展示利用
動物資料	哺乳類標本	7	展示利用
動物資料	生態園の哺乳類動画	一式	展示利用
動物資料	蜂の巣標本	41	展示利用
動物資料	昆虫標本	36	展示利用
動物資料	貝類標本	8	展示利用
動物資料	昆虫標本	9	展示利用
動物資料	哺乳類標本	2	展示利用
動物資料	魚類標本	1	展示利用

資料系	資料名	点数	利用方法
動物資料	貝類標本	11	展示利用
動物資料	貝類標本	3	展示利用
動物資料	貝類標本	3	展示利用
動物資料	貝類標本	200	行事利用
動物資料	貝類標本	56	行事利用
動物資料	貝類標本	5	閲覧
動物資料	貝類標本	67	閲覧
動物資料	貝類標本	15	館外研究者利用
動物資料	貝類標本	30	館外研究者利用
動物資料	貝類標本	15	館外研究者利用
植物・菌類資料	維管束植物腊葉標本（ケイトウ）	1	展示利用
植物・菌類資料	苔類標本（トサカゴケ）	1	展示利用
植物・菌類資料	蘚類標本（トサカホウオウゴケ）	1	展示利用
植物・菌類資料	地衣類標本（ヒメトサカゴケ）	1	展示利用
植物・菌類資料	地衣類含侵標本（ヒメトリハダゴケ）	1	展示利用
植物・菌類資料	大型菌類標本（クチキトサカタケ）	1	展示利用
地学資料	化石標本	10	展示利用
地学資料	岩石・鉱物標本	85	展示利用
地学資料	ウミユリ化石	1	展示利用
地学資料	山岳鳥瞰図	7	展示利用
地学資料	山岳鳥瞰図	9	展示利用
地学資料	岩石・鉱物標本	6	展示利用
地学資料	化石標本及びレプリカ	2	展示利用
地学資料	イルカ化石	3	展示利用
地学資料	化石標本	5	展示利用
歴史資料	洛中洛外図屏風	1 隻	展示利用
歴史資料	江戸風俗図屏風（複製）	一双	展示利用
歴史資料	小金原鹿狩図屏風	1 隻	展示利用
歴史資料	校正職人歌合	1 冊	展示利用
歴史資料	和国諸職絵つくし	1 冊	展示利用
歴史資料	職人尽絵 檜物師	1 点	展示利用
歴史資料	職人尽絵 烏帽子折	1 点	展示利用
歴史資料	職人尽絵貼りまぜ屏風	1 隻	展示利用
歴史資料	近世職人尽絵詞（複製）	1 巻	展示利用
歴史資料	職人尽絵 傘師	1 点	展示利用
歴史資料	職人尽絵 塗師・蒔絵師	1 点	展示利用
歴史資料	職人尽絵 油売り・白飴売り	1 点	展示利用
歴史資料	職人尽絵 扇師	1 点	展示利用
歴史資料	和国諸職絵つくし	1 冊	展示利用
歴史資料	彩画職人部類	1 冊	展示利用
歴史資料	大日本物産図絵	32 枚	展示利用
歴史資料	総業概録（複製）	1	展示利用
歴史資料	佐倉順天堂療治定（複製）	1	展示利用
歴史資料	菖蒲争いの図	1	展示利用
歴史資料	佐原邑河岸一件（複製）	1	展示利用
歴史資料	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	展示利用

資料系	資料名	点数	利用方法
歴史資料	利根川帰雁の図	1	展示利用
歴史資料	鹿島講連印帳（複製）	1	展示利用
歴史資料	銚江喬遊絵巻	1	展示利用
歴史資料	六十余州名所図会 下総 銚子の浜 外浦	1	展示利用
歴史資料	六十余州名所図絵 下総銚子の浜 外浦	1	展示利用
歴史資料	鹿嶋志	1	展示利用
歴史資料	江戸名所図会	19	展示利用
歴史資料	成田名所図会	5	展示利用
歴史資料	御物本 更級日記	1	展示利用
歴史資料	諸国名所百景 上総笠森寺岩作の観音	1	展示利用
歴史資料	諸国名所百景 下総舟橋大神宮	1	展示利用
歴史資料	江戸風俗図屏風（複製・左隻）	1	展示利用
歴史資料	人類進化学習キット・昆虫標本作製キット	2	展示利用
歴史資料	伊能忠敬測量器具 半円方位盤（複製）	1	展示利用
歴史資料	人類進化学習キット	1	行事利用
歴史資料	人類進化学習キット・昆虫標本作製キット	2	行事利用
歴史資料	人類進化学習キット・昆虫標本作製キット	2	行事利用
歴史資料	人体全身骨格モデル（模型）	1	行事利用
歴史資料	人類進化学習キット	1	行事利用
歴史資料	人体全身骨格モデル（模型）	1	行事利用
生態・環境資料	コゲラ巣標本	1	展示利用
貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画 No.13 ほか	22	行事利用
貴重書	森 啓 蔵 書 「The Rose: its History, Poetry, Culture and Classification」ほか	10	行事利用

## 5 保存環境の整備等

### (1) 環境調査

ア 生物生息調査(トラップ調査)

(ア)実施回数 4回

(イ)調査区域 全館

(ウ)トラップ数 236個

イ 温湿度測定(自記温湿度計)

(ア)設置場所 各収蔵庫、「房総の歴史」展示室

### (2) 清掃

ア 収蔵庫の定期清掃

(ア)実施回数 各収蔵庫年2回実施

### (3) 燻蒸、殺虫、殺菌

ア 収蔵庫燻蒸

(ア)実施回数 1回

(イ)実施期間 平成28年9月28日～10月7日

(ウ)実施場所 第1収蔵庫

(エ)使用薬剤 フッ化スルフリル(商品名:ヴァイケーン)283.5kg

イ 燻蒸釜による燻蒸

(ア)実施回数 6回

(イ)使用薬剤 酸化エチレン(商品名:エキヒュームS)

(ウ)保守点検

実施日 平成29年1月25日

ウ 冷凍庫による殺虫(低温処理)

(ア) 運転回数 常時運転

エ 乾燥機による殺虫(高温処理)

(ア) 運転回数 常時運転

オ 防虫施工(空間噴霧処理)

実施無し

(4) 施設・設備の改善

実施無し

## 6 図書

(1) 館職員利用

ア 貸出件数 987 冊

(2) 来館者利用

ア 閉架図書出納 8 件 48 冊

イ 複写サービス 71 件 798 枚

ウ 閲覧コーナー・体験のもりでの図書公開 全開館日

(3) 資料保全

ア 館内修理 36 冊



## 第2 大利根分館

### 1 資料の登録

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	鳥類	0	262	262
地学資料	古生物(微化石)	0	1	1
歴史資料	古文書	0	706	705
	埋蔵文化財	0	253	253
	歴史資料小計	0	959	958
民俗資料	民俗資料	0	569	568
	絵葉書	0	258	258
	民俗資料小計	0	827	826
合計		0	2049	2047

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

### 2 資料の収集

#### (1) 資料収集点数

種別	件数	点数
寄贈	0	0
寄託	0	0

種別	件数	点数
保管換え	0	0
館員による収集	13	13
合計	13	13

#### (2) 内訳(館員による収集)

種別	点数
民俗資料	13

### 3 資料の借用

#### (1) 常設展示資料の借用

資料名	点数	借用先	展示室名
黒田家文書	8	個人	第2収蔵庫
板碑	2	惣持院	第1展示室
板碑	1	個人	第1展示室
丸木舟	1	匝瑳市教育委員会	第1展示室
木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺	第1展示室
阿玉台北遺跡出土土器	2	千葉県教育振興財団	第1展示室
炭化米	1	千葉県教育振興財団	第1展示室
石製浮子	2	千葉県教育振興財団	第1展示室
石錘	4	千葉県教育振興財団	第1展示室
土器片錘	8	千葉県教育振興財団	第1展示室
馬場遺跡出土遺物	1	千葉県教育委員会	第1展示室
東野遺跡出土遺物	2	千葉県教育委員会	第1展示室
多田遺跡出土遺物	2	千葉県教育委員会	第1展示室
鵜崎貝塚出土遺物	19	千葉県教育委員会	第1展示室
取香和田戸遺跡出土遺物	50	千葉県教育委員会	第1展示室
城山第5号前方後円墳出土人物埴輪	1	香取市教育委員会	第1展示室
大六天遺跡出土土器	10	香取市教育委員会	第1展示室
織幡ササノ倉遺跡出土土器	29	香取市教育委員会	第1展示室
プロペラ	1	香取市教育委員会	第2収蔵庫
河童図	1	香取市教育委員会	第2収蔵庫
翼竜復元模型	1	航空科学博物館	エントランスホール
トンボ化石	1	航空科学博物館	第1展示室
古代の巨大トンボ化石	1	航空科学博物館	第1展示室

## (2) 企画展示資料の借用

ア 企画展「江戸時代房総名所めぐり」

資料名	点数	借用先
山海見立相撲 安房小湊	1	木更津郷土博物館金のすず
富士三十六景 房州保田ノ海岸	1	木更津郷土博物館金のすず
不二三十六景 上総天神山海岸	1	木更津郷土博物館金のすず
不二三十六景 上総鹿埜山	1	木更津郷土博物館金のすず
上総九十九里地引網大漁鯨正写之図	1	木更津郷土博物館金のすず
富獄三十六景 上総ノ海路	1	木更津郷土博物館金のすず
山海見立相撲 上総木更津	1	木更津郷土博物館金のすず
富士三十六景 上総黒戸の浦	1	木更津郷土博物館金のすず
富獄三十六景 登戸浦	1	木更津郷土博物館金のすず
行徳塩濱の図 (肉筆)	1	木更津郷土博物館金のすず
名所江戸百景 鴻の台とね川風景	1	木更津郷土博物館金のすず
富士三十六景 下総小金原	1	木更津郷土博物館金のすず
諸国名所百景 下総成田山境内	1	木更津郷土博物館金のすず

## 4 資料の利用

## (1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0c
撮影・複製	3	15
貸出	13	74
研究用貸出	0	0

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	18	40
複製	0	0
標本データの提供	0	0

## (2) 内訳 (撮影・複製)

資料系	資料名	点数	利用者
民俗資料	種切借用帳ほか	10	千葉古文書の会
民俗資料	水車	1	WIRED(合同会社コンデナスト・ジャパン)
民俗資料	旧附洲排水機ほか	4	株式会社 西島製作所

## (3) 内訳 (貸出)

資料系	資料名	点数	利用者
民俗資料	炭火アイロンほか	7	千葉県教育振興財団
民俗資料	ぼんぼん船模型ほか	2	千葉県立関宿城博物館
民俗資料	富獄三十六景「常州牛堀」ほか	6	小美玉市玉里資料館
歴史資料	与謝野鉄幹 寺田憲宛書簡ほか	2	神奈川県立神奈川近代文学館・ 神奈川文学振興会
民俗資料	房丁茶船 模型	1	印西市教育委員会
民俗資料	木炭瓦敷発生装置	1	千葉県立現代産業科学館
自然資料	利根川の鳥の剥製ほか	23	さわやかちば県民プラザ
民俗資料	銚子関係絵葉書ほか	20	千葉県立美術館
歴史資料	『明治三十九年利根川に現れたる河童の図』、 『十三枚本世散 公告(版刷り)』	3	八戸市立博物館
民俗資料	旧奈良屋雛人形及び商家道具ほか	5	香取市教育委員会
民俗資料	土摺臼	1	神栖市歴史民俗博物館
埋蔵文化財	神崎町植房浅間出土石枕、香取市片野古墳出土石枕	2	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館
民俗資料	土摺臼	1	稲敷市立歴史民俗資料館

## (4)内訳(デジタル情報の複製)

資料系	資料名	点数	利用者
民俗資料	高瀬舟写真	1	株式会社 ヤマサ醤油
民俗資料	写真集『水郷の原風景』掲載写真「嫁入り」ほか	3	テレコムスタッフ株式会社
民俗資料	利根川高瀬舟写真	7	日本海事科学振興財団 船の科学館
歴史資料	『明治三十九年利根川に現れたる河童の図』	1	富里市立図書館
歴史資料	浮世絵ほか	4	千葉県立現代産業科学館
歴史資料	歌川広重作「諸国勝景下総利根川之図」	1	千葉県高等学校PTA連合会
民俗資料	石臼ほか	5	青葉図書株式会社
民俗資料	編み笠ほか	4	ECC総合教育研究所
民俗資料	かまど写真	1	株式会社 メディアワン
民俗資料	水郷の原風景	2	株式会社 TEM研究所
自然資料	サンカノゴイ標本ほか	3	個人
民俗資料	人魚写真	1	株式会社 エスアンド
歴史資料	下総国香取郡佐原村分見絵図	1	個人
民俗資料	写真集『水郷の原風景』掲載写真「田植え」ほか	1	しょうけい館 戦傷病者史料館
民俗資料	写真集『水郷の原風景』掲載写真「田畑とエンマ」ほか	1	株式会社 国土社
民俗資料	高瀬舟写真	1	株式会社 銚子山十
歴史資料	『明治三十九年利根川に現れたる河童の図』、 『十三枚本世散 公告(版刷り)』	2	八戸市立博物館
歴史資料	千葉県香取郡十四ヵ村全図	1	NHK

## (5)資料の館内利用

資料系	資料名	点数	利用方法
民俗資料	印半纏ほか	30	館内展示利用
民俗資料	浮世絵ほか	5	館内展示利用
民俗資料	鳥類剥製ほか	65	館内展示利用
民俗資料	氷冷蔵庫ほか	105	館内展示利用
歴史資料	花鳥図屏風	一双	本館展示利用
歴史資料	近世水滸伝	1	本館展示利用

### 第3 大多喜城分館

#### 1 資料の登録

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	114	842	664
	生活	0	377	0
	芸術	0	1	0
	宗教	0	53	0
	文学	0	18	0
	古文書	0	296	361
	考古	0	9	0
	その他	0	424	0
合計		114	2,020	1,025

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

#### 2 資料の収集

##### (1) 資料収集点数

種別	件数	点数
寄贈	11	130
寄託	0	0

種別	件数	点数
保管換え	0	0
館員による収集	0	0
合計	11	130

##### (2) 内訳(寄贈)

資料名	点数	寄贈者
短刀	1	個人
槍	1	個人
刀、脇差	2	個人
脇指(相州住綱広)	1	個人
鶴岡家蔵書ほか	4	個人
脇差	1	個人
大曾根家銃砲・刀剣コレクション	8	個人
難波戦記ほか古書籍コレクション	54	個人
槍	2	個人
脇差	1	個人
刀剣類	55	個人

#### 3 資料の借用

##### (1) 常設展示の資料借用

資料名	点数	借用先	展示室名
笈筆筒、鷲図ほか	2	個人	3階展示室
梅僊筆 梅図掛図ほか	15	個人	3階展示室
紙本著色本多忠勝画像ほか	14	良玄寺	2階展示室
屏風ほか	6	個人	3階展示室
キリタン禁制ほか	2	個人	3階展示室
萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人	2階展示室
黒糸肩裾取威胴丸(兜・小具足付)ほか	3	個人	2階展示室
国吉原新田掟書ほか	2	個人	2階展示室
鱈口	1	法華寺	3階展示室
十二間筋兜ほか	2	個人	2階展示室
鉄砲所持許可鑑札ほか	3	個人	3階展示室
紺糸威鉾綴桶側胴具足(十六間筋兜付)ほか	1	個人	2階展示室
書画「水墨山水図」	19	個人	3階展示室
本多家御膳ほか	10	東長寺	2階展示室

火縄銃ほか	2	個人	2階展示室
鋸鍛冶道具	1	個人	3階展示室

(2) 企画展示資料の借用

資料名	点数	借用先
脇差ほか	3	千葉県立関宿城博物館
刀	1	千葉県立現代産業科学館
刀ほか	2	袖ヶ浦市郷土博物館
槍ほか	2	大利根分館
太刀ほか	2	八千代市立郷土博物館
短刀ほか	2	睦沢町立歴史民俗資料館
脇差	1	茂原市立美術館・郷土資料館

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	5	81
貸出	5	12

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	77	78
複製	0	0

(2) 内訳(撮影)

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	弓術関係文書	74	個人
歴史資料	良玄寺文書ほか	4	個人
歴史資料	紙本著色釈迦涅槃図	1	大多喜町教育委員会
歴史資料	仏伝図	1	大多喜町教育委員会
歴史資料	森家弓術資料	1	個人

(3) 内訳(貸出)

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	房総志料ほか	4	いすみ市郷土資料館
歴史資料	体験用 本多忠勝鹿角脇立兜	1	NHK 千葉放送局
歴史資料	房総志料巻5ほか	4	いすみ市郷土資料館
歴史資料	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
歴史資料	須恵器ほか	2	いすみ市郷土資料館

(4) 内訳(デジタル情報の複製)

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 コミュニティネット
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 イースト・エンタテインメント
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 ベストセラーズ
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 洋泉社
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 ユニット
歴史資料	兔形変兜	1	テレコムスタッフ株式会社
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 コミュニティネット
歴史資料	大多喜城外観	1	株式会社 コミュニティネット
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	テレコムスタッフ株式会社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 碧水社
歴史資料	旧大多喜城全図	1	株式会社 碧水社

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 GB.
歴史資料	赤糸威大鎧複製写真	1	関東電気保安協会
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	関東電気保安協会
歴史資料	大多喜城外観	1	関東電気保安協会
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 上毛新聞社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	ユニオン映画株式会社
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	イブシロンデザインプロダクト合同会社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	有限会社 アンドオン
歴史資料	良玄寺境内図	1	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会
歴史資料	大多喜市場関係文書	1	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会
歴史資料	国吉原新田就相起定条々	1	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会
歴史資料	万喜原新田掟之条々	1	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 名古屋テレビ映像
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 NEXTEP
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 ダイブ
歴史資料	本多忠勝兜図画像	1	株式会社 ダイブ
歴史資料	大多喜城外観	2	株式会社 元裕社
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 元裕社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 元裕社
歴史資料	黒糸肩裾取威胴丸	1	株式会社 元裕社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 イースト・エンタテインメント
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 コミュニティネット
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 イカロス
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	東映株式会社 京都撮影所
歴史資料	紀州筒の写真	1	株式会社 かみゆ
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 メルブランニング
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	NHK 千葉放送局
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 はる制作室
歴史資料	大多喜城外観	1	株式会社 はる制作室
歴史資料	お城まつりの藤岡弘、氏の写真	1	株式会社 はる制作室
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 ルースプロダクション
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	島田市博物館
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 ジェック 出版チーム
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 エスコミュニケーション
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 TBSテレビ制作局
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 想&創
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	ディラナダチ
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	かわらけ・耳かわらけの写真	1	株式会社 碧水社
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	クリエイティブエイト
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	クリエイティブエイト
歴史資料	大多喜城外観	1	クリエイティブエイト
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 コミュニティネット

資料系	資料名	点数	利用者
歴史資料	大多喜城外観	1	株式会社 コミュニティネット
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 日本ケーブルテレビジョン
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	恵那市立明智中学校
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	プラモ合同会社
歴史資料	三重盃及盃台	1	株式会社 天夢人
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 フジテレビジョン 第二制作センター
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 TBS テレビ
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 ジェック 出版チーム
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 エスココミュニケーション
歴史資料	兎形変兜	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	毎日新聞出版株式会社 サンデー毎日編集部
歴史資料	大多喜城外観	1	毎日新聞出版株式会社 サンデー毎日編集部
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	NHK 制作局第1制作センター
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 テレビ朝日
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	テレビ朝日映像株式会社
歴史資料	遠山金四郎景元肖像画	1	株式会社 天夢人
歴史資料	紙本著色本多忠勝像	1	株式会社 アド・グリーン
歴史資料	上総国夷隅郡大多喜城地絵図	1	株式会社 アド・グリーン
歴史資料	大多喜城外観	1	株式会社 アド・グリーン

(5) 資料の館内利用

資料系	資料名	点数	利用方法
歴史資料	太刀	1	館内展示利用
歴史資料	刀剣製作工程	1	館内展示利用
歴史資料	太刀	1	館内展示利用
歴史資料	刀	1	館内展示利用
歴史資料	刀	1	館内展示利用
歴史資料	刀	1	館内展示利用
歴史資料	薙刀	1	館内展示利用
歴史資料	太刀拵	1	館内展示利用
歴史資料	打刀拵	1	館内展示利用
歴史資料	軍刀拵	1	館内展示利用
歴史資料	軍刀拵	1	館内展示利用
歴史資料	軍刀刀身	1	館内展示利用
歴史資料	軍刀刀身	1	館内展示利用
歴史資料	刀装具	1	館内展示利用
歴史資料	大薙刀	1	館内展示利用
歴史資料	源平合戦図屏風	1 隻	本館展示利用
歴史資料	長脇差ほか	4	本館展示利用

#### 第4 分館海の博物館

##### 1 資料の登録

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	3	304	0
	刺胞動物	681	8,434	845
	環形動物	0	2,092	618
	貝類	741	10,976	112
	頭足類	2	255	108
	甲殻類	30	2,642	706
	棘皮動物	18	1,624	179
	その他	1	407	20
	魚類	54	14,780	3,225
動物資料小計		1,530	41,514	5,813
植物資料	種子植物	0	72	23
	藻類	200	7,664	936
	植物・菌類資料小計	200	7,736	959
画像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,416	0
	画像資料小計	0	13,631	0
資料合計		1,730	62,881	6,772
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	1	1,903	0
	図書資料(冊数)小計	1	1,903	0
合計		1,731	64,784	6,772

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

##### 2 資料の収集

###### (1) 資料収集点数

種別	件数	点数
寄贈	0	0
寄託	0	0
保管換え	0	0

種別	件数	点数
館員による収集	-	1,731
合計	0	1,731

###### (2) 内訳(館員による収集)

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	3
	刺胞動物	681
	環形動物	0
	貝類	741
	頭足類	2
	甲殻類	30
	棘皮動物	18
	その他	1
	魚類	54
小計		1,530
植物資料	種子植物	0
	藻類	200
小計		200
映像資料	写真	0
	動画	0
小計		0
図書資料	図書・雑誌等	1
合計	合計	1,731

##### 3 資料の借用

###### (1) 常設展示の借用

該当なし



## (2)企画展示資料の借用

## ア 収蔵資料展「海の絶滅危惧種」

資料名	点数	借用先
アオギス脚立釣り用 びく	1	浦安市郷土博物館
アオギス脚立釣り用 脚立	1	浦安市郷土博物館
アオギス脚立釣り用 釣竿	1	浦安市郷土博物館
アオギス脚立釣り風景写真	2	浦安市郷土博物館
マゴコロガイ標本	1	横須賀市自然博物館
アオギス生体	10	海洋生物環境研究所
トビハゼ画像	12	個人
ヒロクチカノコ標本	3	奈良女子大学
クロヘナタリ標本	2	奈良女子大学
スジホシムシ標本	1	奈良女子大学

## イ マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」

資料名	点数	借用先
ボーリングコア標本	1	国立環境研究所
サンゴ礁地形ジオラマ	1	国立環境研究所
魚類標本	8	神奈川県立生命の星・地球博物館
エダミドリイシ (生体)	2	お茶の水女子大学
サンゴモ類の標本	2	海洋生物環境研究所
ルリツボムシ標本	1	個人
スツボサンゴ標本	2	個人
ツノヤドカリの一種標本	1	個人
タテホシムシの一種標本	1	個人
サンゴモ類画像	1	海洋生物環境研究所
ツノヤドカリの一種標本	1	個人
タテホシムシの一種標本	1	個人
サンゴ礁魚類画像	9	個人
サンゴ礁地形画像	3	個人
サンゴ礁地形画像	6	個人
サンゴ礁地形画像	4	個人
イシサンゴ類画像	4	個人
イシサンゴ類画像	10	個人
イシサンゴ類画像	4	個人
イシサンゴ類画像	1	個人
イシサンゴ類画像	1	個人
イシサンゴ類画像	4	個人
イシサンゴ類画像	4	個人
イシサンゴ発生画像	13	個人
甲殻類画像	5	個人
甲殻類画像	1	個人
甲殻類画像	8	個人
軟体動物画像	2	個人
ルリツボムシ動画	1	個人
イシサンゴ発生イラスト	1	個人

#### 4 資料の利用

##### (1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
貸出	0	0
研究用貸出	0	0

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	7	48
複製	0	0
標本データの提供	0	0

##### (2) 内訳(撮影)

該当なし

##### (3) 内訳(デジタル情報の複製)

資料系	資料名	点数	利用者
写真資料	磯の生き物ほか	34	株式会社 ブランデックス・インターメディア
写真資料	フノリノウシゲほか藻類	5	日本科学未来館
写真資料	ワカメ, ミツイシコンブ	2	サクセス
写真資料	カジメ, アラメ	3	いすみ市立太東小学校
写真資料	カツオノエボシ	1	株式会社 テレビ朝日
写真資料	ヤリマンボウ	1	株式会社 テレビ朝日
写真資料	ヤリマンボウ	2	アルバ

##### (4) 資料の館内利用

資料系	資料名	点数	利用方法
動物資料	海洋生物・海岸生物標本	78	館内展示利用
動物資料	刺胞動物ほかの標本	168	館内展示利用
動物資料	海綿動物標本	2	本館展示利用
動物資料	刺胞動物標本	12	本館展示利用
動物資料	頭足類標本	2	本館展示利用
動物資料	棘皮動物標本	2	本館展示利用

#### 5 保存環境の整備等

##### (1) 燻蒸、殺虫、殺菌

ア 収蔵庫燻蒸

(ア) 実施回数 1回

(イ) 実施期間 平成28年10月23日～28日

(ウ) 実施場所 収蔵庫

(エ) 使用薬剤 酸化プロピレン+アルゴン混合ガス(商品名:アルプ)60g/m<sup>3</sup>

## II 調査研究

### 1 重点研究

#### (1) 房総丘陵の自然-過去、現在、未来-

ア 研究代表者 古木達郎

[植物・菌類編]

(ア) 研究担当者

齋木健一、大野啓一、古木達郎、天野 誠、原田 浩、山本伸子、御巫由紀、友田暁子、原 正利、尾崎煙雄、吹春俊光

(イ) 研究内容

房総丘陵の森林には、関東周辺の山地と比べ、ヒメコマツやカツラなど温帯性の維管束植物が低標高地に分布する。北総にも分布する温帯性の種との対比や、その生育立地や生態の研究も行い、維管束植物の多様性を解明する。また、この森林には、多くの蘚苔類、地衣類、菌類が共生している。これらの生物群に関する研究も行い、房総丘陵の植物学的多様性を総合的に解明する。さらに、房総丘陵の植物学的多様性を県民に周知するためのツールを開発する。H27年度は補完調査を行う。

(ウ) 28年度実績

[維管束植物]

・維管束植物では大多喜町において1134種類を記録し、いすみ市において1204種類を記録し、千葉中央博自然誌研究報告特別号第10号「房総丘陵の自然誌」に「大多喜町の維管束植物」と「いすみ市の維管束植物」を掲載した。(天野・御巫・山本)

[蘚苔類]

・蘚苔類では、清澄山とその周辺域の元清澄山、三石山において千葉県新産25種を含む330種を認め、千葉中央博自然誌研究報告特別号第10号「房総丘陵の自然誌」に論文として公表した。(古木)

[地衣類]

・地衣類では、日本新産となる *Polymeridium proponens* キヨスミゴケを報告するとともに、東京大学千葉演習林から151種を認めた。このほか、新種とみられる2種を発見し、論文を執筆中である。(原田)

[大型菌類]

・大型菌類(きのこ)では、1987年から2016年まで千葉県立中央博物館に収集された標本等資料を基に目録(吹春他2017)を作成し、東京大学千葉演習林から70科175属303種類(298種3変種2品種)を認めた。この中には、新種シロオビテングタケ *Amanita concentrica* の他、3種の日本新産種 *Crepidotus ampullicystis*、*Inocybe appendiculata*、*Peziza limnaea* が含まれる。これらの成果は千葉中央博自然誌研究報告特別号第10号「房総丘陵の自然誌」に論文として公表した。(吹春)

[動物編]

(ア) 研究担当者

斉藤明子、宮野伸也、尾崎煙雄

(イ) 研究内容

清澄山系は、動物相から見ても、植物相同様、多様性の高い地域である。特に昆虫は、この地域でのみ記録されている種も多い。房総丘陵内の他の山系との比較も行い、清澄山系の昆虫相の特異性を明らかにする。

(ウ) 28年度実績

調査の結果約3万点の標本が得られ、これまでに同定された標本約2万4千点に基づき14目2,766種が記録された。この内、1種が新種とされ、少なくとも280種が千葉県からこれまで記録が無かった種と確認された。以上の成果を千葉中央博自然誌研究報告特別号第10号「房総丘陵の自然誌」に論文として公表した。

[地学編]

(ア) 研究担当者

高橋直樹、八木令子、伊左治鎮司、加藤久佳

(イ) 研究内容

房総丘陵に産する新生代の化石、火成岩がまとまって産出する嶺岡丘陵の岩石、房総丘陵を源流とする河川の調査によって、房総半島南部の地形・地質の特性を解明する。

(ウ) 28年度実績

・平成28年度は流域の地形に関わる補完調査を小糸川・小櫃川・養老川で行った(八木)。  
・嶺岡帯に接する房総丘陵南端部の地質構成を周辺地域と比較し、産出層準を明らかにした(高橋)。  
・三浦層群及び上総層群の脊椎・無脊椎動物化石の調査を行った(加藤・伊左治)。

以上の成果を千葉中央博自然誌研究報告特別号第10号「房総丘陵の自然誌」に論文として公表した(地学系 4タイトル)。

### 2 地域研究

#### (1) 地球誌系(房総の大地から探る地球の歴史 / 房総半島南部の大地の動きをさぐる / 房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性)

ア 房総半島の地層の堆積環境の復元

(ア) 研究代表者 岡崎浩子

(イ) 研究内容

房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明す

る上で大変重要である。この堆積環境の復元を堆積相解析を用いて地域ごとに行う。

(ウ) 28年度実績

下総台地東端の屏風ヶ浦を構成する地層の年代測定 (OSL年代) を行い、海成段丘の形成過程を明らかにした。

イ 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明

(ア) 研究代表者 高橋直樹

(イ) 研究内容

嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。

(ウ) 28年度実績

房総半島嶺岡帯内の鴨川市平塚地域において嶺岡帯内の断層帯の1つである「馬の背帯」周辺の地質調査を行い、これまで未発見だった蛇紋岩露頭を発見したほか、「馬の背帯」の西方延長部 (嶺岡層群白滝層相当層の露出) も確認した。

ウ 房総半島の地形景観とその成り立ちに関する研究

(ア) 研究代表者 八木令子

(イ) 研究分担者 吉村光敏 (中央博物館・館友)

(ウ) 研究内容

房総半島には高い山や火山はないが、激しい隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された丘陵や台地、平野、海岸、河川など多様な地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、それぞれの地形を景観として俯瞰できるような眺望地点の分布を明らかにする。27年度は引き続き銚子の屏風ヶ浦の調査を行う。

(エ) 28年度実績

千葉県代表的な地形景観である銚子屏風ヶ浦の成り立ちを明らかにする調査を継続して行い、名洗地区の台地端が、屏風ヶ浦の眺望地点として優れていることを確認した。また千葉市内を流れる都川流域の地形の調査を行い、最終氷期以降の地形の変遷や人との関わりについて、一般向け観察会を実施した。

エ 房総半島の脊椎動物化石の分布調査

(ア) 研究代表者 伊左治鎮司

(イ) 研究内容

房総半島に分布する上総層群と下総層群から産出する脊椎動物化石は多種多様であり、化石密集層から産出する例も知られている。脊椎動物化石を多く含む地層について、産出化石と堆積環境について調査する。

(ウ) 28年度実績

日本古生物学会第166回例会 (早稲田大学) において、君津市に分布する市宿層 (約70万年前) から発見されたミズナギドリ科鳥類化石のポスター発表を行った。

オ 房総半島の海岸域で得られる完新世の化石の研究

(ア) 研究代表者 加藤久佳

(イ) 研究内容

房総半島の海岸域で拾得される完新世の化石群の概容を明らかにし、多くの先行研究がある南房総や外房の完新統の化石群集と比較検討する。

(ウ) 28年度実績

海岸地域の化石の散布地点を絞り込むとともに、産出層準の推定をおこなった。研究の過程で、採集あるいは一般からの提供により、海岸域の脊椎動物化石・無脊椎動物化石資料が蓄積されつつある。成果の概容は地学資料集として出版し、一般向けの観察会等も行った。

カ 房総周辺の花粉・環境誌

(ア) 研究代表者 奥田昌明

(イ) 研究内容

房総とその周辺で環境、歴史、地質にかかわる花粉調査を実施する。調査試料としてはボーリングコア中の化石花粉または表層土壌中の現生花粉遺骸を使用する。また室内外の埃や蜂蜜中に含まれる花粉粒も調査する。

(ウ) 28年度実績

チバニアン選定に向けて、市原市田淵、千葉セクションから得られた花粉分析データに関して、国立極地研・茨城大などと共同して原著論文を取りまとめ、エルゼビア社発行の国際誌に投稿した。

キ 房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究

(ア) 研究代表者 大木淳一

(イ) 研究内容

タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

(ウ) 28年度実績

タゴガエルの産卵場所を大多喜町で1箇所発見、南房総地域において10箇所発見し、地質学的な記載を行った。

ク 房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究

(ア) 研究代表者 小田島高之

(イ) 研究分担者 島立理子

(ウ) 研究内容

房総丘陵における河川の発達と河道の変遷を解明し、河川環境と人との関わりについて考察する。

(エ) 28年度実績

小櫃川下流部における現地調査、文献調査や古写真解析をおこない、河道変遷に関する新たな知見を得た。

## (2) 生命誌系

ア 房総の分類学的多様性の特徴とその保全

- (ア) 房総のハチ類誌
- a 研究代表者 宮野伸也
  - b 研究内容 ハチ類について生息する種を調査することにより、房総のハチ類の戸籍簿を作成する。
  - c 28年度実績  
重点研究の中でハチ類の調査を行い、東京大学千葉演習林のハチとして、20科155種を記録した。また、これらは博物館の情報システムに登録した。
- (イ) 房総の魚類誌
- a 研究代表者 宮 正樹
  - b 研究分担者 市民研究員
  - c 研究内容  
房総に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする。また、環境DNAを用いた魚類多様性のモニタリングを行う。
  - d 28年度実績  
勝浦海中展望塔において採水を行い、環境DNAメタバーコーディングに基づく魚類相解析を行ったところ、80種余りの魚類が検出された。また、H29年度に予定されている全国一斉サンプリングに備え、千葉県内から10地点を選び予備的調査を行った。各地点から3本のステリベクスフィルターを用いて現場ろ過を行った。今後DNA抽出を行い、魚類環境DNAメタバーコーディング解析を行う。
- (ウ) 房総の貝類誌
- a 研究代表者 黒住耐二
  - b 研究内容  
房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。
  - c 28年度実績  
縄文貝塚として著名な加曽利貝塚の土壌から抽出された微小貝類の報告を行い、1)イボキサゴの破碎層は、これまでに黒住が報告してきたように、物送りのような精神的な行為である可能性の高いこと、2)縄文中期から後期にかけて、人間の側が森林の回復を図ったこと等を指摘した。柏市の中世遺跡では、淡水二枚貝を「兵糧」として干した可能性を、初めて指摘した。九十九里浜に面した縄文時代の養安寺遺跡の報告も行った。
- (エ) 房総の土壌動物誌
- a 研究代表者 萩野康則
  - b 研究内容  
房総に生息する多種多様の土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。
  - c 28年度実績  
昨年度発表した「千葉県産土壌動物リスト I. 有翅昆虫を除く動物群」の続編となる「千葉県産土壌動物リスト II. 有翅昆虫類」とりまとめのため、甲虫類を中心に文献収集を行った。
- (オ) 房総の甲殻類誌
- a 研究代表者 駒井智幸
  - b 研究内容  
房総半島とその周辺海域に出現する軟甲甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種（外来種を含む）の公表を随時進める。今年度は特にコシオリエビ科 Galatheidae の検討を進める。
  - c 28年度実績  
房総半島～伊豆・小笠原島弧海域から採集されたコシオリエビ属の標本の検討を進めた結果、11種を確認した。そのうち、7種は未記載種に可能性がある。さらに、房総半島に近接した三浦半島沖でドレッジを用いた調査を行い、十脚目甲殻類の資料を収集した。
- (カ) 房総の地衣類誌
- a 研究代表者 原田 浩
  - b 研究分担者 共同研究員・市民研究員
  - c 研究内容  
千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。
  - d 28年度実績  
前年度に地衣類相の調査を実施した10地点について、標本により確認した種のリストを作成した。新たに4地点について調査を実施し、収集標本について検討中である。新種並びに日本新産とみられる地衣類数種を認め、論文を投稿あるいは準備中である。
- (キ) 房総の蘚苔類誌
- a 研究代表者 古木達郎
  - b 研究分担者 市民研究員
  - c 研究内容  
千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とする。
  - d 28年度実績  
野田市のコケ植物相を調べ、千葉県新産種を数種確認し、2種については日本蘚苔類学会の学会誌に投稿して受理され、現在印刷中である。
- (ク) 房総の大型菌類相

- a 研究代表者 吹春俊光
  - b 研究内容  
千葉県内に生育する大型菌類（きのこ類）について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌（戸籍簿）を更新しつづける。
  - c 28年度実績  
1987年から2016年まで千葉県立中央博物館に収集された標本等資料を基に目録（吹春他 2017）を作成し、東京大学千葉演習林から70科175属303種類（298種3変種2品種）を認めた（重点研究参照）。
- (ケ) 千葉県の甲虫相に関する研究
- a 研究代表者 齊藤明子
  - b 研究内容  
本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。
  - c 28年度実績  
東金市、大網白里市、横芝光町、旭市で調査を行い、千葉県の甲虫相を明らかにするための基礎資料を収集した。また、引き続き千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫について文献調査を行い、補遺と追加として31科152種を報告した。
- (コ) 房総丘陵の両生爬虫類相
- a 研究代表者 大木淳一
  - b 研究分担者 栗田隆気、尾崎煙雄、小田島高之
  - c 研究内容  
千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1kmメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。
  - d 28年度実績  
タゴガエルの分布を大多喜町と安房丘陵で調査し、3メッシュ分の分布を抑えることが出来た。
- (サ) 房総丘陵の昆虫・クモ類相
- a 研究代表者 尾崎煙雄
  - b 研究分担者 大木淳一
  - c 研究内容  
「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明する。
  - d 28年度実績  
三島小教室博物館を拠点として、昆虫およびクモ類標本を約300点収集し、整理作業を行った。また、タイワントビナナフシ、ヒサゴクサキリ、ヒゲトグンバイについて論文を公表した。
- (シ) 房総丘陵の維管束植物相
- a 研究代表者 尾崎煙雄
  - b 研究内容  
千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。
  - c 28年度実績  
三島小教室博物館を拠点として、植物標本約50点を収集した。また、ヤドリギ類の分布調査を行い、千葉県内の分布図を作成した。
- (ス) 千葉県の鳥類相に関する研究
- a 研究代表者 桑原和之
  - b 研究内容  
千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は4-6年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。
  - c 28年度実績  
利根川下流域の鳥類相の現地調査を行った。調査の結果、過去に記録されていなかったトモエガモの越冬が確認された。
- (セ) 房総の維管束植物誌
- a 研究代表者 天野 誠
  - b 研究分担者 齋木健一、山本伸子
  - c 研究内容  
千葉県木更津市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。
  - d 28年度実績  
千葉県木更津市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集した。調査は10回行い、約1000点の標本を採集した。また、12メッシュ、約1200分類群の目視記録を取った。
- (ソ) 千葉県の大型海産藻類の分類・生態に関する研究
- a 研究代表者 宮田昌彦
  - b 研究内容  
千葉県の大規模な海産藻類の分類・生態に関する研究を目的とする。重点地域を継続して館山湾及び銚子地域とする。特に褐藻オオノアナメの生態について調査研究をおこなう。
  - c 28年度実績  
新属オオノアナメ属を含むアナメ科について系統分類学的な検討をし、タラシオフィルム属を復権させた。

- (タ) 房総の哺乳類誌
- a 研究代表者 下稲葉さやか
  - b 研究内容  
千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。
  - c 28年度実績  
センサーカメラ等を利用し生態園に生息する哺乳類の状況を調査した結果、アライグマなどの生息が新たに確認された。撮影した動画を平成28年度春の季節展に提供した。小型・中型哺乳類の収集と標本作成を行った。
- イ 房総の生態学的多様性の特徴とその保全
- (ア) 生態園の生態系変遷に関する野鳥調査
- a 研究代表者 大庭照代
  - b 研究分担者 生態園野鳥調査ボランティア
  - c 研究内容  
生態園野鳥調査は、野鳥の生息状況(種類・個体数・生息地点)を記録することにより、生態園の生態系の変遷と人為的影響、生物多様性をめぐる基礎資料を収集するもので、生態園の運営管理に必要な基礎的な調査である。平成元年(1989)年度に生態園総合研究の一環として開始し、野鳥観察舎における野鳥の解説指導を担った旧中央博物館友の会会員等の観察や園内一周調査結果を、鳥類生態を専門とする研究員が取りまとめた。地域研究課題に再分類された後も継続してきたが、年々調査頻度が減少している。平成28年度からは生態園野鳥調査ボランティアを発足させて週1回程度調査し、結果は毎回生態園内で公開されている。
  - d 28年度実績  
平成28年度(2016年4月-2017年3月)、生態園一周ルートを歩く早朝野鳥調査(7:30-8:30)を週1回(土・日)を全50日間実施した。期間中に52種が観察された。調査日の最大種数は、26年度の48種に比べ、27年度33種に続き32種と激減した。減少要因について要検討である。生態園解説指導委託中止により、野鳥観察舎から見える範囲で行う日中調査(8:45-16:15)は実施できなかった。
- (イ) 房総のヒメコマツの保全生態学的研究
- a 研究代表者 尾崎煙雄
  - b 研究内容  
近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。
  - c 28年度実績  
ヒメコマツの生育状況、繁殖状況のモニタリング調査、植栽試験、補強試験、樹幹注入試験のモニタリングも実施した。以上の結果をまとめ、ヒメコマツ保全協議会で報告した。
- (ウ) 生態園の生態系変遷に関する研究
- a 研究代表者 由良 浩
  - b 研究分担者 林 紀男、倉西良一、山本伸子
  - c 研究内容  
植物、水生昆虫、プランクトンなどの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。
  - d 28年度実績  
生態園において人体に飛来し吸血する衛生害虫ヒトスジシマカの生息状況を分布から解析した。また生態園において確認されたオオムラサキ・ヒメクロゴキブリについて『房総の昆虫』に報告した(倉西)。園内の気象状況や舟田池の水質のデータ、舟田池岸における映像と音声のデータが蓄積された。トンボ相の調査も引き続き行っている。園内で採取された植物の染色体についての調査も引き続き行っている。(由良・林・山本)
- (エ) 房総に自生する植物のフェノロジー
- a 研究代表者 大野啓一
  - b 研究内容  
房総に分布する在来植物種について、開葉・落葉・開花の時期や期間などの季節的な生長様式を、網羅的に調査する。既に草本種約200種、木本種約100種についてデータを得ており、今年度はこれらの一部について取りまとめ作業を行う。
  - c 28年度実績  
これまで得られたフェノロジーデータのうち、2006~2015年の約9年半、生態園で追跡調査したシュンラン(ラン科)について取りまとめた。本種の芽吹きは夏~秋で、毎年5-7枚の新葉を旧葉群の隣に展開した。個葉の寿命は平均2.7年(最長4.2年)であったが、第1葉は平均1.6年とやや短かった。
- (オ) ススキ、オギ、アシ、ヒメガマの比較生態
- a 研究代表者 由良 浩
  - b 研究内容  
ススキ、オギ、アシ、ヒメガマは、すべて房総ではごく普通の多年草であるが、それらの種の生育域は、湿性~乾性とはっきりと分かっている。4種とも種子は広く散布されているにもかかわらず、なぜそれほど生育域がはっきりと分かっているのかは未解明の点が多い。本研究では、湿生植物の乾性的な環境での生存・成長を栽培実験により明らかにする予定である。
  - c 28年度実績  
オギとススキの比較実験を引き続き行っていて、オギの挙動が少しずつ明らかになってきた。アシとススキの比較実験の結果は、29年度に何らかの形で公表する予定。
- (カ) 千葉県における原生生物等の生息状況
- a 研究代表者 林 紀男

- b 研究内容
  - 千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。
- c 28年度実績
  - 千葉県内を対象として調査を実施したが、特に房総丘陵地域の池沼は重点的に踏査し、原生物等の分布情報を集積した。
- (キ) 千葉県の水辺環境に暮らす昆虫類の分布特性
  - a 研究代表者 倉西良一
  - b 研究分担者 外部研究者、市民
  - c 研究内容
    - 千葉県内の河川や湖沼においてその水生昆虫相を始めとする昆虫相を明らかにし、その特徴となる昆虫の調査を行う。特に、房総半島に分布する絶滅危惧種『シャープゲンゴロウモドキ』などの昆虫について保全生物学的研究を行う。
  - d 28年度実績
    - 千葉県に生息する絶滅危惧水生昆虫シャープゲンゴロウモドキの遺伝子をギガシークエンサーで解析し、その配列を得た。この配列を解析しマイクロサテライト領域を解析した。千葉、石川、新潟の個体群との比較研究を行い遺伝的な特徴を明らかにした。
- (ク) 照葉樹林の植生地理
  - a 研究代表者 原 正利
  - b 研究内容
    - 千葉県の森林生態系の基盤をなす照葉樹林について、様々な空間スケールで植生地理学的研究を行う。1) 東アジアスケールでは、熱帯山地林と照葉樹林の比較研究を進める。2) 日本列島スケールでは、分布北限付近に位置する東日本各地の照葉樹林の特性を、西日本との比較も行いつつ明らかにする。3) 千葉県スケールでは、照葉樹林の大部分は社叢林として残されていることから、その分布や地域特性を、人との関わりも含めて明らかにしていく。
  - d 28年度実績
    - 東アジアスケールの研究として、ボルネオの熱帯山地に分布するブナ科植物の垂直分布や地理分布について、前年度までの収集データをもとに解析した。日本列島スケールでは、福岡県北部の照葉樹林帯・夏緑樹林帯境界域の植生について現地調査を行った。
- (3) 人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）
  - ア 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究
    - (ア) 研究代表者 島立理子
    - (イ) 研究内容
      - 房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。
    - (ウ) 28年度実績
      - 木更津市金田地区を中心に調査を行った。海苔の養殖に使われる海苔ヒビの竹をはじめとした漁業に欠かすことのできない道具の素材は丘陵部から購入している。人と自然のかかわりを考える際には、身近な自然だけでなく、広い視野でみていく必要があることがわかった。
  - イ 下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究
    - (ア) 研究代表者 白井 豊
    - (イ) 研究内容
      - 下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探索しその意義を明らかにする。
    - (ウ) 28年度実績
      - 近世の幕府と諸藩による森林政策の時代変遷に関する研究を踏まえ、下総台地の薪炭林育成を捉え直した。その結果を講座に反映させた。
  - ウ 千葉県における戦前の地方行政の実態に関する研究
    - (ア) 研究代表者 豊川公裕
    - (イ) 研究内容
      - 明治初年の錯綜した変革を経て、市制・町村制期の役場機構の実態と地方行政の在り方について調査・研究する。
    - (ウ) 28年度実績
      - 各自治体史や役場文書等の一次史料調査によりデータ集積を進め、その調査成果の一端は、館内の歴史講座や歴史サークルの活動に活用した。
  - エ 房総の縄文時代遺跡出土骨の研究
    - (ア) 研究代表者 田邊由美子
    - (イ) 研究内容
      - 千葉県内の遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料を用いて、縄文時代の動物利用のあり方や縄文人の生活の様子について調べる
    - (ウ) 28年度実績
      - 研究成果にもとづき、一般県民向けに講座を行った（館内の講座、外部講座）。
  - オ 利根川下流の漁撈用具に関する研究
    - (ア) 研究代表者 糠谷 隆
    - (イ) 研究内容
      - 大利根分館に所蔵されている千葉県指定有形民俗文化財「利根川下流域の漁撈用具」をはじめとした漁撈用具について、それら各々の使用法について調査する。



- (ウ) 28年度実績  
平成29年の企画展「ウナギとサケ」に向けて収蔵資料の漁撈用具の中からウナギとサケに関する資料について詳細調査を行い企画展に反映させた。
- カ 利根川下流域及び銚子半島周辺における文人・文豪の遊歴と紀行詩文  
(ア) 研究代表者 内田龍哉  
(イ) 研究内容  
江戸時代後期から明治・大正・昭和初期にかけて、江戸・東京の文人・文豪が利根川下流から銚子半島周辺を遊歴した。その紀行事蹟や作品を情報化し、併せて、常総地域における文化受容層の動向について分析する。
- (ウ) 28年度実績  
東部図書館歴史講座、さわやかちば県民プラザ柏の葉アカデミア講座などで東葛飾地域及び銚子半島部（屏風ヶ浦を中心とする）を遊歴した文人・文豪の遊歴事績や紀行詩文を紹介した。東葛飾地域では、村尾嘉陵「嘉陵紀行」成立の背景となる大御所時代の御三卿の役割について検討した。屏風ヶ浦（名勝・天然記念物指定）を中心とする銚子半島遊歴を巡っては、漢詩人大槻磐溪「銚港雜咏」の原文（静寧閣集）を紹介した。
- キ 房総の上総掘りの研究  
(ア) 研究代表者 地引尚幸  
(イ) 研究内容  
養老川中流域と夷隅川流域の上総掘りの調査を継続し、その差異や変容について研究する。
- (ウ) 28年度実績  
袖ヶ浦市郷土博物館及び上総掘り技術伝承研究会員とともに機械掘り用具の資料調査を行った。
- ク 中世から近世へ -民衆の観音信仰や札所巡礼について-  
(ア) 研究代表者 安川裕樹  
(イ) 研究内容  
重要文化財「観音堂」を有する笠森寺。古来より巡礼の霊場として知られている。その観音信仰やいわゆる坂東札所巡礼など当時の民衆のくらしや文化について研究する
- ケ 職能集団による民俗技術に関する研究  
(ア) 研究代表者 榎美香  
(イ) 研究内容  
県内の特定地域や特定集団の中で伝えられる習俗を周囲の環境との関わりの中で捉え、全国的な位置づけを試みる。
- (ウ) 28年度実績  
匝瑳市木積の箕について千葉大学大学院工学研究科の研究者と共に箕の使用法、形態、材質などについて調査を行った。またその成果等をもとに同大学公開市民講座で「つくり つかう かたちの科学―国指定重要無形民俗文化財「木積の藤箕を体感する―」と題して講演を行った。
- コ 房総半島における後期・終末期群集墳の形成と展開  
(ア) 研究代表者 萩原恭一  
(イ) 研究内容  
6世紀以降、房総半島各地で形成される後期・終末期群集墳について、地域ごとの特徴の比較検討を行うとともに、横穴墓群との関連性についても検討を行う。
- (ウ) 28年度実績  
千葉県及び茨城県出土の埴輪の蛍光X線分析成果を比較検討し、平成29年1月に立正大学熊谷校舎で行われた埴輪研究会研究大会において報告を行った。
- サ 房総における横穴墓の展開  
(ア) 研究代表者 豊田佳伸  
(イ) 研究内容  
房総半島において古墳時代後期に出現する横穴墓に関し、上総・下総・安房地方における形態の違いを中心に調査を進めるとともに、高塚古墳・横穴墓を造営した集団についても追究し、房総半島における古墳時代後期の様相を明らかにする。
- (ウ) 28年度実績  
平成28年度に刊行された、上総・下総・安房地方の横穴墓及び高塚古墳の発掘調査報告書を収集し、新たなデータとして加えた。横穴墓・高塚古墳造営集団の研究を引き続き継続中。
- シ 房総における生活変化と民間信仰の変化に関する研究  
(ア) 研究代表者 佐山淳史  
(イ) 研究内容  
近代化等によってもたらされた生活の変化に、房総における民間信仰がどのような影響を受けたかについて研究する。
- (ウ) 28年度実績  
木更津金田、君津亀山等で聞き取り調査を行い情報収集を行った。とくに、木更津市金田地区に住む方からは、5回聞き取り調査を行うことができ、高度経済成長期における生業の変化や、房総の出羽三山信仰に関連した「行人」の活動の変化などを聞くことができた。
- ス 香取神宮所蔵近代美術作品に関する研究  
(ア) 研究代表者 幅大  
(イ) 研究内容  
関東を代表する古社・香取神宮が所蔵する近代美術作品について、「奉納美術」の視点から再検討する。28年度は、旧拝殿天井画の制作過程と作者・岩田華谷の事績の調査を重点課題とする。
- セ 上総大多喜藩の職制と侍たちのくらし

- (ア) 研究代表者 高橋 寛
- (イ) 研究内容  
わずかに伝来する大多喜の藩政資料から18～19世紀の藩の職制や藩士の暮らしぶりを復元的に解明する。
- (ウ) 28年度実績  
大多喜城分館博物館セミナーにおいて藩政資料を用いた古文書講座を開催し、研究成果の一端を紹介した。
- ノ 画家や小説家がモチーフとした千葉県内の場所と描かれた作品について
  - (ア) 研究代表者 相川順子
  - (イ) 研究内容  
近代に市川、稲毛、我孫子、南房総ほか画家や工芸家、小説家達が芸術家村を形成したり、千葉の風景や風俗、気候その他の条件に惹かれて住みついたり、訪れた場所を調査して、地域の魅力や交友関係、当時の時代背景などと作品との関係を検証する。
  - (ウ) 28年度実績  
明治から昭和にかけて稲毛に実在した旅館「海気館」をめぐる稲毛の地形と気候、風土と歴史。そして当地に滞在あるいは居住して制作した画家ビゴーや小説家、林芙美子、島崎藤村、森鷗外等について調査、研究した。成果は、平成28年度に2度のミュージアムトーク「海とともに消えた稲毛、海気館」にて発表した。平成29年度には館主催歴史見学会「海気館周辺跡地を歩く」を予定している。
- (4) 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)
  - ア 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究
    - (ア) 研究代表者 斉藤明子
    - (イ) 研究分担者 友田暁子、黒住耐二
    - (ウ) 研究内容  
博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的にを行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
    - (エ) 28年度実績  
第1収蔵庫で実施したヴァイケーンによる燻蒸の際、タバコシバンムシの各世代を供試虫として用いて生死の確認を行い、全ステージで全て死滅したことを確認した。IPMの一貫として4回の生物生息調査を全館的に実施した。熱燻蒸に関し、貝類での検討を行い、アリソガイやタイラギ等では、急速な熱燻蒸により、殻に亀裂の入ることがわかった。これらには、ガス燻蒸を用いるべきであることが示された。
  - イ 中央博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究
    - (ア) 研究代表者 安川裕樹
    - (イ) 研究分担者 雑賀弘之、田中 努
    - (ウ) 研究内容  
先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。中央博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。
  - ウ 県内歴史資源の発掘と活用に係る研究
    - (ア) 研究代表者 立和名明美
    - (イ) 研究内容  
県内に眠る歴史資源を掘り起こすとともに、その活用方法について分析し、千葉県が標榜する「千葉の魅力発信」について県立博物館が果たすべき役割を研究する。活動にあたっては、地域や関係機関と幅広く連携し調査を進める。
    - (ウ) 28年度実績  
県内企業の企画広報の担当者の集まりで、歴史文化資源の活用について講演した。企業の広報誌や、雑誌等メディアに県内歴史文化資源を紹介執筆し、掲載内容について監修した。媒体に合わせ、博物館の文化資源の活用促進についてコーディネートした。
  - エ 「モノ・人・組織」を有機的に連鎖させた「Interactive Museum」の実践
    - (ア) 研究代表者 新 和宏
    - (イ) 研究内容  
自然誌系分野と人文系分野の専門性(調査研究・展示・教育普及事業等)を「モノ・人・組織」の中で有機的に連鎖させたInteractive Museumの調査研究を推進するとともに、その実践を具現化する。
    - (ウ) 28年度実績  
JMMA(日本ミュージアム・マネジメント学会)にて研究発表を行ったほか、全国科学博物館協議会(京都開催)にて研究紀要執筆及び研究発表を行った。
  - オ 校庭野草の教材化に関する研究
    - (ア) 研究代表者 斎木健一
    - (イ) 研究分担者 天野 誠
    - (ウ) 研究内容  
校庭野草のカード式図鑑「野草カード」とインターネット図鑑「野草雑草検索図鑑」を改良・活用し、生物の苦手な小中学校の先生でも簡単に野外観察ができるカリキュラムの開発を行う。
    - (エ) 28年度実績  
中学校2校で「野草カード」および「野草雑草検索図鑑」を用いた授業を行い、効果の測定を行った。得られた結果は日本生物教育学会大会で発表した。また、野草検索サイトで欠落していた画像データを加えサイトの充実を図った。

### 3 普遍研究

#### (1) 地球誌系 (地形地質学的多様性に関する基礎研究)

##### ア GPR (地中レーダー) を用いた河川州の研究

(ア) 研究代表者 岡崎浩子

(イ) 研究分担者 館外研究者

(ウ) 研究内容

GPR 地中レーダーを用いて河川堆積物の解析と房総半島に広く見られる河川成の地層の形成条件の検証をおこなう。これによって地球環境変動による中長期的な河川動態変化を明らかにする。

(エ) 28年度実績

矢作川の GPR 地中レーダー解析結果からは堆積物供給の多い時と少ない時に河岸段丘ができ、その堆積物も異なることが明らかになった。

##### イ 東北日本弧新第三紀火山活動の特質

(ア) 研究代表者 高橋直樹

(イ) 研究内容

東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。

(ウ) 28年度実績

山梨県大月市周辺において新第三紀中新世の火山噴出物から構成される丹沢山地北端部の地質調査及び資料採取を行い、岩石薄片の作製等を行って構成岩石の岩石学的特徴を確認した。

##### ウ 房総半島をとりまく自然災害—土地の履歴を読み解くプロセスの体系化—

(ア) 研究代表者 八木令子

(イ) 研究内容

房総半島をいくつかの地形区に分け、それぞれの地域について新旧の地形図や空中写真、土地条件図などを用いて土地の履歴や人為的变化を読み解き、自然災害との関連性を明らかにする。

(ウ) 28年度実績

自然災害による被害の分布は、現在見られる地形だけでなく、大地の下に隠れているかつての地形と関連する場合が多いことから、千葉県全域の埋没谷地形のデータや大規模地形改変前の地形図などを収集し、それらと近年の地震による液状化被害や水害との關係を調査した。またそれらをわかりやすく示すための地形模型を製作した。

##### エ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

(ア) 研究代表者 伊左治鎮司

(イ) 研究内容

古生代石炭系一の谷層、中生代白亜系手取層群および銚子層群から産出する微小貝類化石について、胎殻や稚貝の形態を記載し、多様性や幼生生態、古生物地理を議論する。

(ウ) 28年度実績

2016年日本古生物学会年会(福井県立大学)において、千葉県銚子産の白亜紀微小巻貝類化石のポスター発表を行った。

##### オ 東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷

(ア) 研究代表者 黒住耐二

(イ) 研究内容

現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。

(ウ) 28年度実績

世界最古の釣り針のを沖縄の旧石器時代遺跡からの出土を一流の科学雑誌であるPNAS論文の共著者として報告した。当館の紀要に、他の職員からの投稿がなかったため、“貸し切り”で2編の原著論文を掲載した。科学研究費では、中国の浙江省・韓国の木浦周辺・三浦半島等の現地調査を行い、これまでの継続である奄美・沖縄では招待講演を含め、いくつかの報文を作成した。

##### カ 地質時代温暖期におけるアジアの古植生復元

(ア) 研究代表者 齋木健一

(イ) 研究内容

中生代ジュラ紀—白亜紀の地球温暖期におけるアジアの古植生を化石記録から復元する。

(ウ) 28年度実績

中国、韓国、日本など、各国の文献による検討を行った。

##### キ 日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態

(ア) 研究代表者 加藤久佳

(イ) 研究内容

日本産十脚甲殻類の化石記録に関して、古生物地理学的な検討と、共産する化石から得られる情報など古生態学的なアプローチからの検討を行う。

(ウ) 28年度実績

北海道や東北地方の中生代の十脚甲殻類化石に関して分類学的検討を進めるとともに、県内の新第三紀及び第四紀の十脚類化石について、記載・報告を行った。また、完新世の十脚類化石として、県内の海岸域から得られる化石のほか、茨城県の同様な産状を示す化石の検討を行い、放射年代値などを得た。

##### ク 日本列島周辺の花粉・環境誌

(ア) 研究代表者 奥田昌明

(イ) 研究内容

日本列島とその周辺で環境、歴史、地質にかかわる花粉調査を実施する。調査試料としてはボーリングコア中の化石花粉および表層土壌中の現生花粉遺骸を扱う。また室内外の埃や蜂蜜中に含まれる花粉粒も調査する。

(ウ) 28年度実績

主に平日の閑散期を利用して、千葉大学西千葉キャンパスの図書館へ数日ほど出向き、第四紀学に関する文献調査をおこなった。

ケ 光る泥だんご作りから大地の歴史を学ぶプログラムの開発と実践

(ア) 研究代表者 大木淳一

(イ) 研究内容

光る泥だんご作りから私たちが生活する大地の歴史を学ぶプログラムを開発し、博物館の観察会や幼稚園保育園等で実践し、その有効性を検証する。

(ウ) 28年度実績

君津市清和県民の森にて観察会「泥だんごで学ぶ地質学」を実施し、磨き方、乾燥した粉のふりかけ方によって、光り方が異なる可能性を見出した。

コ 地形や地質の生物分布に与える影響について

(ア) 研究代表者 小田島高之

(イ) 研究内容

地形・地質が生物分布に与える影響について地理情報システムを用いて解析する。の有効性を検証する。

(ウ) 28年度実績

G I Sデータベースに詳細な地質データを追加すると共に小櫃川および小糸川流域の黒滝層分布域において、植生調査を行った。

(2) 生命誌系

ア 分類学的多様性に関する基礎的研究

(ア) 魚類の分子系統進化と多様性モニタリング

a 研究代表者 宮 正樹

b 研究分担者 共同研究員

c 研究内容

ミトコンドリアゲノム全長配列に基づき、魚類の系統進化史を解明すると共に、環境 DNA をメタバーコーディングすることにより、魚類の多様性モニタリングを行う。

d 28年度実績

魚類のミトコンドリアゲノムの構造変異に関する解析結果を論文にまとめて出版した (Sato et al. 2016)。南太平洋から得られた2種のヒカリデメニギス属の新種を発見・記載した (Poulsen et al. 2016)。これまでスズキ目ゲンゲ亜目かアシロ目の一員かどうか不明瞭であったニセイタチウオ科が、後者のフサイタチウオ科の一員であることを明らかにした (Campbell et al. 2016)。

(イ) 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究

a 研究代表者 萩野康則

b 研究内容

日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約30種であるが、潜在的には100種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。

c 28年度実績

まだ正式な報告のなかった都道府県（鳥取県、長崎県など）を中心にエダヒゲムシ類約200個体をプレパラート化し、検鏡・同定した。

(ウ) 十脚甲殻類の分類

a 研究代表者 駒井智幸

b 研究内容

全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。

c 28年度実績

国内外の研究者と連携し、主に深海性のコエビ類、異尾類について検討を行った。さらに、科研費による研究助成を受け、国内の沿岸内性種の検討を進めた。合わせて11編の原著論文を国際誌に投稿した。

(エ) 地衣類の多様性に関する研究

a 研究代表者 原田 浩

b 研究分担者 共同研究員、市民研究員

c 研究内容

主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究をおこなう。29年度は、①日本地衣類誌の編纂、②海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、③東アジア産（主に中国雲南省）地衣類の分類学的研究、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

d 28年度実績

①「日本地衣類誌」としては、ムカデゴケ科の4属についてまとめた。②海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明のため、共同研究員を実施した。③東アジア産（主に中国雲南省）地衣類については、揚子江上流の乾燥地域から、アナイボゴケ科ツブゴケ属とミドリゴケ属、またシズミゴケ属について報告した。

- (オ) アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究
- a 研究代表者 古木達郎
- b 研究内容  
千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。
- c 28年度実績  
ボルネオ産のコケ植物タイ類について分類学的研究を進め、*Diplophyllum kinabaluensis* を新種として記載発表した(Furuki & Suleiman 2017)。また、日本産の *Riccardia palmata* の分類学的研究を行い、2種を混同していることを日本蘚苔類学会で発表した。
- (カ) 特殊環境に生える大型菌類
- a 研究代表者 吹春俊光
- b 研究内容  
アジアとその周辺地域の、特殊環境に生える菌類(糞生菌類など)に関する多様性を調査し、日本列島の菌類相の成り立ちと由来をさぐる。
- c 28年度実績  
ベトナム産アジアゾウ糞より担子菌類ハラタケ目に属するヒトヨタケ類の新種と思われるものを複数種採種・分離し、現在記載中である。
- (キ) アジア高山帯における植物分類学的研究
- a 研究代表者 天野 誠
- b 研究内容  
アジアの高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、ヒマラヤ山脈を中心とする地域の植物相の調査は欠かせない。本研究は、アジアの高山帯で多様に分化した分類群(特にゴマノハグサ科)を生物地理学的、細胞分類学的観点も含めて、研究するものである。
- c 28年度実績  
ヒマラヤ高山帯で多様に分化した分類群(特にゴマノハグサ科)の細胞分類学的研究のまとめの準備をした。以前の調査で採集した標本(主にアカネ科とセリ科)の同定を行った。
- (ク) カミキリムシ科甲虫の分類
- a 研究代表者 斉藤明子
- b 研究内容  
アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。
- c 28年度実績  
引き続き、アジア産ルリカミキリ族および *Tmesisternini* の標本の収集を行い、標本、文献調査を行った。
- (ケ) 香気成分によるバラ属植物の化学分類
- a 研究代表者 御巫由紀
- b 研究内容  
バラ属植物の花から得られる香気成分を分析し、種間、品種間の類縁関係との関わりを検討する。日本に自生する野生種 16 種類を対象として、自生地での香気捕集および植物園等で栽培されている株の香気捕集をし、微量成分まで同定を行う。
- c 28年度実績  
バラ属野生種のうちカラフトイバラの開花期及び地域変異について、標本、文献及び現地調査を行った。
- (コ) カワノリ目の系統分類学的研・生態学的研究
- a 研究代表者 宮田昌彦
- b 研究内容  
カワノリ目(トレボウクシア藻綱)の分子系統学的な研究をおこなう。特に、日本列島に分布するカワノリ属 *Prasiola* の海産種と淡水産種について分類と生態を明らかにする。
- c 28年度実績  
日本産カワノリ属について、淡水産個体群の系統分類学的な再検討を行い、海産の日本新産種についての記載を行った。
- (サ) 華区系植物の細胞分類学的研究
- a 研究代表者 山本伸子
- b 研究内容  
日本は、中国やヒマラヤの高山地域を含む「日華区系」に区分され、千葉県をはじめとする日本の多くの植物の起源は、日華区系に含まれる中国・ヒマラヤ地域にあるといわれている。日本の植物相の起源と成立を解明するために、細胞分類学的観点から中国・ヒマラヤ地域を中心としたアジア産高等植物の解析をおこなう。
- c 28年度実績  
千葉県を中心にサンプルの採取および証拠標本を作製した。また中国、ヒマラヤの標本整理をおこなった。染色体については、キンボウゲ科、バラ科、キク科植物などについて観察した。現在、研究成果を報告する準備を進めている。
- (シ) トカゲモドキの分類学的研究
- a 研究代表者 栗田隆気
- b 研究内容

東アジア地域において高度な遺存固有化および新固有化を遂げてきたヤモリの仲間であるトカゲモドキの分類学的研究を、本地域の動物相の形成過程の解明と絶滅危惧種の保全に寄与する。

- c 28年度実績
  - 沖縄県でトカゲモドキ類の生息状況を調査した。
- (ス) 日本産淡水魚類の生物系統地理学的研究
  - a 研究代表者 後藤 亮
  - b 研究内容
    - これまでに日本産淡水魚類を対象とした生物系統地理学的研究は数多くなされてきたが、いまだ詳細が明らかになっていない分類群も多い。本研究では日本産淡水魚類の生物系統地理学的な解析を行うことにより、進化的に重要な単位(ESU)を明らかにし、保全活動へ基礎的な情報を提供する。
  - c 28年度実績
    - これまでに収集した淡水魚類の遺伝子データを整理・再解析し、論文投稿に向けた準備を行った。
- イ 生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究
  - (ア) 性ハチ類の生態・行動・進化に関する研究
    - a 研究代表者 宮野伸也
    - b 研究内容
      - 社会性ハチ類、特にアシナガバチ類の生態や行動の特徴を明らかにし、社会性進化のなぞの解明を目指す。
    - c 28年度実績
      - フタモンアシナガバチおよびセグロアシナガバチを材料に、幼虫の人工飼育をおこなった。今年度は、自然状態の餌に最も近いと思われるミツバチの蛹を餌として飼育を行ったが、良好な結果は得られていない。
  - (イ) の音の録音(生物音響資料)の環境モニタリングや環境学習への活用
    - a 研究代表者 大庭照代
    - b 研究内容
      - 自然の音の録音(生物音響資料)を環境モニタリングや環境学習へ活用するための事例研究を行う。「自然の音と音環境コレクション」データベースを用い、平成元年から長期的に録音された生態園音環境録音情報を整備する。平成25年10月に開設された生態園舟田池ライブモニタリング(環境教材のための森林情報基盤・サイバーフォレスト24時間配信クリエイティブコモンズ)と連携活用のための研究を行う。
    - c 28年度実績
      - 東京大学大学院新領域創成科齋藤馨研究室と連携し、舟田池に設置したマイクによる音環境録音から得られる野鳥情報等について、ツイートによるデータベースの蓄積を継続した。
  - (ウ) 照葉樹林の生態学的研究
    - a 研究代表者 尾崎煙雄
    - b 研究内容
      - 照葉樹林を構成する植物について生態学的、生物地理学的視点から研究を行い、その成り立ちを解明する。
    - c 28年度実績
      - 房総丘陵および南西諸島において、天然林内の大径木が生物多様性に及ぼす影響に関する調査を行った。
  - (エ) 移初期における風の影響
    - a 研究代表者 由良 浩
    - b 研究内容
      - 火山荒原や大規模造成地のような母岩が露出しているような大規模な土地から始まる1次遷移は、すぐに草地になる2次遷移と比較して風の影響を受けやすいことが考えられる。1次遷移の初期において、風が遷移の進行等にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする。
    - c 28年度実績
      - 富士山の太郎坊にて、イタドリパッチの大きさと、マウンドの高さのデータを多数得ることができた。引き続き、調査を続ける予定。
  - (オ) 水辺植生の再生による水環境保全技術の開発
    - a 研究代表者 林 紀男
    - b 研究内容
      - 埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みに関し、散布体からの株入手方法、増殖株の現場植え戻し工法、移植株の食害防止策など、植生再生に向けた基礎的知見を集積する。
    - c 28年度実績
      - かいぼりによる埋土種子の休眠打破に関する現場調査を東京都、環境省、茨城県、長崎県などの協力のもと実施し、基礎的知見を集積した。
  - (カ) 昆虫の遺伝子情報から分類と保全生態学を考える
    - a 研究代表者 倉西良一
    - b 研究分担者 外部研究者
    - c 研究内容
      - 昆虫の遺伝子情報から従来の分類システムや保全生態学を再考する。
    - d 28年度実績
      - 東アジア産のムラサキトビケラをはじめとするトビケラ科昆虫の分類体系を形態と遺伝子から検討した。卵胎生のミサキツノトビケラについて分類と生態、生息環境に関する論文が公表された。

- (キ) シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究
- a 研究代表者 桑原和之
- b 研究内容  
チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。
- c 28年度実績  
利根川や九十九里周辺の湿地で現地調査を行った結果、シギ・チドリ類の個体数が減少していたことが、明らかになった。ただし、キアシシギの渡りの中継地やダイゼンの新たな越冬地を確認した。
- (ク) ブナ林の動態と生物地理
- a 研究代表者 原 正利
- b 研究内容  
東日本に本来は広く分布し、この地域の自然生態系の基盤をなしていたブナ林について、特に、①生・維持動態、および②生物地理（生態地理および系統地理）について研究を進める。①については、これまでに行ってきた研究を継続し、ブナ林の再生・維持動態を長期モニタリングデータに基づいて明らかにする。②については、東日本各地の残存林の分布や植生学的特徴、DNA解析によるブナの系統地理学について研究を進める。
- c 28年度実績  
福岡県北部の背振山、古処山、英彦山に残存するブナ林について現地調査を行った。
- (ケ) 芽ばえに関する記載的研究
- a 研究代表者 大野啓一
- b 研究内容  
木本・草本の芽ばえ（当年生実生）を、生態写真、スキャナー画像、標本、形態記載により、網羅的に記録し資料化する。採種、播種、育苗などについては市民と連携しておこなう。これらの資料をもとに、自然観察や自然の再生、管理に役立つ図鑑の編纂をめざす。
- c 28年度実績  
種子から育苗したり野外で採取した42種（木本15種、草本27種）の芽ばえについて、形態記載をおこない、標本を作成した。うち23種は27年度にはじめて標本が得られた種類である。また、これらを含む約1450点の芽ばえの標本を専用ホルダーに整理の上、種子採取・播種・標本採取データ等を仮登録した。
- (コ) 干潟に生息するカニ類の生態学的研究
- a 研究代表者 高山順子
- b 研究内容  
干潟に生息するカニ類について、個体群特性や社会行動を明らかにし、その多様性や進化に関する研究を行う。
- c 28年度実績  
県内に生息する汽水性カニ類の生息および環境の調査を行った。
- (3) 人類誌系（景観史という新領域の創出）
- ア 近現代における裁縫教育についての研究
- (ア) 研究代表者 島立理子
- (イ) 研究内容  
近現代において、衣類を調整する技術がどのような場で、どのように伝承あるいは教授されてきたかを明らかにし、近代以降の裁縫教育の持つ意味を明らかにする。
- (ウ) 28年度実績  
野田市において調査をおこなった。嫁入りの条件としての裁縫教育が和裁と洋裁に編み物を加えたものに変化していく過程が高度経済成長期と一致していることがわかった。
- イ 関東平野における明治10年代の土地利用に関する研究
- (ア) 研究代表者 白井 豊
- (イ) 研究内容  
迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約2kmメッシュのオーダーで把握する。明治10年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。
- (ウ) 28年度実績  
迅速測図による土地利用把握は、栃木県北東部について地図の着色作業を継続した。迅速測図の視図（風景スケッチ）から景観を探る試みについては千葉県印旛郡域で継続し、現在地の特定と視図内容の検討を進めた。
- ウ 町村の「大合併」における住民の共同体意識の変化について
- (ア) 研究代表者 豊川公裕
- (イ) 研究内容  
昭和20年代後半から30年代前半にかけて行われた「昭和の大合併」で、人々の共同体意識がどのように変化したのかを考察する。
- (ウ) 28年度実績  
役場文書や当時の新聞等の資料調査を進めた。
- エ 遺跡出土動物遺存体の研究
- (ア) 研究代表者 田邊由美子

- (イ) 研究内容  
遺跡から出土する動物遺存体を用いて、当時の人々の生活について研究する。
- (ウ) 28年度実績  
県内外の出土動物遺存体について、基礎データを集積した。
- オ 古代施釉陶器の生産と流通についての研究
- (ア) 研究代表者 立和名明美
- (イ) 研究内容  
古代において、幾つかの特定の地域のみで生産された施釉陶器。その生産と流通等を通し、当時の社会様相の一端を明らかにする。
- (ウ) 28年度実績  
近隣県の出土状況について実見調査を実施するとともに、近年の動向、基本的情報について情報収集、整理を行った。
- カ 絵画資料による房総の農山漁村の民俗技術及び各種習俗の分析
- (ア) 研究代表者 榎 美香
- (イ) 研究内容  
近世・近代の四季耕作図や農具絵図などの絵画資料を集積し、史料批判を行ったうえで、描かれた内容から当時の民俗技術や生活サイクル、生活環境などを読み解く。また、それらが描かれた背景を推測していく。
- (ウ) 28年度実績  
東京都武蔵村山市の個人が収蔵している農具および耕作図を実見し、絵画資料と実物資料の比較を行った。
- (4) 博物館誌系(博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究)
- ア 持続可能な社会のための教育と博物館
- (ア) 研究代表者 林 浩二
- (イ) 研究内容  
国際的にまた国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。
- (ウ) 28年度実績  
ユネスコによる「ミュージアムとコレクションの保存活用等に関する勧告」(2015年)と世界科学館サミットによる「メヘレン宣言」を検討し、館種を問わず博物館には、持続可能性のための教育が期待されていることを日本環境教育学会大会の口頭発表や、日本ミュージアム・マネジメント学会関東支部会のワークショップ、科研費報告書などで主張・提案した。
- イ 明治期から戦前にかけて収集された標本の保管状況
- (ア) 研究代表者 下稲葉さやか
- (イ) 研究内容  
日本では、明治期に近代的動物学が欧米より取り入れられて以降、多くの標本が制作・蓄積されてきた。しかし、戦前に収集された重要な標本が現在では行方不明になっている場合も見受けられる。これらの標本の現在の保管状況を調査し、標本の収集・移管・損失の経緯を明らかにする。
- (ウ) 28年度実績  
主に国立科学博物館に収蔵されている、明治期～戦前に刊行された電子化されていない生物学系雑誌を対象に、哺乳類の標本や分類体系に関する論文を調査した。
- ウ 博物館資料のデジタル保存と活用方法の構築
- (ア) 研究代表者 加藤修司
- (イ) 研究内容  
博物館資料の内、特に経年劣化が進む文書、絵図、考古資料等について、どのようなデジタル技術を導入して保存・活用を図るか検討する。
- (ウ) 28年度実績 袖ヶ浦市郷土博物館及び上総掘り技術伝承研究会員とともに機械掘り用具の資料調査を行った。
- エ 博物館における口述資料の活用に関する研究
- (ア) 研究代表者 佐山淳史
- (イ) 研究内容  
身近な生活変化や、戦争・災害の体験等を、地域の特色を踏まえながら効果的に展示するために、それを知る体験者の実感を持った語りを博物館で活用する方法を研究する。
- (ウ) 28年度実績  
学習指導要領に対応した教育普及プログラム「昔のくらしと道具展」の一環として、ボランティアの協力を得て、生活変化を実際に体験した当人から体験談を聞くプログラムを作成した。今年度は、見学に訪れた学校団体に試験的に実施し、プログラムの効果や改善点を確認することができたため、29年度以降の実施に向けて成果を活用していく。
- オ 団体向けプログラムの活用方法と内容の充実
- (ア) 研究代表者 相川順子
- (イ) 研究内容  
中央博調査隊、森の調査隊などのワークシートを、実物資料、二次資料などを用いながら深く楽しみ、学べる活用方法を考えるとともに、時代の移り変わりやもっと上の年齢層のニーズにも応える内容についても考える。
- (ウ) 28年度実績  
よく観察すると、展示中の鳥の巣もそれぞれ制作方法や形が異なり、世界的に見ればもっと不思議な形や機能があ



る。それぞれの動植物の合理的な仕組みを五感で感じられるような資料収集、制作をすすめたいが、28年度は十分な調査研究はできなかった。中央博調査隊では、集めた資料を生かすことができた。

#### 4 地域研究（分館海の博物館） 房総半島の海洋生物相とその特徴

##### (1) 房総半島沿岸の魚類相と繁殖

- ア 研究代表者 川瀬裕司
- イ 研究分担者 乃一哲久
- ウ 研究内容

房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

##### エ 28年度実績

地元漁業者から提供された魚類標本や、これまでに採集して冷凍保管されていた魚類標本の整理・登録を行った。

##### (2) 房総半島の海産無脊椎動物相

- ア 研究代表者 立川浩之
- イ 研究分担者 奥野淳兒、柳 研介、村田明久
- ウ 研究内容

房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

##### エ 28年度実績

房総半島各地で資料を収集したほか、岡山県瀬戸内市・玉野市で比較検討用の資料を収集し、整理・登録を進めるとともに画像撮影を行った。

##### (3) 房総半島沿岸の海藻相

- ア 研究代表者 菊地則雄
- イ 研究内容

房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

##### ウ 28年度実績

勝浦市を中心に、適宜採集を行い、200点の資料を登録した。登録標本のうち紅藻ツカサノリ科を再検討し、勝浦産のキヌハダと同定していた海藻をヒメツカサノリと再同定した。ヒメツカサノリは、原記載以降、76年ぶりの確認となる。

#### 5 専門研究（分館海の博物館）

##### (1) 房総半島における自然災害史の研究

- ア 研究代表者 本吉正宏
- イ 研究内容

自然災害のうち地震津波と火山噴火に焦点を当てて、県内を取りあげた古文書等史料を調査し、地震津波の規模ならびに噴火の様子や被害状況などを明らかにする。

##### ウ 28年度実績

御宿町で現地調査を実施した。文書資料の実見及び遺跡の確認を行い、新たな知見を得ることが出来た。

##### (2) 魚類の繁殖行動とその進化

- ア 研究代表者 川瀬裕司
- イ 研究内容

沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

##### ウ 28年度実績

鹿児島県奄美大島で潜水観察を行い、アマミホシヅラフグの産卵床形成過程や繁殖周期毎の位置について明らかにした。

##### (3) 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究

- ア 研究代表者 立川浩之
- イ 研究内容

日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ500種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。

##### ウ 28年度実績

鹿児島県奄美大島等で野外調査を行い、イシサンゴ類の標本および画像を収集した。また、日本をタイプ産地とするイシサンゴ類の情報をとりまとめ、日本古生物学会からデータベースとして出版した。

##### (4) 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

- ア 研究代表者 奥野淳兒
- イ 研究内容

テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

##### ウ 28年度実績

錫南町勝山地先の八放サンゴから採集したカクレエビ類の1種を精査したところ、新たな属を創設すべきであると判断した。本研究に関する論文をブラジル甲殻類学会誌に投稿し、受理された。

##### (5) 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

- ア 研究代表者 菊地則雄
- イ 研究内容

日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。

ウ 28年度実績

東京湾多摩川河口において絶滅危惧種アサクサノリの季節消長を調査し、今冬は3月に生育量が多く、体も大きいことを明らかにした。また、多摩川河口産アサクサノリの培養研究から糸状体の成長、成熟条件を明らかにした。

(6) ギンチャク類の分類・生態学的研究

ア 研究代表者 柳 研介

イ 研究内容

イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。タイプ標本の検討のため、海外での調査を行う。

ウ 28年度実績

海外に保管されている日本産イソギンチャク類のタイプ標本情報の整理を行った。また、タイプ産地での採集を継続し、原記載以降記録のなかった種の再発見につながる手がかりを得た。

(7) 磯の生態学的研究

ア 研究代表者 村田明久

イ 研究内容

磯の生物について長期的なモニタリングをするとともに、生態学的研究を行う。

ウ 28年度実績

小湊において、環境省モニタリングサイト1000磯調査を行い、成果を公表した。

(8) 地域文化財の保存と利活用システムの構築

ア 研究代表者 新 和宏

イ 研究内容

博物館収蔵資料はもとより、地域の自然・歴史・文化資産を次世代にいかにより守り伝え保存継承していくかに関する手法の構築、また、その資産を活用した学習プログラム等を構築する。

ウ 28年度実績

全国的な博物館組織（全科協、歴民協）に出席し、研究発表を行うと共に、各博物館、各県、大学系ネットワーク間における資料ネットグループの関係者と情報共有を行った。

(8) 総合資料学の創成と日本歴史文化に関する研究資源の共同利用基盤構築

ア 研究代表者 新 和宏

イ 研究内容

国立歴史民俗博物館長を研究代表として全国の博物館研究員で組織している研究プロジェクトである。「博物館資料の情報基盤構築」、「情報基盤をもととした博物館資料を用いた研究」、「研究成果とデータベースを活用した展示・教育・普及」の各テーマで調査研究を行う。

ウ 28年度実績

年間5回の共同研究会に出席し、各種発表、情報共有を行った。詳細は、共同研究会3回、全国歴史民俗系博物館協議会出席、国際シンポジウム“Digital Scholarship in History and the Humanities”出席、「資料がつなぐ大学と博物館」（東工大）出席。

## 6 研究員の執筆・研究発表

### (1) 学術論文・学術書

斎木健一

斎木健一. 2016. アカバナ科の新帰化植物、ナガバノミズキンバイ（新称）が千葉県館山市に帰化。植物研究雑誌。91(5):314-316.

山下修一・斎木健一・木村美咲. 2016. 理科教員を目指す大学生の野草観察に対する自信。科学教育研究。40(3):302-308.

伊左治鎮司

柏木健司・伊左治鎮司・佐野晋一. 2016. 石川県白山市瀬戸野地域における手取層群の三番目の海進相の認定—石徹白亜層群上部における放射虫化石の初産出—。福井県立恐竜博物館紀要。(15):7-26.

伊左治鎮司・加藤久佳. 2017. 千葉県鴨川市の東京大学千葉演習林内で発見された化学合成貝化石群。千葉中央博自然誌研究報告特別号。(10):45-50.

後藤 亮

小城伸晃・中村夢奈・後藤 亮・玉手英利. 2017. 山形県酒田市飛島で捕獲されたニホンジネズミ (*Crocidura dsinezumi*) の採集と遺伝的特徴。哺乳類科学。57(1): 53-60.

Arai Y, Gotoh, R O, Yokoyama J, Sato C, Okuizumi K and Hanzawa N. 2017. Phylogenetic relationships and morphological variations of upside-down jellyfishes, *Cassiopea* spp. Inhabiting Palau Islands. Biogeography. (19): 133-141.

高橋直樹

高橋直樹・高野 仁. 2017. 房総半島南部加茂川平野北縁の三浦層群の地質構造。千葉中央博自然誌研究報告特別号。(10):1-19.

八木令子

八木令子・吉村光敏・小田島高之. 2017. 房総丘陵を水源とする河川流域の地域特性と地形誌。千葉中央博自然誌研究報告特別号。(10):21-44 (pls 1-2).

加藤久佳

Kato, H., Kurihara, Y. and Tokita, T.. 2016. New fossil record of the genus *Bathynomus* (Crustacea: Isopoda: Cirolanidae) from the middle and upper Miocene of central Japan, with description of a new supergiant species.

Paleontological Research. 20(2):145-156.

加藤久佳・伊左治鎮司・小泉明裕・富田 進. 2017. 房総半島の三浦層群および上総層群からの十脚甲殻類化石の追加資料. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. (10):51-60.

伊左治鎮司・加藤久佳. 2017. 千葉県鴨川市の東京大学千葉演習林内で発見された化学合成貝化石群. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. (10):45-50.

駒井智幸

Komai T. 2016. Reappraisal of the two axiid genera *Manaxius* Kensley, 2003 and *Calaxidium* Sakai, 2014, and description of a new species of *Calaxius* Sakai & de Saint Laurent, 1989 from French Polynesia, Southwest Pacific (Crustacea: Decapoda: Axiidea). *Zootaxa*. 4098:498-510.

Komai T., De Grave S. and Saito T. 2016. Two new species of the stenopodidean shrimp genus *Spongiocaris* Bruce & Baba, 1972 (Crustacea: Decapoda: Spongicolidae) from the Indo-West Pacific. *Zootaxa*. 4111:421-447.

Komai T. and Higashiji T. 2016. New records of the squat lobster genus *Munida* Leach, 1820 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Munididae) from deep-water off Okinawa Islands, Ryukyu Islands, Japan, with description of a new species. *Zootaxa*. 4109:542-554.

Komai T., Marin I and Kakui K. 2017. Rediscovery and redescription of abyssal squat lobster *Munidopsis petalorhyncha* Baba, 2005 (Crustacea: Decapoda: Munidopsidae) from the Northwest Pacific. *Zootaxa*. 4226:93-102.

Komai T. and Matsuzaki K. 2016. Two deep-sea decapod crustaceans collected off eastern Hokkaido, Japan: *Sclerocrangon rex* n. sp. (Caridea: Crangonidae) and *Munidopsis verrilli* Benedict, 1902 (Anomura: Munidopsidae). *Zootaxa*. 4162:92-106.

Komai T., Matsuzaki K. and Hibino M. 2016. Rediscovery and redescription of a deep-sea shrimp *Lebbeus longidactylus* (Kobjakova, 1936) (Crustacea: Decapoda: Caridea: Thoridae) based on material from the Nemuro Strait, southwestern Sea of Okhotsk. *Zootaxa*. 4175:390-400.

Komai T., Menot L. and Segonzac M. 2016. New records of caridean shrimp (Crustacea: Decapoda) from hydrothermally influenced fields off Futuna Island, Southwest Pacific, with description of a new species assigned to the genus *Alvinocaridinides* Komai & Chan, 2010 (Alvinocarididae). *Zootaxa*. 4098:298-310.

Anker A., Marin I. N., Pachellet P. P. G. and Komai T. 2016. Redescription of *Alpheus vladivostokiensis* (Vinogradov, 1950), a large and conspicuous snapping shrimp from temperate waters of northeastern Asia (Decapoda: Caridea: Alpheidae). *Zootaxa*. 4127:171-184.

Chan T. Y. and Komai T. 2017. A new shrimp species of the genus *Lebbeus* White, 1847 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Thoridae) from a deep-sea cold seep site off southwestern Taiwan. *Zootaxa*. 4238:426-432.

Han Y. Y., Komai T. and Sha Z. L. 2016. A new species of the hermit crab genus *Alainopaguroides* McLaughlin, 1997 (Decapoda: Anomura: Paguridae) from the South China Sea. *Zootaxa*. 4173:569-576.

Lin F. J., Komai T. and Chan T. Y. 2016. A new mud lobster of the genus *Thalassina* (Crustacea: Decapoda: Gebiidea: Thalassinidae) from the seaweed beds in Dongsha (Pratas) Island, South China Sea. *Raffles Bulletin of Zoology*. 64:98-104.

古木達郎

Furuki, T. and Suleiman, N. 2016. *Diplophyllum kinabaluense* (Scapaniaceae, Marchantiophyta), sp. Nov. from Mt. Kinabalu, Malaysian Borneo. *J. Jpn. Bot.* 91 Suppl.:340-344.

古木達郎. 2017. 千葉県清澄山のコケ植物相. 千葉中央博自然誌研究特別号. (10):349-368, xix-xx.

原田 浩

Harada H. 2016. *Gyalidea izuensis* sp. nov. (lichenized Ascomycota, Solorinellaceae), a semi-aquatic freshwater species from Shizuoka-ken, central Japan. *Lichenology*. 15:85-90.

Harada H. and Sakata A. 2016. *Gyalidea oosumiensis* sp. nov. (lichenized Ascomycota, Solorinellaceae) from Kagoshima-ken, Kyushu, southwestern Japan. *Lichenology*. 15:1-5.

Harada H., Wang L. -S. and Wang X. -Y. 2016. Lichen Flora in the Arid Valley of Jingsha-jiang R., China (1), *Agonimia opuntiiella* (Verrucariaceae). *Lichenology*. 15:11-15.

Harada H., Wang L. -S. and Wang X. -Y. 2016. Lichen Flora in the Arid Valley of Jingsha-jiang R., China (2), genus *Endocarpon* Hedw. (Verrucariaceae). *Lichenology*. 15:17-25.

Harada H., Wang L. -S. and Wang X. -Y. 2016. *Collemopsidium angermannicum*, a freshwater species of pyrenocarpous cyanolichen occurs in Yunnan, China. *Lichenology*. 15:79-83.

Harada H., Yoshikawa H., Izumi H. and Sakata A. 2016. Taxonomic notes on pyrenocarpous lichens in Japan (6). *Polymeridium proponens* (Trypetheliaceae) new to Japan. *Lichenology*. 15:91-97.

Watanuki O., Harada H., Hara K., Komine M., Yamamoto Y. and Fuji S. 2016. Taxonomic study of *Buellia* s. lat. (lichenized Ascomycota, Caliciales, Caliciaceae) in Japan (1). Rediscovery of *Buellia lauricassiae* (Fée) Müll. Arg. *Lichenology*. 15:27-37.

Watanuki O., Hara K., Harada H., Komine M. and Fuji S. 2017. *Buellia numerosa* and *B. subnumerosa*, two new species of the lichen genus *Buellia* (Caliciaceae) from Japan. *Bryologist*. 120:25-36.

原田 浩. 2016. 日本地衣類誌 (4). *Hyperphyscia* ヒラムシゴケ属. *Lichenology*. 15:39-42.

原田 浩. 2016. 日本地衣類誌 (5). *Physciella* ムカデコゴケ属. *Lichenology*. 15:43-46.

原田 浩. 2016. 日本地衣類誌 (6). *Phaeophyscia* クロウラムカデゴケ属. *Lichenology*. 15:47-59.

原田 浩. 2016. 日本地衣類誌 (7). *Physcia* s. str. 狭義ムカデゴケ属. *Lichenology*. 15:105-112.

原田 浩・坂田歩美・泉 宏子・吉川裕子. 2017. 東京大学千葉演習林の地衣類相. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. 10:369-392, xxi-lii (pls. 1-32).

- 原田 浩・松崎 務. 2016. 分布資料(42). *Neocatapyrenium cladonioideum* ミヨウギウロコゴケ. *Lichenology*. 15:61-63.
- 松崎 務・吉川裕子・出川 洋・原田 浩. 2016. 分布資料(43). 長野県上田市産地衣類15種. *Lichenology*. 15:119-122.
- 宮脇博巳・原田 浩. 2016. 日本産チャシブゴケ属 (*Lecanora*) の新和名. *Lichenology*. 15:123-125.
- 吉川裕子・原田 浩. 2016. コフキゲジゲジゴケ *Heterodermia subascendens* (ムカデゴケ科地衣類) の形態と化学成分. *Lichenology*. 15:99-104.
- 天野 誠
- 天野 誠・斎木健一・御巫由紀・倉俣武男・山本伸子・大場達之. 2017. 千葉県いすみ市の維管束植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号. (10):233-295, xvii-xviii (pls. 1-2).
- 天野 誠・斎木健一・御巫由紀・倉俣武男・山本伸子・大場達之. 2017. 千葉県大多喜町の維管束植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号. (10):297-394.
- 久本洋子・三次充和・梁瀬桐子・大石 諭・天野 誠. 2017. 千葉演習林森林博物館資料館蔵の1922~1990年に採集された維管束植物標本リスト. 演習林. (59):1-53.
- 山本伸子
- 天野誠・斎木健一・御巫由紀・倉俣武男・山本伸子・大場達之. 2017. 千葉県いすみ市の維管束植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号. (10): 233-295, xvii-xviii (pls. 1-2).
- 天野誠・斎木健一・御巫由紀・倉俣武男・山本伸子・大場達之. 2017. 千葉県大多喜町の維管束植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号. (10):297-394.
- 斉藤明子
- 斉藤明子. 2016. 昆虫研究者のための博物館資料論・資料保存論(1) 昆虫標本の生物被害と IPM. 昆虫(ニューシリーズ). 19(4):159-171.
- 斉藤明子. 2016. 千葉市青葉の森公園におけるキボシツツハムシの記録. 房総の昆虫. (58):71-72.
- 斉藤明子. 2016. 外来種ムネアカハラビロカマキリが2015年船橋市に生息. 房総の昆虫. (58):76-77.
- 斉藤明子・尾崎煙雄. 2016. 東京大学千葉演習林で千葉県初記録のエゾハサミムシを採集. 房総の昆虫. (58):77-78.
- 斉藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木 勝・斉藤 修・村川功雄・倉西良一. 2017. 東京大学千葉演習林(千葉県南部清澄山系)の昆虫相. 千葉中央博自然史研究報告特別号. (10):61-232, vii-xvi(pls. 1-10).
- 斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝. 2016. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(VII). 房総の昆虫. (57):81-83.
- 斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝. 2016. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(VIII). 房総の昆虫. (58):41-43, pl.2.
- 金子美織・斉藤明子. 2016. 銚子市でクロキオビジョウカイモドキを採集. 房総の昆虫. (58):69.
- 小峰幸夫・原田正彦・斉藤明子・佐藤嘉則・木川りか・藤井義久. 2017. 日光の歴史的木造建造物における新たな害虫モニタリング手法の実用性の検討. 保存科学. (56):77-88.
- 南雅之・宮内博至・滝沢春雄・斉藤明子・深谷信一・鳥倉英徳. 2016. 外来種カラタチトビハムシ(新称)における知見. 月刊むし. (544):44-47.
- 鈴木勝・斉藤明子. 2016. 千葉県の甲虫確認数(2015年3月現在). 房総の昆虫. (57):110-113.
- 鈴木勝・斉藤明子. 2016. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫一補遺と追加(V). 房総の昆虫. (58):103-112.
- 黒住耐二
- Fujita M, Yamasaki S, Katagiri T, Oshiro I, Sano K, Kurozumi T, Sugawara H, Kunikita D, Matsuzaki H, Kano A, Okumura T, Sone T, Fujita H, Kobayashi S, Naruse T, Kondo M, Matsu'ura M, Suwa G and Kaifu K. 2016. Advanced maritime adaptation in the western Pacific coastal region extends back to 35,000-30,000 years before present. *Proceedings of the National Academy of Sciences*. 2016:1-6. DOI: 10.1073/pnas.1607857113.
- 黒住耐二. 2017. 東アジアにおける貝製仮面およびその類似製品に利用された貝類の同定. 千葉県立中央博物館研究報告—人文科学—. 13(2):82-96.
- 黒住耐二. 2017. 近現代の“地点貝塚”から得られた貝類遺体の情報—能登半島福浦港の一例. 千葉県立中央博物館研究報告—人文科学—. 13(2): 98-112.
- 黒住耐二(分担執筆). 2017. 日本近海産貝類図鑑[第二版](イガイ科等). 1375 pp. 東海大学出版部, 神奈川県平塚市.
- 黒住耐二. 2017. 小さな貝からわかること. その1. 佐賀市教育委員会(編), 縄文の奇跡! 東名遺跡. 歴史をぬりかえた縄文のタイムカプセル. 79-81. 雄山閣, 東京都千代田区.
- 黒住耐二. 2017. 小さな貝からわかること. その2. 佐賀市教育委員会(編), 縄文の奇跡! 東名遺跡. 歴史をぬりかえた縄文のタイムカプセル. 155-157, 268-270. 雄山閣, 東京都千代田区.
- 黒住耐二. 2017. 2016年度発掘の根獅子16号人骨着装の貝輪について. 平戸紀要(5): 47-59.
- 久保弘文・福田宏・早瀬善正・亀田勇一・黒住耐二・上島 励. 2017. 沖縄県レッドデータブック—レッドデータ沖縄—第2回改訂に伴う稀少貝類棲実態調査報告—3. 北大東島・南大東島. *Molluscan Diversity* 5(1-2): 21-32.
- 榎本輝樹・柚原剛・多留聖典・風呂田利夫・西 栄二郎・駒井智幸・黒住耐二・佐々木美貴・中川雅博. 2017. 東京湾盤洲干潟(小櫃川河口干潟)における大型ベントスの調査手法による出現種の差異および群集解析比較. 千葉県立保健医療大学紀要 8(1): 41-52.
- 平久亮菜・照屋清之介・黒住耐二. 2016. 静岡県南伊豆町におけるヒルガオガイの漂着. 漂着物学会誌. (14):33-34.
- 宮 正樹
- Poulsen, JY, Sado, T, Hahn, C, Byrkjedal, I, Moku, M and Miya M. 2016. Preservation obscures pelagic deep-sea fish diversity: doubling the number of sole-bearing opisthoproctids and resurrection of the genus *Monacoa* (Opisthoproctidae, Argentiniformes). *PLOS ONE*. 11(8):e0159762.
- Satoh, T, Miya M, Mabuchi M and Nishida M. 2016. Structure and variation of the mitochondrial genome of fishes.

- BMC Genomics. 17:19.
- Miya, M, Minamoto, M, Yamanaka, H, Oka, S, Sato, K, Yamamoto, S, Sado, T, and Doi, H. 2016. Use of a filter cartridge for filtration of water samples and extraction of environmental DNA. *Journal of Visualized Experiments*. (117):e54741.
- Bamba, M, Nakata, S, Aoki, S, Takayama, K, Núñez-Farfán, J, Ito, M, Miya, M and Kajita T. 2016. Wide distribution range of rhizobial symbionts associated with pantropical sea-dispersed legumes. *Antonie van Leeuwenhoek*. 109(12):1605-1614.
- Yamamoto, S, Masuda, R, Sato, Y, Sado, T, Araki, H, Kondoh, M, Minamoto, T and Miya, M. 2017. Environmental DNA metabarcoding reveals local fish communities in a species-rich coastal sea. *Scientific Reports*. 6:40368.
- Campbell, MA, Nielsen, JG, Sado, T, Shinzato, C, Kanda, M, Satoh, TP and Miya, M. 2017. Evolutionary affinities of the unfathomable Parabrotulidae: Molecular data indicate placement of Parabrotula within the family Bythitidae, Ophidiiformes. *Molecular Phylogenetics and Evolution*. 109:337-342.
- Sunobe T., Sado T., Hagiwara K., Manabe H., Suzuki T., Kobayashi Y., Sakurai M., Dewa S., Matsuoka M., Shinomiya A., Fukuda K. and Miya M. 2017. Evolution of bidirectional sex change and gonochorism in fishes of the gobiid genera *Trimma*, *Priolepis*, and *Trimmatom*. *The Science of Nature*. 104(3):1-15.
- 宮 正樹. 2016. 新たな魚類大系統 — 遺伝子で解き明かす魚類 3 万種の由来と現在. 慶應義塾大学出版会, 東京都港区.
- 原 正利
- Sharma R. C., Hara K., Hirayama H., Harada I., Hasegawa D., Tomita M., Park J., Asanuma I., Short K. M., Hara M., Hirabuki Y., Fujihara M. and Tateishi R.: . 2017. Production of Multi-features Driven Nationwide Vegetation Physiognomic Map and Comparison to MODIS Land Cover Type product. *Advances in Remote Sensing*. 6(1):54-65.
- 林 紀男
- 林 紀男. 2016. 現代におけるかいぼりの意義. *グリーンエージ*. 43(8):28-30.
- 林 紀男. 2016. 沈水植物が湖沼の生物多様性保全に果たす役割. *環境技術*. 45(9):19-24.
- 林 紀男. 2016. 水生植物の変化. 26-36. たけしま出版, 柏市.
- 林 紀男. 2016. 手賀沼のプランクトン. 56-65. たけしま出版, 柏市.
- 林 紀男. 2016. 手賀沼周辺の特定外来生物. 66-77. たけしま出版, 柏市.
- 宮田昌彦
- Sutherland J, Miyata M., Ishikawa M., Wendy N. 2016. *Prasiola* (Prasiolales, Trebouxiophyceae) in Japan: a survey of freshwater populations and new records of marine taxa. *Phycological research*. 64(2):110-117.
- Kawai H., Hanyuda T., Gao X., Terauchi M., Miyata M., Lindstrom S. C., Klochkova N. G., Miller K A. S. C. . 2017. Taxonomic revision of the Agaraceae with a description of *Neoagarum* gen. nov. and reinstatement of *Thalassiohyllum*. *Journal of Phycology*. doi: 10.1111 / jpy.12511 (16 Feb. 2017) .
- 富塚朋子、宮田昌彦. 2016. 民族海藻学—海藻は生活の糧なり—。海と日本プロジェクト2016. 函館市.
- 宮野伸也
- 宮野伸也. 2016. 千葉市緑区土気町でクマゼミ鳴く. *房総の昆虫*. (58):75.
- 宮野伸也. 2016. 千葉市緑区土気町でクツワムシの鳴き声を確認. *房総の昆虫*. (58):75-76.
- 尾崎煙雄
- 尾崎煙雄・福島 努. 2016. 館山市でタイワントビナナフシを採集. *房総の昆虫*. (57):104.
- 尾崎煙雄・大木純一. 2016. 梅ヶ瀬渓谷でヒサゴクサキリを採集. *房総の昆虫*. (57):104-105.
- 尾崎煙雄. 2016. 木更津市で千葉県初記録のヒゲトグンバイを採集. *房総の昆虫*. (58):72.
- 斉藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木勝・斉藤修・村川功雄・倉西良一. 2016. 東京大学千葉演習林(千葉県南部清澄山系)の昆虫相. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. (10):61-232, vii-xvi(pls.1-10).
- 斉藤明子・尾崎煙雄. 2016. 東京大学千葉演習林で千葉県初記録のエゾハサミムシを採集. *房総の昆虫*. (58):77-78.
- 斉藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木 勝・斉藤 修・村川功雄・倉西良一. 2017. 東京大学千葉演習林(千葉県南部清澄山系)の昆虫相. 千葉中央博自然史研究報告特別号. (10):61-232, vii-xvi(pls.1-10).
- 斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝. 2016. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(VII). *房総の昆虫*. (57):81-83.
- 斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝. 2016. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(VIII). *房総の昆虫*. (58):41-43, pl.2.
- 島立理子
- 島立理子. 2016. 日本千葉県館山市立博物館所蔵の”チョウセン”と呼ばれる海女の潜水着とその特徴. *生活文物研究*. 32:36-44.
- 大木淳一
- 大木淳一・佐久間亮成. 2016. 博学連携による校内の石材を用いた学習プログラムの実践と検証. *地学教育と科学運動*. 77:8-14. 地学団体研究会.
- 尾崎煙雄・大木淳一. 2016. 梅ヶ瀬渓谷でヒサゴクサキリを採集. *房総の昆虫*. (57):104-105.
- 桑原和之
- 平塚直史・江口誠一・桑原和之・箕輪義隆. 2016. 千葉県内の遺跡から産出した鳥類遺存体データによる古環境の地理的考察. *考古学と自然科学*. 72:77-91.
- 吹春俊光
- 吹春俊光・腰野文男・服部 力. 2017. 東京大学千葉演習林の大型菌類相. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. 10:393-410, liii-liv (pls.1-2).
- 倉西良一
- Katsuma N. and Kuranishi R. 2016. Redescription of *Triplectides misakianus* (Matsumura, 1931) (Trichoptera,

- Leptoceridae) in Japan with notes on their habitat. *Zoosymposia* . 10:234-242.
- 土井学・西海功・倉西良一. 2016. 伊豆諸島利島における国内外来種ニホンイタチの在来種への影響 . 日本生物地理学会会報, 71:53-62.
- 齊藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木 勝・齊藤 修・村川功雄・倉西良一. 2016. 東京大学千葉演習林(千葉県南部清澄山系)の昆虫相. 千葉中央博自然誌研究報告特別号. 10:61-232, vii-xvi(pls.1-10).
- 立川浩之  
Nakamori T., Sugihara K, Tachikawa H and Kaneko N. 2016. Cenozoic corals. The database of Japanese fossil type specimens described during the 20th Century (Part 5). *Palaeontological Society of Japan Special Papers*. 43:20-37.
- 深見裕伸・北野裕子・立川浩之. 2016. 喜界島の有藻性イシサンゴ類の種組成について. 月刊海洋. 56(号外):94-102.
- 奥野淳兒  
Okuno J. and M. Osawa. 2016. Rediscovery of *Chirostylus dolichopus* Ortmann, 1892 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Chirostylidae) from its type locality, Boso Peninsula, Japan, with description of the colouration in life. *Marine Biodiversity Records*. 9(28): DOI 10.1186/s41200-016-0026-5.
- Saito T., J. Okuno and A. Anker. 2017. Two new species of the stenopodidean shrimp genus *Odontozona* Holthuis, 1946 (Decapoda: Stenopodidae) from the Indo-West Pacific. *Crustacean Research*. (46):25-55.
- 柳 研介  
Izumi T, Yanagi K and Fujita T. 2016. The “Antenna Balloon Anemone” found in the Seto Inland-Sea: New genus and species of sea anemone, *Antennapeachia setouchi* (Cnidaria, Actinaria, Haloclavidae). *Zoological Science*. 33(4):448-453.
- Shimnaga M and Yanagi K. 2016. The Ryukyu Trench may function as a “depocenter” for anthropogenic marine litter. *Journal of Oceanography*. 72(6):895-903.
- 柳 研介. 2017. 黒船が持ち帰った喜界島をタイプ産地とするイソギンチャク. 月刊海洋. 49(3):134-145.
- 柳 研介. 2017. 第4章 イソギンチャク類. 53-87. 恒星社厚生閣, 東京都新宿区.
- (2) 学術報告書
- 萩原恭一  
萩原恭一. 2016. 畑沢埴輪生産遺跡出土のもうひとつの蓋形埴輪. 埴輪研究会誌. (20):163-168.
- 萩原恭一. 2017. 袖ヶ浦市内で採集された埴輪資料について. 袖ヶ浦市市研究. (18):56-61.
- 岡崎浩子  
岡崎浩子. 2016. 河川砂礫堆の3次元形成ダイナミクス:水路実験と現世堆積物のGPRによる融合. 科学研究費助成事業データベース(KAKEN). kaken.nii.ac.jp/ja/.../KAKENHI-PROJECT-23540538/.
- 高橋直樹  
高橋直樹・赤司卓也. 2016. 宮城県石巻産石碑石材「井内石」の地質学・岩石学的特徴と利用状況. 月刊地球 号外. (66):91-102.
- 高橋直樹・柴田健一郎・平田大二・新井田秀一. 2016. 葉山-嶺岡帯トラバース. 地質学雑誌. 122(8):375-395.
- 加藤久佳  
加藤久佳. 2017. 房総半島の海岸打ち上げ及び埋立地の化石群. 千葉県立中央博物館 地学資料集. 26p.
- 古木達郎  
古木達郎(分担執筆). 2017. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト 植物・菌類編 <2017年改訂版>. 1-30.
- 原田 浩  
原田 浩・坂田歩美・泉 宏子・吉川裕子. 2016. 地衣類調査記録, (4)市原クオードの森(旧市原市民の森)(館山市柿木台). 千葉県地衣類誌資料. (5):11-16.
- 原田 浩・泉 宏子. 2016. 地衣類調査記録, (5)大多喜城分館(大多喜町). 千葉県地衣類誌資料. (6):17-18.
- 原田 浩・吉川裕子・坂田歩美. 2016. 地衣類調査記録, (6)銚子市. 千葉県地衣類誌資料. (7):19-20.
- 原田 浩・森田考恵. 2016. 地衣類調査記録, (7)龍腹寺(印西市龍腹寺). 千葉県地衣類誌資料. (8):21-22.
- 原田 浩・森田考恵. 2016. 地衣類調査記録, (8)松虫寺(印西市松虫). 千葉県地衣類誌資料. (9)23-24.
- 原田 浩・泉 宏子. 2016. 地衣類調査記録, (9)一宮町東浪見. 千葉県地衣類誌資料. (10):25-26.
- 原田 浩・森田考恵. 2016. 地衣類調査記録, (10)結縁寺(印西市結縁寺). 千葉県地衣類誌資料. (11):27-28.
- 原田 浩・吉川 裕子・泉 宏子. 2016. 地衣類調査記録, (11)高家神社(南房総市千倉町). 千葉県地衣類誌資料. (12):29-30.
- 原田 浩・坂田 歩美・中島 啓光. 2016. 地衣類調査記録, (12)東京理科大学キャンパス(野田市). 千葉県地衣類誌資料. (13):31-32.
- 御巫由紀  
御巫由紀(分担執筆). 2017. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト 植物・菌類編 <2017年改訂版>. 1-30.
- 田邊由美子  
田邊由美子. 2017. 「妖怪すごろく」について. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をちないなら、なにができるだろう.. 12-13. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.
- 田邊由美子. 2017. 長野県飯田市調査. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をちないなら、なにができるだろう.. 55-57. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.
- 黒住耐二  
黒住耐二. 2016. 平安山原B遺跡と同C遺跡の貝類遺体および本地域の遺跡出土貝類のまとめ. 平安山原B・C遺跡, 北

谷町文化財調査報告書，第40集，372-401.

黒住耐二. 2016. 貝類遺体に関する追加報告. 東名遺跡群IV, 東名遺跡群総括報告書, 佐賀市埋蔵文化財調査報告書. 第100集, 第1分冊第1分冊. 121-132.

黒住耐二. 2016. 東名遺跡の貝類利用. 東名遺跡群IV, 東名遺跡群総括報告書, 佐賀市埋蔵文化財調査報告書. 第100集, 第1分冊第4分冊. 71-74.

黒住耐二. 2016. 視覚障がい者のための手でみる貝類図鑑の作成. 平成27年度全国化学博物館活動等助成事業報告概要. 4 pp. 千葉県立中央博物館.

黒住耐二. 2016. 視覚障がい者のための手でみる貝類図鑑. 平成27年度全国科学博物館活動等助成事業. 85 pp. 千葉県立中央博物館.

黒住耐二. 2017. 南蛮漆器に用いられた貝類に関する予察. 東京文化財研究所文化財情報資料部広領域研究室(編), 南蛮漆器の多源性を探る, 公開研究会予稿集(International Symposium Proceedings), 22-23. 東京文化財研究所, 東京都.

黒住耐二. 2017. 須賀井遺跡から得られた貝類遺体. 須賀井遺跡, 縄文時代以降編, 千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告書, 第18集. 102-109.

黒住耐二(同定分担). 2017. サキタリ洞遺跡(調査区I)出土貝類目録・写真図版. In: 沖縄県立博物館・美術館(編), サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書IV, 4-94. 沖縄県立博物館・美術館.

黒住耐二(分担執筆). 2017. 貝類(トクノシマケハダシワクチマイマイ等). In: 沖縄県環境部自然保護課(編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物. 第3版(動物編)ーレッドデータおきなわー. 423-637. 沖縄県環境部自然保護課.

黒住耐二. 2017. 微小貝類. 養安寺遺跡, 千葉県教育振興財団調査報告書, 第758集. 583-592.

黒住耐二. 2017. 微小貝類遺体. 西野雅人・米倉貴之(編), 史跡加曽利貝塚総括報告書, 第2分冊, 734-744.

黒住耐二. 2017. 伊礼原D遺跡から出土した貝類遺体(第2報). 島袋春美(編), 伊礼原D遺跡, 北谷町文化財調査報告書, 第41集. 351-375.

黒住耐二. 2017. 御茶園西遺跡の土壌サンプルから得られた微小貝類遺体. 御茶園西遺跡発掘調査報告書, 陸平研究所叢書, 第11集. 142-148.

佐々木由香・米田恭子・バンダリ スダルジャン・森 勇一・黒住耐二. 2017. レプリカ法による土器種実・貝類・昆虫圧痕の同定. 道仏鹿樫遺跡II・下平窪遺跡, 青森県埋蔵文化財調査報告書, 第586集. 98-104.

#### 林 浩二

林 浩二・井上由佳. 2017. 関東支部会だより 第12回エデュケータ研究会「ユネスコ2015年博物館勸告を考えるワークショップ」報告. 日本ミュージアム・マネジメント学会会報. 79号:14-17.

林 浩二. 2017. 社会的課題を取り上げる学習プログラム・・・千葉. 知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究. 課題番号 JP24220013. 平成24~28年度 科学研究費補助金 基盤研究S 研究成果最終報告書. 62-68.

#### 島立理子

島立理子. 2017. 博物館・図書館・公民館で地域の核となるモデルをつくる. 月刊地方自治 職員研究. 687:46-48.

島立理子. 2017. 博図公が連携して「もののけ情報」を集める-「もののけ情報箱」の設置-. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をちないたら、なにができるだろう。6-7. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.

島立理子. 2017. 地域の情報の宝庫-公民館の刊行物と図書館の郷土資料室-. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をつないたら、なにができるだろう。8. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.

島立理子. 2017. 「もののけ」をテーマにしたイベントの開催-イベントづくりは公民館から学べ-. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をちないたら、なにができるだろう。10-11. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.

島立理子. 2017. 博物館をみぐる仕掛けづくり-『妖怪さんぽ』を使ったスタンプラリー-. 千葉県博図公連携事業 事業報告書 博物館・図書館・公民館が手をちないたら、なにができるだろう。11-12. 千葉県博図公連携事業実行委員会, 千葉県.

#### 新 和宏

新 和宏. 2016. 展示室はフィールドへの誘いの場. “本物を利活用する”そこにミュージアムの本質があり, 地域の活性化と地域文化創出・発展の起点が芽生える... 全国科学博物館協議会研究発表紀要. 24:42929.

#### 立川浩之

座安佑奈・横地洋之・梶原健次・木村 匡・島田 剛・下池和幸・鈴木 豪・立川浩之・長田智史・野村恵一. 2017. シンサンゴ分類の現状と日本造礁サンゴ分類研究会の取組. タクサ. 42:10-15.

### (3) 普及書

#### 大野啓一

大野啓一. 2016. ヤマユリはいつ咲きますか? 房総丘陵の動植物(2). しいむじな. (54):2-3.

大野啓一. 2017. 春を待つ冬芽. 理科教育ニュース. (999):カラー紙面1p. 解説編1p.

#### 加藤久佳

加藤久佳. 2017. 房総の海岸打ち上げ及び埋めたて地の化石. 平成28年度地学資料集. (26).

#### 萩野康則

萩野康則. 2016. 研究室から-52. 27年待っていた質問. ちば中央博メール. 2016年4月号:.

萩野康則. 2016. 「二十四節気 虫のお話」三部作の紹介. どろのむし通信. (66):21-24.

萩野康則. 2016. 秋山あゆ子さん「二十四節気 虫のお話」三部作の紹介. 談話会通信. (148):2-5.

- 萩野康則. 2016. クモが出てくる子どもの本情報 (14). 2016年に出版された雑誌1点の紹介. 談話会通信. (148):6-7.
- 高山順子  
高山順子. 2017. 千葉県希少種(カワスナガニ). 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (52):4.  
下稲葉さやか  
下稲葉さやか. 2017. 房総丘陵の動植物(4) 房総半島には、クマがいない. しいむじな. (56):3.
- 古木達郎  
古木達郎. 2016. 冬だ! コケの季節がやってきた!. しいむじな. (55):3.
- 原田 浩  
原田 浩. 2016. タカハシゴンゲンゴケの偽根. 日本地衣学会ニュースレター. (134):502.  
原田 浩. 2016. このハナゴケ属は何か判りますか?. 日本地衣学会ニュースレター. (138):515-516.  
原田 浩. 2016. 干支の地衣類. 一酉年一. 日本地衣学会ニュースレター. (141):525-528.
- 御巫由紀  
御巫由紀. 2016. 房総のヒメコマツ観察会を開催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (48):3.  
御巫由紀. 2016. 平成27年度生命のにぎわい調査フォーラムを開催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (48):3-4.  
御巫由紀. 2016. 生命のにぎわい調査調査団の現地研修会を開催しました「犬吠埼・君ヶ浜で生きものを観察しよう!」. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (49):3-4.  
御巫由紀. 2016. ニュージールランド報告. オールドローズとつるばらのクラブ会報. (177):13-18.  
御巫由紀. 2016. 日本の薔薇を知りたくて その5:ツクシイバラ *Rosa multiflora* var. *adenochaeta* 「満開のツクシイバラの朝食会」. ガーデンダイアリー. 5:78-79.  
御巫由紀. 2016. 日本の薔薇を知りたくて その6:テリハノイバラ *Rosa luciae* 「地を這うテリハノイバラ」. ガーデンダイアリー. 6:104-105.  
御巫由紀. 2016. ヘリテージローズ保存のためにバラを訪ねてニュージールランド講演の旅. マイガーデン. (80):6-25.  
御巫由紀. 2017. 生命のにぎわい調査調査団の現地研修会を開催しました「香取神宮・水の郷さわら自然観察湿地」. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (51):3.  
御巫由紀. 2017. 千葉県希少種(フクジュソウ). 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (51):3.  
御巫由紀. 2017. 房総のヒメコマツ観察会を開催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (52):3.  
御巫由紀. 2017. 平成27年度生命のにぎわい調査フォーラムを開催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (53):4.
- 黒住耐二  
黒住耐二. 2016. 採集することの喜び一阪神貝類談話会創立50周年によせて一. かいなかま. 50(1・2):19.  
黒住耐二. 2016. 稲作の起源地における出土貝類遺体の研究. 稲作と中国文明一総合稲作文明学の新構築一. ニュースレター. (2):4.  
黒住耐二. 2017. 奄美の遺跡から出土する貝. 南海日日新聞. 2017年1月19日.  
黒住耐二. 2017. クライロキセルモドキ・スカシベッコウ. 栃木県版レッドリスト・レッドデータブック改訂. 中間報告トピック情報. [http://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/documents/topic2017\\_2.pdf](http://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/documents/topic2017_2.pdf).
- 由良 浩  
由良 浩. 自然保護協会. 2016. 自然調べ 海辺で花しらべ 結果レポート. 会報「自然保護」. 556:pp4.
- 林 紀男  
林 紀男. 2017. 生態園観察ノート ミジンコ. 29. 千葉県立中央博物館. 千葉市.
- 林 浩二  
林 浩二. 2016. 博物館と社会を考える(5). 博物館の国際的動向2016. 市民通信37号 12p. NPO法人市民科学研究室. 東京都文京区.
- 宮野伸也  
宮野伸也. 2016. いろいろな虫一番. 玉川こども博物誌「昆虫」. 玉川大学出版部. 町田市.
- 尾崎煙雄  
尾崎煙雄. 2016. 絶滅が危惧される房総のヒメコマツの保全の試み. グリーン・エージ. (510):27-29.  
尾崎煙雄. 2016. 館のない博物館から(51) ヤドリギ調べの輪. 館報せいわ. (359):4.  
尾崎煙雄. 2016. 観察会でみつけた生きもの ベッコウハゴロモ. しいむじな. (54):4.  
尾崎煙雄. 2016. ヤドリギ. しいむじな. (55):1-2.  
尾崎煙雄. 2017. 地域と結びつく房総の山のフィールド・ミュージアム 前編「三島小教室博物館」について. 理科教育ニュース. (998):2-3.  
尾崎煙雄. 2017. 地域と結びつく房総の山のフィールド・ミュージアム 後編「三島小教室博物館」周辺の活動. 理科教育ニュース. (1001):2-3.  
尾崎煙雄. 2017. 館のない博物館から(54) ふきのとう. 館報せいわ. (362):4.  
尾崎煙雄. 2017. 観察会報告 泥だんごで学ぶ地質学. しいむじな. (56):4.
- 島立理子  
西谷 大・島立理子・村木二郎・山田康弘・山本英二・大久保純一・斉藤 努. 2016. ニセモノを創造する. ニセモノ図鑑. 127. 河出書房新社. 東京.  
島立理子. 2016. 一枚の写真から広がる世界一総合資料学の試み一. 総合資料学ニュースレター. 1:13.  
島立理子. 2016. 稲にも顔がある. しいむじな. (53):1-2.



島立理子. 2017. 春を告げる小糸川流域のどんと焼き. しいむじな. (56):1-2.

#### 大木淳一

大木淳一. 2016. 生物多様性ちば企業ネットワークの勉強会を開催しました. 生命のにぎわいとつながり (生物多様性ちばニュースレター). (50):3-5.

大木淳一. 2017. 達人に聞く!!自然観察法のイロハのイ『身近な石に地球を感じる』. Science Window. (65):32-34.

大木淳一. 2017. 巻頭言 建物のない博物館活動『房総の山のフィールド・ミュージアム』. 学芸員への誘いー日本女子大学博物館学芸員課程年報. 15:1-3.

#### 桑原和之

桑原和之. 2016. 減少する湿地で生活するタマシギ. 57:10-11. 私たちの自然. 57(606):10-11.

桑原和之・隈部 修・箕輪義隆・糠谷 隆・齊藤敏一. 2017. 川のフィールド・ミュージアム「いきもの調査隊」5. 千葉県立中央博物館大根分館ニュースレターたかっぼ通信. 9:3-4.

#### 吹春俊光

大作晃一・吹春俊光・吹春公子. 2016. おいしいきのこ毒きのこハンディ図鑑. 288 pp.. 主婦の友社, 東京.

吹春俊光. 2017. モグラ類の便所から発生するきのこ. 34-35. 東海大学出版, 東京.

吹春俊光・寶田浩太郎. 2017. 動物のフンの上で生きる菌類. 36-37. 東海大学出版, 東京.

吹春俊光・大作晃一. 2017. 担子菌類の胞子のいろいろ. 74-75. 東海大学出版, 東京.

吹春俊光. 2017. 書評「キノコの教え」. 日本農業新聞 (2017年2月5日).

吹春俊光. 2016. きのこの自然誌ータマノリイグチ. 季刊きのこ 2016 春号. (21): 3-4.

吹春俊光. 2016. きのこの自然誌ーカンゾウタケ. 季刊きのこ 2016 夏号. (22): 4-5.

吹春俊光. 2016. きのこの自然誌ーヤマドリタケ. 季刊きのこ 2016 秋号. (23):4-5.

吹春俊光. 2017. きのこの自然誌ーマンネンタケ. 季刊きのこ 2017 冬号. (24):3-4.

吹春俊光. 2017. 企業訪問 キノックス. 日本きのこ学会ニュースレター11. (11): 3-6.

吹春俊光. 2017. きのこと関連本の紹介. 日本きのこ学会ニュースレター11. (11): 20-23.

#### 倉西良一

倉西良一. 2016. 千葉市内で2015年12月中旬に活動していたムラサキツバメ. 房総の昆虫. (57):88.

倉西良一. 2016. 県立中央博物館生態園に飛来したオオムラサキは放蝶されたものか. 房総の昆虫. (57):92.

倉西良一. 2016. 横芝光町のコンビニに飛来したシロスジコガネ. 房総の昆虫. (57)99.

倉西良一. 2016. 千葉市中央区青葉町におけるハラビロカマキリの越冬例. 房総の昆虫. (57):106-107.

倉西良一. 2016. 千葉市中央区葛城でアオスジハナバチを採集. 房総の昆虫. (57):108.

倉西良一・坂東正康. 2016. ヒサゴクサキリを白井市で採集. 房総の昆虫. (57):105.

倉西良一・木村悟朗. 2016. 県立中央博物館生態園におけるヒメクロゴキブリの生息状況と食性に関する小観察. 房総の昆虫. (57):106.

#### 立川浩之

立川浩之. 2016. 復刻 小笠原かわら版 小笠原島所産鱗介図 (アカマンボウ・マダラトビエイ). 季刊誌 i-B o (アイボ). 2016年6月30日:26-29.

#### 奥野淳兒

奥野淳兒. 2016. エビのなかま・ヤドカリのなかま・アナジャコのなかま. 学研の図鑑ライブ水の生き物. 48-66. 学研プラス, 東京都.

#### 菊地則雄

菊地則雄. 2016. question13 冬に生産される海苔の一生はどうなっているの?. みんなが知りたいシリーズ① 海藻の疑問 50. 38-41. 日本藻類学会, 成山堂書店, 東京都.

#### 柳 研介

柳 研介. 2016. イソギンチャクとそのなかま. pp224. 学研プラス, 東京都.

柳 研介. 2016. 海の絶滅危惧種 ～千葉県の現状～. 生命のにぎわい通信 (千葉県生物多様性センターニュースレター). (49):1-2.

柳 研介. 2016. うみはくで絶滅危惧種展 8月31日まで 「アオギス」. 千葉日報. 2016年8月8日.

柳 研介. 2016. うみはくで絶滅危惧種展 8月31日まで 「ハマガニ」. 千葉日報. 2016年8月9日.

柳 研介. 2016. うみはくで絶滅危惧種展 8月31日まで 「ハマグリ」. 千葉日報. 2016年8月10日.

柳 研介. 2016. うみはくで絶滅危惧種展 8月31日まで 「ハマウツボ」. 千葉日報. 2016年8月11日.

#### (4) 研究発表

##### 齋木健一

Saiki, K. /2016.8/Development of a wildflower identification site. /5th International Conference of East-Asian Association for Science Education/Tokyo University of Science /Tokyo

齋木健一・林延哉・中西史・小川博久/2017.1/デジタル教科書用デバイスの活用を想定した校庭の野草観察/日本生物教育学会第101回全国大会/東京学芸大学/東京都小金井市

##### 大庭照代

鈴木典子, 大庭照代/2016.5/自然界の音や減少から音楽へつなぐ音認識に関する研究/日本サウンドスケープ協会 2016年度春季研究発表会/青山学院アスタジオ/東京都渋谷区

大庭照代/2016.11/鳥の声や虫の音を聴く・調べるー身近な自然の思わぬ発見ー/第18回図書館総合展/パシフィコ横浜 (図書館総合展運営委員会) /神奈川県横浜市

大庭照代/2016.11/自然の音と音環境コレクション/第18回図書館総合展/パシフィコ横浜 (図書館総合展運営委員会) /神奈川県横浜市

大庭照代／2017.3／自然の音と音環境コレクション／公開シンポジウム「生物学における動画・音声データのアーカイブ・その意義と課題」／大阪市立自然史博物館／大阪府大阪市

#### 岡崎浩子

岡崎浩子・郭 栄珠・田村 亨／2016.5／地中レーダ (Ground Penetrating Radar : GPR) 探査から推定する愛知県矢作川砂州の形成過程／日本地球惑星科学連合 2016 年大会／幕張メッセ／千葉市  
秋山大地・岡崎浩子・中里裕臣・大井信三・須貝俊彦／2016.5／関東平野中央部・筑波台地西部に分布する上部更新統下総層群常総層にみられたテフラ層の分析／日本地球惑星科学連合 2016 年大会／幕張メッセ／千葉市  
中里裕臣・奈良正和・岡崎浩子・水野清秀・伊藤久敏／2016.5／銚子地域における On-Pm1 とこれを覆う海成層／日本地球惑星科学連合 2016 年大会／幕張メッセ／千葉市  
岡崎浩子・中里裕臣・奈良正和・田村 亨・伊藤一充／2016.9／千葉県屏風ヶ浦“香取層”から考える古東京湾のバリアー島システムの消長 (予察)／日本地質学会／日本大学／東京都  
岡崎浩子・中里裕臣・奈良正和・田村 亨・伊藤一充／2016.9／千葉県屏風ヶ浦“香取層”に見られる MIS ステージ 5a の海成堆積物／日本第四紀学会／千葉大学／千葉市  
岡崎浩子／2017.3／常総台地の堆積相と隆起運動像／湘南地球科学の会／千葉県立中央博物館, 千葉市  
秋山大地・須貝俊彦・岡崎浩子・中里祐臣・大井信三／2017.3／関東平野猿島台地南部, 筑波台地, 下総台地北西部に分布する上部更新統下総層群常総層の堆積相と年代／日本堆積学会／信州大学／長野県松本市

#### 高橋直樹

高橋直樹・赤司卓也／2016.12／「房州石」と「伊豆石」／千葉県地学教育研究会 平成 29 年度研究発表会／千葉県立中央博物館／千葉市

#### 八木令子

吉村光敏・八木令子／2016.3／武蔵野台地等々力溪谷(谷沢川)の地形形成史——河川争奪により形成された遷急点(姫ノ滝)の復元——／日本地理学会 2016 春季大会／早稲田大学／東京都新宿区  
八木令子・小田島高之・高橋直樹・吉村光敏・芝原暁彦／2016.9／アナログ地形模型を対象としたプロジェクション・マッピング技術の開発と博物館展示への導入／日本地理学会 2016 秋季大会／東北大学, 宮城県仙台市

#### 加藤久佳

安藤佑介・河野重範・加藤久佳・鶴飼宏明・廣瀬浩司・田中源吾・村宮悠介／2017.1／御所浦島(熊本県天草市)北部の海底堆積物から産出したオオスナモグリを含む十脚類遺骸群集 1／日本古生物学会／早稲田大学, 東京都新宿区

#### 伊左治鎮司

伊左治鎮司・芳賀拓真・柏木健司／2016.6／下部白亜系銚子層群から産出した微小巻貝化石／日本古生物学会／福井県立大学／福井県福井市  
柏木健司・伊左治鎮司・佐野晋一・田中源吾／2016.6／石川県白山市瀬戸野の手取層群石徹白亜層群桑島層(下部白亜系)の海生微化石相／日本古生物学会／福井県立大学／福井県福井市  
菊池直樹・伊左治鎮司・近藤康生／2017.1／上総層群万田野層(中部更新統)からの絶滅種厚殻オオハネガイ類の産出／日本古生物学会／早稲田大学／東京都新宿区  
青塚圭一・伊左治鎮司／2017.1／千葉県上総層群宿層より産出したミズナギドリ科の胸骨化石／日本古生物学会／早稲田大学／東京都新宿区

#### 萩野康則

萩野康則／2016.4／東京蜘蛛談話会と多足類懇談会／2016 年度東京蜘蛛談話会 4 月例会／東京環境工科専門学校／東京都墨田区

#### 下稲葉さやか

川田伸一郎・平田逸俊・下稲葉さやか／2016.9／永澤二郎と哺乳類学／日本哺乳類学会／筑波大学／茨城県つくば市  
下稲葉さやか／2017.2／100 年前の哺乳類標本／ホネホネサミット 2017／大阪市立自然史博物館／大阪府大阪市

#### 古木達郎

古木達郎／2016.8／タイ類スジゴケ科 *Riccardia tosana* (Steph.) S.Hatt. の分類学的再検討／日本蘚苔類学会 第 45 回屋久島大会／屋久島町安房総合センター／鹿児島県屋久島町

#### 原田浩

木下 薫・木原 淳・坂田 歩美・吉川 裕子・原田 浩／2016.7／LC-MS および LC-MS/MS 分析による地衣類含有成分の同定と地衣類分類への応用／日本地衣学会第 15 回大会／岐阜大学／岐阜県岐阜市  
坂田歩美・原田 浩／2016.7／日本産樹皮着生フシアナゴケ属 *Mazosia* (ソバカスゴケ目リトマスゴケ科) 地衣類の分類学的研究／日本地衣学会第 15 回大会／岐阜大学／岐阜県岐阜市  
綿貫 攻・原田 浩・小峰 正史・原 光二郎・藤 晋一／2016.7／日本産樹皮着生広義スミイボゴケ属(*Buellia* s.l.) 地衣類の分類学的研究(その 3). *Amandinea* と *Sculptolumina*／日本地衣学会第 15 回大会／岐阜大学／岐阜県岐阜市  
原田 浩／2016.7／房総の地衣類誌. 千葉県における地衣類多様性解明の試み／日本地衣学会第 15 回大会／岐阜大学／岐阜県岐阜市  
甲斐 久博・木下 薫・植沢 芳広・原田 浩・前田 明寛・岡田 嘉仁・高橋 邦夫・松野 康二／2016.7／EI-MS による地衣類緑種の分類法の検討(第 2 報)／日本地衣学会第 15 回大会／岐阜大学／岐阜県岐阜市

#### 天野 誠

天野 誠／2017.12／遺伝・系統進化学／東邦大学理学部／東邦大学理学部／船橋市  
天野 誠／2017.3／薬種の国内自給体制に関する研究へのアプローチ／「古代の百科全書『延喜式』の多分野協働研究」第 6 回研究会／国立歴史民俗博物館／佐倉市

#### 山本伸子

岩佐 瞭・矢野興一・田村優希・高山浩司・山本伸子・岩坪美兼・任 炯卓・池田 博／2017.3／オミナエシ科オトコエシ

- 種内倍數体間の遺伝的多型とその交雑について／日本植物分類学会第16回大会／京都大学／京都府京都市  
 Yamamoto, N., Ikeda, H., Im, H.-T., Yang, Y.-P. & Chettri, R. / 2016.8 / Chromosome numbers of some noteworthy vascular plants in Asia / East Asian Plant Diversity and Conservation 2016 / The University of Tokyo / Tokyo  
 Nishimata, M., Yano, O., Takayama K., Yamamoto, N., Iwatsubo, Y., Im, H.-T. & Ikeda, H. / 2016.8 / Phylogeographical studies of infraspecific polyploidy in *Patrinia villosa* (Valerianaceae) based on cpDNA and chromosome data / East Asian Plant Diversity and Conservation 2016 / The University of Tokyo / Tokyo
- 齊藤明子  
 齊藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木 勝・齊藤 修・村川功雄・倉西良一 / 2017.2 / 東京大学千葉演習林昆虫調査報告 / 千葉県昆虫談話会第95回例会 / 千葉県立中央博物館 / 千葉市
- 黒住耐二  
 黒住耐二・孫 国平・中村慎一 / 2016.4 / 中国浙江省の田螺山遺跡で確認された貝類遺体 / 日本貝類学会平成28年度大会 / 東邦大学 / 習志野市  
 黒住耐二・池澤広美 / 2016.4 / 関東地方に定着したヒメリンゴマイマイそのサイズと同所的に生息する陸産貝類 / 日本貝類学会平成28年度大会 / 東邦大学 / 習志野市  
 池澤広美・渡邊 健・岡部 克・黒住耐二 / 2016.4 / 茨城県と千葉県における外来種ヒメリンゴマイマイの分布と生息状況 / 日本貝類学会平成28年度大会 / 東邦大学, 習志野市  
 Takamiya H, Yonenobu H, Kurozumi T, Toizumi T. / 2016.4 / "Prehistoric human impacts to the islands of Amami and Okinawa" / 81st Annual Meeting of the Society for American Archaeology / Orlando, Florida, USA  
 黒住耐二 / 2016.5 / 和歌山・吹上浜・能登半島調査 / 第14回房総貝類談話会 / 千葉県立中央博物館 / 千葉市中央区  
 黒住耐二 / 2016.6 / インドネシアの遺跡から出土する貝類について / マナド考古学研究会 / マナド考古学研究会 / インドネシア・北スラウェシ州・マナド  
 黒住耐二・劉 斌・趙 曄・王 寧遠・中村慎一 / 2016.6 / 中国・浙江省・良渚遺跡群の卞家山遺跡から出土した貝類遺体 / 日本動物考古学会第4回大会 / 青谷町総合支所 / 鳥取県鳥取市  
 黒住耐二 / 2016.7 / 北谷町の遺跡を中心とした遺跡出土貝類 / 北谷町考古学セミナー / 北谷町教育委員会資料室 / 北谷町  
 黒住耐二 / 2016.7 / 遺跡出土貝類の研究—琉球・ヤマト・中国など— / 沖縄県埋蔵文化財センター公開セミナー / 埋蔵文化財センター / 沖縄県西原町  
 Takamiya, H., H Yonenobu, T. Kurozumi and T. Toizumi / 2016.8 / How did prehistoric people impact the island environments of Amami and Okinawa / The 8th World Archaeological Congress / 同志社大学 / 京都府京都市  
 黒住耐二 / 2016.11 / 螺鈿に利用される貝類 / 琉球の漆文化と科学 2016～螺鈿と文化～ / 浦添市美術館 / 浦添市  
 黒住耐二 / 2016.12 / 螺鈿と貝類 / 第15回房総貝類談話会 / 千葉県立中央博物館 / 千葉市  
 黒住耐二 / 2017.1 / 奄美の遺跡から出土する貝 / 鹿児島大学重点領域研究シンポジウム「奄美・沖縄諸島先史学の最前線」 / AiAi ひろば / 鹿児島県奄美市  
 黒住耐二 / 2017.3 / 南蛮漆器に用いられた貝類に関する予察 / 東京文化財研究所公開研究会 (International Symposium) 「南蛮漆器の多源性探る」 / 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 / 東京都台東区
- 宮 正樹  
 Miya, M / 2016.5 / Environmental DNA metabarcoding from fishes (and other vertebrates) using universal primers MiFish: A data-driven approach for fish community research / 2016 Annual Meeting of the Asian Society of Ichthyologists / Taipei Nangang Exhibition Center / Taipei, Taiwan  
 Miya, M / 2016.11 / Environmental DNA metabarcoding from fishes (and other vertebrates) using universal primers MiFish: A data-driven approach for fish community research / 2016 The North Pacific Marine Science Organization (PICES) Annual Meeting / OMNI Hotel, San Diego / San Diego, California, USA  
 辻冨月・山本哲史・潮雅之・佐藤行人・宮正樹・源利文・山中裕樹 / 2017.3 / 環境 DNA 手法の新展開: アユのミトコンドリア DNA ハプロタイプを水試料から検出する / 第64回日本生態学会 / 早稲田大学 / 東京都新宿区  
 潮雅之・村上弘章・益田玲爾・佐土哲也・宮 正樹・櫻井 翔・山中裕樹・源 利文 / 2017.3 / 大量シーケンスを用いた魚類環境 DNA の多種・定量的モニタリング / 第64回日本生態学会 / 早稲田大学 / 東京都新宿区  
 山本哲史・宮 正樹・佐土哲也・中川 光・源 利文 / 2017.3 / 環境 DNA メタバーコーディングは河川魚類群集の季節的変化を検出できる / 第64回日本生態学会 / 早稲田大学 / 東京都新宿区  
 中尾遼平・山本哲史・宮 正樹・源 利文 / 2017.3 / 環境 DNA メタバーコーディングによる魚類相の把握 —六甲山系の小河川群における事例— / 第64回日本生態学会 / 早稲田大学 / 東京都新宿区  
 番場大・青木誠志郎・高山浩司・伊藤元己・宮 正樹・梶田 忠 / 2017.3 / 西表島海浜土壌に含まれる根粒菌群集 / 日本植物分類学会第16回大会 / 京都大学 / 京都府京都市  
 Tsuji, S, Yamanaka, H, Miya, M, Sato, Y, Yamamoto, S and Minamoto, T / 2016.8 / Application of environmental DNA to analysis of mitochondrial haplotypes of fish / 2016 Annual Meeting of the Ecological Society of America / Broward County Convention Center / Fort Lauderdale, Florida, USA  
 坂田雅之・山本哲史・宮 正樹・源 利文 / 2016.11 / 堆積物中の環境 DNA を用いた魚類 DNA のメタバーコーディング / 2016年度日本陸水学会第81回大会 / 琉球大学 / 沖縄県那覇市
- 原 正利  
 原 正利・大久保達弘・Rantai Jawa・Paul Chai P. K. / 2016.6 / マレーシア・サラワク州クチン近郊のブナ科植物の分布について / 第26回日本熱帯生態学会年次大会 / 筑波大学 / 茨城県つくば市  
 原 正利・大久保達弘・Rantai Jawa・Paul Chai P. K. / 2016.10 / マレーシア・サラワク州におけるブナ科植物の分布と植生 / 植生学会第21回大会 / 大阪産業大学 / 大阪府大東市  
 内山 隆・江上邦博・原 正利・野井英明・志知幸治 / 2016.10 / 壱岐対馬の植生変遷に関する花粉分析学的研究 / 植生学会第21回大会 / 大阪産業大学 / 大阪府大東市

林 紀男

- 白土智子・林 紀男・内山 香・西廣 淳/2016.9/散布体バンクを活用した水生植物の再生可能性と市民参加型プログラムの検討/応用生態工学会第21回全国大会/東京大学/東京都文京区
- 林 紀男・白土智子・西廣 淳/2016.1/一東京都内の公園を対象に一/第19回自然系研究機関連絡会議(NORNAC19)/もくせい会館/静岡県静岡市
- 林 紀男/2016.11/水生植物再生による池沼の水環境保全/日本水処理生物学会シンポジウム/千葉工業大学/習志野市
- 林 紀男/2016.11/手賀沼流域における外来水草繁茂拡大の要因/日本水処理生物学会 第53回大会/千葉工業大学/習志野市
- 程燕飛・稲森隆平・稲森悠平・類家翔・李小帥・張振亜・雷中方・林 紀男/2016.11/バイオマス資源循環適正化のための生産物堆肥等のC/N比に着目した水稲成長に及ぼす影響からの解析評価/日本水処理生物学会 第53回大会/千葉工業大学/習志野市
- 稲森悠平・稲森隆平・李小帥・類家翔・林紀男・雷中方・張振亜・徐開欽/2016.11/水圏生態を構成する沈水植物ホザキノフサモと共存糸状藻類等に及ぼす塩分等特性解析からの皇居等堀浄化対策新技法/日本水処理生物学会 第53回大会/千葉工業大学/習志野市
- 林紀男/2016.11/ため池における水位攪乱が水生生物相に及ぼす効果/シナイモツゴ発見100周年 大崎市10周年記念共同シンポジウム/大崎合同庁舎/宮城県大崎市
- 林紀男/2017.2/旧印旛沼底質から休眠打破したプランクトン/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市
- 間野吉幸・林 紀男・野口隆也・八鯨雅子/2017.2/手賀沼ハス繁茂域抑制に及ぼす根茎切断の効果/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市
- 竹内順子・小山尚子・中條壽雄・林 紀男/2017.2/古新田川調節池における水生植物相の変化/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市
- 藤原綾香・内田圭・佐藤博俊・林 紀男・源 利文/2017.3/A large scale study of aquatic plants according to eDNA analysis/第64回日本生態学会大会/早稲田大学/東京都新宿区

林 浩二

- 林 浩二/2016.8/「ミュージアムとコレクションの保存活用等に関する UNESCO 勧告」(2015年)から考える博物館とESDの関係/日本環境教育学会/学習院大学/東京都豊島区
- 林 浩二/2016.8/The meaning of life related or social issue programs held in science museums./International Conference of East-Asian Association for Science Education/東京理科大学/東京都新宿区
- 林 浩二/2016.9/社会的・生活課題の学習プログラムを対話的に実施する意味(千葉地区の活動から)/国際シンポジウム「ともに成長する博物館」利用者とともにつくる共有価値/国立科学博物館/東京都台東区
- 林 浩二/2016.11/動物園水族館あるいは植物園における教育活動の意義を考える/第56回 日本動物園水族館教育研究会 新潟大会/新潟市水族館 マリンピア日本海/新潟県新潟市

宮田昌彦

- 宮田昌彦/2017.3/房総半島のサガラメ *Ecklonia arborea*/日本藻類学会第41回大会/高知大学/高知県高知市
- 鈴木雅大・北山太樹・菊地則雄・阿部剛史・小亀一弘・宮田昌彦/2017.3/関東地方周辺で絶滅あるいは消息不明の可能性のある海藻/日本藻類学会第41回大会/高知大学/高知県高知市

尾崎煙雄

- 尾崎煙雄/2016.1/房総の山のフィールド・ミュージアム事業について/自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC19)調査研究・活動事例発表会/もくせい会館/静岡県静岡市
- 斉藤明子・尾崎煙雄・宮野伸也・鈴木 勝・斉藤 修・村川 功・倉西良一/2017.2/東京大学千葉演習林 昆虫調査報告/千葉県昆虫談話会 第95回例会/千葉県立中央博物館/千葉市
- 竹中明夫・石井 実・植田睦之・尾崎煙雄・高川晋一/2017.3/全国ボランティア調査で見る里地の生き物の多様性 - モニタリングサイト1000里地調査の成果/日本生態学会第64回全国大会/早稲田大学/東京都新宿区

島立理子

- 島立理子/2016.11/博物館の活動『おばあちゃんの畑』を通して地域の生業をみる/日本民俗学会 第889回談話会/成城大学/東京都世田谷区

大木淳一

- 大木淳一・武田康男/2016.5/千葉県九十九里浜で104年ぶりに観測した上位蟹気楼/平成28年度日本蟹気楼協議会研究発表会/魚津埋没林博物館/魚津市
- 大木淳一/2016.1/千葉県が取り組む絶滅危惧種対策事業～シャープゲンゴロウモドキ・ヒメコマツ・ミヤコタナゴを例に～/第19回自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC19)/もくせい会館(静岡県職員会館)/静岡県静岡市
- 大木淳一/2017.1/千葉県が取り組む絶滅危惧種対策事業～シャープゲンゴロウモドキ・ヒメコマツ・ミヤコタナゴを例に～/淡水魚保全シンポジウム/いすみ市大原文化センター/いすみ市

桑原和之

- 箕輪義隆・桑原和之・國岡幸浩/2016.9/コアジサシ *Sterna albifrons* の営巣地の誘致/日本鳥学会2016年度大会/北海道大学札幌キャンパス/札幌市
- 桑原和之・箕輪義隆・今井 優/2016.11/千葉県のシギ・チドリ類の生息場所/2016年度重要生態系監視地域推進事業(モニタリングサイト1000)シギ・チドリ類調査第13回モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査交流会/エッサム本社ビル3Fグリーンホール/東京都
- 桑原和之・箕輪義隆・澤本将太/2016.11/千葉市幕張C浜のシギ・チドリ類/2016年度重要生態系監視地域推進事業(モニタリングサイト1000)シギ・チドリ類調査第13回モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査交流会/エッサム本社ビル3Fグリーンホール/東京都

桑原和之・箕輪義隆・長島 充・野崎 正・富谷健三・長沼和夫・神 伴之・大野美枝子・百目木純子・和田信裕・今井優／2016.11／利根川水系の湿地におけるシギ・チドリ類／2016 年度重要生態系監視地域推進事業（モニタリングサイト 1000）シギ・チドリ類調査第 13 回モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査交流会／エッサム本社ビル 3F グリーンホール／東京都

#### 吹春俊光

吹春俊光・P. Thao NGUYEN・清水公徳・丸山厚吉／2016.9／千葉県、東京都及び富山県で発見された *Parasola* (ナヨタケ科) の 1 新種／日本菌学会第 60 回大会／京都大学農学部／京都府京都市

吹春俊光・清水公徳／2016.9／アンモニア菌類の複合種ザラムシノヒトヨタケの生物地理的分布／日本きのこ学会第 20 回大会／静岡県男女共同参画センター「あざれあ」／静岡県静岡市

#### 倉西良一

斎藤梨絵・加藤慎也・野崎隆夫・倉西良一・東城幸治／2016.7／ヒゲナガカワトビケラの分子系統地理：分子・形態・体表炭化水素組成に基づく隠蔽種の発見／第 13 回 昆虫 DNA 研究会／あがたの森文化会館／長野県松本市

倉西良一／2016.9／ヒゲナガカワトビケラ（ザザムシ）に関する一考察 - 幻のシナノヒゲナガカワトビケラの正体と世界に紹介されたザザムシ -／第 2 7 回信州昆虫学会大会 / 信州大学理学部／長野県松本市

倉西良一／2016.11／シナノヒゲナガカワトビケラの タイプ標本の再検討 / 第 4 0 回水生昆虫研究会／アサヒロッジ／兵庫県養父市

倉西良一／2016.11／水生昆虫 液浸標本の整理保存 に関する一考察／第 4 0 回水生昆虫研究会／アサヒロッジ／兵庫県養父市

#### 新 和宏

新 和宏／2016.2.17／展示室はフィールドへの誘いの場。“本物を利活用する”そこにミュージアムの本質があり、地域の活性化と地域文化創出・発展の起点が芽生える。／全国科学博物館協議会／京都鉄道博物館／京都府京都市

新 和宏／2016.12／「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性 I～ミュージアム側の現状と課題、そして変革～」／JMMA／科学技術館／東京都

新 和宏／2017.3／「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性 II～ミュージアム利用者側の現状と課題、そして変革～」／JMMA／科学技術館／東京都

新 和宏／2016.11／全日本博物館学会 2016 年度第 1 回博物館教育研究招待講演 「変わる大学入試とこれからの博学連携」～大学入試改革の前に、ミュージアム人からの提言～／全日本博物館学会／明治大学アカデミーコモン／東京都

新 和宏／2016.12／海の宝をめぐる学びと体験マリン・ラーニング海と日本プロジェクト「千葉県立中央博物館の事業展開～特に、他機関等とのコラボ事業を中心に～」／海の宝をめぐる学びと体験マリン・ラーニング海と日本プロジェクト（北海道大学大学院水産科学研究院主催）／北海道大学大学院水産科学研究院／北海道函館市

#### 川瀬裕司

川瀬裕司／2016.9／アマミホシゾラフグ *Torquigener albomaculosus* が海底につくる“ミステリーサークル”の位置と初期の形状／日本魚類学会年会／岐阜大学／岐阜県岐阜市

川瀬裕司・近藤滋・Zuben Brown・細田耕・清水正宏・岩井大輔・進寛史・北嶋友喜・水内良／2016.11／アマミホシゾラフグが海底につくる“ミステリーサークル”-最初期の砂の掘り方と完成期の模様のつくり方／日本動物行動学会大会／新潟大学／新潟県新潟市

川瀬裕司／2017.3／アマミホシゾラフグの繁殖生態—これまでに解ったこと・これから調べる—／日本生態学会大会／早稲田大学／東京都新宿区

川瀬裕司／2017.2／磯魚モニタリングプロジェクト (PRFM) で得られた観察記録をいかに有効活用するか？／魚類生態研究会／長崎大学／長崎県長崎市

川瀬裕司／2017.3／磯魚モニタリングプロジェクトの観察記録を OBIS で公開する／東日本魚類生態研究会／東京海洋大学／館山市

#### 立川浩之

立川浩之／2016.6／日本近海で採集された *Gardineria* 属の無藻性イシサンゴの一種（刺胞動物門：花虫綱：イシサンゴ目：Gardineriidae）／日本動物分類学会第 52 回大会。／北海道大学理学部／北海道札幌市

Fujii T, Jimi N and Tachikawa H／2016.11／Free-living scleractinian corals and its associated organisms from shallow water around Ryukyu Islands, Japan／22nd International Congress of Zoology／沖縄コンベンションセンター／沖縄県宜野湾市

#### 奥野淳児

奥野淳児／2016.8／海洋生物への興味を喚起・持続させるためのプログラム—海の博物館における事例—／東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「次世代、次々世代の魚類学者、海洋生物学者を育てるためにボトムアップで今何をなすべきか。アウトリーチと学校教育の融合を目指して」／東京大学大気海洋研究所／柏市

奥野淳児／2016.10／「記載分類学」で創設したタクサのその後—テナガエビ科・サラサエビ科を例として—／日本甲殻類学会第 54 回大会シンポジウム「エビの生物学」／鹿児島大学水産学部／鹿児島県鹿児島市

#### 菊地則雄

菊地則雄・平野弥生・大越健嗣／2017.3／東北地方太平洋沿岸における黄緑藻綱フシナシミドロ属の生育／日本藻類学会第 41 回大会／高知大学／高知県高知市

柴田健介・菊地則雄／2017.3／千葉県勝浦市で確認された希産紅藻ヒメツカサノリの報告／日本藻類学会第 41 回大会／高知大学／高知県高知市

鈴木雅大・北山太樹・菊地則雄・阿部剛史・小亀一弘・宮田昌彦／2017.3／関東地方周辺で絶滅あるいは消息不明の可能性のある海藻／日本藻類学会第 41 回大会／高知大学／高知県高知市

阿部真比古・村瀬 昇・玉城泉也・藤吉栄次・小林正裕・菊地則雄／2017.3／山口県日本海側で採集された紅藻アマノリ

類の生活史について／日本藻類学会第 41 回大会／高知大学／高知県高知市

柳 研介

柳 研介／2016.6／チャレンジャー号探検航海において日本周辺海域から報告されたイソギンチャク類のタイプ標本について／日本動物分類学会第 52 回大会．／北海道大学理学部／北海道札幌市

泉 貴人・柳 研介・藤田敏彦／2016.6／北海道厚岸をタイプ産地とするホソイソギンチャク *Metedwardsia akkeshi* (刺胞動物門：花虫綱：イソギンチャク目) の正体とは／日本動物分類学会第 52 回大会．／北海道大学理学部／札幌市

柳 研介／2016.11／真のダーリアイソギンチャクを探る／第 12 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会／鶴岡市立加茂水族館／静岡県鶴岡市

## 7 外部資金等による研究

### (1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

(ア) 研究課題 データ主導型・発見探索型アプローチによる中・深層性魚類の起源と多様化の解明

- ・研究代表者 宮 正樹
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (B)／一般
- ・開始年度／期間 平成 26 年度／4 年

(イ) 研究課題 博物館における「土地の履歴を読み解く防災教育」の実践

- ・研究代表者 八木令子
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 25 年度／4 年

(ウ) 研究課題 タイプ標本の再検討に基づく日本産イソギンチャク類の分類の確立と同定ツール開発

- ・研究代表者 柳 研介
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 25 年度／4 年

(エ) 研究課題 常緑広葉樹林帯における温帯性樹木の遺存分布と成因に関する保全生物地理学的研究

- ・研究代表者 原 正利
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 25 年度／4 年

(オ) 研究課題 絶滅危惧水生昆虫の遺伝的多様性の評価に基づく再導入・系統保存策の確立

- ・研究代表者 倉西良一
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 27 年度／3 年

(カ) 研究課題 射流堆積物の GPR 測定を用いた 3 次元解析

- ・研究代表者 岡崎浩子
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 27 年度／3 年

(キ) 研究課題 民俗展示の多言語化のための基礎的研究—東アジアの水産資源を素材として

- ・研究代表者 島立理子
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (B)／一般
- ・開始年度／期間 平成 28 年度／4 年

(ク) 研究課題 デジタル教科書用デバイスを活用した野外観察教材の開発

- ・研究代表者 斎木健一
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 28 年度／3 年

(ケ) 研究課題 沿岸内性十脚甲殻類の網羅的探索：環境 DNA によるモニタリングに向けた基盤形成

- ・研究代表者 駒井智幸
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (C)／一般
- ・開始年度／期間 平成 28 年度／3 年

(コ) 研究課題 日本近代動物学初期に収集された哺乳類学標本の内容と行方

- ・研究代表者 下稲葉さやか
- ・研究種目／審査区分 若手 (B)／一般
- ・開始年度／期間 平成 28 年度／3 年

(サ) 研究課題 フグが「ミステリーサークル」を建設するロジックを解明する

- ・研究代表者 川瀬裕司
- ・研究種目／審査区分 新学術領域研究 (研究領域提案型)／公募研究
- ・開始年度／期間 平成 28 年度／2 年

イ 研究分担者

(ア) 研究課題 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー

- ・研究分担者 原 正利
- ・研究代表者 神崎護 (京都大学)
- ・研究種目／審査区分 基盤研究 (A)／一般
- ・開始年度／期間 平成 24 年／5 年

(イ) 研究課題 知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究

- ・研究分担者 林 浩二
- ・研究代表者 小川義和（国立科学博物館）
- ・研究種目／審査区分 基盤研究(S)／一般
- ・開始年度／期間 平成 24 年／5 年
- (ウ) 研究課題 ブナ科樹木を加害するキクイムシ類と共生菌に関する群集生態学的研究
  - ・研究分担者 吹春俊光
  - ・研究代表者 大澤直哉（京都大学）
  - ・研究種目／審査区分 基盤研究(B)／一般
  - ・開始年度／期間 平成 26 年／4 年
- (エ) 研究課題 弥生時代海人集団に関わる学際的研究
  - ・研究分担者 黒住耐二
  - ・研究代表者 杉山浩平（東京大学）
  - ・研究種目／審査区分 基盤研究（B）／一般
  - ・開始年度／期間 平成 26 年／4 年
- (オ) 研究課題 東南アジア熱帯多雨林の起源－遺伝的多様性からたどる第四紀の森林動態
  - ・研究分担者 原 正利
  - ・研究代表者 原田光（愛媛大学）
  - ・研究種目／審査区分 基盤研究(B)／海外
  - ・開始年度／期間 平成 26 年／3 年
- (カ) 研究課題 文化地質学：人と地質学の接点を求めて
  - ・研究分担者 高橋直樹
  - ・研究代表者 鈴木寿志（大谷大学）
  - ・研究種目／審査区分 挑戦的萌芽研究
  - ・開始年度／期間 平成 27 年／2 年
- (キ) 研究課題 彩色塗装のある歴史的木造文化財建造物の加湿温風処理による虫害処理方法の検討
  - ・研究分担者 齊藤明子
  - ・研究代表者 木川りか（九州国立博物館）
  - ・研究種目／審査区分 基盤研究(A)／一般
  - ・開始年度／期間 平成 27 年／3 年
- (ク) 研究課題 古環境の変遷と動・植物利用の諸段階
  - ・研究分担者 黒住耐二
  - ・研究代表者 金原正明（奈良教育大学）
  - ・研究種目／審査区分 新学術領域研究（研究領域提案型）／計画研究
  - ・開始年度／期間 平成 27 年／5 年
- (ケ) 研究課題 民俗展示の多言語化のための基礎的研究－東アジアの水産資源を素材として
  - ・研究分担者 菊地則雄、黒住耐二、後藤亮、駒井智幸
  - ・研究代表者 島立理子（千葉県立中央博物館）
  - ・研究種目／審査区分 基盤研究(B)／一般
  - ・開始年度／期間 平成 28 年／4 年

(2) その他の助成金による研究

ア 研究代表者

- (ア) 研究課題 絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生態学的研究
  - ・研究代表者 菊地則雄
  - ・助成名 平成 28 年度海苔養殖の長期的・基礎的研究に関する助成（一般財団法人海苔増殖振興会）
  - ・助成期間 平成 28 年度
- (イ) 研究課題 東アジア地域における動物関連物質分解に関連する菌類（糞生菌類，アンモニア菌類）の研究
  - ・研究代表者 吹春俊光
  - ・助成名 平成 28 年度 一般研究助成（公益財団法人 発酵研究所）
  - ・助成期間 平成 28～29 年度

イ 研究分担者

- (ア) 研究課題 環境 DNA 分析に基づく魚類群集の定量モニタリングと生態系評価手法の開発
  - ・研究分担者 宮 正樹
  - ・研究代表者 近藤倫生（龍谷大学）
  - ・助成名 戦略的創造研究推進事業（研究領域「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する基盤技術の創出」）(CREST (科学技術振興機構))
  - ・助成期間 平成 25～30 年
- (イ) 研究課題 衛星リモートセンシングによる広域スケール生物多様性モニタリング及び予測手法の開発
  - ・研究分担者 原 正利
  - ・研究代表者 原 慶太郎（東京情報大学）
  - ・助成名 環境研究総合推進費（環境省）
  - ・助成期間 平成 26～28 年
- (ウ) 研究課題 北の海に未知なる生命と生物多様性を探る
  - ・研究分担者 宮 正樹

- ・研究代表者 荒木仁志（北海道大学）
- ・助成名 キヤノン財団研究助成プログラム「理想の追求」（キヤノン財団）
- ・助成期間 平成 26～28 年
- (エ) 研究課題 環境 DNA を用いた陸水生態系種構成と遺伝的多様性の包括的解明手法の確立と実践
- ・研究分担者 宮 正樹
- ・研究代表者 土居秀幸（兵庫県立大学）
- ・助成名 環境研究総合推進費・戦略的研究開発領域・自然共生領域（環境研究総合推進費（環境省））
- ・助成期間 平成 28～30 年

(3) 他機関との共同研究

ア 研究代表者

- (ア) 研究課題 歴史にみる人と自然の関係史
- ・研究代表者 原 正利
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 26～28 年度
- (イ) 研究課題 The research on completely translation of Carl von Linne - Sauvages letters, L0774 and L1763, with special reference to the history of science (カール・フォン・リンネ-ソバージュ書簡(L0774、L1763)の完全翻訳と科学史的研究)
- ・研究代表者 宮田昌彦
- ・機関名 ウプサラ大学（スウェーデン）
- ・期間 平成 27～29 年度
- (ウ) 研究課題 日本産カワノリ科 (Prasiolaceae) の系統分類学的研究
- ・研究代表者 宮田昌彦
- ・機関名 国立水圏科学研究所（ニュージーランド）
- ・期間 平成 27～28 年度
- (エ) 研究課題 館山湾のマクロベントス相の解明
- ・研究代表者 柳 研介
- ・機関名 お茶の水女子大学
- ・期間 平成 28～29 年度

イ 研究分担者

- (ア) 研究課題 アジア地域の植物分類学の研究
- ・研究分担者 天野 誠
- ・研究代表者 池田 博（東京大学総合研究博物館）
- ・機関名 東京大学総合研究博物館
- ・期間 平成 7～28 年度
- (イ) 研究課題 知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究
- ・研究分担者 林 浩二
- ・研究代表者 小川義和（国立科学博物館）
- ・機関名 国立科学博物館
- ・期間 平成 24～28 年度
- (ウ) 研究課題 著しい種内倍数性を示すオトコエシ（オミナエシ科）に関する系統地理学的解析
- ・研究分担者 山本伸子
- ・研究代表者 池田 博（東京大学総合研究博物館）
- ・機関名 東京大学総合研究博物館
- ・期間 平成 25～28 年度
- (エ) 研究課題 歴史にみる人と自然の関係史
- ・研究分担者 加藤久佳、八木令子、小田島高之、島立理子
- ・研究代表者 原 正利（千葉県立中央博物館）
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 26～28 年度
- (オ) 研究課題 Floristic and Biogeographic Study on Lichens from Arid Valley of Jinsha River (金沙江乾燥谷（中国雲南省）における地衣類のフロラと生物地理学的研究)
- ・研究分担者 原田 浩
- ・研究代表者 王 立松（中国科学院昆明植物研究所）
- ・機関名 中国科学院昆明植物研究所
- ・期間 平成 26～29 年度
- (カ) 研究課題 日本歴史のバックアップとメタ資料学の構築
- ・研究分担者 新 和宏、島立 理子
- ・研究代表者 久留島 浩（国立歴史民俗博物館長）
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 26～31 年度
- (キ) 研究課題 日本産固有種オオノアナメ *Agarum oharaense* の系統分類学的研究
- ・研究分担者 宮田昌彦



- ・研究代表者 川井浩史（神戸大学）
- ・機関名 神戸大学
- ・期間 平成 27～28 年度
- (ク) 研究課題 海の生産と信仰・儀礼をめぐる文化体系の日韓比較研究
- ・研究分担者 島立理子
- ・研究代表者 松田睦彦（国立歴史民俗博物館）
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 27～29 年度
- (ケ) 研究課題 フグが「ミステリーサークル」を建設するロジックを解明する
- ・研究分担者 川瀬裕司
- ・研究代表者 川瀬裕司（千葉県立中央博物館分館海の博物館）
- ・機関名 大阪大学
- ・期間 平成 27～29 年度
- (コ) 研究課題 歴史・民俗研究の資源としての映像の制作・保存・共有と歴博型プラットホームの構築
- ・研究分担者 島立理子
- ・研究代表者 内田順子（国立歴史民俗博物館）
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 28～30 年度
- (サ) 研究課題 総合資料学の創成と日本歴史文化に関する研究資源の共同利用基盤構築
- ・研究分担者 新 和宏、島立 理子
- ・研究代表者 西谷 大（国立歴史民俗博物館）
- ・機関名 国立歴史民俗博物館
- ・期間 平成 28～30 年度
- (シ) 研究課題 館山湾のマクロベントス相の解明
- ・研究分担者 柳 研介
- ・研究代表者 柳 研介（千葉県立中央博物館分館海の博物館）
- ・機関名 お茶の水女子大学
- ・期間 平成 28～29 年度
- (ス) 研究課題 小規模島嶼部における先史・原史時代文化適応の考古学的研究
- ・連携研究者 黒住耐二
- ・研究代表者 新里貴之（鹿児島大学）
- ・機関名 鹿児島大学
- ・期間 平成 27～29 年度
- (セ) 研究課題 日本列島と琉球列島における縄文～近世の動物資源利用の広域的比較
- ・連携研究者 黒住耐二
- ・研究代表者 樋泉岳二（明治大学）
- ・機関名 明治大学
- ・期間 平成 27～29 年度
- (ソ) 研究課題 ウォーレスシア海域と環太平洋における人類移住・海洋適応・物質文化の比較研究
- ・研究協力者 黒住耐二
- ・研究代表者 小野林太郎（東海大学）
- ・機関名 東海大学
- ・期間 平成 28 年度
- (タ) 研究課題 サウジアラビア北西部における古代遊牧民の埋葬・祭祀遺跡の研究
- ・研究協力者 黒住耐二
- ・研究代表者 足立拓朗（金沢大学）
- ・機関名 金沢大学
- ・期間 平成 28 年度
- (チ) 研究課題 宮古・八重山地域における先史時代貝斧製作に関する基礎的研究
- ・研究協力者 黒住耐二
- ・研究代表者 宮城弘樹（沖縄国際大学）
- ・機関名 沖縄国際大学
- ・期間 平成 28 年度

## 8 研究交流

### (1) 海外出張

黒住耐二

- ・渡航先 中華人民共和国
- ・渡航目的 稲作文明に関わる新石器時代の貝類利用調査
- ・渡航期間 平成 28 年 9 月 12 日～16 日
- ・備考 科研費

倉西良一

- ・渡航先 カナダ
- ・渡航目的 ロイヤルオンタリオ博物館（Royal Ontario Museum）におけるコレクションマネージメント及び昆虫タイプ標本調査

- ・渡航期間 平成 29 年 1 月 8 日～2 月 16 日
  - ・備考 平成 28 年度学芸員等在外派遣事業
- 島立理子
- ・渡航先 大韓民国
  - ・渡航目的 多言語化にあたっての海産物の韓国語についての調査
  - ・渡航期間 平成 29 年 1 月 23 日～1 月 31 日
  - ・備考 科研費
- 菊地則雄
- ・渡航先 大韓民国
  - ・渡航目的 大韓民国全羅南道の海藻養殖の調査
  - ・渡航期間 平成 28 年 12 月 4 日～10 日
  - ・備考 科研費

## (2) 海外研究者の来訪

孫国平・他 3 名

- ・国籍 中華人民共和国
- ・滞在期間 平成 28 年 5 月 31 日
- ・対応職員 黒住耐二

Karla Jaramillo カルラ・ジャラミロ

- ・国籍 エクアドル
- ・滞在期間 平成 28 年 10 月 20 日～21 日
- ・対応職員 柳 研介

Nguyen Phuong Thao ニュエン・フン・タオ

- ・国籍 ベトナム
- ・滞在期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・対応職員 吹春俊光

Adrian Lister エイドリアン・リスター

- ・国籍 イギリス
- ・滞在期間 平成 29 年 2 月 28 日
- ・対応職員 加藤久佳

## (3) 客員研究員・学会委員・非常勤講師・その他委員の受託

齋木健一

- ・八千代市郷土博物館協議会委員／八千代市教育委員会／平成 28 年 7 月 20 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・「博物館研究」編集委員／日本博物館協会／平成 29 年 1 月 30 日～平成 30 年 1 月 31 日

大庭照代

- ・評議員／日本鳥類保護連盟／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・三番瀬野鳥調査選定審査委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成 29 年 3 月 29 日
- ・理事／日本サウンドスケープ協会／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

岡崎浩子

- ・東京大学大学院新領域創成科学研究科非常勤講師／東京大学大学院／平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日
- ・県立船橋高校 SSH 運営指導委員／県立船橋高校／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・印西市文化財審議委員／印西市教育委員会／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・教科書用図書検定調査審議会地学小委員会／文部科学省／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・銚子ジオパーク講座講師／銚子ジオパーク推進協議会／平成 28 年 6 月 20、7 月 15 日
- ・サイエンスネット課題研究講座講師／千葉県サイエンスネット／平成 28 年 7 月 22 日、8 月 31 日
- ・科学作品展審査委員／千葉県総合教育センター／平成 28 年 10 月 6 日～7 日
- ・千葉シニア自然大学講師／千葉自然学校／平成 29 年 1 月 26 日

八木令子

- ・墨古沢南 I 遺跡調査指導委員／酒々井町教育委員会／平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・国際医療福祉大学非常勤講師／国際医療福祉大学成田看護学部／成田保健医療学部／平成 28 年 6 月 27 日

伊左治鎮司

- ・非常勤講師／千葉大学／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・石川県白山市手取層群化石調査団長／石川県白山市／平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

萩野康則

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成 28 年 4 月 11 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／平成 27 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日
- ・評議員／日本土壌動物学会／平成 28 年 6 月 4 日～平成 30 年 6 月 3 日

駒井智幸

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／平成 27 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日
- ・環境省レッドリスト その他無脊椎動物分科会／環境省自然環境局野生生物課／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・環境省海 RL 甲殻類評価協力者／環境省自然環境局野生生物課／平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成 28 年 4 月 11 日～平成

29年3月31日

- ・レッドデータおきなわ 甲殻類分科会委員／沖縄県環境部自然保護課／平成27年4月1日～3月31日
- ・日本動物分類学会幹事／日本動物分類学会／平成28年1月1日～12月31日
- ・日本動物分類学会評議員／日本動物分類学会／平成28年1月1日～12月31日
- ・日本甲殻類学会評議員／日本甲殻類学会／平成27年1月1日～12月31日

古木達郎

- ・成東・東金食虫植物群落保存検討委員会作業部会委員／成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員長／平成27年4月1日～平成29年3月31日
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月11日～平成29年3月31日
- ・平成27年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会の検討委員／環境省自然保護局／平成28年12月16日～平成29年3月31日
- ・稀少野生動植物保存推進委員／環境省自然保護局／平成27年7月1日～平成30年6月30日

天野 誠

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／平成27年7月1日～平成30年6月30日
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月11日～平成29年3月31日

御巫由紀

- ・木更津市文化財保護審議会委員／木更津市教育委員会／平成24年11月1日～平成28年10月30日・平成28年11月1日～平成30年10月31日
- ・市川市緑の調査専門委員／市川市公園緑地課／平成27年12月15日～平成29年12月14日
- ・国際香りのバラ新品種コンクール審査員／国営越後丘陵公園／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・非常勤講師／千葉大学／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月11日～平成29年3月31日

田邊由美子

- ・非常勤講師／千葉大学文学部／平成28年4月7日～平成29年3月23日
- ・講座講師／東葛北部在宅栄養士会／平成28年5月23日

榎 美香

- ・印西市史編さん委員会委員／印西市教育委員会／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・和洋女子大学非常勤講師／和洋女子大学／平成28年9月20日～平成29年3月31日

糠谷 隆

- ・河川水辺の国勢調査アドバイザー／国土交通省関東地方整備局／平成28年5月1日～平成29年3月31日

豊田佳伸

- ・立正大学文学部非常勤講師／立正大学／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・佐倉市立美術館協議会委員／佐倉市教育委員会／平成28年4月1日～平成29年3月31日

斉藤明子

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討委員会昆虫分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日

黒住耐二

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／平成27年7月1日～平成30年6月30日
- ・八王子市史編集専門部会自然部会専門調査員／八王子市史編集室／平成28年5月1日～平成29年3月31日
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月11日～平成29年3月31日
- ・栃木県立博物館調査研究協力員／栃木県立博物館／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・桑江伊平土地地区画整理事業に係る発掘調査出土品の鑑定指導／沖縄県北谷町教育委員会／平成28年7月19日～22日
- ・首里高校内中城御殿跡出土遺物に関する指導及び助言／沖縄県埋蔵文化財センター／平成28年7月27日～29日
- ・東村跡出土遺物に関する指導及び助言／沖縄県埋蔵文化財センター／平成28年11月9日～11日
- ・平成28年度植物防疫官専門研修（害虫コース）の講師／農林水産省横浜植物防疫所／平成28年11月18日
- ・特別展開連シンポジウム「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」会場コメンテーター／沖縄県立博物館／平成28年12月17日
- ・市川市史編さん調査員／市川市市史編さん／平成29年1月11日～3月31日
- ・『鹿児島大学重点領域研究シンポジウム「奄美・沖縄諸島先史学の最前線」』シンポジウムパネリスト／鹿児島大学／平成29年1月22日
- ・東名遺跡整理作業に伴う調査指導／佐賀市教育委員会／平成29年3月21日～22日
- ・下原洞穴遺跡発掘調査に伴う調査指導／鹿児島県天城町教育委員会／平成29年3月26日～28日

原 正利

- ・千葉大学理学研究科非常勤講師／千葉大学理学研究科／平成28年4月1日～平成29年3月31日

由良 浩

- ・東京大学非常勤講師／東京大学／平成28年4月1日～平成28年9月30日
- ・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員／山武教育委員会／平成27年4月1日～平成29年3月31日
- ・真亀川流域懇談会委員／山武土木事務所／平成28年7月14日～平成29年3月31日

林 浩二

- ・東邦大学理学部非常勤講師／東邦大学理学部／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・星槎大学共生科学部非常勤講師／星槎大学／平成28年4月1日～平成29年3月31日

- ・千葉市少年自然の家事業運営協議会委員／千葉市少年自然の家／平成27年4月1日～平成29年3月31日
- 林 紀男
- ・東邦大学理学部非常勤講師／東邦大学理学部／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県印旛沼水質改善技術検討会植生ワーキンググループ委員／千葉県県土整備部河川環境課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県印旛沼水質改善技術検討会生態系ワーキンググループ委員／千葉県県土整備部河川環境課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県手賀沼水生植物再生事業検討会委員／千葉県環境生活部水質保全課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・都川流域懇談会委員／千葉県千葉土木事務所／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・皇居外苑濠水環境管理検討会委員／環境省自然保護局皇居外苑管理事務所／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・野田市環境影響評価専門委員／野田市環境保全課／平成28年10月1日～平成29年3月31日
- 宮田昌彦
- ・環境省希少野生動植物保存推進員／環境省／平成27年7月1日～平成30年6月30日
  - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月11日～平成29年3月31日
  - ・千葉大学非常勤講師／千葉大学／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・日本応用藻類学会誌 Algal Resources 編集委員／日本応用藻類学会／平成26年4月1日～平成30年3月31日
- 宮野伸也
- ・利根川下流部自然再生モニタリング委員会委員／国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所／平成29年7月1日～平成28年3月31日
- 尾崎煙雄
- ・千葉大学理学部非常勤講師／千葉大学理学部／平成28年4月8日～平成29年3月25日
  - ・環境省委託事業「モニタリングサイト1000里地調査」の検討委員会委員／(公財)日本自然保護協会／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 島立理子
- ・野田市史編さん事業専門委員／野田市／平成28年5月1日～平成29年3月31日
  - ・木更津市史編集委員会委員／木更津市／平成28年5月1日～平成29年3月31日
  - ・木更津市史編集部会部会委員／木更津市／平成28年5月1日～平成29年3月31日
- 桑原和之
- ・重要生態系監視地域モニタリング推進事業(シギ・チドリ類調査に関する検討会委員)／環境省生物多様性センター／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・希少野生動植物種保存推進員／環境省自然保護局野生生物課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉市の鳥・コアジサシの保護についての調査協力／千葉県環境保全課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・ふなばし三番瀬海浜公園に設置する船橋環境学習施設に関わる協力／船橋市政企画課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 吹春俊光
- ・京都大学総合人間学部非常勤講師／京都大学／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・平成28年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会の検討委員／環境省自然保護局／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・希少野生動植物保存推進委員／環境省自然保護局野生生物課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・希少野生動植物種保存推進員／環境省自然保護局野生生物課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト検討委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 倉西良一
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
  - ・シャープゲンゴロウモドキ保全協議会／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 新 和宏
- ・川村女子大学非常勤講師／川村女子大学／平成27年9月16日～平成29年3月31日
  - ・(財)千葉県勝浦海中公園センター評議員／(財)千葉県勝浦海中公園センター会長／平成28年6月1日～平成29年3月31日
- 川瀬裕司
- ・千葉大学大学院理学研究科非常勤講師／千葉大学大学院理学研究科／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 立川浩之
- ・「絶滅のおそれのある海洋生物の選定・評価検討会 サング類分科会」検討委員／(一財)自然環境研究センター／平成28年7月1日～平成29年3月22日
- 菊地則雄
- ・千葉県希少生物及び外来生物リスト作成検討会藻類分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 柳 研介
- ・東京大学大学院新領域創成科学研究科非常勤講師／東京大学大学院新領域創成科学研究科／平成28年4月1日～平成

28年9月30日

・日本動物分類学会評議員／日本動物分類学会／平成28年1月1日～平成29年12月31日

村田明久

・モニタリングサイト1000磯分科会委員／環境省生物多様性センター／平成28年5月1日～平成29年3月31日

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、平成28年度は29名（継続28名、新規1名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
木村陽子	千葉県産の維管束植物相に関する研究	天野 誠	継続
豊谷 純	地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築	大庭照代	継続
西川輝昭	ホヤ類、ギボシムシ類、ホシムシ類の種多様性と地理的分布の研究	奥野淳兒	継続
浅井秀彦	銚子層群の動物化石相	加藤久佳	継続
鈴木 稔	房総半島沿岸域に生育するソゾ属 (Laurencia) 海藻の成分分類学的研究	菊地則雄	新規
木村悟朗	千葉県立中央博物館生態園における蚊類調査	倉西良一	継続
日暮卓志	コガネムシ上科昆虫 (ムネアカセンチュウガネ) の分類と生態	倉西良一	継続
鈴木弘行	東京湾岸の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
箕輪義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
今井 優	草地性鳥類のハビタット評価	桑原和之	継続
斉藤敏一	利根川水系の湿地における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
田尻浩伸	里地、特に農耕地における鳥類相と環境利用	桑原和之	継続
布留川 毅	外房海岸における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
小林裕美	印旛沼・手賀沼の景観変貌と農業経営・野菜行商	白井 豊	継続
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
坂田(福井)歩美	リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
木下靖浩	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
嶋村(高橋)奏恵	ツブノリ科地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	原田 浩	継続
綿貫 攻	日本産スミイボゴケ属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
Nguyen Ohuong Thao	アンモニア菌類・糞生菌類の研究	吹春俊光	継続
富谷朗子	シアノバクテリア-植物共生の多様性	古木達郎	継続
富塚朋子	房総半島における海藻・海草の分類・生態学的研究と民俗植物学的研究	宮田昌彦	継続
大場広輔	タマアジサイの系統解析	宮田昌彦	継続
平野弥生	Medusozoa の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳 研介	継続
佐土哲也	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境DNAの分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
泉 貴人	Anentemonae 亜目イソギンチャクの系統分類学的研究	柳 研介	継続
中村俊彦	生態園植生復元地のい群落動態とコケ植物の変遷に関わる調査研究	古木達郎	継続
横林庸介	印旛沼底泥に含まれる埋土胞子・種子からの発芽による車軸藻類及び水生植物の種の保存並び現場での再生の可能性	宮田昌彦	継続

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、平成28年度は51名（新規4名、継続47名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
森山美恵	博物館音声資料の整理と活用について (カタログ化)	大庭照代	継続
金澤浩美	「中央博生物音響受入管理システム」の再整備と音源データベースの改善について	大庭照代	継続
鈴木典子	自然界の音から音楽へとつなぐ音認識に関する研究	大庭照代	継続
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
松浦良彦	1) 銚子層群の無脊椎動物化石の研究、2) 上総層群万田野砂礫層の古生物相	加藤久佳	継続
時田 徹	三浦層群ならびに上総層群の深海性底生動物化石の研究	加藤久佳	継続
土井 学	伊豆諸島八丈島における国内外来種ニホンイタチの食性	倉西良一	継続
隈部 修	コジュリン等、利根川水系の湿地に生息する鳥類の生態に関する研究	桑原和之	継続
齋藤 修	千葉県産蛾類データベースの構築	斉藤明子	継続
鈴木 勝	千葉県北部地域の昆虫相 (甲虫類)	斉藤明子	継続
大木英雄	房総における初期寺院の成立と展開に関する一考察 -房総における終末期古墳と初期寺院の関わり-	萩原恭一	継続

氏名	研究テーマ	担当	区分
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場分布及び産出石材の用途とその現状調査	高橋直樹	継続
石井良三	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
宇賀神俊一	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
佐藤信和	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
店網美智子	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
野原政雄	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
村山雄三	房総半島南部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
齋藤佐和	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
野口雅治	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
河原敏行	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	継続
木澤武司	砂の鉱物分析	高橋直樹	継続
山田俊弘	リンネコレクションを利用した科学史研究とその教育上の意義について	高橋直樹	継続
山本繁治	千葉石に関する生成環境および生成条件の探求	高橋直樹	継続
関口優紀	千葉石に関する生成環境および生成条件の探求	高橋直樹	継続
本間千舟	南房総市荒川より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
泉 宏子	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
小山内行雄	苗場山の地衣相	原田 浩	継続
加藤裕一	21世紀の森と広場（松戸市）の地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
東 あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	継続
松井宏明	<i>Malmeida</i> 属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類	原田 浩	継続
越智典子	海岸生ダイダイゴケ属 ( <i>Caloplaca</i> ) の形態分類	原田 浩	継続
松崎 務	長野県上田市周辺の地衣類	原田 浩	継続
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田 浩	継続
桑原佑典	地衣類の分類	原田 浩	継続
加藤恵美子	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
成谷 哲	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
山田 茂	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
額賀章夫	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
林 智絵	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
井上佳男	千葉県自然・経済に役立つ微生物の研究	吹春俊光	継続
綾部宏子	迅速測図原図から探る千葉県の景観- 印旛沼周辺を中心に-	白井 豊	継続
吉田文夫	迅速測図原図の「視図」から探る明治10年代の千葉県印旛郡域の石造物	白井 豊	継続
高山高久	アコヤガイの生態と養殖技術に関する研究	黒住耐二	継続
平久亮菜	リュウキュウヒメカタベの形態学的多様性についての研究	黒住耐二	新規
福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境DNAの分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	新規
椎橋健吾	特定外来生物キョンの定着段階が異なる地域での食性比較	下稲葉 さやか	新規
川合正光	茂原-八積湿原とその周辺の水辺の蘚苔類相調査およびホソバオキナゴケの栽培方法の研究	古木達郎	継続
内海陽一	野田市の蘚苔類（コケ植物）誌	古木達郎	継続
山田寛治	千葉県に分布するシャジクモ類と水草の分類、生態に関する調査研究	宮田昌彦	新規

#### ウ 研究生

研究生は、当館職員が大学と連携して研究指導を行う大学・大学院在籍の学生で、平成28年度は1名を受け入れた。

### 9 研究成果の公表・周知

#### (1) 自然誌シンポジウム

学問の発展に寄与すると共に、県民への還元を図るため、専門的なテーマを掲げて学術シンポジウムを開催した。本シンポジウムは、春の展示「石材が語る 火山がつくった日本列島」と関連して開催した。

#### ア テーマ：「火山と石材」

開催日 平成28年5月21日

講演

- 1 「花崗岩石材の利用状況」 乾 睦子（国土館大学）
- 2 「凝灰岩石材の利用状況」 赤司 卓也（中央博サークル ヒスイの会）
- 3 「房州石の切り出しと利用」 鈴木 裕士（金谷ストーンコミュニティ）
- 4 「東北日本弧の火山活動と島弧の成長史」 吉田 武義（東北大学）
- 5 「伊豆・小笠原弧の火山活動と島弧の成長史」 藤岡 換太郎（神奈川大学）

(2) 中央博セミナー

- ①開催日 平成28年12月2日  
発表者 佐山敦史、職員9名によるリレートーク
- ②開催日 平成29年1月18日  
発表者 森田利仁、職員3名によるリレートーク
- ③開催日 平成29年2月22日  
発表者 白井 豊、岡崎浩子、林 紀男、職員7名によるリレートーク
- ④開催日 平成29年3月8日  
発表者 原 正利、職員10名によるリレートーク

(3) うみはくセミナー

- ①開催日 平成28年10月14日  
発表者 奥野淳兒
- ②開催日 平成28年11月18日  
発表者 本吉正宏
- ③開催日 平成29年1月13日  
発表者 柳 研介
- ④開催日 平成29年1月20日  
発表者 村田明久
- ⑤開催日 平成29年2月24日  
発表者 菊地則雄
- ⑥開催日 平成29年3月3日  
発表者 新 和宏
- ⑦開催日 平成29年3月10日  
発表者 川瀬裕司
- ⑧開催日 平成29年3月17日  
発表者 立川浩之

(4) 研究報告の発行

- ①千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号 第10巻 2017年3月25日発行
- ②千葉県立中央博物館自然誌研究報告－人文科学－ 第13巻第2号 2017年3月31日発行

### Ⅲ 展示

#### 第1 本館

##### 1 常設展示

##### (1)常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
房総の地学	嶺岡山地の地質	県の石(鉱物)の説明板	新規追加
房総の地学	房総丘陵の地質	県の石(岩石)の説明板	新規追加
房総の地学	下総台地の地質	県の石(化石)の説明板	新規追加
房総の地学	地震と房総	地震記録	平成28年度に観測された地震(12件)のデータに更新
房総の生物	房総の生物相とその生い立ち	房総半島から新たに採集されたタカラガイ・イモガイ	ヤナギシボリダカラ1個体を追加
房総の生物	房総の生物相とその生い立ち	房総半島から新たに採集されたタカラガイ・イモガイ	ツマムラサキメダカラ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	ハナグモリ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	シラオガイ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	オウギカノコアサリ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	メオニアサリ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	シオツガイ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	オキシジミ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	スクミリンゴガイ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	オオタニシ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	ヒメタニシ1個体を追加
生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	マルタニシ1個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	ベニオトメフデ1個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	オダヤカツクシ1個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	イワカワフデ1個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	オカチョウジガイ1個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	ホソオカチョウジガイ3個体を追加
※生物の分類	無脊椎動物覗きケース	軟体動物門(引き出し)	サツマオカチョウジガイ1個体を追加
生物の分類	房総の化石	鳴り浜の砂(引き出し)	新規追加
生物の分類	房総の化石	国内の砂(引き出し)	新規追加
生物の分類	房総の化石	千葉県の砂(引き出し)	新規追加



展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
生物の分類	房総の化石	海外の砂（引き出し）	新規追加
生物の分類	生物の生活史	タヌキ（映像）	日本のタヌキが固有種か説明するパネルを撤去
小動物	大水槽（アクアリウム）	井水熱交換システムの導	水槽底面の砂礫底に設置した透明なゴムホースに井水を流し込み夏期の水温の制御を実施
小動物	展示小水槽（テラリウム）大水槽（アクアリウム）	LED照明の導入	夏期の室温の制御を照明装置の交換で試みた
小動物	展示小水槽（アクアリウム）	井水導入弁の交換	故障箇所の更新
小動物	展示小水槽（アクアリウム）	濁水事故（井水）の対処法の開発	意図的な揚水ポンプを遮断と汚濁水のバイパスによる排水システムの完成
小動物	展示小水槽（アクアリウム）	イモリの幼体展示	イモリの幼体展示の改良
房総の歴史	近世	産業と交通の発達	展示資料替え
房総の歴史	近代・現代	軍国化と敗戦	展示パネルの英文表記を一部変更

※27年度年報未記載分

## （2）展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器（台数：10台）の貸出を行った。

貸出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出回数	105	120	80	159	222	90	48	63	48	51	100	87	1,173回

## 2 企画展

### （1）驚異の深海生物—新たなる“深”世界へ—

ア 会 期 平成28年7月9日（土）～9月19日（月・祝）〔開催日数：71日間〕

イ 会 場 第1企画展示室、第2企画展示室、展示室廊下など

ウ 主 催 等

（ア）主 催 千葉県立中央博物館

（イ）後 援 立正大学・NHK千葉放送局・千葉テレビ放送・千葉日报社・bayfm78

（ウ）協 力 海洋研究開発機構・京葉銀行・そごう千葉店・千葉銀行・千葉興業銀行・三越千葉店

エ 入 場 者 数 38,060人

オ 担 当 者 駒井智幸、宮 正樹

カ 概 要 水深200mを超える海に生息する深海生物の多様性、神秘的な生態、そしてそれを解き明かす研究の魅力について紹介した。

キ 主な展示資料 オオグスクムシ属3種、ダイオウキジンエビ、メンダコ属3種、ダイオウイカ（レプリカ）、化学合成生物群集を構成する様々な生物種、チョウチンアンコウ類、リュウグウノツカイ（剥製）、サケガンラ（剥製）、調査船舶模型、生態画像パネル、生態映像など

ク 関 連 事 業

（ア）クイズ大会「深海生物で“ギョッ”」 7月24日、8月14日

（イ）「深海のいきものをさわってみよう」 7月10日、18日、9月19日

（ウ）「深海の生きものをつくってみよう」 8月6日、28日

（エ）講演会「もっと知ろうよ、深海生物」 7月31日、8月21日、9月3日

（オ）ミュージアム・トーク 7月16日、17日、23日、30日、8月7日、13日、20日、27日、9月4日、10日、11日、17日、18日

（カ）展示解説 8月15日

ケ 印刷物

（ア）解説リーフレット A3横版半折／4頁／30,000部

（イ）入場券 23,000枚

（ウ）深海生物ノート A4版横折／4頁／15,000部

（エ）ポスター A2版／1頁／550枚

- (オ) チラシ A4版/80,000枚
- コ その他
- (ア) 外部助成  
平成28年度船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

### 3 季節展

#### (1) 春の展示「石材が語る 火山がつくった日本列島」

- ア 会 期 平成28年3月12日(土)～6月5日(日)〔開催日数：57日間(平成28年度)〕
- イ 会 場 第1企画展示室・第2企画展示室
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 9,117名(平成28年度；4月1日～6月5日)
- オ 担 当 者 高橋直樹
- カ 概 要 千葉県周辺で使われている石材を題材にして、日本列島の大地を形づくってきた火山の歴史の変遷を紹介した。特に、房総半島でかつて採掘されていた「房州石」については、岩石や背景の火山活動の特徴とともに、当時の採掘の状況などについて詳しく紹介した。
- キ 主な展示資料 各種石材標本(房州石、小松石、白河石、大谷石、稲田石)、房州石石材切り出し・運搬用具、房州石関係文書類、火山灰はぎ取り標本、箱根火山プロジェクションマッピングなど
- ク 関連事業
  - (ア) 自然誌シンポジウム「火山と石材」5月21日
  - (イ) 観察会 ①「千葉寺周辺石材散歩」4月16日、②「房州石の石切場と鋸山の地質」5月14日
  - (ウ) 体験イベント ①「砂つぶからミニ水晶をひろおう」5月5日、②「おもしろ火山実験」5月28日
  - (エ) ミュージアム・トーク 4月3日、10日、17日、24日、5月1日、8日、15日、22日、29日、6月5日
- ケ 印 刷 物
  - (ア) チラシ A4版/2頁/20,000枚

#### (2) 秋の展示「屏風絵の世界—職人尽絵を中心に—」

- ア 会 期 平成28年10月22日(土)～12月25日(日)〔開催日数：56日間〕
- イ 会 場 第1企画展示室
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 8,682名
- オ 担 当 者 内田龍哉
- カ 概 要 「洛中洛外図屏風」「江戸風俗図屏風」など当館所蔵のさまざまな屏風絵を展示し、屏風絵の魅力に触れていただいた。
- キ 主な展示資料 菱川師宣作「江戸風俗図屏風」(デジタル複製)、「洛中洛外図屏風」(左隻)、「職人尽絵貼り交ぜ屏風」など18件50点
- ク 関連事業
  - (ア) ミュージアム・トーク 10月23日、30日、11月6日、13日、20日、27日、12月4日、11日、18日、25日
  - (イ) 体験イベント「ミニ屏風を作ろう」11月19日ほか
- ケ 印 刷 物
  - (ア) チラシ A4版/10,000枚
  - (イ) 子ども用ワークシート 3種/各150枚
  - (ウ) 展示解説シート 1種/300枚

#### (3) 春の展示「五七五で自然を切り取る—生態園を子どもの目で詠むと—」

- ア 会 期 平成29年3月4日(土)～5月21日(日)〔開催日数：17日間(平成28年度)〕
- イ 会 場 第1企画展示室・生態園オリエンテーションハウス
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 3,106名(平成28年度；3月4日～3月31日)
- オ 担 当 者 林 浩二
- カ 概 要 生態園を歩いた子ども(小学生～高校生)による五七五作品を平成28年11月～12月に募集して、五七五と挿画の短冊作品971点を集め、そのすべてを展示した。一部の作品には関連の標本・学芸員の解説を付した。
- キ 主な展示資料 子どもたちの五七五短冊(挿画付き)全971点、生態園に生息する哺乳類・鳥類の剥製標本、両生類の模型、昆虫標本、植物の写真等、生態園の音声、定点カメラで撮影された動物動画等。生態園オリエンテーションハウスでは会期中、生態園を歩いて作った五七五作品を展示(大人も参加)。
- ク 関連事業
  - (ア) ミュージアム・トーク 3月19日
- ケ 印 刷 物
  - (ア) チラシ

#### 4 生態園トピックス展

##### (1) 蜂の巣いろいろ

- ア 会 期 平成28年7月5日(火)～9月4日(日)〔開催日数：54日間〕  
イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 20,837名  
オ 担 当 者 宮野伸也  
カ 概 要 トックリバチの小さな巣からスズメバチの巨大な巣まで、世界の珍しい巣等、いろいろな蜂の巣を実物と写真で紹介した。  
キ 主な展示資料 泥で作られた巣、竹筒の中に作られた巣、巨大なスズメバチの巣等の実物の巣とともに、それらを作ったハチの標本や写真等。  
ク 関連事業  
(ア) ミュージアム・トーク 7月10日、24日、8月21日  
ケ 印刷物  
(ア) ポスター  
(イ) チラシ

##### (2) 身近な植物にも「へえー」がある

- ア 会 期 平成28年11月8日(火)～平成29年3月5日(日)〔開催日数：95日間〕  
イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 20,698名  
オ 担 当 者 由良 浩  
カ 概 要 ヤブガラシやヨシ等の身近な野草やダイコンやジャガイモ等の野菜に潜む思わず「へえー」と言いたくなる豆知識を、実物や写真、解説パネルで紹介した。  
キ 主な展示資料 ジャガイモやヨシ、クイモの地下茎などの実物、ツツジの花やハツカダイコンの成長する姿を写した写真、解説パネルなど。  
ク 関連事業  
(ア) ミュージアム・トーク 平成28年12月3日、平成29年1月15日、2月12日  
ケ 印刷物  
(ア) ポスター  
(イ) チラシ

#### 5 トピックス展

##### (1) まるごとチーバくん展～ありがとう10周年～

- ア 会 期 平成29年1月11日(水)～1月31日(火)〔開催日数：18日間〕  
イ 会 場 第1企画展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館・総合企画部報道広報課  
エ 入 場 者 数 5,169名  
オ 担 当 者 立和名明美  
カ 概 要 平成29年1月11日で、ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会のマスコットキャラクターとして誕生してから10周年を迎えたチーバくんの活躍を振り返り、資料を展示した。  
キ 主な展示資料 チーバくんの10年間の活動年表。チーバくんの部屋。チーバくん関連グッズ。さかざきはる先生執筆作品。  
ク 関連事業  
(ア) さかざきはる先生トークショー  
①開 催 日 1月11日  
②会 場 2階受付前ホール  
(イ) チーバくんのお誕生日会  
①開 催 日 1月14日、15日  
②会 場 三井アウトレットパーク木更津  
ケ 印刷物  
(ア) チラシ 4版/2,000枚  
(イ) 絵葉書 50,000枚

##### (2) 千葉県立中央図書館・千葉県立中央博物館共同企画 「祝日本遺産 北総四都市江戸巡り」

- ア 会 期 平成29年3月18日(土)～4月9日(日)〔開催日数：12日間(平成28年度)〕  
イ 会 場 第2企画展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央図書館・千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 1,941名(平成28年度：3月18日～3月31日)

オ 担 当 者 内田龍哉  
 カ 概 要 日本遺産「北総四都市江戸紀行」認定を記念し、千葉県立中央図書館及び千葉県立中央博物館が所蔵する四都市に関する資料を展示した。併せて「図書館員おすすめ資料」コーナーを設置した。  
 キ 主な展示資料 「利根川帰雁の図」、「銚港番遊絵巻」、「銚子口大漁満祝ひの図」など23点  
 ク 関連事業  
 (ア) 講演会  
 開催日 3月26日  
 ケ 印刷物  
 (ア) チラシ A4版/10,000枚

## 6 ミニトピックス展

### (1) 地磁気逆転と田淵の地層

ア 会 期 平成28年3月12日(金)～6月5日(土)〔開催日数：57日間(平成28年度)〕  
 イ 会 場 2階受付前ホール  
 ウ 主 催 等  
 (ア) 主 催 千葉県立中央博物館  
 (イ) 協 力 千葉県環境研究センター地質環境研究室  
 エ 入 場 者 数 9,117名(平成28年度会期中本館入場者総数：4月1日～6月5日)  
 オ 担 当 者 岡崎浩子  
 カ 概 要 国際標準模式地として話題の市原市田淵の地層の剥ぎ取り(千葉県環境研究センター地質環境研究室所蔵)を展示した。開催中の「石材が語る一火山がつくった日本列島」に関連して、古期御岳火山からの火山灰がこの地層の年代を知る鍵であることを紹介した。  
 キ 主な展示資料 房州石調査結果(模造紙)

### (2) 子供たちが調べた「房州石」

ア 会 期 平成28年4月1日(金)～6月5日(土)〔開催日数：57日間〕  
 イ 会 場 「房総の地学」展示室前廊下  
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
 エ 入 場 者 数 9,117名(会期中本館入場者総数)  
 オ 担 当 者 高橋直樹  
 カ 概 要 開催中の「石材が語る一火山がつくった日本列島」に関連して、富津市立天神山小学校の児童が房州石について調べた成果を、模造紙4枚で展示した。  
 キ 主な展示資料 房州石調査結果(模造紙)

### (3) 山岳鳥瞰図作家・五百沢智也氏が描いた山 その3 日本各地の火山地形

ア 会 期 平成28年4月1日(土)～6月5日(日)〔開催日数：57日間〕  
 イ 会 場 「房総の地学」展示室前廊下  
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
 エ 入 場 者 数 9,117名(会期中本館入場者総数)  
 オ 担 当 者 八木令子  
 カ 概 要 新しい国民の祝日「山の日」に向けて企画したシリーズ第3弾 「石材が語る一火山がつくった日本列島」に合わせ、日本各地の火山を描いた鳥瞰図を展示した。  
 キ 主な展示資料 鳥瞰図拡大パネルと原画「八ヶ岳西南面」など  
 ク 関連事業 春の展示「石材が語る一火山がつくった日本列島」(3月12日～6月5日)

### (4) 山岳鳥瞰図作家・五百沢智也氏が描いた山 その4 富士山―遠景・中景・近景―

ア 会 期 平成28年6月14日(火)～8月31日(日)〔開催日数：78日間〕  
 イ 会 場 「房総の地学」展示室前廊下  
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
 エ 入 場 者 数 37,154名(会期中本館入場者総数)  
 オ 担 当 者 八木令子  
 カ 概 要 新しい国民の祝日「山の日」に向けて企画したシリーズ第4弾 遠景及び中景に富士山がそびえる絵、近景として富士山頂火口の荒々しい姿を描いた絵などを紹介した。  
 キ 主な展示資料 鳥瞰図拡大パネルと原画「富士山頂を北西方向から見下ろす」など  
 ク 関連事業 ミュージアム・トーク 日時 平成28年8月11日(木)

### (5) 新属新種アワイルカ 千葉県鋸南町で化石発見！

ア 会 期 平成28年7月20日(火)～9月4日(日)〔開催日数：47日間〕  
 イ 会 場 「房総の地学」展示室  
 ウ 主 催 等  
 (ア) 主 催 千葉県立中央博物館  
 (イ) 特別協力 秀明大学・早稲田大学・足寄動物化石博物館

エ 入 場 者 数 27,392名（会期中本館入場者総数）  
オ 担 当 者 伊左治鎮司  
カ 概 要 千葉県鋸南町の千畑層から発見されたイルカ化石が、新属新種アワデルフィス・ヒラヤママイ（和名：アワイルカ）として命名された。そのタイプ標本を中央博物館で初公開した。  
キ 主な展示資料 アワデルフィス・ヒラヤママイ頭骨、歯、肋骨

(5) 千支にちなんで-酉年-

ア 会 期 平成28年12月20日（火）～平成29年1月15日（日）〔開催日数：17日間〕  
イ 会 場 第2企画展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 2,609名（会期中本館入場者総数）  
オ 担 当 者 八木令子  
カ 概 要 平成29年の干支である「酉」にちなんだ様々な生きもの（哺乳類・貝類・植物・蘚苔類・きのこ・地衣類）や鉱物の標本を展示した。  
キ 主な展示資料 ニワトリ、キジなどの鳥類標本、トリガイなどの貝類標本など

(6) 地面の下から新種の昆虫発見！

ア 会 期 平成29年2月17日（金）～3月30日（木）〔開催日数：36日間〕  
イ 会 場 展示室廊下  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 5,059名（会期中本館入場者総数）  
オ 担 当 者 斉藤明子、尾崎煙雄  
カ 概 要 重点研究「房総丘陵の自然—過去、現在、未来—」の一環として実施した清澄山系東京大学千葉演習林での昆虫調査で見つかった新種の昆虫「キヨスミチビシデムシ」について紹介した。  
キ 主な展示資料 キヨスミチビシデムシのタイプ標本、地中トラップの容器

(7) 九十九里の真冬の蟹気楼と日本・世界各地の蟹気楼

ア 会 期 平成29年3月7日（火）～5月21日（日）〔開催日数：22日間（平成28年度）〕  
イ 会 場 展示室廊下  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
エ 入 場 者 数 2,699名（平成28年度会期中本館入場者総数：3月7日～3月31日）  
オ 担 当 者 大木淳一  
カ 概 要 平成28年12月17日・18日に珍しい上位蟹気楼が千葉県九十九里浜で観測されたので、頻繁に観測できる下位蟹気楼とあわせて展示した。これと同時に、日本や世界で観測された珍しい蟹気楼も写真で紹介した。  
キ 主な展示資料 九十九里蟹気楼紹介ポスター1点、蟹気楼写真25点

7 研究紹介展示

(1) 新種のダイオウグソクムシ化石「コミナトダイオウグソクムシ」

ア 会 期 平成28年4月23日（土）～9月19日（月祝）  
イ 担 当 者 加藤久佳

(2) 80年ぶりの再発見！ ツメナガイバラモエビ

ア 会 期 平成28年12月17日（土）～平成29年3月31日（金）  
イ 担 当 者 駒井智幸

8 その他の展示

(1) 3館連携企画作品展覧会（巡回展） ちば生きもの科学クラブ2016

ア 会 期 平成29年1月7日（土）～1月29日（日）〔開催日数：20日間〕  
イ 会 場 展示室前廊下  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、千葉市科学館、千葉市動物公園  
エ 入 場 者 数 5,177名  
オ 担 当 者 幅 大  
カ 概 要 千葉市科学館との連携企画、「ちば生きもの科学クラブ」クラブ生の調査結果をポスターにまとめて掲示した。  
キ 主な展示資料 クラブ生が調査内容をまとめたポスター（40枚程度）

(2) 「生命のにぎわい—生物多様性写真展—」

ア 会 期 ①平成28年3月15日（火）～5月8日（日）〔開催日数：30日間（平成28年度）〕  
②平成29年3月7日（金）～5月7日（日）〔開催日数：22日間（平成28年度）〕  
イ 会 場 展示室前廊下  
ウ 主 催 等  
(ア) 主 催 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター

- (イ) 共 催 千葉県立中央博物館  
 エ 入 場 者 数 ①3,386名(平成28年度各会期中本館入場者総数:4月1日～5月8日)  
 ②2,699名(平成28年度各会期中本館入場者総数:3月7日～3月31日)  
 オ 担 当 者 立和名明美  
 カ 概 要 千葉県多様性センターが運営している「生命のにぎわい調査団」の写真コンテスト応募作品を展示した。  
 キ 主な展示資料 写真パネル

(3) 古い道具とむかしのくらし

- ア 会 期 平成28年1月13日(金)～3月10日(金)[開催日数:51日間]  
 イ 会 場 体験学習室  
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館  
 エ 入 場 者 数 4,800名(会期中本館入場者総数)  
 オ 担 当 者 斎木健一  
 カ 概 要 小学3年生社会科の単元に合わせ、中央博物館が所蔵する古い道具などを体験学習室に展示した。  
 キ 主な展示資料 わら草履・編み笠・火吹き竹・卓袱台・炭火アイロン・選択皿・洗濯板・五玉そろばん・ダイヤル式電話など

9 出前展示

(1) 三島小学校教室博物館

- ア 会 期 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)[開催日数:53日]  
 イ 会 場 君津市立三島小学校  
 ウ 入 場 者 数 520名  
 エ 担 当 者 尾崎煙雄  
 オ 概 要 君津市立三島小学校の余裕教室を借用して資料収集と展示を行う。  
 カ 主な展示資料 房総丘陵産の自然誌標本(昆虫、クモ、植物等)

(2) ディスカバーちばウィークス「驚異の深海生物パネル展」

- ア 会 期 平成28年6月1日(水)～平成28年6月13日(月)[開催日数:13日間]  
 イ 会 場 そごう千葉店  
 ウ 入 場 者 数 65,000名  
 エ 担 当 者 立和名明美  
 オ 概 要 そごう千葉店で開催されたディスカバーちばウィークスに参加し、企画展「驚異の深海生物」のPR展示を行った。  
 カ 主な展示資料 深海生物写真パネル  
 キ 印 刷 物 ポスター(そごう製作)  
 ク 関 連 事 業 体験イベント「深海生物うちわを作ろう」6月5日

(3) 県民の日ちばわくわくフェスタ2016

- ア 会 期 平成28年6月19日(日)[開催日数:1日間]  
 イ 会 場 幕張メッセ国際展示場6ホール  
 ウ 入 場 者 数 12,000名  
 エ 担 当 者 企画調整課員  
 オ 概 要 幕張メッセで行われた、県民の日中央行事に参加した。夏に開催予定の企画展「驚異の深海生物」のPRのため、深海生物の写真パネル展示とともに「チーバくんと深海生物クイズ」、「深海生物輪投げ・的あて」などを実施。併せて大多喜城分館の甲冑試着体験を実施。  
 カ 主な展示資料 深海生物写真パネル等

(4) 千葉県立中央博物館の課外授業 in アリオ蘇我(アリ博)

- ア 会 期 平成28年7月23日(土)～8月28日(金)[開催日数:37日間]  
 イ 会 場 アリオ蘇我モール  
 ウ 入 場 者 数 85,700名  
 エ 担 当 者 伊左治鎮司、立和名明美  
 オ 概 要 近隣の大型商業施設であるアリオ蘇我において、夏休み期間中、博物館の常設展示と企画展をパネルおよび展示物で紹介した期間中は、「チーバくんと深海生物クイズ」などのイベントやプレゼント引換券の配布を行った。  
 カ 主な展示資料 資料8点(トド下顎骨化石、トウキョウホタテ、ゾウの門歯化石、ダイオウグソクムシ類の化石、オオグソクムシ、ハマグリ、測量機器、バカマツタケ)、解説パネル17枚  
 キ 印 刷 物 ポスター・チラシ(アリオ蘇我製作)  
 ク 関 連 行 事 クイズ大会・工作教室 7月30日、8月27日

(5) 写真でみる東京湾干潟の風景

- ア 会 期 平成28年8月9日(火)～平成28年8月14日(日)[開催日数:6日間]

イ 会 場 船橋市民ギャラリー  
ウ 入 場 者 数 514名  
エ 担 当 者 白井 豊  
オ 概 要 協力依頼により、当館所蔵の林辰雄氏撮影写真を展示した。  
カ 主な展示資料 写真 65 点（林辰雄氏撮影の写真：52 点、白井他撮影定点写真：12 点、林辰雄氏の所蔵写真：1 点）  
キ 特 別 講 座 「写真について」 8 月 11 日  
ク 印 刷 物  
（ア）ポスター  
（イ）チラシ

**(6) エコメッセ 2016 in ちば**

ア 会 期 平成 28 年 9 月 22 日（木祝）〔開催日数：1 日間〕  
イ 会 場 幕張メッセ国際会議場  
ウ 入 場 者 数 300 名  
エ 担 当 者 桑原和之  
オ 概 要 中央博物館及び分館で実施している環境教育活動をパネル・実物などで紹介した。  
カ 主な展示資料 環境教育関連パネル 3 枚、生物資料数点、パンフレットなど

**(7) 君津市清和公民館文化祭**

ア 会 期 平成 28 年 10 月 29 日（土）～10 月 30 日（日）〔開催期間：2 日間〕  
イ 会 場 君津市清和公民館  
ウ 入 場 者 数 200 名  
エ 担 当 者 尾崎煙雄  
オ 概 要 君津市清和公民館主催の文化祭で、房総の山のフィールド・ミュージアムを紹介するミニ展示を行った。  
キ 主な展示資料 昆虫標本、哺乳類写真、事業紹介パネルなど

**(8) サイエンスアゴラへの出展（ちば生きもの科学クラブ 2016）**

ア 会 期 平成 28 年 11 月 6 日（日）〔開催日数：1 日間〕  
イ 会 場 東京都江東区台場地区  
ウ 入 場 者 数 100 名  
エ 担 当 者 幅 大  
カ 概 要 お台場東京都立産業技術研究センターにて、「ちば生きもの科学クラブ」の成果を発表するためのポスターセッションを行った。  
キ 主な展示資料 クラブ生が調査内容をまとめたポスター（20 枚程度）

**(9) 第 18 回図書館総合展 自然の音と音環境コレクション**

ア 会 期 平成 28 年 11 月 8 日（日）～10 日〔開催日数：3 日間〕  
イ 会 場 パシフィコ横浜  
ウ 入 場 者 数 120 名  
エ 担 当 者 大庭照代  
オ 概 要 ポスター展示「鳥の声や虫の音を聞く・調べる一身近な自然の思わぬ発見」（運営委員会特別賞受賞）とともに、デジタルミュージアムを利用して、自然の音と音環境コレクションから音を聴かせる実演を行った。  
カ 主な展示資料 中央博資料百選（生物音響資料）、ききみみコレクション、音の標本箱一生態園の生き物、地域の音が出る地図、耳をたよりにプロジェクト、舟田池ライブモニタリングなど

**(10) 森の童話館**

ア 会 期 平成 29 年 2 月 19 日（日）〔開催日数：1 日間〕  
イ 会 場 君津亀山少年自然の家  
ウ 入 場 者 数 350 名  
エ 担 当 者 島立理子  
オ 概 要 博図公連携事業の一環として、「森の中のきのこ」をテーマにパネル展示・きのこのストラップ作りのワークショップを行った。  
カ 主な展示資料 展示パネル 5 枚  
キ ワークショップ きのこのストラップ作り

## 第2 大利根分館

### 1 企画展

#### (1) 江戸時代房総名所めぐり

- ア 会 期 平成28年5月28日(土)～6月26日(日)〔開催日数：30日間〕  
イ 会 場 第3展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館  
エ 入 場 者 数 5,107名  
オ 担 当 者 榎 美香  
カ 概 要 房総とその周辺地域を含む名所絵を一堂に鑑賞する機会を提供するとともに地誌と名所絵の関係性に注目し、相互に深い結びつきがあることを紹介した。  
キ 主な展示資料 「富嶽三十六景 常州牛堀」、「江戸名所図会」「名所江戸百景 鴻の台とね川風景」ほか  
ク 関連事業  
    (ア) 講演会 「名所絵の成立」高橋 寛 6月4日  
ケ 印刷物  
    (ア) チラシ  
    (イ) パンフレット

### 2 テーマ展示

#### (1) トピックス展示「印半纏の世界」

- ア 会 期 平成28年4月1日(金)～5月8日(日)〔開催日数：35日間〕  
イ 会 場 第3展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館  
エ 入 場 者 数 1,017名  
オ 担 当 者 榎 美香  
カ 概 要 屋号や家印を染め抜いた印半纏を紹介。  
キ 主な展示資料 収蔵資料の印半纏

#### (2) 夏休み展示「妖怪になった動物たち」

- ア 会 期 平成28年7月9日(土)～8月28日(日)〔開催日数：44日間〕  
イ 会 場 第3展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館  
エ 入 場 者 数 2,015名  
オ 担 当 者 糠谷 隆、豊田佳伸、桑原和之  
カ 概 要 房総の妖怪伝説とそれにかかわる動物を紹介  
キ 主な展示資料 河童図・キツネ剥製など  
ク 関連事業  
    (ア) ミュージアムトーク  
ケ 印刷物  
    (ア) チラシ

#### (3) 収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし(10月1日からは事前予約開館・出前展示)」

- ア 会 期 平成28年9月10日(土)～平成29年3月17日(金)〔開催日数：156日間〕  
イ 会 場 第3展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館  
エ 入 場 者 数 4,696名  
オ 担 当 者 糠谷 隆  
カ 概 要 小学3年社会科「古い道具とむかしのくらし」に対応した資料の紹介。  
キ 主な展示資料 行燈・電話機・自在カギなど

#### (4) イベント展示「昭和の名車大集合Ⅴ」

- ア 会 期 平成28年11月6日(日)〔開催日数：1日間〕  
イ 会 場 前庭、駐車場、エントランスホール、第3展示室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館  
エ 入 場 者 数 2,238名  
オ 担 当 者 豊田佳伸  
カ 概 要 昭和30～60年代に活躍した昭和の名車(2輪・4輪)83台を紹介  
キ 主な展示資料 スカイライン2000GTRなど  
ク 関連事業  
    (ア) プレ展示(2回・6月)  
ケ 印刷物  
    (ア) チラシ



### 第3 大多喜城分館

#### 1 常設展示

##### (1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
1階ロビー	ロビー展示	花見道具	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	座敷幟	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	黒漆塗金蒔絵外居（丸に違い鷹の羽）	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	采配脇立付筋兜	展示更新
3階展示室	房総の城と城下町	梅樹双雀鏡（重要文化財）	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	鉄地栄螺形兜	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	金梨子地葵紋散本箱	展示更新
2階展示室	房総の城と城下町	十文字槍、脇差（法橋藤原来金道）、長巻（大慶直胤）、白革威腹巻	展示更新
1階ロビー	ロビー展示	ひな人形	展示更新

#### 2 企画展

##### (1) 甦った受難の刀剣～千葉県赤羽刀～

ア 会 期 平成28年10月21日（金）～12月11日（日）〔開催日数：44日間〕

イ 会 場 2階展示室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 入 場 者 数 16,834名

オ 担 当 者 高橋 覚

カ 概 要 第2次世界大戦後、連合国軍最高司令官は、日本国軍隊の敵対行為の停止や武装解除とともに、一般日本国民の所有する一切の兵器を収集し引き渡すよう日本政府に命じました。これにより、膨大な数量の刀剣類が接收され、東京都北区赤羽にあった米第八軍兵器補給廠に集められました。昭和22年、このうち約5,000振が東京国立博物館に移送され一部が所有権者に返還されたものの、大部分は同館に保管されました。このような経緯から接收刀剣類を「赤羽刀」と通称しています。本展では、県内8施設で譲与を受けて所蔵する赤羽刀のうち、代表的なものを選び、一堂に集めて展示し、広く一般県民に公開しました。

キ 主な展示資料 赤羽刀、伝統的拵と軍刀拵、日本刀制作工程の標本など27点

ク 関 連 事 業

(ア) 講演会

(イ) 博物館セミナー

(ウ) 立身流演武

(エ) お茶席

(オ) 展示解説

ケ 印 刷 物

(ア) 図録

(イ) ポスター

(ウ) チラシ

#### 3 テーマ展示

##### (1) 特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」

ア 会 期 ①平成28年4月1日（水）～平成28年4月19日（火）

②平成28年9月15日（木）～10月16日（日）

③平成29年3月16日（木）～3月31日（木）

イ 会 場 1階ホール

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 入 場 者 数 25,800名（各会期入場者総数）

オ 担 当 者 地引尚幸

カ 概 要 房総出身の浮世絵師として知られている菱川師宣の描いた六曲一双の「江戸風俗図屏風」（アメリカ・フリーア美術館蔵）の高精細デジタル複製品を季節に分けて展示し、江戸時代前期の江戸庶民の風俗

を紹介した。

- キ 主な展示資料 江戸風俗図屏風（(高精細複製)左隻（①及び③の期間）・同右隻（②の期間）
- ク 関連事業
- (ア) 展示解説
- ケ 印刷物
- (ア) 解説シート

(2) 収蔵資料展「大多喜城の歴史と絵図」

- ア 会 期 平成28年7月14日（木）～10月16日（日）〔開催日数：82日間〕
- イ 会 場 2階展示室
- ウ 主催等 千葉県立中央博物館大多喜城分館
- エ 入場者数 26,879名
- オ 担当者 加藤修司
- カ 概要 当館が所蔵する資料のうち、房総の城と城下町に係る資料で資料的価値が高いが保存管理面から公開頻度の少ない資料を紹介した。
- キ 主な展示資料 本多忠勝画像、大多喜御城山大絵図、大多喜城大絵図額、遠山景元肖像画、船方往来、五天狗図など41点
- ク 関連事業
- (ア) 展示解説
- ケ 印刷物
- (ア) 展示資料一覧

(3) 特別公開Ⅱ「重要文化財 大薙刀」

- ア 会 期 平成28年12月15日（木）～平成29年2月12日（日）〔開催日数：42日間〕
- イ 会 場 2階展示室
- ウ 主催等 千葉県立中央博物館大多喜城分館
- エ 入場者数 11,073名
- オ 担当者 高橋 覚
- カ 概要 平成23年度に修復を終えた重要文化財の大薙刀を紹介し、歴史的な希少性だけでなく、姿や鍛えの美しさを鑑賞してもらう機会とした。併せて、同時代の関連資料を展示した。
- キ 主な展示資料 大薙刀（伝法城寺）、赤絲威大鎧（複製）、後三年合戦絵巻の3点
- ク 関連事業
- (ア) 展示解説
- ケ 印刷物
- (ア) 解説シート

## 第4 分館海の博物館

### 1 常設展示

#### (1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア	理想郷観察エリア ホワイトボード更新	「理想郷観察エリア」として紹介している鶴原理想郷の最新の様子を更新した（18回）。
展示室	自然観察エリア	磯の観察エリア ホワイトボード更新	「磯の観察エリア」として紹介している博物館前の岩礁海岸で見られる生きものの情報を更新した（12回）。
展示室	こんなのみたよ	アカフクロウニ、クリイロ サンゴヤドカリほか	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した（11回）。
展示室	博物館をとりまく 自然	季節ユニット展示交換	季節ごとにユニット展示を交換した（4回）。
展示室	さまざまな海の姿・ 博物館をとりまく 自然	ユニット展示交換	常設展示のユニット部分を交換した（2回）。
展示室	体験学習 カウンター	トピック展示（ウミウシ 類、タツノオトシゴなど）	観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した（9回）。

### 2 マリンサイエンスギャラリー

#### (1) 毒をもつ海の生きもの—食べるため・食べられないため—

ア 会 期 平成28年2月27日（土）～5月8日（日）〔開催日数：34日間（平成28年度）〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 12,399名（平成28年度分：2月27日～3月31日）

オ 担 当 者 奥野淳兒

カ 概 要 毒をもつ海の生きものと、毒の利用方法について紹介した。

キ 主な展示資料 ミノカサゴ、ヒョウモンダコなど。

ク 印 刷 物

(ア) 展示解説書

(イ) ポスター

(ウ) チラシ

ケ その他

(ア) 外部助成

公益財団法人日本海事科学振興財団（船の科学館・海と船の博物館ネットワーク）支援事業

#### (2) サンゴ礁の生きものたち

ア 会 期 平成29年2月11日（土）～平成29年5月7日（日）〔開催日数：42日間（平成28年度）〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 7,846名（平成28年度：2月11日～3月31日）

オ 担 当 者 立川浩之

カ 概 要 サンゴ礁とそこにすむ生きもの多様性について紹介した。

キ 主な展示資料 有藻性イシサンゴ類、コブシメなど。

関 連 事 業

(ア) 講座「サンゴ礁の生きものたち」

ク 印 刷 物

(ア) リーフレット

(イ) ポスター

(ウ) チラシ

### 3 収蔵資料展

#### (1) 海の絶滅危惧種

ア 会 期 平成28年7月16日（土）～8月31日（水）〔開催日数：45日間〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 17,201名

オ 担 当 者 柳 研介  
カ 概 要 既に絶滅してしまった、または現在絶滅の危機にある海の生きものを紹介した。  
キ 主な展示資料 アオギス、ハマグリなど  
ク 印 刷 物  
（ア）ポスター  
（イ）チラシ

#### 4 その他の展示

##### （1）海のアート展 海の不思議なきもの

ア 会 期 平成28年11月3日（木・祝）～平成29年1月29日（日）〔開催日数：70日間〕  
イ 会 場 研修室  
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館  
エ 入 場 者 数 8,108名  
オ 担 当 者 菊地則雄  
カ 概 要 現代アート作家・木暮奈津子氏が新聞紙で製作した作品を展示した。  
キ 主な展示資料 海の生きものをモチーフにした作品群  
ケ 関 連 事 業 アート展ワークショップ（4回）  
ク 印 刷 物 チラシ

## IV 教育普及

### 第1 本館

#### 1 展示観覧支援

##### (1) 展示解説

##### ア ミュージアムトーク

が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1日2回(①11:00、②14:30)、各回30分程度の解説を通算224回行った。

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加者数
4月2日(土)	千葉県野島の野鳥	桑原和之(環境教育研究科)	「房総の生物」展示室	20人
4月3日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	28人
4月9日(土)	これが花? ふしぎな雄花	奥田昌明(教育普及課)	券売所～生態園	8人
4月10日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	19人
4月16日(土)	千葉県野島の野鳥	桑原和之(環境教育研究科)	生物展示室	33人
4月17日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	26人
4月23日(土)	房総の歴史展示室の一部リニューアルについて	田邊由美子(歴史学研究科)	歴史展示室	12人
4月24日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	八木令子(地学研究科) 小田島高之(房総の山のF・M)	企画展示室	38人
4月29日(金・祝)	収蔵庫できのご標本見学1	吹春俊光(環境教育研究科)	券売所～収蔵庫	15人
5月1日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	11人
5月3日(火・祝)	収蔵庫できのご標本見学2	吹春俊光(環境教育研究科)	券売所～収蔵庫	12人
5月5日(木・祝)	鳥のさえずり	大庭照代(教育普及課)	券売所～生態園	49人
5月7日(土)	春の谷津をのぞいてみよう	天野誠(植物学研究科)	生物展示室	18人
5月8日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	13人
5月14日(土)	5月18日は国際博物館の日・国際植物の日です	林浩二(生態学・環境研究科)	2階ホール、「自然と人間のかかわり」展示室	20人
5月15日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	加藤久佳(地学研究科)	企画展示室	26人
5月21日(土)	鳥のさえずり	大庭照代(教育普及課)	券売所～生態園(野鳥観察舎)	10人
5月22日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	20人
5月28日(土)	谷津田のむらの景観	白井豊(生態学・環境研究科)	「自然と人間のかかわり」展示室	10人
5月29日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	岡崎浩子(地学研究科)	企画展示室	16人
6月4日(土)	6月は環境月間です	林浩二(生態学・環境研究科)	2階案内所など	18人
6月5日(日)	春の展示「石材が語る―火山がつくった日本列島」展示解説	高橋直樹(地学研究科)	企画展示室	33人
6月11日(土)	千葉県野島の野鳥	桑原和之(環境教育研究科)	「房総の生物」「自然と人間のかかわり」展示室	18人
6月12日(日)	バックヤードツアー(花粉)	奥田昌明(教育普及課)	券売所～第一化学分析室	17人
6月18日(土)	房総の貝類	黒住耐二(資料管理研究科)	「房総の地学」「房総の生物」「生物の分類」展示室	9人

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加者数
6月19日(日)	鳥の子育て	大庭照代(教育普及課)	券売所～生態園	9人
6月25日(土)	天保水滸伝の世界	内田龍哉(歴史学研究科)	「房総の歴史」展示室	4人
6月26日(日)	千葉県のカタツムリ	黒住耐二(資料管理研究科)	「生物の分類」展示室	48人
7月2日(土)	台地のむらの景観	白井豊(生態学・環境研究科)	「自然と人間のかかわり」展示室	5人
7月3日(日)	クジラの化石にさわってみよう	伊左治鎮司(企画調整課)	「房総の地学」「生物の分類」展示室	43人
7月9日(土)	食虫植物の世界	古木達郎(植物学研究科)	「房総の生物」展示室	10人
7月10日(日)	生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」展示解説	宮野伸也(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	33人
7月16日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室	30人
7月17日(日)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	宮正樹(生態・環境研究部長)	企画展示室	15人
7月18日(月・祝)	土の中に眠る種子から水草を蘇らせた	林紀男(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	47人
7月23日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	宮正樹(生態・環境研究部長)	企画展示室	16人
7月24日(日)	生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」展示解説	宮野伸也(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	42人
7月30日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	下稲葉さやか(動物学研究科)	企画展示室	45人
7月31日(日)	深海の貝	黒住耐二(資料管理研究科)	企画展示室	53人
8月6日(土)	清澄山の生態系を調べてみよう	天野誠(植物学研究科)	「房総の生物」展示室	40人
8月7日(日)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室	46人
8月11日(木・祝)	「山の日」制定記念・五百沢智也氏が描いた富士山	八木令子(地学研究科)	「房総の地学」展示室	22人
8月13日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	宮正樹(生態・環境研究部長)	企画展示室	41人
8月14日(日)	土の中に眠る種子から水草を蘇らせた	林紀男(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	12人
8月15日(月・祝)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室	42人
8月20日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	萩野康則(動物学研究科)	企画展示室	28人
8月21日(日)	生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」展示解説	宮野伸也(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	33人
8月27日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	宮正樹(生態・環境研究部長)	企画展示室	48人
8月28日(日)	土の中に眠る種子から蘇らせた水草たち	林紀男(生態学・環境研究科)	券売所～生態園	14人
9月3日(土)	深海にすむ貝の化石	伊左治鎮司(企画調整課)	企画展示室～地学展示室	33人
9月4日(日)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室	93人
9月10日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	下稲葉さやか(動物学研究科)	企画展示室	102人
9月11日(日)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	萩野康則(動物学研究科)	企画展示室	72人
9月17日(土)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	宮正樹(生態・環境研究部長)	企画展示室	51人
9月18日(日)	企画展「驚異の深海生物－新たな“深”世界へ」展示解説	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室	56人
9月19日(月・祝)	海とともに消えた稲毛、海気館	相川順子(教育普及課)	「房総の歴史」展示室	11人
9月22日(木・祝)	収蔵庫できのご標本見学	吹春俊光(環境教育研究科)	券売所～収蔵庫	24人

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加者数
9月24日(土)	鳴く虫 (晴天時:生態園。雨天時:閲覧室)	大庭照代(教育普及課)	券売所~生態園/閲覧室他	28人
9月25日(日)	比べてみよう昭和の図鑑	斎木健一(教育普及課)	券売所~閲覧室	7人
10月8日(土)	化石のたまご「ノジュール」のひみつ	加藤久佳(地学研究科)	「房総の地学」展示室	31人
10月9日(日)	土の中の生き物	萩野康則(動物学研究科)	「房総の生物」「生物の分類」展示室	23人
10月10日(月・祝)	藻類とは?	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	「生物の分類」展示室	13人
10月15日(土)	バックヤードツアー(花粉)	奥田昌明(教育普及課)	券売所~収蔵庫	9人
10月16日(日)	比べてみよう最新図鑑	斎木健一(教育普及課)	券売所~閲覧室	24人
10月22日(土)	里山と生物多様性	原田浩(植物学研究科)	「生物の分類」「自然と人間のかかわり」展示室	3人
10月23日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	内田龍哉(歴史学研究科)	企画展示室	31人
10月29日(土)	比べてみよう昔の図鑑	斎木健一(教育普及課)	券売所~閲覧室	8人
10月30日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	豊川公裕(歴史学研究科)	企画展示室	16人
11月5日(土)	生態園の野外観察板めぐり	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	6人
11月6日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	内田龍哉(歴史学研究科)	企画展示室	26人
11月12日(土)	魚の形いろいろ	後藤亮(企画調整課)	「生物の分類」展示室	8人
11月13日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	田邊由美子(歴史学研究科)	企画展示室	13人
11月19日(土)	バックヤードツアー(化石標本)	加藤久佳(地学研究科)	券売所~収蔵庫	25人
11月20日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	内田龍哉(歴史学研究科)	企画展示室	30人
11月23日(水・祝)	地層の模様	岡崎浩子(地学研究科)	「房総の地学」展示室	23人
11月26日(土)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	内田龍哉(歴史学研究科)	「房総の生物」展示室	15人
11月27日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	豊川公裕(歴史学研究科)	企画展示室	24人
12月3日(土)	生態園トピックス展の解説(身近な植物にもへえーがある)	由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	29人
12月4日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	豊川公裕(歴史学研究科)	企画展示室	21人
12月10日(土)	東京湾岸の景観変貌	白井豊(生態学・環境研究科)	「自然と人間のかかわり」展示室	21人
12月11日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	田邊由美子(歴史学研究科)	企画展示室	17人
12月17日(土)	山下りんと工部美術学校	相川順子(教育普及課)	歴史展示室	11人
12月18日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	田邊由美子(歴史学研究科)	企画展示室	13人
12月23日(金・祝)	バックヤードツアー(昆虫DNA研究の現場紹介)	倉西良一(環境教育研究科)	券売所~第一化学分析室	17人
12月24日(土)	12月は地球温暖化防止月間です	林浩二(生態学・環境研究科)	2階ホール、「自然と人間のかかわり」展示室	3人
12月25日(日)	秋の展示「屏風絵の世界」展示解説	内田龍哉(歴史学研究科)	企画展示室	17人
1月7日(土)	お正月のはなし	佐山淳史(教育普及課)	「自然と人間のかかわり」展示室	7人
1月8日(日)	千葉石のはなし	高橋直樹(地学研究科)	「房総の地学」展示室	23人
1月9日(月・祝)	すぐそこにいる?野生のケモノたち	下稲葉さやか(動物学研究科)	「生物の分類」展示室他	21人

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加者数
1月14日(土)	バックヤードツアー(昆虫標本)	斉藤明子(資料管理研究科)	券売所～収蔵庫	37人
1月15日(日)	生態園トピックス展解説	由良浩(生態学・環境研究科)	券売場～生態園オリエンテーションハウス	8人
1月21日(土)	地衣類って何?	原田浩(植物学研究科)	「生物の分類」展示室等	4人
1月22日(日)	コケ植物のくらし	古木達郎(植物学研究科)	「房総の生物」「生物の分類」「自然と人間のかかわり」展示室	3人
1月28日(土)	ルーペを使ってみよう	山本伸子(植物学研究科)	2階ホール	18人
1月29日(日)	藻類とは何か	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	「生物の分類」展示室	10人
2月4日(土)	バックヤードツアー(昆虫標本)	斉藤明子(資料管理研究科)	券売所～第5収蔵庫	34人
2月5日(日)	国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」	古木達郎(植物学研究科)	「房総の生物」展示室	14人
2月11日(土)	バックヤードツアー(遺伝子解析)	栗田隆気(動物学研究科)	展示室	5人
2月12日(日)	生態園トピックス展解説	由良浩(生態学・環境研究科)	券売場～生態園オリエンテーションハウス	14人
2月18日(土)	潮干狩りの貝	黒住耐二(資料管理研究科)	「生物の分類」展示室	30人
2月19日(日)	藻類とは	宮田昌彦(生態学・環境研究科)		5人
2月25日(土)	ルーペを使ってみよう	山本伸子(植物学研究科)	2階ホール	4人
2月26日(日)	バックヤードツアー(昆虫DNA研究の現場紹介)	倉西良一(環境教育研究科)	第1化学分析室	12人
3月4日(土)	地層の模様	岡崎浩子(地学研究科)	「房総の地学」展示室	20人
3月5日(日)	自然災害は忘れた「ところ」にやってくる	八木令子(地学研究科)	「房総の地学」展示室	18人
3月11日(土)	バックヤードツアー(昆虫標本)	斉藤明子(資料管理研究科)	券売所～収蔵庫	30人
3月12日(日)	バックヤードツアー(自然の音と音環境コレクション)	大庭照代(教育普及課)	券売所～閲覧室など	11人
3月18日(土)	魚の形いろいろ	後藤亮(企画調整課)	「生物の分類」展示室	18人
3月19日(日)	春の展示「五七五で自然を切り取る」の解説	林浩二(生態学・環境研究科)	企画展示室	13人
3月20日(月・祝)	海とともに消えた稲毛、海気館	相川順子(教育普及課)	「房総の歴史」展示室	13人
3月25日(土)	カタクリのくらし	大野啓一(自然誌・歴史研究部)		17人
3月26日(日)	学名ってなんだろう?	後藤亮(企画調整課)	「生物の分類」展示室	4人

#### イ 生態園ギャラリートーク

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加人数
4月17日(日)	あなたの発見おしえてください春 撮影会1	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	-
5月1日(日)	あなたの発見おしえてください春 撮影会2	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	15人
5月15日(日)	あなたの発見おしえてください春 撮影会3	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	40人
10月30日(日)	あなたの発見おしえてください秋1	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	6人
11月13日(日)	あなたの発見おしえてください秋2	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	20人
11月27日(日)	あなたの発見おしえてください秋3	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	3人



ウ 中央博調査隊

月日	学校名・団体名	講師	場所	延べ参加人数
6月29日(水)	市原市立戸田小学校(4年生)	雑賀弘之(教育普及課)	展示室	38人
9月8日(木)	君津市坂田小学校(2年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	45人
9月16日(金)	長南町立長南小学校(3・4年生)	雑賀弘之(教育普及課)	展示室	33人
10月13日(木)	星久喜小学校(2年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	107人
10月21日(金)	白井市立池の上小学校(4年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	65人
11月24日(木)	成田高校附属小学校(3年生)	雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール～展示室	40人
1月20日(金)	匝瑳市立共興小学校(4年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	14人
2月3日(金)	千葉市立作新小学校(3年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	80人
2月19日(日)	ボーイスカウト鎌ヶ谷第一団カブ隊	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	18人
2月28日(火)	幕張インターナショナルスクール(2年生)	雑賀弘之(教育普及課)	「房総の生物」展示室	50人
3月1日(水)	ふたば保育園(年長)	雑賀弘之(教育普及課)	「生物の分類」展示室	40人

エ 森の調査隊

月日	学校名・団体名	講師	場所	延べ参加人数
5月6日(金)	千葉市立新宿小学校(3年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	203人
5月10日(火)	千葉市立稲毛小学校(4年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 宮田昌彦(生態学・環境研究科)	生態園	83人
5月13日(金)	千葉市立宮崎小学校(3年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 宮野伸也(生態学・環境研究科)	生態園	155人
5月13日(金)	成田市立桜田小学校(3・4年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 宮野伸也(生態学・環境研究科)	生態園	45人
6月3日(金)	千葉市立小中台南小学校(3年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	84人
6月30日(木)	千葉市立緑町小学校(4年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	94人
11月18日(金)	千葉市立稲毛小学校(4年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	86人
11月22日(火)	船橋市立薬園台小学校(4年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	104人
11月29日(火)	千葉市立宮崎小学校(3年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	152人
1月17日(火)	千葉市立新宿小学校(3年生)	林浩二(生態学・環境研究科) 由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	198人

オ 小動物展示室

月日	タイトル	講師	場所	延べ参加人数
9月24日(土)	小動物展示室で(マムシ等の)給餌観察	倉西良一(環境教育研究科)	小動物展示室	39人

## 2 講座・観察会等の開催

### (1) 講座

#### 地学講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月30日(土)	化石の模型をつくろう①	加藤久佳(地学研究科)	研修室	20人
7月31日(日)	地形模型をつくってみよう①	八木令子(地学研究科)	研修室	24人
8月6日(土)	化石の模型をつくろう②	加藤久佳(地学研究科)	研修室	20人
8月11日(木)	地形模型をつくってみよう②	八木令子(地学研究科)	研修室	22人
8月17日(水)	実験水路を作ろう、使おう	岡崎浩子(地学研究科)	研修室	26人
9月22日(木)	化石発掘たいけん	伊左治鎮司(企画調整課)	研修室・1階入り口	40人
2月11日(土)	信仰巨石を観る 観察技能講座1	八木令子(地学研究科)	研修室	12人
2月12日(日)	信仰巨石を観る 観察技能講座2	八木令子(地学研究科)	研修室	11人
3月11日(土)	岩石薄片をつくろう	高橋直樹(地学研究科)	研修室	22人

#### 動物学講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月15日(水)	見せます!昆虫標本のつくり方	斉藤明子(資料管理研究科)	「生物の分類」展示室	149人
7月17日(日)	昆虫標本のつくり方	斉藤明子(資料管理研究科)	研修室	20人
8月7日(日)	ミツバチと蜂蜜	宮野伸也(生態学・環境研究科)	研修室	22人
9月18日(日)	コウモリを観察しよう	下稲葉さやか(動物学研究科)	研修室~青葉の森公園	12人
9月24日(土)	両生爬虫類を観察しよう	栗田隆気(動物学研究科)	研修室	-
11月6日(日)	土の中の生き物の観察	萩野康則(動物学研究科)	研修室	10人

#### 植物学講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月15日(日)	地衣類の分類①	原田浩(植物学研究科)	研修室	10人
5月21日(土)	国際植物の日記念 進化の証人 シヤジクモ類	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	研修室	6人
6月25日(土)	海藻の押し葉づくり	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	研修室	3人
6月26日(日)	地衣類の分類②	原田浩(植物学研究科)	研修室	10人
8月28日(日)	地衣類の分類③	原田浩(植物学研究科)	研修室	8人
9月25日(日)	地衣類の分類④	原田浩(植物学研究科)	研修室	12人
10月9日(日)	シダ押し葉のしおりづくり	山本伸子(植物学研究科)	研修室	30人
10月23日(日)	地衣類の分類⑤	原田浩(植物学研究科)	研修室	13人
11月26日(土)	バラの歴史 -古今東西のバラの本- (3)	御巫由紀(植物学研究科)	研修室	10人
11月27日(日)	地衣類の分類⑥	原田浩(植物学研究科)	研修室	9人
12月17日(土)	柔らかいきのこの顕微鏡観察	吹春俊光(環境教育研究科)	研修室	10人
12月18日(日)	地衣類の分類⑦	原田浩(植物学研究科)	研修室	10人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
1月15日(日)	帰化植物の名前を調べてみよう	天野誠(植物学研究科)	研修室	17人
1月22日(日)	地衣類の分類⑧	原田浩(植物学研究科)	研修室	10人
1月28日(土)	コケ植物の顕微鏡観察	古木達郎(植物学研究科)	研修室	19人
2月19日(日)	花粉と雄花の不思議な世界	奥田昌明(教育普及課)	研修室	7人
2月26日(日)	地衣類の分類⑨	原田浩(植物学研究科)	研修室	10人
3月12日(日)	地衣類って何?	原田浩(植物学研究科)	研修室	13人
3月19日(日)	地衣類の分類⑩	原田浩(植物学研究科)	研修室	13人

#### 歴史学講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月15日(水)	歴史学講座「千葉県の誕生」	豊川公裕(歴史学研究科)	「房総の歴史」展示室	63人
1月21日(土)	民俗映像上映会-房総に伝わる技術-「醤油樽づくりの技」	豊川公裕(歴史学研究科)	講堂	20人
3月18日(土)	房総の縄文時代	田邊由美子(歴史学研究科)	講堂	40人

#### 環境教育講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月2日(土)	水辺の生き物を考える「鳥類に関して」	桑原和之(環境教育研究科)		12人
4月24日(日)	小動物展示室で給餌観察	倉西良一(環境教育研究科)	小動物展示室	25人
6月26日(日)	景観を探究する1 下総台地の薪炭林化-近世享保期編-	白井豊(生態学・環境研究科)	講堂	19人
7月26日(火)	教員のための博物館の日② ESDでアクティブ・ラーニング	安川裕樹(教育普及課)	講堂～研修室	14人
10月30日(日)	景観を探究する2 下総台地の薪炭林化-近世寛政期編-	白井豊(生態学・環境研究科)	研修室	13人
11月5日(土)	きのこを通して森を見る	吹春俊光(環境教育研究科)	講堂	30人
3月12日(日)	ホテルを取り巻く問題を考える	倉西良一(環境教育研究科)	講堂	71人

#### 生態環境講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月7日(土)	自然の音サロン 春 サウンドウォーク付き	大庭照代(教育普及課)	講堂～生態園	12人
7月9日(土)	自然の音サロン 夏 サウンドウォーク付き	大庭照代(教育普及課)	講堂～生態園	2人
10月8日(土)	自然の音サロン 秋 サウンドウォーク付き	大庭照代(教育普及課)	講堂～生態園	2人
2月11日(土)	自然の音サロン 冬 サウンドウォーク付き	大庭照代(教育普及課)	講堂～生態園	6人
3月18日(土)	ビオトープ実地講座	由良浩(生態学・環境研究科) 林紀男(生態学・環境研究科)	生態園	25人

#### (2) 観察会

##### 地学観察会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月28日(土)	上総層群の化石	伊左治鎮司(企画調整課)	富津市、上総湊港海浜公園	21人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月29日(日)	街中の自然観察1 国分寺崖線を歩く	八木令子(地学研究科)	調布市深大寺～三鷹市大沢	25人
8月6日(土)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹(地学研究科)	富津市上総湊海岸	26人
9月17日(土)	天津小湊の地質と化石	加藤久佳(地学研究科) 伊左治鎮司(企画調整課)	鴨川市小湊～大弁天島	24人
11月19日(土)	山梨県大月周辺の岩石	高橋直樹(地学研究科)	山梨県大月市猿橋周辺	31人
11月27日(日)	街中の自然観察2 都川沿いを歩く	八木令子(地学研究科)	千葉市都川～坂月川流域	15人

#### 植物観察会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月5日(木)	北総の春の植物観察	天野誠(植物学研究科) 古木達郎(植物学研究科) 斎木健一(教育普及課)	成田市下総松崎～栄町龍角寺周辺	29人
5月22日(日)	郊外の地衣類	原田浩(植物学研究科)	市原市柿の木台、いちはらクオードの森	10人
6月18日(土)	潮だまりの海藻	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	鴨川市小湊(鯛の浦の岩礁)	5人
11月5日(土)	北総の秋の植物観察	天野誠(植物学研究科) 古木達郎(植物学研究科)	成田市下総松崎～栄町龍角寺	33人
12月3日(土)	大多喜のコケ植物	古木達郎(植物学研究科)	大多喜町	10人

#### 歴史見学会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月12日(土)	佐倉を訪ねる	内田龍哉(歴史学研究科)	佐倉市(武家屋敷～城址公園)	18人

#### 生態園観察会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月21日(木)	春の植物	原正利(生態・環境研究部)	生態園	10人
5月5日(木)	プランクトンの観察	林紀男(生態学・環境研究科)	生態園(野鳥観察舎)	104人
6月16日(木)	初夏の植物	林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	11人
9月10日(土)	水草を触って比べよう	林紀男(生態学・環境研究科)	研修室、生態園	25人
9月17日(土)	生態園の藻類観察(中央博サークル海藻倶楽部 観察会を兼ねる)	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	生態園	4人
10月20日(木)	秋の植物	由良浩(生態学・環境研究科)	生態園	7人
2月16日(木)	早春の植物	山本伸子(植物学研究科)	生態園	10人

#### 山の学校

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月16日(土)	山の学校 127 春の山の生きもの	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	君津市清和県民の森	37人
5月21日(土)	山の学校 128 初夏の里の生きもの	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	君津市正木、三島小学校周辺	21人
6月18日(土)	山の学校 129 川の生きもの1	尾崎煙雄(房総の山のF・M) 小田島高之(房総の山のF・M) 島立理子(房総の山のFM)	清和県民の森	80人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月16日(土)	山の学校130 川の生きもの2	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	君津市清和県民の森	-
8月20日(土)	山の学校131 川の生きもの3	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	君津市清和、小糸川上流	-
9月17日(土)	山の学校132 初秋の里の生きもの	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	君津市立三島小学校周辺	44人

#### 房総の山の観察会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月23日(土)	夏の山の昆虫	尾崎煙雄(房総の山のF・M) 斉藤明子(資料管理研究科)	君津市清和県民の森	20人
10月23日(日)	房総の里を歩く4—木更津周辺—	小田島高之(房総の山のF・M)	木更津市街～太田山公園	22人
11月13日(日)	トドの化石をみつけよう	小田島高之(房総の山のF・M) 加藤久佳(地学研究科)、伊左 治鎮司(企画調整課)、大木淳 一(房総の山のF・M)	梅ヶ瀬溪谷(市原市朝生 原)	39人
12月10日(土)	泥だんごで学ぶ地質学	大木淳一(房総の山のF・M)	君津市清和	10人

#### (3) 企画展「驚異の深海生物」関連行事

##### 講演会「もっと知ろうよ、深海生物」

日 時 ①平成28年7月31日(日) 13:30～15:30  
②平成28年8月21日(日) 13:30～15:30  
③平成28年9月3日(日) 13:30～15:30

会 場 講堂

講 師 ①窪寺恒己(国立科学博物館)  
②芝崎 望(立正大学)  
③土田真二(海洋研究開発機構)

内 容 ①「深海に潜む大きなイカ類 —マッコウクジラから最新テクノロジーで謎に迫る—」  
②「深海の宝物 宝石サンゴ」  
③「深海への挑戦」

参加人数 ①151人、②53人、③83人

##### 小学館合同企画「図鑑 NEO であそぼう —海の生き物」

日 時 ①平成28年7月9日(日) 14:00～14:45、15:00～15:45  
②平成28年7月10日(日) 14:00～14:45、15:00～15:45

会 場 1階ホール

講 師 後藤亮(企画調整課)

参加人数 178人

##### 深海の生きものにさわってみよう

日 時 ①平成28年7月10日(日) 10:00～11:00、11:00～12:00  
②平成28年7月18日(日) 10:00～11:00、11:00～12:00  
③平成28年9月19日(日) 10:00～11:00、11:00～12:00

会 場 研修室

講 師 駒井智幸(動物学研究科)  
宮正樹(生態・環境研究部長)

参加人数 ①95人、②93人、③124人

##### クイズ大会「深海生物で“ギョッ”」

日 時 ①平成28年7月24日(日) 13:00～14:00、14:30～15:30  
②平成28年8月14日(日) 13:00～14:00、14:30～15:30

会 場 講堂

講 師 さかなクン

駒井智幸(動物学研究科)

宮正 樹（生態・環境研究部長）

参加人数 ①300人、②317人

深海の生きものをつくってみよう

日 時 ①平成28年8月6日（日）13:30～14:30、14:30～15:30

②平成28年8月28日（日）13:30～14:30、14:30～15:30

会 場 1階ホール

講 師 駒井智幸（動物学研究科）

参加人数 ①80人、②91人

（4）春の展示「石材が語る ー火山がつくった日本列島ー」関連行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月16日（土）	千葉寺周辺石材散歩	高橋直樹（地学研究科）	千葉市中央区、千葉寺周辺	17人
5月5日（木）	砂つぶからミニ水晶をひろおう	高橋直樹（地学研究科）	1階ホール	75人
5月14日（土）	房州石の石切場と鋸山の地質	高橋直樹（地学研究科）	富津市金谷・鋸山	27人
5月21日（土）	自然誌シンポジウム 「火山と石材」	高橋直樹（地学研究科）	講堂	85人
5月28日（土）	おもしろ火山実験	高橋直樹（地学研究科）	研修室	11人

（5）トピックス展関連行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月9日（土）	「生命のにぎわい写真展」 ギャラリートーク	御巫由紀（植物学研究科）	第2企画展示室	7人
12月21日（水）	四街道自然愛好会②（干支展）	桑原和之（環境教育研究科）	第2企画展示室	4人
12月22日（木）	「干支展」 展示解説	八木令子（地学研究科） 天野誠（植物学研究科） 高橋直樹（地学研究科） 桑原和之（環境教育研究科）	第2企画展示室	13人

（6）ミニトピックス展「古い道具と昔の暮らし展」関連行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
1月20日（金）	千葉市立松ヶ丘小学校	田中努（教育普及課）	たいけんのもり	53人
3月2日（木）	千葉市立蘇我小学校3年	田中努（教育普及課）	たいけんのもり	140人

（7）講演会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月18日（月）	北海道大学共催イベント 講演会 「海の世界ー海藻博士」	宮田昌彦（生態学・環境研究科）	講堂～1階ホール	110人
12月25日（日）	きのこ講演会	吹春俊光（環境教育研究科）	講堂	85人
3月26日（日）	講演会「北総四都市江戸巡り」	内田龍哉（歴史学研究科）	講堂	50人

（8）体験イベント・特別企画

春の特別イベント

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月23日（土）	これが花？ ふしぎな雄花の世界	奥田昌明（教育普及課）	生態園～青葉の森公園	7人

連休特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(金)	火おこしを体験しよう	田邊由美子(歴史学研究科)	1階入り口	47人
5月3日(火)	本物の化石にさわってみよう	伊左治鎮司(企画調整課)	1階ホール	139人
5月4日(水)	石を割ってみよう	高橋直樹(地学研究科)	1階入り口	68人
5月4日(水)	体験!身近な植物と虫の不思議	由良浩(生態学・環境研究科) 原正利(生態・環境研究部) ほか	生態園オリエンテーションハウス	184人

県民の日特別イベント

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月15日(水)	砂絵-ナウマン博士を作ろう-	岡崎浩子(地学研究科)	2Fホール	179人

夏休み特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月23日(土)	夏休み自由研究相談会(前編)	—	1階ホール	23人
8月13日(土)	カードケースで地層をつくろう	岡崎浩子(地学研究科)	研修室	21人
8月19日(金) ・20日(土)	夏休み自由研究相談会(後編)	—	1階ホール	57人

秋の特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
9月17日(土)	生態園スタンプラリー	由良浩(生態学・環境研究科) 林浩二(生態学・環境研究科)	生態園	44人
11月3日(木)	体験!身近な植物と虫の不思議	由良浩(生態学・環境研究科) 大野啓一(自然誌・歴史研究部)	生態園	310人
11月19日(土)	ミニ屏風をつくろう	田邊由美子(歴史学研究科)	2階ホール	24人

文化の日特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月3日(木)	自然誌フェスタ千葉	—	1階ホールなど	674人

チーバくんイベント

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月30日(土)	チーバくんと博物館たんけん! 火山をしらべよう	雑賀弘之(教育普及課)	2階ホール・企画展示室	50人
7月20日(水)	チーバくんの博物館ツアー②(中央博物館)	伊左治鎮司(企画調整課)	1階ホール～展示室	90人
7月27日(水)	チーバくんの博物館ツアー③(中央博物館)	伊左治鎮司(企画調整課)	1階ホール～展示室	89人
8月3日(水)	チーバくんの博物館ツアー⑤(中央博物館)	山本伸子(植物学研究科) 雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール～展示室	140人
8月10日(水)	チーバくんの博物館ツアー⑥(中央博物館)	黒住耐二(資料管理研究科) 雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール～展示室	117人
8月11日(木)	チーバくんと作る深海魚キーホルダー	雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール	80人
8月17日(水)	チーバくんの博物館ツアー⑦(中央博物館)	豊川公裕(歴史学研究科) 雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール～「房総の歴史」展示室	140人
8月24日(水)	チーバくんの博物館ツアー⑧(中央博物館)	吹春俊光(環境教育研究科) 雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール～「自然と人間のかかわり」展示室	123人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月18日(日)	チーバくんとすごすクリスマス① オーナメントづくり	雑賀弘之(教育普及課)	1階ホール	56人
12月18日(日)	チーバくんとすごすクリスマス② クリスマスお散歩〜クイズ大会	雑賀弘之(教育普及課)	本館入口前〜青葉の森公園	70人
1月11日(水)	チーバくんお誕生会イベント	立和名明美(企画調整課)	講堂	240人

千葉市科学館・千葉市動物公園との共同企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月11日(土)	ちば生きもの科学クラブ(サルに関する講座)	後藤亮(企画調整課)	研修室	32人

はっけん! マイルキッズ

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月3日(日)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	10人
4月9日(土)	貝合せをしよう	体験交流員(吉田)	体験学習室	4人
4月23日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	7人
4月29日(金)	貝合せをしよう	体験交流員(吉田)	体験学習室	4人
5月1日(日)	貝合せをしよう	体験交流員(吉田)	体験学習室	6人
5月3日(火)	ダンゴムシのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	4人
5月4日(水)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	15人
5月7日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	13人
5月14日(土)	ダンゴムシのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	3人
5月15日(日)	貝合せをしよう	体験交流員(吉田)	体験学習室	7人
5月22日(日)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	2人
5月28日(土)	ダンゴムシのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	14人
6月5日(日)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	12人
6月11日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	5人
6月12日(日)	たからがいのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	13人
6月18日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	6人
6月19日(日)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	5人
6月25日(土)	たからがいのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	9人
7月2日(土)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	11人
7月3日(日)	たからがいのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	15人
7月16日(土)	深海絵本のよみきかせ めんだこ	体験交流員(吉田)	体験学習室	22人
7月16日(土)	にじいろのさかな うみのそののぼうけん	体験交流員(田中)	体験学習室	12人
7月18日(月)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	10人
7月23日(土)	しんかいたんけん! マリンスノー	体験交流員(田中)	体験学習室	3人



月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月30日(土)	深海絵本のよみきかせ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	14人
7月31日(日)	深海絵本のよみきかせ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	16人
8月6日(土)	しんかいたんけん! マリンスノー	体験交流員(田中)	体験学習室	20人
8月7日(日)	深海絵本のよみきかせ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	17人
8月20日(土)	しんかいたんけん! マリンスノー	体験交流員(田中)	体験学習室	26人
8月21日(日)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	6人
8月27日(土)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	11人
8月28日(日)	しんかいてんをみてきたよ	体験交流員(吉田)	体験学習室	28人
9月3日(土)	しんかいたんけん! マリンスノー	体験交流員(田中)	体験学習室	16人
9月4日(日)	なぞの深海生物	体験交流員(吉田)	体験学習室	21人
9月10日(土)	タカラガイのストラップ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	19人
9月11日(日)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	20人
9月17日(土)	タカラガイのストラップ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	14人
9月18日(日)	しんかいたんけん! マリンスノー	体験交流員(田中)	体験学習室	12人
9月19日(月)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	12人
9月22日(木)	タカラガイのストラップ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	15人
9月25日(日)	くじら号ちきゅう大ぼうけん	体験交流員(勝部)	体験学習室	8人
10月8日(土)	タカラガイのストラップ カラフルイカをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	10人
10月9日(日)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	13人
10月10日(月)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	11人
10月15日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	4人
10月16日(日)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	4人
10月22日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	11人
10月23日(日)	タカラガイのストラップをつくろ う	体験交流員(吉田)	体験学習室	4人
10月29日(土)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	6人
10月30日(日)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	8人
11月5日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	9人
11月6日(日)	タカラガイのストラップをつくろ う	体験交流員(吉田)	体験学習室	18人
11月12日(土)	たいけん 液状化	体験交流員(田中)	体験学習室	7人
11月13日(日)	タカラガイのストラップをつくろ う	体験交流員(吉田)	体験学習室	13人
11月19日(土)	たいけん! 液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	12人
11月20日(日)	タカラガイのストラップをつくろ う	体験交流員(吉田)	体験学習室	15人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月23日(水)	たいけん!液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	11人
11月26日(土)	タカラガイのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	3人
11月27日(日)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	5人
12月3日(土)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	2人
12月4日(日)	はっぱでおえかき	体験交流員(吉田)	体験学習室	6人
12月10日(土)	たいけん!液状化	体験交流員(勝部)	体験学習室	8人
12月11日(日)	はっぱでおえかき	体験交流員(吉田)	体験学習室	11人
12月17日(土)	はっぱでおえかき	体験交流員(吉田)	体験学習室	1人
12月23日(金)	親子でつくる マツボックリ・ツリー	体験交流員(吉田)	体験学習室	8人
12月24日(土)	親子でつくる マツボックリ・ツリー	体験交流員(勝部)	体験学習室	7人
12月25日(日)	親子でつくる マツボックリ・ツリー	体験交流員(勝部)	体験学習室	10人
1月7日(土)	お正月あそび(ふくわらい)	体験交流員(田中)	体験学習室	12人
1月8日(日)	チーバくんふるさとことばカルタをしよう	体験交流員(勝部)	体験学習室	5人
1月9日(月)	チーバくんふるさとことばカルタをしよう	体験交流員(勝部)	体験学習室	9人
1月14日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	11人
1月15日(日)	チーバくんふるさとことばカルタをしよう	体験交流員(勝部)	体験学習室	9人
1月21日(土)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	15人
1月28日(土)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	14人
1月29日(日)	やいかがしをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	12人
2月4日(土)	チーバくん ふるさとことばカルタをしよう	体験交流員(勝部)	体験学習室	9人
2月5日(日)	カメのおりがみ	体験交流員(田中)	体験学習室	26人
2月11日(土)	はまぐりでおひな様をつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	12人
2月12日(日)	チーバくん ふるさとことばカルタをしよう	体験交流員(勝部)	体験学習室	10人
2月18日(土)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	28人
2月25日(土)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	-
2月26日(日)	はまぐりでおひな様をつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	12人
3月4日(土)	はまぐりでおひな様をつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	11人
3月5日(日)	だんごむしのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	13人
3月11日(土)	うごくカワセミをつくろう	体験交流員(田中)	体験学習室	12人
3月12日(日)	タカラガイのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	18人
3月18日(土)	だんごむしのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	7人
3月19日(日)	石に絵をかこう	体験交流員(田中)	体験学習室	5人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
3月20日(月)	だんごむしのころちゃん	体験交流員(勝部)	体験学習室	10人
3月25日(土)	タカラガイのストラップをつくろう	体験交流員(吉田)	体験学習室	8人
3月26日(日)	うごくカワセミをつくろう	体験交流員(田中)	体験学習室	5人

### 3 アウトリーチ支援

#### (1) 学校対象(館内で実施した博物館学習を含む)

##### 幼稚園・保育園

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	参加者数
6月9日(木)	ふたば保育園 (環境に関する教員研修)	千葉市緑区(ふたば保育園)	林浩二(生態学・環境研究科)	11人
11月2日(水)	明德短期大学附属幼稚園 (活動支援)	研修室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	99人
11月22日(火)	千葉市立坂月保育所 年長組 (活動支援)	体験学習室～展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	20人
3月2日(木)	千葉市磯辺保育所	1階ホール～展示室	斎木健一(教育普及課)	27人

##### 小学校

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	参加者数
5月6日(金)	千葉市立星久喜小学校6年生(歴史学習支援①)	1階ホール～「房総の歴史」展示室	安川裕樹(教育普及課)	38人
5月11日(水)	千葉市立星久喜小学校6年生(歴史学習支援②)	1階ホール～「房総の歴史」展示室	安川裕樹(教育普及課)	75人
6月3日(金)	八重原小学校(君津市スクールミュージアム「プールの水生生物」①)	君津市立八重原小学校プール	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	56人
6月8日(水)	坂畑小学校(君津市スクールミュージアム「プールの水生生物」②)	君津市立坂畑小学校プール	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	59人
6月8日(水)	琴丘小学校(八郎潟流域環境学習①)	秋田県三種町立琴丘小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	41人
6月8日(水)	井川小学校(八郎潟流域環境学習②)	秋田県井川町立井川小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	47人
6月9日(木)	八郎潟小学校(八郎潟流域環境学習③)	秋田県八郎潟小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	52人
6月9日(木)	東湖小学校(八郎潟流域環境学習④)	秋田県東湖小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	26人
6月10日(金)	美里小学校(八郎潟流域環境学習⑤)	秋田県美里小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	28人
6月10日(金)	浜口小学校(八郎潟流域環境学習⑥)	秋田県浜口小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	28人
7月15日(金)	三鷹市立高山小学校(5年生理科ミジンコ教室)	東京都(三鷹市立高山小学校)	林紀男(生態学・環境研究科)	110人
9月14日(水)	千葉市立本町小学校3年生	講堂～展示室	斎木健一(教育普及長) 倉西良一(環境教育研究科)	55人
11月2日(水)	佐倉市立染井野小学校(4年生総合学習授業(ビオトープ))	佐倉市立染井野小学校	林紀男(生態学・環境研究科)	32人
11月15日(火)	横芝光町立日吉小学校6年生	展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	7人
11月16日(水)	千葉盲学校 小学部	1階ホール～収蔵庫	安川裕樹(教育普及課)	10人
11月16日(水)	千葉市立星久喜小学校5年生	講堂	安川裕樹(教育普及課)	38人
11月18日(金)	坂畑小学校(君津市スクールミュージアム「東大千葉演習林見学」)	君津市立坂畑小学校～東大千葉演習林	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	18人
11月18日(金)	柏市立高田小学校4年生	講堂	安川裕樹(教育普及課)	101人
11月18日(金)	市原市立有秋西小学校5年生	研修室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	45人

中学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	参加者数
4月20日（水）	千代田区立九段中学校	1階ホール～展示室	安川裕樹（教育普及課）	170人
4月27日（水）	千代田区立神田一橋中学校1年生	1階ホール～展示室	安川裕樹（教育普及課）	94人
6月8日（水）	小櫃中学校（君津市スクールミュージアム「プールの水生生物」③）	君津市立小櫃中学校プール	尾崎煙雄（房総の山のF・M）	37人
6月26日（日）	千代田区立九段中学校	1階ホール～展示室	安川裕樹（教育普及課）	170人
7月22日（金）	成田市立公津の杜中学校（科学部）	第5収蔵庫	桑原和之（環境教育研究科） 奥田昌明（教育普及課）	17人
7月23日（土）	千代田区立神田一橋中学校1年生	1階ホール～展示室	安川裕樹（教育普及課）	94人
10月4日（火）	八街北中学校（科学部学習会）	八街北中学校	倉西良一（環境教育研究科）	24人
10月30日（日）	白百合学園中学高等学校	研修室～「房総の生物」 展示室～生態園	林浩二（生態学・環境研究科）	5人
11月1日（火）	城北学園城北中学校・高等学校（化学部）	研修室～「房総の生物」 展示室～生態園	安川裕樹（教育普及課）	27人
11月2日（水）	千葉県立千葉盲学校 中等部（学習支援）	研修室など	安川裕樹（教育普及課）	26人
11月13日（日）	未来の科学者育成プログラム Jr	泉自然公園（千葉市若葉区）	斎木健一（教育普及課）	40人
11月20日（日）	君津市立亀山中学校第1年生（房総丘陵の地質と岩石の学習）	清和県民の森など	大木淳一（房総の山のF・M）	9人
11月29日（火）	小櫃中学校（君津市スクールミュージアム「プールの水生生物」③）	君津市立小櫃中学校プール	尾崎煙雄（房総の山のF・M）	37人
12月9日（金）	一ツ葉高等学校 学習支援	1階ホール～展示室	安川裕樹（教育普及課）	19人
1月31日（火）	千葉県立千葉中学校（千葉県北部の景観と人々の暮らし）	講堂～「自然と人間のか かわり」展示室	安川裕樹（教育普及課）	86人
3月22日（水）	千葉中学校向け授業「植物生態学とこれまでの歩み」	講堂	由良浩（生態学・環境研究科）	165人
3月23日（木）	君津市立亀山中学校第1年生（房総丘陵の地質と岩石の学習）	清和県民の森など	大木淳一（房総の山のF・M）	9人

高等学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	参加者数
6月26日（日）	千葉県立柏高等学校（県立柏高校スーパーサイエンスハイスクール）「イボニシの研究」	閲覧コーナーほか	黒住耐二（資料管理研究科）	4人
11月19日（土）	地学オリンピック	研修室・収蔵庫	高橋直樹（地学研究科） 加藤久佳（地学研究科）	20人

特別支援学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	参加者数
4月27日（水）	仁戸名特別支援学校（博物館学習「昆虫のふしぎ」）	仁戸名特別支援学校	斉藤明子（資料管理研究科）	20人
6月8日（水）	校外学習（千葉市立天戸中学校 特別支援）	生態園・野鳥観察舎	林浩二（生態学・環境研究科）	16人
9月20日（火）	学習支援（県立千葉盲学校 小学部）	研修室など	天野誠（植物学研究科） 大庭照代（教育普及課）	10人

大学

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	参加者数
4月16日（土）	千葉大学文学部（博物館学実習）	収蔵庫	田邊由美子（歴史学研究科）	13人
5月7日（土）	千葉科学大学	1階ホール～展示室	高橋直樹（地学研究科）	22人

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	参加者数
5月15日(日)	東京成徳大学博物館実習(学習支援)	講堂～「房総の歴史」展示室	安川裕樹(教育普及課)	8人
5月15日(日)	自由学園最高学部(自然探索実習)	1階ホール～展示室～生態園	黒住耐二(資料管理研究科)	16人
5月22日(日)	日本獣医生命科学大学(博物館学芸員課程 見学実習)	研修室～液浸収蔵庫～生態園	黒住耐二(資料管理研究科)	20人
6月4日(土)	秀名大学 学校教師学部(博物館学習)	研修室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	9人
8月6日(土) ・7日(日)	千葉大学理学部(博物館実習A(ナチュラル・ヒストリー))	1階ホール～生態園	林浩二(生態学・環境研究科)	6人
8月26日(金)	千葉経済大学	展示室	島立理子(房総の山のFM主)	10人
9月27日(火)	東邦大学理学部 教職課程	展示室	林浩二(生態学・環境研究科)	6人
10月15日(土) ・16日(日)	星槎大学スクリーニング(環境学習入門・自然環境調査法入門)	研修室～生態園	林浩二(生態学・環境研究科)	8人
10月23日(日)	東邦大学理学部教職課程1年生	講堂～生態園	熊谷宏尚(千葉県生物多様性センター)、林浩二(生態学・環境研究科)	21人
11月11日(金)	日本大学 通信教育学部3・4年生	1階ホールなど	相川順子(教育普及課) 駒井智幸(動物学研究科)	11人
11月13日(日)	江戸川大学 社会学部 現代社会学科	1階ホール～生態園	安川裕樹(教育普及課)	30人
11月18日(金)	東邦大学 理学部3年生(実習「環境生態ユニット科目」)	1階ホール～生態園	林紀男(生態学・環境研究科)	23人
12月3日(土)	博物館展示論、博物館教育論(日獣大)	東京都武蔵野市(日本獣医生命科学大学B棟3階315講義室)	大庭照代(教育普及課)	18人
12月15日(木)	千葉県生涯大学校 京葉学園	第1企画展示室	内田龍哉(歴史学研究科)	13人
1月9日(月)	秀明大学 学校教師部 理科専修	1階ホール～展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	58人
2月1日(水)	文教大学 国際学部	1階ホール～生態園	安川裕樹(教育普及課)、林浩二(生態学・環境研究科)	21人
2月10日(金)	東邦大学理学部、野外実習(里山の自然観察指導)	千葉市少年自然の家	林紀男(生態学・環境研究科)	15人

## (2) 団体・機関等への支援

### ア 開催支援

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
5月17日(火)	市町村文化財担当職員講習会①	講堂	企画調整課	57人
5月18日(水)	市町村文化財担当職員講習会②	講堂	企画調整課	68人
5月25日(水)	H28 千葉県公共図書館協会 総会・職員研修会	講堂	企画調整課	93人
6月22日(水)	千葉県高等学校教育研究会 歴史部会 H28 総会・春季研究協議会	講堂	内田龍哉(歴史学研究科)	101人
10月12日(水)	文化財保護指導委員研修	研修室	歴史学研究科	20人
11月12日(土)	千葉県地学教育研究会 第66回地学研究発表会(児童生徒)	講堂	地学研究科	50人
11月20日(日)	千葉県生物学会 児童生徒 生物研究発表大会	講堂	植物学研究科	93人
11月25日(金)	千葉県高等学校教育研究会 歴史部会 生徒発表大会	講堂	歴史学研究科	75人
2月19日(日)	千葉県生物学会 2017年度総会・公開講演会・会員研究発表会	講堂	植物学研究科	80人

イ 講座等講師（館内）

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
5月12日（木）	千葉シニア自然大学（植物学の基礎）	講堂	古木達郎（植物学研究科）	22人
5月20日（金）	千葉自然大学OB会	講堂～第1企画展示室	岡崎浩子（地学研究科）	15人
6月8日（水）	マスター学院 学習支援	展示室	大庭照代（教育普及課）	10人
6月26日（日）	イオン鎌ヶ谷チアーズクラブ 学習支援	「房総の生物」「生物の分類」展示室	天野誠（植物学研究科） 黒住耐二（資料管理研究科）	24人
6月29日（水）	千葉シニア自然大学 川沼の自然1	市原市梅ヶ瀬溪谷	大木淳一（房総の山のF・M）	23人
7月7日（木）	千葉シニア自然大学 生物多様性と生態系	講堂	高山順子（動物学研究科） 熊谷宏尚（千葉県生物多様性センター）	20人
7月24日（日）	千葉市未来の科学者育成プログラム（生態園の夏～バックヤード）	研修室～生態園	林浩二（生態学・環境研究科）	36人
7月28日（木）	千葉市教育委員会 児童植物観察会	講堂～生態園	由良浩（生態学・環境研究科） 山本伸子（植物学研究科）	104人
7月29日（金）	千葉県 夢チャレンジ体験スクール（サイエンススクール・魚の標本）	研修室（～講堂）	安川裕樹（教育普及課） 栗田隆気（動物学研究科）	20人
8月4日（木）	白井市夏休み子ども環境学習	講堂～生態園	白井豊（生態学・環境研究科） 林浩二（生態学・環境研究科）	24人
9月9日（金）	千葉市都市緑化植物園 「身近な自然を学ぶ講座」 水草	研修室～生態園	林紀男（生態学・環境研究科）	30人
9月13日（火）	市原市瀬又台町会ふれあいクラブ	企画展示室	駒井智幸（動物学研究科）	11人
10月8日（土）	歴訪会 学習支援	歴史展示室	内田龍哉（歴史学研究科）	10人
10月13日（木）	千葉シニア自然大学（山の自然）	講堂	原正利（生態・環境研究部 主席研究員）	30人
10月20日（木）	ハラタケ目の分類と顕微鏡実習（きのこアドバイザー研修）	研修室	吹春俊光（環境教育研究科）	25人
10月29日（土）	日本野鳥の会（千葉県）講習会	講堂	吹春俊光（環境教育研究科）	41人
10月29日（土）	「屏風絵の世界」の解説（日本野鳥の会千葉県支部）	企画展示室	内田龍哉（歴史学研究科）	25人
10月30日（日）	ASA 一日新聞記者体験	研修室～展示室	安川裕樹（教育普及課）	18人
11月4日（金）	コソボ共和国研修生	第二および液浸収蔵庫	黒住耐二（資料管理研究科）	3人
11月22日（火）	生物多様性センター 企業ネットワーク勉強会	講堂	大木淳一（房総の山のF・M）	30人
11月24日（木）	日本きのこマイスター協会（長野県中野市）説明会	会議室	吹春俊光（環境教育研究科）	15人
11月25日（金）	「屏風絵の世界」の解説（船橋マスター学院 市民大学）	企画展示室	内田龍哉（歴史学研究科）	40人
12月1日（木）	千葉シニア自然大学 「川沼の自然入門」	講堂	倉西良一（環境教育研究科）	23人
12月1日（木）	千葉シニア自然大学 第5回 自然誌公開講座（房総半島の植物相）	講堂	奥田昌明（教育普及課）	75人
12月3日（土）	芸術文化ホール講座（千葉再発見講座）に伴う展示見学	歴史展示室など	立和名明美（企画調整課）	22人
12月7日（水）	千葉県森林インストラクター会 研修会	研修室	萩野康則（動物学研究科）	14人
12月15日（木）	千葉シニア自然大学 「動物学の基礎」	講堂	宮正樹（生態・環境研究部長）	23人
12月21日（水）	四街道自然愛好会①（屏風展）	第1企画展示室	内田龍哉（歴史学研究科）	25人
1月12日（木）	千葉の自然に親しむ会（千葉市野鳥の会）	研修室～第2企画展示室	奥田昌明（教育普及課）	8人
1月21日（土）	国際教育交流事業（韓国教職員など）	展示室など	幅大（企画調整課）	40人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
1月26日(木)	千葉シニア自然大学 「房総丘陵の地形・地質」	講堂	岡崎浩子(地学研究科)	24人
2月8日(水)	日本共産党・岡田県議支援者団体	1階ホール～展示室	森田利仁(自然誌歴史研究部長)、田中文昭(庶務部長)	47人
2月9日(木)	卒園遠足で博物館を知ろう①	分類展示室	斉藤明子(資料管理研究科) 黒住耐二(資料管理研究科)	135人
2月10日(金)	卒園遠足で博物館を知ろう②	分類展示室	斉藤明子(資料管理研究科) 黒住耐二(資料管理研究科)	73人
2月17日(金)	四街道プロバス・クラブ	展示室	相川順子(教育普及課)	9人
2月17日(金)	卒園遠足で博物館を知ろう③	分類展示室	斉藤明子(資料管理研究科) 黒住耐二(資料管理研究科)	16人
2月25日(土)	園芸同好会(東京都豊島区)	生態園オリエンテーションハウス	宮田昌彦(生態学・環境研究科)	14人

ウ 講座等講師(館外)

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
4月4日(月)	貝類観察会(NPO法人 穴塚の自然と歴史会)	茨城県土浦市	黒住耐二(資料管理研究科)	
5月21日(土)	銚子ジオパーク講座「銚子の化石」	銚子市青少年文化会館	伊左治鎮司(企画調整課)	47人
5月23日(月)	東葛北部在宅栄養士会勉強会	我孫子市けやきプラザ	田邊由美子(歴史学研究科)	16人
6月3日(金)	東総地区高等学校図書委員連絡協議会 研究会講師	県立匝瑳高等学校	内田龍哉(歴史学研究科)	46人
6月5日(日)	ディスカバーちばウィークス「深海生物うちわをつくってみよう」	そごう千葉店6階おもちや売り場	立和名明美(企画調整課)	87人
6月14日(火)	インドネシアの遺跡から出土する貝類について(英語)	インドネシア(マナド考古学研究センター)	黒住耐二(資料管理研究科)	14人
6月18日(土)	環境講演会(NPO法人しろい環境塾 第40回環境講座)	白井市保険健康センター	林紀男(生態学・環境研究科)	27人
6月19日(日)	自然しらべ2016 海辺の花しらべ一砂浜教室	富津洲	由良浩(生態学・環境研究科)	13人
6月23日(木)	野生きのこ観察会(佐倉城址公園①)	佐倉城址公園	吹春俊光(環境教育研究科)	25人
6月26日(日)	コケ類入門講座 コケ類観察の基本テクニック	国立科学博物館 上野本館	古木達郎(植物学研究科)	20人
6月26日(日)	野生きのこ観察会(佐倉城址公園②)	佐倉城址公園	吹春俊光(環境教育研究科)	77人
6月26日(日)	めざせ!!田んぼのマイスター☆① NPO法人「いきいき清和」	県内の田んぼ	島立理子(房総の山のFM) 小田島高之(房総の山のF・M)	15人
6月27日(月)	国際医療福祉大学 郷土論 第4回「千葉県の自然」	成田キャンパス(国際医療福祉大学)	八木令子(地学研究科)	70人
7月2日(土)	はちみつのはみつ	東金子ども科学館	宮野伸也(生態学・環境研究科)	58人
7月9日(土)	野生きのこ観察会(佐倉城址公園③)	佐倉城址公園	吹春俊光(環境教育研究科)	22人
7月9日(土)	銚子ジオパーク講座	銚子市青少年文化会館	岡崎浩子(地学研究科) 高橋直樹(地学研究科)	62人
7月14日(木)	北谷町の遺跡を中心とした遺跡出土品群(沖縄県)	沖縄県、北谷町教育委員会、文化財係	黒住耐二(資料管理研究科)	25人
7月16日(土)	チーバくんの博物館ツアー①(三井アウトレットモール木更津)	木更津(三井アウトレットパーク)	伊左治鎮司(企画調整課)	334人
7月18日(月)	科学体験教室「有孔虫化石の観察」	東金子ども科学館	加藤久佳(地学研究科)	47人
7月18日(月)	野生きのこ観察会(君津市豊英豊英島 千年の森)	君津市豊英島(小糸川流域)	吹春俊光(環境教育研究科)	38人
7月22日(金)	図鑑と遊ぼう、図鑑で学ぼう	野田市立興風図書館	斎木健一(教育普及課)	48人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
7月24日(日)	公津原再発見～印旛沼に栄えた文化(H28講演会)	成田市立図書館第2視聴覚ホール	萩原恭一(副館長)	103人
7月27日(水)	小櫃っ子アドベンチャー「小櫃の生き物」 夜間昆虫観察会	小櫃小学校、校庭	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	28人
7月27日(水)	デジカメ・スマホ写真で生きもの の名前を調べよう	八千代市立郷土博物館	斎木健一(教育普及課)	40人
7月28日(木)	遺跡出土貝類の研究ー琉球・ヤマト・中国等ー	沖縄県立埋蔵文化財調査センター	黒住耐二(資料管理研究科)	45人
7月30日(土)	砂の中のたからものをさがそう (大利根分館体験講座)	大利根分館	高橋直樹(地学研究科)	30人
7月30日(土)	チーバくんの博物館ツアー④(クイズ大会@アリ博)	三井アウトレットパーク アリオ蘇我	伊左治鎮司(企画調整課) 幅大(企画調整課) 立和名明美(企画調整課) 後藤亮(企画調整課) 雑賀弘之(教育普及課)	104人
7月31日(日)	ペーパークラフトでオオグソクムシをつくろう(クラフト工作@アリ博)	三井アウトレットパーク アリオ蘇我 サンコート 広場	伊左治鎮司(企画調整課) 幅大(企画調整課) 立和名明美(企画調整課) 後藤亮(企画調整課) 加藤久佳(地学研究科)	93人
8月2日(火)	印旛地区教員・環境学習・研修会	佐倉市中央公民館	林紀男(生態学・環境研究科)	34人
8月2日(火)	PR活動① 楽しい図鑑の世界ーペーパークラフト(夏休みリクリエーション)	そごう千葉店 本館2階 パルパティオ	斎木健一(教育普及課)	46人
8月6日(土)	西部図書館・講座(千葉県の恐竜時代)	松戸市、西部図書館	伊左治鎮司(企画調整課)	30人
8月7日(日)	富里市立図書館 市民講座「千葉の妖怪・江戸の妖怪」	富里市立図書館 2階 AV ホール	内田龍哉(歴史学研究科)	28人
8月7日(日)	PR活動② 驚異の深海生物を知ろう(西武船橋キッズアカデミー)	西武船橋店 7階 催事場	立和名明美(企画調整課)	73人
8月11日(木)	写真でみる東京湾干潟の風景 特別講座「写真について」	船橋市民ギャラリー3階	白井豊(生態学・環境研究科)	32人
8月13日(土)	本物の化石にさわろう in 大多喜城	大多喜城分館・研修館	伊左治鎮司(企画調整課)	248人
8月17日(水)	君津市清和公民館 自然観察ハイキングの会 学習会	君津市清和公民館	尾崎煙雄(房総の山のF・M)	21人
8月17日(水)	県立博物館合同事業 学習キット 展示会 説明会①	県総合教育センター階 ホール	後藤亮(企画調整課)、田邊 由美子(歴史学研究科)、斉 藤明子(資料管理研究科)	5人
8月21日(日)	ひらおか子ども教室「毒キノコについて学ぼう」	袖ヶ浦市平岡公民館	吹春俊光(環境教育研究科)	16人
8月23日(木)	化石のレプリカ作りと太古の生命	江戸川子ども未来館	加藤久佳(地学研究科)	20人
8月25日(木)	第33回 日本水処理生物基礎講座 (アオコ～赤潮)	滋賀県大津市・琵琶湖環境科学 研究センター	林紀男(生態学・環境研究科)	37人
8月26日(金)	県立博物館合同事業 学習キット 展示会 説明会②	県総合教育センター1階 ホール	後藤亮(企画調整課)、田邊 由美子(歴史学研究科)、 科)	10人
8月27日(土)	チーバくんの博物館ツアー⑨(クイズ大会@アリ博)	三井アウトレットパーク アリオ蘇我	伊左治鎮司(企画調整課)、 幅大(企画調整課)、立和名 明美(企画調整課)、後藤亮 (企画調整課)、雑賀弘之 (教育普及課)	108人
9月1日(木)	ふるさと歴史講座「下総層群の 形成時期と堆積環境について」	木更津市東清公民館	加藤久佳(地学研究科)	32人
9月13日(火)	日本地質学会 第123回学術大会 巡検Cコース(東京・桜上水)	鴨川市～鋸南町	高橋直樹(地学研究科)	19人
9月24日(土)	国立歴史民俗博物館 第210回 く らしの植物苑観察会	佐倉市くらしの植物苑	林紀男(生態学・環境研究科)	45人



月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
9月25日(日)	アリ博イベント「葉っぱのフロタージュ・カードを作ろう」	アリオ蘇我 サンコート 広間	由良浩(生態学・環境研究科)、浩二(生態学・環境研究科)、島立理子(房総の山のFM)、田島高之(房総の山のF・M)、伊左治鎮司(企画調整課)	66人
10月1日(土)	第5回・安房学講座「嶺岡山系の地質と岩石」	渚の駅たてやま	高橋直樹(地学研究科)	60人
10月2日(日)	野生きのご観察会(房総のむら、里山観察会)	房総のむら	吹春俊光(環境教育研究科)	30人
10月4日(火)	野生きのご観察会(日本森林林業振興会)	房総のむら	吹春俊光(環境教育研究科)	20人
10月6日(木)	野生きのご観察会(大多喜城分館、観察会)	大多喜城分館	吹春俊光(環境教育研究科)	10人
10月7日(金)	千葉県児童生徒作品展審査	京成ホテル	岡崎浩子(地学研究科)	16人
10月8日(土)	野生きのご観察会(千葉菌類談話会)	市原市民の森(クオードの森)	吹春俊光(環境教育研究科)	50人
10月9日(日)	野生きのご観察会(日本きのこマイスター協会)	長野県中野市斑尾	吹春俊光(環境教育研究科)	45人
10月10日(月)	野生きのご観察会(市原植物研究会)	市原市民の森(クオードの森)	吹春俊光(環境教育研究科)	38人
10月10日(月)	そごう千葉店「千葉市魅力再発見フェア」秋休みイベント	そごう千葉店6階(イベントスペース)	林浩二(生態学・環境研究科)立和名明美(企画調整課)、伊左治鎮司(企画調整課)	35人
10月12日(火)	菌根菌(きのこ)を知ろう―鎌足のきのご観察会	鎌足公民館の周辺野外	吹春俊光(環境教育研究科)	18人
10月15日(土)	自然観察会「房総の海岸で化石を探そう！」	東金こども科学館	加藤久佳(地学研究科)	40人
10月15日(土)	野生きのご観察会(千葉県生物学会)	佐倉城址公園	吹春俊光(環境教育研究科)	28人
10月15日(土)	里山観察会 秋の植物	栄町龍角寺(房総のむら)	天野誠(植物学研究科)	17人
10月16日(日)	野生きのご観察会(千年の森をつくる会)	君津市豊英(豊英 千年の森)	吹春俊光(環境教育研究科)	38人
10月16日(日)	千葉市民の日、講演会(東京湾の貝、ウニ、カニ化石)	稲毛海浜公園 教養施設 稲毛記念館 映写室	加藤久佳(地学研究科)	20人
10月16日(日)	地球科学セミナー第8回(千葉の地層を世界に発信)	千葉市科学館	岡崎浩子(地学研究科)	45人
10月18日(火)	野生きのご観察会(県南部林業事務所)	大多喜町、味の研修館	吹春俊光(環境教育研究科)	25人
10月19日(水)	佐倉市民カレッジ第2学年(身近な自然環境)	佐倉市立中央公民館3階学習室3	倉西良一(環境教育研究科)	84人
10月19日(水)	チバニアンについて(千葉ロータリークラブ定例会)	京成ホテル	岡崎浩子(地学研究科)	50人
10月22日(土)	歴博・植物観察会「きのこ」(第211回くらしの植物苑観察会)	歴博・くらしの植物苑	吹春俊光(環境教育研究科)	72人
10月27日(木)	野生きのご観察会(山形県、基督教独立学園高校)	山形県西置賜郡小国町叶水	吹春俊光(環境教育研究科)	132人
10月27日(木)	第19回NORNAC(自然系調査研究機関連絡会議)	静岡県総合研修所もくせい会館	尾崎煙雄(房総の山のF・M)林紀男(生態学・環境研究科)	191人
10月30日(日)	サイエンスカフェI I(生物の多様性を考える～遺伝子)	県立西部図書館、研修室	後藤亮(企画調整課)	22人
11月5日(土)	東部図書館 歴史講座(屏風ヶ浦をめぐる文人文豪の遊歴など)	県立東部図書館、研修室	内田龍哉(歴史学研究科)	56人
11月10日(木)	日本水処理生物学会第53回大会シンポジウム	習志野市、千葉工業大学	林紀男(生態学・環境研究科)	137人
11月12日(土)	里山観察会「コケ植物」	房総のむら	古木達郎(植物学研究科)	18人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
11月13日(日)	日本サウンドスケープ例会(祭り囃子の音風景)	杉並区立郷土博物館(セシオン杉並)	大庭照代(教育普及課)	24人
11月26日(土)	シナイモツゴ発見100周年、大崎市シンポジウム(里山の自然)	宮崎県大崎市合同庁舎	林紀男(生態学・環境研究科)	95人
11月27日(日)	「蛇紋岩の不思議」入門講座(大山千枚田周辺の岩石について)	鴨川市、棚田倶楽部	高橋直樹(地学研究科)	28人
11月27日(日)	アリ博イベント「ミニ屏風をつくろう!」	アリオ蘇我 サンコート 広間	田邊由美子(歴史学研究科)	50人
12月1日(木)	ジオパークガイド研修	犬吠崎〜屏風ヶ浦	岡崎浩子(地学研究科)	25人
12月9日(金)	発掘!かとり遺産の旅	小見川市民センター	岡崎浩子(地学研究科)	24人
1月9日(月)	NPO法人生涯学習応援団ちば平成28年度リレー塾講演会	ポートプラザちば	萩原恭一(副館長)	44人
1月14日(土)	「五七五展」のプロモーション・イベント(フロッタージュ)	イオン津田沼店	由良浩(生態学・環境研究科)、林浩二(生態学・環境研究科)、宮野伸也(生態学・環境研究科)	767人
1月18日(水)	足下から環境を考えよう② 市環境問題の現状〜土の中の生き物	八街市中央公民館	萩野康則(動物学研究科)	27人
1月22日(日)	アリ博イベント「まるごとチーバくん〜ありがとう、10周年〜inアリオ蘇我」	アリオ蘇我 サンコート 広間	伊左治鎮司(企画調整課) 立和名明美(企画調整課) 後藤亮(企画調整課)	50人
1月26日(木)	H28年度(公財)印旛沼環境基金助成事業成果報告会	千葉県印旛合同庁舎	由良浩(生態学・環境研究科)	41人
2月5日(日)	H28年度 柏の葉アカデミア講座「東葛を旅した人々」	さわやかちば県民プラザ 大会議室	内田龍哉(歴史学研究科)	93人
2月19日(日)	「蛇紋岩の不思議」入門講座 嶺岡山系編①	鴨川市周辺	高橋直樹(地学研究科)	21人
2月25日(土)	「蛇紋岩の不思議」入門講座 嶺岡山系編②	鴨川市周辺	高橋直樹(地学研究科)	14人
2月26日(日)	児童図書館研究会 全国学習会 第3分科会(科学の本の楽しみ方)	渋谷区代々木(国立オリンピック記念青少年総合センター)	萩野康則(動物学研究科)	42人
3月5日(日)	公開シンポジウム「生物学における動画・音声データのアーカイブ」	大阪市立自然史博物館ネイチャーホール	大庭照代(教育普及課)	50人
3月11日(土)	かんきょう講演会「生物多様性の水辺環境を目指して」	杉並区立環境活動推進センター3階	林紀男(生態学・環境研究科)	33人
3月29日(水)	講演「砂浜の環境と海岸植物」	大網白里まちづくりサポートセンター	由良浩(生態学・環境研究科)	53人

## エ 学会・研究会・会議等の開催

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
4月2日(土)	第178回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	6人
4月3日(日)	第179回 千葉市野鳥の会談話会	大利根分館	桑原和之(環境教育研究科)	4人
4月16日(土)	第180回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	22人
4月17日(日)	日本火山の会 例会	研修室	高橋直樹(地学研究科)	20人
4月17日(日)	千葉県文化財保護協会 会議①(第一回講演会打ち合わせ)	会議室	歴史学研究科	5人
4月22日(金)	県博協役員会	会議室	企画調整課	13人
5月1日(日)	第181回 千葉市野鳥の会談話会	大利根分館	桑原和之(環境教育研究科)	3人
5月8日(日)	房総石造文化財研究会 総会・勉強会①	会議室	白井豊(生態学・環境研究科)	24人
5月19日(木)	H28 千葉県文化財保護指導員 会議	会議室	歴史学研究科	30人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
5月19日(木)	H28 千葉県博物館協会 総会	講堂	企画調整課	50人
5月21日(土)	第14回房総貝類談話会	会議室	黒住耐二(資料管理研究科)	16人
6月4日(土)	房総地学会 H28 年度総会・講演会	会議室	高橋直樹(地学研究科)	32人
6月11日(土)	第182回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	9人
6月11日(土)	JST/CREST 環境DWA サイト・ピジット	会議室	宮正樹(生態・環境研究部長)	31人
6月18日(土)	第183回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール～生態園	桑原和之(環境教育研究科)	7人
6月19日(日)	H28 年度 千葉県文化財保護協会 講演会①	講堂	歴史学研究科	147人
6月25日(土)	千葉県地学教育研究会 H28 役員会	会議室	地学研究科	8人
6月25日(土)	第184回 千葉市野鳥の会談話会・研修会	講堂～1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	46人
6月30日(木)	平成28年度 千葉県博図公連携事業 実行委員会①	会議室	企画調整課	24人
7月7日(木)	房総石造文化財研究会 石仏勉強会②	会議室	白井豊(生態学・環境研究科)	16人
7月23日(土)	房総地学会 第71回談話会	会議室	高橋直樹(地学研究科)	15人
7月24日(日)	第185回 千葉市野鳥の会談話会	大根分館	桑原和之(環境教育研究科)	2人
7月30日(土)	第186回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	7人
7月31日(日)	大学図書館問題研究会 千葉支部例会	会議室	資料管理研究科	8人
8月7日(日)	千葉県文化財保護協会 会議②(第2回講演会打ち合わせ)	会議室	歴史学研究科	13人
8月27日(土)	房総石造文化財研究会 石仏ゼミナール	講堂	白井豊(生態学・環境研究科)	79人
9月4日(日)	H28 年度 千葉県文化財保護協会 講演会②	講堂	歴史学研究科	125人
9月8日(木)	第23回 自然誌系博物館館長懇談会	会議室	企画調整課	25人
9月10日(土)	第187回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	20人
9月15日(木)	房総石造文化財研究会 石仏勉強会③	会議室	白井豊(生態学・環境研究科)	12人
9月21日(水)	平成28年度 千葉県博図公連携事業 実行委員会②	会議室	企画調整課	10人
10月8日(土)	第188回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	2人
10月10日(月)	千葉県自然観察ガイドブック編集会議	会議室	生態学・環境研究科	7人
10月16日(日)	千葉県昆虫談話会	会議室	倉西良一(環境教育研究科)	36人
10月19日(水)	企業と生物多様性セミナー	講堂	生態学・環境研究科	59人
10月26日(水)	第189回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	5人
10月27日(木)	文部科学省審議官会議	会議室	庶務課	10人
10月29日(土)	第190回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	15人
11月3日(木)	第15回房総貝類談話会	1階ホール	黒住耐二(資料管理研究科)	16人
11月12日(土)	房総地学会 第74回談話会	会議室	高橋直樹(地学研究科)	13人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
12月4日(日)	第16回房総貝類談話会	会議室	黒住耐二(資料管理研究科)	16人
12月8日(木)	県博協 役員会	会議室	企画調整課	14人
12月14日(水)	魚類環境DNA ワークショップ	会議室	宮正樹(生態・環境研究部長)	64人
12月17日(土)	日本野鳥の会千葉県 講習会	講堂	環境教育研究科	45人
12月17日(土)	第191回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	15人
12月17日(土)	千葉県地学教育研究会 平成29年度総会・談話会・研究発表	会議室	高橋直樹(地学研究科)	20人
12月18日(日)	千葉県昆虫談話会	会議室	倉西良一(環境教育研究科)	47人
12月21日(水)	県レッドデータ 会議	会議室	動物学研究科	5人
1月12日(木)	第192回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	7人
1月14日(土)	千葉菌類談話会	講堂～研修室	環境教育研究科	112人
1月22日(日)	千葉県文化財保護協会 会議③(第3回講演会打ち合わせ)	会議室	歴史学研究科	12人
1月29日(日)	H28年度 千葉県文化財保護協会講演会③	講堂	歴史学研究科	90人
2月9日(木)	情報システム web 研修	会議室	生態学・環境研究科	10人
2月12日(日)	日本野鳥の会(千葉県) 記念講演会	講堂	桑原和之(環境教育研究科)	50人
2月12日(日)	千葉県昆虫談話会	会議室	斉藤明子(資料管理研究科)	25人
2月26日(日)	千葉県文化財保護協会 会議③(第3回講演会打ち合わせ)	会議室	歴史学研究科	11人
3月4日(土)	第194回 千葉市野鳥の会談話会	大根分館	桑原和之(環境教育研究科)	7人
3月5日(日)	H28年度 千葉県文化財保護協会講演会③	講堂	歴史学研究科	103人
3月20日(月)	湘南地球科学の会 第183回例会	会議室	高橋直樹(地学研究科)	15人
3月31日(金)	第196回 千葉市野鳥の会談話会	1階ホール	桑原和之(環境教育研究科)	4人

## エ 指導助言等

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
4月1日(金)	皇居外苑濠水生生物 再生検討①	生態園(生態実験園)	林紀男(生態学・環境研究科)	2人
4月12日(火)	皇居外苑濠水生生物 再生検討②	生態園(生態実験園)	林紀男(生態学・環境研究科)	5人
4月27日(水)	皇居外苑濠水生生物調査	東京都千代田区、皇居外苑濠	林紀男(生態学・環境研究科)	7人
7月7日(木)	マツモ保全対策に関する調査協力	生態園	林紀男(生態学・環境研究科)	5人
7月7日(木)	ハス駆除対策に関する調査協力	生態園	林紀男(生態学・環境研究科)	3人
7月13日(水)	身近な自然を学ぶ講座(都市緑化植物園、調査協力)	オリエンテーションハウス	林紀男(生態学・環境研究科)	2人
8月18日(木)	皇居外苑濠水環境管理検討会	東京都千代田区、皇居外苑管理事務所	林紀男(生態学・環境研究科)	39人
9月12日(月)	古新田川防災調節池および別所谷津公園内池の水生植物調査	印西市、古新田川など	林紀男(生態学・環境研究科)	4人
9月15日(木)	手賀沼ハス刈り取り効果検証の実地指導	手賀沼南岸ハス繁茂地	林紀男(生態学・環境研究科)	9人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
9月16日(金)	墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会	酒々井町、中央公民館	八木令子(地学研究科)	15人
11月9日(水)	印旛沼水循環健全化会議	千葉商工会議所	林紀男(生態学・環境研究科)	45人
11月17日(木)	皇居外苑濠生物相調査	東京都千代田区、皇居外苑濠	林紀男(生態学・環境研究科)	4人
11月18日(金)	墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会①	酒々井町、墨古沢遺跡	八木令子(地学研究科)	12人
11月25日(金)	墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会②	酒々井町、墨古沢遺跡	八木令子(地学研究科)	10人
12月9日(金)	平成29年度季節展の展示協力	千葉県庁	八木令子(地学研究科) 小田島高之(房総の山のF・M)	7人
12月9日(金)	池かいぼり調査の打ち合わせ	茨城県坂東市、菅生沼周辺	林紀男(生態学・環境研究科)	5人
12月14日(水)	手賀沼ナガエツルノゲイトウ調査	手賀沼、大堀川河口	林紀男(生態学・環境研究科)	6人
12月27日(火)	チバニアン選定に向けた大学協働ワーキング・グループ	館山市、藤原「千里の風」	奥田昌明(教育普及課)	7人
1月17日(火)	鳥取県、高住牛輪谷遺跡からの出土具類に関する分析協力	鳥取県鳥取市、鳥取県教育文化財団	黒住耐二(資料管理研究科)	5人
2月13日(月)	古新田川防災調節池および別所谷津公園内池の水生植物調査	印西市、古新田川調節池～別所谷津湿地	林紀男(生態学・環境研究科)	5人
2月19日(日)	墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会	酒々井町教育委員会	八木令子(地学研究科)	15人
2月27日(月)	印旛沼生態系ワーキング委員会生態系保全の取り組み会議	千葉県教育会館	林紀男(生態学・環境研究科)	20人
3月9日(木)	手賀沼水環境保全協議会会議	東葛支庁	林紀男(生態学・環境研究科)	15人
3月10日(金)	都川防災調節池の水生植物から見える環境維持の方向性	都川防災調節池	林紀男(生態学・環境研究科)	1人

### (3) 専門分野における相談対応

が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

#### ア 学術情報センターでの相談対応

質問相談件数 182件

## 4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

### (1) 職場体験

月日	学校名	日数	人数	担当課科
6月1日(水)～2日(木)	千葉市立みつわ台中学校	2日	2人	教育普及課
6月14日(火)～15日(水)	千葉市立稲毛高等学校附属中学校	2日	2人	教育普及課
6月22日(水)～23日(木)	千葉市立緑が丘中学校	2日	3人	教育普及課、地学研究科
6月23日(木)～24日(金)	千葉市立星久喜中学校	2日	3人	教育普及課、歴史学研究科
6月23日(木)～24日(金)	千葉市立千草台中学校	2日	2人	教育普及課、植物学研究科
10月25日(火)～26日(水)	千葉聖心高等学校	2日	3人	教育普及課、歴史学研究科
11月2日(水)	習志野市立第7中学校	1日	3人	教育普及課
11月8日(火)	習志野市立第2中学校	1日	3人	教育普及課
11月8日(火)～9日(水)	千葉市立大宮中学校	2日	3人	教育普及課、歴史学研究科
11月8日(火)～9日(水)	千葉市立幸町第2中学校	2日	3人	教育普及課、環境教育研究科、生態学・環境研究科

月日	学校名	日数	人数	担当課科
11月9日(水)～10日(木)	千葉市立葛城中学校	2日	3人	教育普及課、生態学・環境研究科
11月9日(水)～10日(木)	千葉市立おゆみ野南中学校	2日	3人	教育普及課、植物学研究科
11月9日(水)～10日(木)	船橋市立宮本中学校	2日	3人	教育普及課
11月16日(水)～17日(木)	千葉市立緑町中学校	2日	3人	教育普及課、資料管理研究科
11月16日(水)～17日(木)	千葉市立蘇我中学校	2日	3人	教育普及課、生態学・環境研究科
11月16日(水)～17日(木)	千葉市立有吉中学校	2日	3人	教育普及課、生態学・環境研究科
11月17日(木)～18日(金)	市原市立八幡中学校	2日	3人	教育普及課、生態学・環境研究科
11月17日(木)～18日(金)	千葉市立花園中学校	2日	3人	教育普及課、生態学・環境研究科
11月29日(火)	千葉市立幕張西中学校	1日	3人	教育普及課
12月1日(木)～2日(金)	市原市立ちはら台南中学校	2日	3人	教育普及課、植物学研究科
12月1日(木)～2日(金)	市原市立八幡東中学校	2日	2人	教育普及課、動物学研究科
12月1日(木)～2日(金)	市原市立加茂中学校	2日	1人	教育普及課

## (2) インターンシップ

月日	事業名	日数	人数	担当課科
8月2日(火)～10日(水)	千葉県庁インターンシップ実習①	7日	10人	教育普及課
8月2日(火)～9日(火)	千葉県庁インターンシップ実習②(高校)	6日	2人	教育普及課
8月10日(水)～13日(土)	千葉県庁インターンシップ実習③	4日	2人	教育普及課、資料管理研究科
8月15日(月)～20日(土)	千葉県庁インターンシップ実習④	5日	2人	教育普及課、資料管理研究科
9月1日(木)～10日(土)	千葉県庁インターンシップ実習⑤	8日	3人	教育普及課、資料管理研究科
9月13日(火)～25日(日)	千葉県庁インターンシップ実習⑥	10日	2人	教育普及課、企画調整課

## (3) 博物館実習

ア 実施期間 平成28年8月3日(水)～11日(木)〔9日間〕

イ 受入校 23校29人

青山学院大学(2人)、跡見学園女子大学(1人)、茨城大学(2人)、神奈川大学(2人)、群馬大学(1人)、高知大学(1人)、駒澤大学(1人)、首都大学東京(1人)、城西国際大学(1人)、昭和女子大学(1人)、千葉大学(1人)、筑波大学(1人)、鶴見大学(1人)、東海大学(1人)、東京海洋大学(1人)、東京農業大学(1人)、日本大学(1人)、日本獣医生命科学大学(1人)、日本女子大学(1人)、法政大学(1人)、北海道大学(1人)、目白大学(1人)、立正大学(2人)

ウ カリキュラム 8月3日(水) 開講式、常設展示見学、講義「博物館と行政」(新)、化石レプリカ作成(加藤)

8月4日(木) 生態園・図書室・収蔵庫見学、中央博調査隊シミュレーション(相川)、教育普及課業務について(奥田)、学校連携について(安川)

8月5日(金) 班別実習(各担当科対応)

8月6日(土) 班別実習(各担当科対応)

8月7日(日) 班別実習(各担当科対応)、ミュージアムトーク「驚異の深海生物」見学

8月8日(月) 自宅研修

8月9日(火) 資料収集・昆虫標本作成(齊藤)

8月10日(水) 模擬ミュージアムトーク、講義「深海展の企画から運営まで」(駒井)、人文系博物館資料の取り扱い(内田・立和名・佐山)

8月11日(木) 模擬ミュージアムトーク、講義「博物館の現状と課題」(森田)、講義「広報について」(立和名)、閉講式、交流会

#### (4) 教員研修

##### ア 館主催

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
8月10日(水)	博物館活用研究会①	講堂	安川裕樹(教育普及課)	7人
11月5日(土)	博物館活用研究会②	講堂	安川裕樹(教育普及課)	5人
2月4日(土)	博物館活用研究会③	研修室～生態園オリハウス	安川裕樹(教育普及課)	4人
6月15日(水)	指導者向け講座「教員のための博物館の日 知って得する博物館」	講堂・研修室	安川裕樹(教育普及課)	5人

##### イ 教員研修制度

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
7月19日(火)	教員 10年経験者研修①	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	3人
7月26日(火)	教員 フォローアップ I 研修①	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	1人
7月26日(火)	教員 10年経験者研修②	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	3人
7月29日(金)	教員 フォローアップ I 研修②	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	2人
8月1日(月)	教員 10年経験者研修③	講堂～展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	5人
8月2日(火)	教員 フォローアップ I 研修③	教育普及課～生態園	安川裕樹(教育普及課)	2人
8月5日(金)	教員 10年経験者研修④	大多喜城分館	安川裕樹(教育普及課) 地引尚幸(大多喜城分館)	1人
8月8日(月)	教員 10年経験者研修⑤	研修室など	安川裕樹(教育普及課)	3人
10月20日(木)	博物館 長期研修生 視察研修	講堂～展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)	1人
10月25日(火)	教員 フォローアップ I 研修④	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	1人
12月17日(土)	教員 フォローアップ I 研修⑤	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	1人
1月31日(火)	教員 フォローアップ I 研修⑥	教育普及課～展示室	安川裕樹(教育普及課)	1人

##### ウ 外部団体主催

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
5月11日(水)	H28 公立図書館新任職員研修会	講堂	-	45人
7月6日(水)	八千代市教研 中学校理科部会 研修会	講堂～生態園	山本伸子(植物学研究科)、大野啓一(自然誌・歴史研究部)	29人
7月21日(木)	君津市坂畑小学校 教員研修会(君津市スクールミュージアム)	君津市滝原、三石山	小田島高之(房総の山のF・M)	11人
7月22日(金)	総合教育センター講座	会議室	栗田隆気(動物学研究科)	10人
7月22日(金)	千葉市幼稚園協会 第3分科会研修会	講堂	林浩二(生態学・環境研究科)	61人
7月27日(水)	印旛郡市 教育研究会 第2部会(成田～富里) 理科部会研修会	研修室～地学展示室	安川裕樹(教育普及課)	14人

月日	事業名	場所	担当者等	参加者数
7月28日(木)	平成28年度 自然保護指導員 研修会	講堂	奥田昌明(教育普及課)	40人
7月29日(金)	君津市小櫃小学校 職員対象研修会(君津市スクールミュージアム)	小櫃小学校	尾崎煙雄(房総の山のF・M主)	15人
7月30日(土)	平成28年度 自然保護講習会(谷津田の自然・コアジサシ)	講堂	桑原和之(環境教育研究科)	28人
8月1日(日)	指導者向け講座 教員のための博物館の日 博物館利用研修会	講堂・研修室	安川裕樹(教育普及課)	54人
8月4日(木)	小・中学校自然体験活動研修(総セ)	研修室	斎木健一(教育普及課)、天野誠(植物学研究科)	47人
8月4日(木)	県内、主幹教諭連絡協議会の開催と、博物館活用の紹介	講堂	安川裕樹(教育普及課)	160人
8月4日(木)	君津市小中理科部会 研修会	1階ホール～展示室	安川裕樹(教育普及課)	30人
8月17日(水)	千葉県教研 生活科部会 研修	講堂～生態園	安川裕樹(教育普及課)、林浩二(生態学・環境研究科)	39人
8月18日(木)	千葉県教育研究会 柏支会 理科教育部会 夏期研修	講堂～展示室～生態園	安川裕樹(教育普及課)、斎木健一(教育普及課)	47人
9月10日(土)	平成28年度 自然保護講習会「谷津田の自然、コアジサシ」	講堂	桑原和之(環境教育研究科)	56人
9月16日(金)	印西市環境推進市民会議 研修会	本館～生態園	酒井さと子(千葉県生物多様性センター)	12人
10月26日(水)	長生地区市町村教育委員会連絡協議会 研修	常設展示室～企画展示室	安川裕樹(教育普及課)	21人
10月26日(水)	長生地区市町村教育委員会連絡協議会 研修	講堂～企画展示室	内田龍哉(歴史学研究科)	21人
11月2日(水)	成田市校長会 研修視察	研修室～地学展示室	安川裕樹(教育普及課)	22人
11月9日(水)	平成28年度 第2回 地域行政資料研修会	講堂	田中努(教育普及課)	18人
11月29日(火)	東総校長会 研修視察	講堂～企画展示室	安川裕樹(教育普及課)	24人
12月8日(木)	東総校長会 研修視察②	企画展示室～歴史展示室	安川裕樹(教育普及課)	23人
12月9日(金)	千葉県高等学校教育研究会 理科部会 地学分科会	講堂～研修室	高橋直樹(地学研究科)	31人
1月11日(水)	千教研 船橋支会 中学校理科部会 研修	1階ホール～収蔵庫～生態園	田中努(教育普及課)	48人
1月25日(水)	H28年度 生物多様性に関する市町村職員向け研修会	講堂	安川裕樹(教育普及課)	46人

## 5 市民参画

### (1) ボランティア

#### ア ボランティアの受入れ

名称	登録者数	延べ活動日数	活動内容
展示室ボランティア	21人	215日	常設展示室での展示解説、案内所での学習サポート
生態園パートナー	13人	27日	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	48人	191日	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、歴史)の整理保存サポート
講座・観察会・イベントボランティア	26人	72日	当館で開催する講座や観察会、イベントの運営サポート



名称	登録者数	延べ活動日数	活動内容
自然誌調査研究ボランティア	7人	55日	重点調査のサポート
房総の山の観察会サポーター	5人	8日	「房総の山のフィールド・ミュージアム」での観察会のサポート
「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動支援パートナー	7人	29日	「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動のサポート
合計	127人	597日	

#### イ ボランティア研修

月日	研修名	講師	場所	参加者数
5月18日(水)	春の展示「火山がつくった日本列島」解説、図書館利用ガイダンス	高橋直樹(地学研究科) 友田暁子(資料管理研究科)	企画展示室、図書室	16人
7月28日(土)	ボランティア懇親会 企画展「驚異の深海生物」解説 意見交換会、懇親会	駒井智幸(動物学研究科)	企画展示室、会議室、喫茶あおば	57人
12月15日(土)	秋の展示「屏風絵の世界」、生態園トピックス展「身近な植物にもへえーがある」解説、図書室利用ガイダンス	内田龍哉(歴史学研究科) 由良浩(生態学・環境研究科) 友田暁子(資料管理研究科)	企画展示室、生態園、図書室	11人

#### (2) 中央博サークル

##### ア ひすいの会(26人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
4月1日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	10人
4月8日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	10人
4月15日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
4月22日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
4月29日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	9人
5月6日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	7人
5月13日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	9人
5月20日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
5月27日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	10人
6月3日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
6月10日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
6月17日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
6月24日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
7月1日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
7月8日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
7月15日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
7月21日(木)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
8月12日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	10人

月日	研修名	講師	場所	参加者数
8月18日(木)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	9人
8月26日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
9月2日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	13人
9月7日(水)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	8人
9月15日(木)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
9月23日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	14人
10月14日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	13人
10月21日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	14人
10月28日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
11月4日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	8人
11月11日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	9人
11月18日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	11人
11月24日(木)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	5人
12月2日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	7人
12月8日(木)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室	12人
12月16日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	16人
12月23日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	14人
1月6日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	13人
1月13日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	11人
1月20日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	12人
1月27日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	12人
2月3日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	13人
2月10日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	13人
2月17日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	12人
2月24日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	14人
3月3日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	15人
3月10日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	12人
3月17日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	14人
3月24日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	13人
3月31日(金)	岩石勉強会	高橋直樹(地学研究科)	研修室・地学標本製作室	13人

イ 親子科学クラブ(11人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
4月24日(日)	第1回研修会	宮野伸也(生態学・環境研究科)	会議室	8人

月日	研修名	講師	場所	参加者数
5月21日(土)	びっくりおもちゃをつくろう	宮野伸也(生態学・環境研究科)	一階ホール	20人
7月16日(土)	第2回研修会	宮野伸也(生態学・環境研究科)	会議室	5人
8月13日(土)	手づくりおもちゃであ・そ・ぼ!	宮野伸也(生態学・環境研究科)	一階ホール	26人
9月4日(日)	第3回研修会	宮野伸也(生態学・環境研究科)	会議室	6人
9月25日(日)	第4回研修会	宮野伸也(生態学・環境研究科)	会議室	8人
10月8日(土)	空飛ぶおもちゃをつくろう	宮野伸也(生態学・環境研究科)	一階ホール	30人
11月27日(日)	第5回研修会	宮野伸也(生態学・環境研究科)	会議室	8人
1月21日(土)	電子工作をつくろう	宮野伸也(生態学・環境研究科)	研修室	18人

ウ 地学同好会 (61人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
12月10日(土)	野外観察会	岡崎浩子(地学研究科)	印西市印旛沼周辺	16人

エ-1 コケサークル(蘚苔類)(46人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
4月23日(土)	谷津の蘚苔類	古木達郎(植物学研究科)	千葉市泉自然公園	18人
5月28日(土)	古生層地域の蘚苔類	古木達郎(植物学研究科)	埼玉県越生町、黒山三滝	15人
9月11日(日)	屋久島の蘚苔類:顕微鏡観察	古木達郎(植物学研究科)	研修室	11人
12月18日(日)	観察会「清澄山の蘚苔類」	古木達郎(植物学研究科)	鴨川市清澄寺周辺	13人
3月5日(日)	研修会	古木達郎(植物学研究科)	研修室	10人

エ-2 コケサークル(地衣類)(16人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
4月17日(日)	観察会	原田浩(植物学研究科)	大多喜城分館	8人

オ 歴史サークル(40人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
5月26日(木)	5月例会(考古学と自然科学)	豊川公裕(歴史学研究科) 田邊由美子(歴史学研究科)	研修室	18人
6月10日(金)	見学&体験学習会	豊川公裕(歴史学研究科) 田邊由美子(歴史学研究科)	千葉市埋蔵文化財調査センター	15人
6月23日(木)	6月例会(江戸時代の村方文書を読む【江戸湾の防備】)	豊川公裕(歴史学研究科) 筑紫敏夫(千葉県文化財保護協会)	研修室	22人
7月28日(木)	7月例会(江戸時代の村方文書を読む【江戸湾の防備】)	豊川公裕(歴史学研究科) 筑紫敏夫(千葉県文化財保護協会)	研修室	20人
8月25日(木)	8月例会(江戸時代の村方文書を読む【江戸湾の防備】)	豊川公裕(歴史学研究科) 筑紫敏夫(千葉県文化財保護協会)	研修室	21人
9月21日(水)	9月例会(身近な郷土の歴史や文化財を考える)	豊川公裕(歴史学研究科)	研修室	13人
10月27日(木)	10月例会(秋の展示「屏風絵」の資料解説)	豊川公裕(歴史学研究科) 内田龍也(歴史学研究科)	研修室	18人
12月22日(木)	12月例会(新聞資料の整理について)	豊川公裕(歴史学研究科)	研修室	17人

月日	研修名	講師	場所	参加者数
1月26日(木)	1月例会(縄文調理の追体験)	豊川公裕(歴史学研究科) 三浦和信(千葉県文化財保護協会)	研修室	14人
2月23日(木)	2月例会(会員の研究発表会)	豊川公裕(歴史学研究科)	研修室	16人

カ 生き物サークル(49人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
5月22日(日)	青葉の森の虫さがし	斉藤明子(資料管理研究科)	青葉の森公園	17人
6月18日(土)	青葉の森の虫さがし	斉藤明子(資料管理研究科)	青葉の森公園	7人
11月15日(火)	魚類環境DNAメタバーコーディング	斉藤明子(資料管理研究科)	研修室	20人
2月21日(火)	サルの骨の観察会	下稲葉さやか(動物学研究科) 斉藤明子(資料管理研究科)	研修室	11人

キ もりたん(61人)

月日	研修名	講師	場所	参加者数
6月3日(金)	第1回観察会	大野啓一(自然誌・歴史研究部)、山本伸子(植物学研究科)	小石川植物園(東京都文京区)	26人
10月4日(火)	第2回観察会	大野啓一(自然誌・歴史研究部)、山本伸子(植物学研究科)	八王子市廿里町 森林総研・多摩森林科学園	32人
1月25日(水)	H28活動報告・会計報告ならびにカタクリに関する研修会	大野啓一(自然誌・歴史研究部)	研修室～生物展示室	21人

## 第2 大利根分館

### 1 展示観覧支援

#### (1) 展示解説

##### ア 企画展「江戸時代房総名所めぐり」関連行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月12日(日)	企画展解説	榎美香	展示室	5人
6月26日(日)	企画展解説	榎美香	展示室	15人

### 2 講座・観察会等の開催

#### (1) 講座「水郷の歴史と自然」

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月3日(日)	水郷の野鳥	桑原和之(環境教育研究科)	集会室	2人
6月4日(土)	名所絵の成立	高橋 覚(大多喜城分館)	集会室	55人
7月24日(日)	妖怪と動物	桑原和之(環境教育研究科)	集会室	22人
9月24日(土)	平将門伝説の成立	榎 美香	集会室	33人
10月8日(土)	香取郡新島の歴史	高橋 覚(大多喜城分館)	集会室	38人
3月4日(土)	川のフィールド・ミュージアム報告会	水郷民俗調査隊参加者、いきもの調査隊参加者	会議室	7人

#### (2) 体験講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(金・祝) ・30日(土)	かわいいカモを作ろう	榎 美香	集会室	3人
5月1日(日)	かわいいカモを作ろう	榎 美香	集会室	13人
5月3日(火・祝) ・4日(水・祝)	かわいいカモを作ろう	榎 美香	集会室	24人
5月5日(木・祝)	親子で千歯こき体験	糠谷 隆	集会室	11人
5月7日(土) ・8日(日)	かわいいカモを作ろう	榎 美香	集会室	14人
7月23日(土) ・24日(日)	まが玉作り	千葉県教育庁文化財課職員	集会室	45人
8月6日(土) ・7日(日)	ザリガニ釣り	糠谷 隆	自然観察園	10人
7月30日(土) ・31日(日)	砂の中のたからものをさがそう 一顕微鏡にトライ	榎 美香	集会室	27人
8月20日(土) ・21日(日)	気分は武将	榎 美香	集会室	12人
8月27日(土) ・28日(日)	かわいいカモを作ろう	榎 美香	集会室	38人
9月17日(土) ・18日(日) ・19日(月・祝)	かざぐるまをつくろう	糠谷 隆	集会室	3人
3月4日(土) ・5日(日)	宮中伝統装束の試着	高橋 覚(大多喜城分館)	集会室	57人

(3) イベント・特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月29日(日)	昭和の名車大集合プレ展示	—	前庭	194人
6月19日(日)	昭和の名車大集合プレ展示	—	前庭	533人
11月6日(日)	昭和の名車大集合V	—	前庭、駐車場	2238人

3 川のフィールドミュージアム事業

利根川下流周辺地域の歴史や文化、自然について、参加者と現地調査等を実施し、その成果を発表した。発表内容は、「たかっぽ通信」に掲載した。

(1) 水郷民俗調査隊

月日	参加者	内容	参加者数
6月8日(水)	香取市立新島中学校生徒	民俗調査のための勉強会	32人
7月13日(水)	香取市立新島中学校生徒	水郷のくらし聞き取り調査会	32人
7月31日(日)	水郷民俗調査隊参加者	民俗調査のための勉強会(延方相撲)	1人
8月21日(日)	水郷民俗調査隊参加者	民俗調査のための勉強会(八筋川相撲)	1人

(2) いもの調査隊

月日	参加者	内容	参加者数
4月3日(日)	いきもの調査隊参加者	水郷地域の水鳥の観察会	3人
3月4日(土)	いきもの調査隊参加者	観察会、報告会	7人

4 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

ア 小学校

月日	学校名(事業名)	場所	延べ参加者数
10月21日(金)	八千代市立大和田西小学校(4年生校外学習)	展示室	145人
11月22日(火)	山武市立大富小学校(4年生校外学習)	展示室	121人
11月22日(火)	袖ヶ浦市立長浦小学校(4年生校外学習)	展示室	25人
12月2日(金)	香取市立八都第二小学校(3年生校外学習)	展示室	20人
12月2日(金)	茂原市立緑が丘小学校(3年生校外学習)	展示室	35人
12月9日(金)	市川市立妙典小学校(4年生校外学習)	展示室	11人
12月13日(火)	潮来市立津知小学校(3年生校外学習)	展示室	36人
1月13日(金)	香取市立新島小学校(3年生校外学習)	展示室	17人
1月13日(金)	匝瑳市立吉田小学校(3年生校外学習)	展示室	17人
1月18日(水)	潮来市立日の出小学校(3年生校外学習)	展示室	19人
1月19日(木)	潮来市立日の出小学校(3年生校外学習)	展示室	10人
1月19日(木)	香取市立竟成小学校(3年生校外学習)	展示室	5人
1月25日(水)	香取市立大倉小学校(3年生校外学習)	展示室	32人

月日	学校名（事業名）	場所	延べ参加者数
1月26日（木）	香取市立香取小学校（3年生校外学習）	展示室	30人
2月2日（木）	香取市立第一山倉小学校（3年生校外学習）	展示室	36人
2月2日（木）	潮来市立大生原小学校（3年生校外学習）	展示室	10人
2月3日（金）	大網白里市立白里小学校（3年生校外学習）	展示室	22人
2月7日（火）	旭市立嚶鳴小学校（3年生校外学習）	展示室	41人
2月7日（火）	神崎町立米沢小学校（3年生校外学習）	展示室	58人
2月9日（木）	東庄町立橘小学校（3年生校外学習）	展示室	29人
2月14日（火）	香取市立山倉小学校（3年生校外学習）	展示室	32人
2月15日（水）	東庄町立笹川小学校（3年生校外学習）	展示室	13人
2月22日（水）	香取市立神南小学校（3年生校外学習）	展示室	13人
2月28日（火）	東庄町立石出小学校（3年生校外学習）	展示室	15人
3月1日（水）	多古町立中村小学校（3年生校外学習）	展示室	20人
3月2日（木）	香取市立北佐原小学校（3年生校外学習）	展示室	23人
3月2日（木）	香取市立小見川南小学校（3年生校外学習）	展示室	8人
3月6日（月）	神崎町立神崎小学校（3年生校外学習）	展示室	10人

イ 中学校

月日	学校名（事業名）	場所	延べ参加者数
5月25日（水）	香取市立新島中学校（学習キット利用）（1年生校外学習）	展示室	23人

ウ 大学

月日	学校名（事業名）	場所	延べ参加者数
7月16日（水）	東京成徳大学（学習キット利用）	展示室	9人

エ 出前授業「古い道具とむかしのくらし」（学習キットの貸出による出前展示に合わせて授業を実施）

月日	学校名（学年）	場所	参加者数
10月19日（水）	佐倉市立井野小学校（3年生）	佐倉市立井野小学校	143人
11月25日（金）	市川市立二俣小学校（3年生）	市川市立二俣小学校	55人
12月20日（火）	市川市立妙典小学校（3年生）	市川市立妙典小学校	101人
1月13日（水）	成田市立公津の杜小学校（3年生）	成田市立公津の杜小学校	148人
1月18日（水）	柏市立藤心小学校（3年生）	柏市立藤心小学校	88人
1月20日（金）	市川市立塩焼小学校（3年生）	市川市立塩焼小学校	151人
1月24日（火）	柏市立土南部小学校（3年生）	柏市立土南部小学校	118人
1月30日（月）	潮来市立潮来小学校（3年生）	潮来市立潮来小学校	38人
1月31日（火）	柏市立柏の葉小学校（3年生）	柏市立柏の葉小学校	130人

月日	学校名(学年)	場所	参加者数
2月3日(金)	柏市立増尾西小学校(3年生)	柏市立増尾西小学校	88人
2月3日(金)	千葉市立弥生小学校(3年生)	千葉市立弥生小学校	42人
2月9日(木)	市川市立南行徳小学校(3年生)	市川市立南行徳小学校	124人
2月10日(金)	香取市立小見川中央小学校(3年生)	香取市立小見川中央小学校	79人
2月14日(火)	日出学園(千葉市)(3年生)	日出学園(千葉市)	104人
2月16日(木)	佐倉市立間野台小学校(3年生)	佐倉市立間野台小学校	99人
2月21日(火)	葛飾区立南奥戸小学校(3年生)	葛飾区立南奥戸小学校	79人
2月23日(木)	市川市立南新浜小学校(3年生)	市川市立南新浜小学校	100人
2月27日(月)	白井市立池の上小学校(3年生)	白井市立池の上小学校	73人
3月1日(水)	香取市立八都小学校(3年生)	香取市立八都小学校	74人
3月3日(金)	印西市立滝野小学校(3年生)	印西市立滝野小学校	18人

オ 出前展示「利根川の鳥たち」(学習キットの貸出による出前展示に合わせて授業を実施)

月日	場所	参加者数
2月23日～3月8日	さわやかちば県民プラザ	2,590人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館内)

月日	事業名(依頼先)	場所	担当者等	参加者数
6月1日(水)	企画展解説(あさひシニアクラブ)	展示室	糠谷 隆	24人
6月4日(土)	企画展解説(佐原中央公民館)	展示室	榎 美香	36人
6月10日(金)	企画展解説(富津市富津公民館)	展示室	糠谷 隆	27人
6月13日(月)	企画展解説(東庄町社会福祉協議会東城支部)	展示室	糠谷 隆	23人
6月15日(水)	企画展解説(銚子市郷土史談会)	展示室	榎 美香	26人
6月21日(火)	企画展解説(老人クラブ寿恵広会)	展示室	榎 美香	19人
9月24日(金)	常設展解説(香取市教育委員会)	展示室	榎 美香	19人
10月8日(土)	常設展解説(学習キット利用)(新島地区まちづくり協議会)	展示室	豊田佳伸	38人
10月11日(金)	常設展解説(学習キット利用)(野田市社会福祉協議会)	展示室	豊田佳伸	25人
11月20日(日)	常設展解説(学習キット利用)(小美玉市玉里史料館)	展示室	糠谷 隆	20人
12月18日(土)	常設展解説(学習キット利用)(上州歴史散策会)	展示室	糠谷 隆	22人
2月19日(水)	常設展解説(学習キット利用)(東京都下目黒住区)	展示室	豊田佳伸	41人



イ 講座等講師（館外）

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
12月11日（日）	印西歴史愛好会12月定例学習会 （印西歴史愛好会）	小林コミュニティプラザ	榎 美香	30人
12月17日（土）	公開市民講座「つくり・つかう か たちの科学」（千葉大学）	千葉大学	榎 美香	55人
1月11日（水）	学芸員の魅力（千葉経済大学学芸 員過程）	千葉経済大学	榎 美香	30人

ウ 学会・研究会等の開催

月日	相手先	場所	担当者等	参加者数
4月3日（日）	千葉市野鳥の会談話会 （千葉市野鳥の会）	大利根分館	桑原和之（環境教育研究科）	3人
3月4日（土）	千葉市野鳥の会談話会 （千葉市野鳥の会）	大利根分館	桑原和之（環境教育研究科）	7人

### 第3 大多喜城分館

#### 1 展示観覧支援

##### (1) 展示解説

###### ア ミュージアムトーク

###### (ア) 個人入館者向け展示解説

個人入館者に対して、企画展・収蔵作品展・特別公開 I の解説を 10 回（延べ参加者数 221 人）を行った。

###### (イ) 団体向け展示解説（学校団体・その他の団体）

学校団体に対して、企画展・収蔵作品展・特別公開 I の解説を 26 回（延べ参加者数 1,022 人）行ったほか、学校団体以外の団体に対して、企画展・収蔵作品展・特別公開 I の解説を 40 回（延べ参加者数 1,041 人）行った。

#### 2 講座・観察会等の開催

##### (1) 博物館セミナー「大多喜を学ぶ」

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月13日（土）	本物の化石にさわろう in 大多喜	伊左治領司（企画調整課）	研修館	248人
10月6日（木）	きのご観察会	吹春俊光（環境教育研究科）	研修館ほか	8人
11月6日（日）	日本刀 一鉄の芸術一	渡邊妙子（佐野美術館）	研修館	38人
11月12日（土）	刀匠が語る日本刀の魅力	江澤利春（刀匠）	研修館	38人
12月8日（木）	古文書講座	高橋覚	研修館	8人
1月12日（木）	古文書講座	高橋覚	研修館	9人
1月14日（土）	大多喜城下を歩く	小高春雄（大多喜町教育委員会）、加藤修司	大多喜城分館、大多喜町	7人
2月19日（木）	古文書講座	高橋覚	研修館	8人

##### (2) 体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月5日（火・祝）	甲冑・小袖・袴の試着	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	研修館	87人
6月15日（月）	甲冑・小袖・袴の試着	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	研修館	54人
11月3日（火・祝）	甲冑・小袖・袴の試着	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	研修館	64人
2月11日（木・祝）	甲冑・小袖・袴の試着	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	研修館	52人
3月5日（日）	甲冑・小袖・袴の試着	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	研修館	52人

##### (3) 企画展「甦った受難の刀剣～千葉県の赤羽刀」関連行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月22日（土）	展示解説会	高橋覚	展示室	26人
10月23日（日）	立身流演武	立身流一門	研修館	118人
10月30日（日）	展示解説会	高橋覚	展示室	9人
11月5日（土）	展示解説会	高橋覚	展示室	22人
11月6日（日）	日本刀 一鉄の芸術一	渡邊妙子（佐野美術館）	研修館	38人
11月12日（土）	刀匠が語る日本刀の魅力	江澤利春（刀匠）	研修館	38人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月13日(日)	展示解説会	高橋覚	展示室	16人
11月19日(土)	展示解説会	高橋覚	展示室	36人
11月19日(土)	お茶席	県立大多喜高等学校茶道部	研修館	84人
11月28日(日)	展示解説会	高橋覚	展示室	25人
12月10日(土)	展示解説会	高橋覚	展示室	4人

(4) イベント・特別企画

ア 大多喜お城まつり関連行事

月日	タイトル	場所	講師	延べ参加者数
9月24日(土)	甲冑・小袖・袴の試着体験	研修館	地引尚幸、高橋覚、加藤修司、ボランティア	31人

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

ア 小学校

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	延べ参加者数
6月8日(水)	目黒区立緑ヶ丘小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、田邊由美子(歴史学研究科)、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、ボランティア	51人
6月9日(木)	目黒区立八雲小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、斉藤明子(資料管理研究科)、山本伸子(植物学研究科)、ボランティア	56人
6月14日(火)	いすみ市立国吉中学校	展示室、研修館	地引尚幸、八木令子(地学研究科)、林浩二(生態学・環境研究科)、ボランティア	52人
6月17日(金)	目黒区立上目黒小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、内田龍哉(歴史学研究科長)、吹春俊光(環境教育研究科)、ボランティア	34人
6月22日(水)	いすみ市立千町・中川小学校 (大多喜水道について)	展示室	高橋 覚	24人
6月30日(木)	目黒区立原町小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、岡崎浩子(地学研究科長)、天野誠(植物学研究科)、ボランティア	34人
7月1日(金)	目黒区立向原小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、内田龍哉(歴史学研究科)、田邊由美子(歴史学研究科)、ボランティア	46人
7月7日(木)	目黒区立菅刈小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、ボランティア	52人
8月31日(水)	目黒区立田道小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、斉藤明子(資料管理研究科)、ボランティア	55人
9月2日(金)	目黒区立下目黒小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、ボランティア	52人
9月7日(水)	長南町立豊栄小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、ボランティア	13人
9月7日(水)	長南町立長南小学校 (展示解説・試着体験)	展示室、研修館	地引尚幸、森田利仁(自然誌歴史研究部長)、ボランティア	18人
9月8日(木)	目黒区立中根小学校 (展示解説・試着体験)	展示室	地引尚幸、加藤修司、原田浩(植物学研究科)、宮田昌彦(生態学環境研究科)、ボランティア	80人

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
9月14日（水）	目黒区立宮前小学校 （展示解説・試着体験）	展示室	地引尚幸、森田利仁（自然誌歴史研究部長）、島立理子（房総の山のF・M）、ボランティア	78人
10月5日（水）	目黒区立碑小学校 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸、森田利仁（自然誌歴史研究部長）、ボランティア	99人
11月9日（水）	大多喜町立西中学校 （地域体験学習）	展示室、研修館	地引尚幸	8人
11月24日（木）	長南町立東・西小学校 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸、ボランティア	31人
3月28日（火）	目黒区立中目黒小学校 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸	4人

#### イ 中学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
5月13日（金）	いすみ市教育委員会 （展示解説・試着体験） ※ウィスコンシン州ウォパン中学校（アメリカ）	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司、高橋覚、ボランティア	25人
5月17日（火）	大多喜城の歴史 （旭市立飯岡中学校）	展示室	加藤修司	100人
6月14日（火）	いすみ市立国吉中学校 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸、ボランティア	52人
11月9日（水）	大多喜町立西中学校 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸	8人
11月10日（木）	大多喜町立大多喜中学校 （大多喜城の歴史）	展示室	加藤修司	19人

#### ウ 高等学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
4月8日（金）	千葉県立大多喜高等学校 （大多喜城の歴史）	展示室	加藤修司	38人
4月12日（火）	千葉県立大多喜高等学校 （大多喜城の歴史）	展示室	加藤修司	78人
10月1日（土）	千葉県立大多喜高等学校 （大多喜城の歴史）	展示室	高橋覚	5人
11月24日（木）	千葉県立大多喜高等学校 （展示解説・試着体験）	展示室・研修館	地引尚幸、加藤修司	11人

#### エ 大学

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
5月29日（日）	城西国際大学国際教育センター （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸、高橋覚、ボランティア	17人
7月3日（日）	東京成徳大学 （大多喜城の歴史）	展示室	高橋覚	8人
8月9日（火）	東京海洋大学 （ドン・ロドリゴについて）	展示室	加藤修司	8人
8月30日（火）	川村学園女子大学 （展示解説・試着体験）	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司、ボランティア	15人

オ 出前授業「甲冑の試着と解説」(小学校)

月日	学校名(学年)	場所	担当者等	参加者数
6月22日(水)	市原市立寺谷小学校(6年生)	市原市立寺谷小学校	地引尚幸	29人
6月24日(金)	市原市立菊間小学校(6年生)	市原市立菊間小学校	地引尚幸	77人
6月28日(火)	市原市立市有秋東小学校(6年生)	市原市立市有秋東小学校	地引尚幸	40人
9月15日(木)	市原市立市牛久小学校(6年生)	市原市立市牛久小学校	地引尚幸	48人
10月21日(金)	市原市立若宮小学校(6年生)	市原市立若宮小学校	地引尚幸	20人
12月7日(水)	市原市立西小学校(6年生)	市原市立西小学校	地引尚幸	31人
1月17日(火)	市原市立養老小学校(6年生)	市原市立養老小学校	地引尚幸	32人

カ 出前授業「甲冑の試着と解説」(大学)

月日	学校名	場所	担当者等	参加者数
1月13日(日)	三育学院大学	三育学院大学	地引尚幸	162人

キ 出前授業「甲冑の試着と解説」(特別支援学校)

月日	学校名	場所	担当者等	参加者数
11月12日(土)	県立船橋夏見特別支援学校 (文化祭での展示発表)	県立船橋夏見特別支援学校	地引尚幸	350人

(2) 団体・機関等への支援

ア 開催支援

月日	事業名(団体名)	場所	担当者等	参加者数
4月2日(土)	大多喜さくらまつり(大多喜町観光協会)	—	—	2,158人
9月25日(日)	大多喜お城まつり(お城まつり実行委員会)	前庭、研修館ほか	—	1,818人

イ 講座等講師(館内)

月日	事業名(依頼先)	場所	担当者等	参加者数
4月1日(金)	大多喜城の歴史(鴨川市曾呂新交会)	展示室	地引尚幸	15人
4月20日(水)	大多喜城の歴史(村上様一行)	展示室	加藤修司	10人
4月21日(木)	大多喜城の歴史(立証佼成会)	展示室	加藤修司	20人
4月24日(日)	展示解(新波会)	展示室	加藤修司	14人
4月30日(土)	大多喜城の歴史(すみれ福祉会わくわくクラブ)	展示室	高橋覚	28人
5月11日(水)	展示解説(八千代台地区民児協)	展示室	高橋覚、加藤修司、ボランティア	20人
5月17日(火)	大多喜城の歴史(川崎市立大師小学校同窓会)	展示室	加藤修司	25人
5月19日(木)	大多喜城の歴史(くすのき会)	展示室	高橋覚	42人
5月25日(水)	大多喜城の歴史(我孫子市景観を育てる会)	展示室	高橋覚	35人
5月27日(金)	展示解説(上総一ノ宮郷土史研究会)	展示室	高橋覚	22人
5月27日(金)	展示解説・試着体験(銚子市視聴覚障害者福祉)	展示室、研修館	地引尚幸、高橋覚	20人

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
5月28日（土）	大多喜城の歴史（日本化粧品技術者会）	展示室	高橋覚	64人
5月29日（日）	展示解説（上尾市南民児協）	展示室	加藤修司	23人
6月4日（土）	展示解説（千葉市411地区民生委員）	展示室	加藤修司	24人
6月4日（土）	大多喜城の歴史（パープル）	展示室	加藤修司	17人
6月5日（日）	大多喜城の歴史（元八2丁目町会）	展示室	高橋覚	33人
6月16日（木）	大多喜城の歴史（ローゼンホーム仁戸名）	展示室	地引尚幸	5人
6月29日（水）	展示解説（俳人協会千葉県支部）	展示室	加藤修司	24人
6月29日（水）	大多喜城の歴史（住吉第2民生児童委員）	展示室	加藤修司	20人
6月25日（土）	展示解説・試着体験（夷隅地域振興事務所）	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司、ボランティア	31人
6月30日（木）	展示解説・試着体験（いすみ市教育委員会）	展示室、研修館	地引尚幸、ボランティア	20人
7月6日（水）	展示解説（清川地区町会連合会）	展示室	加藤修司	78人
7月20日（水）	展示解説・試着体（御宿町国際交流協会）	展示室、研修館	地引尚幸、ボランティア	14人
8月5日（金）	展示解説・試着体験（土気中学校区青少年指導員）	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司、ボランティア	52人
8月20日（土）	大多喜城の歴史（大穴地区スポーツ推進）	展示室	加藤修司	45人
9月1日（木）	展示解説（大多喜町企画財政課）	展示室	加藤修司	42人
9月8日（木）	大多喜城の歴史（FTK）	展示室	加藤修司	39人
9月4日（日）	展示解説（埼玉県消防協会秩父支部）	展示室	加藤修司	22人
9月11日（日）	展示解説（小鹿の会）	展示室	加藤修司	35人
9月11日（日）	展示解説（グッドライフサーラ関東）	展示室	加藤修司	30人
9月11日（日）	展示解説（高崎市榛名商工会女性部）	展示室	加藤修司	33人
9月24日（土）	展示解説（四街道市千代田公民館）	展示室	加藤修司	21人
9月25日（日）	展示解説（メキシコ大使館関係者）	展示室	地引尚幸	20人
10月2日（日）	大多喜城の歴史（江戸歴史散歩会）	展示室	地引尚幸	53人
10月4日（火）	大多喜城の歴史（横須賀保護司会）	展示室	加藤修司	29人
10月7日（金）	大多喜城の歴史（国際青少年研修協会）	展示室	地引尚幸	8人
10月10日（月）	展示解説（平田兄弟会）	展示室	加藤修司	11人
10月13日（木）	大多喜城の歴史（千葉県高等学校教育研究会）	展示室	高橋覚	32人
10月16日（日）	展示解説（北関東ハウジング）	展示室	加藤修司	19人
10月21日（金）	展示解説（柏市西山松寿会）	展示室	加藤修司	24人
10月25日（火）	大多喜城の歴史（鴨川市曾呂公民館）	展示室	加藤修司	19人
10月30日（日）	大多喜城の歴史（信友ふれあい広場）	展示室	加藤修司	36人
11月1日（火）	大多喜城の歴史（JAくまがやゆうゆ会）	展示室	加藤修司	33人

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
11月4日（金）	大多喜城の歴史（三友メッキ）	展示室	加藤修司	24人
11月6日（日）	大多喜城の歴史（市原市立有秋公民館）	展示室	加藤修司	30人
11月10日（木）	大多喜城の歴史（明第二西地区社協）	展示室	加藤修司	47人
11月18日（金）	企画展示解説（鎌ヶ谷市東部学習センター）	展示室	高橋覚	39人
11月20日（日）	大多喜城の歴史（三山台友和会）	展示室	加藤修司	34人
11月23日（水）	大多喜城の歴史（宮崎県東京事務所）	展示室	加藤修司	39人
11月23日（水）	大多喜城の歴史（小山工業所）	展示室	加藤修司	17人
11月23日（水）	大多喜城の歴史（白鳥スカイマンション）	展示室	加藤修司	33人
11月26日（土）	大多喜城の歴史（幕張ファミリーハイツ史跡）	展示室	加藤修司	40人
11月29日（火）	大多喜城の歴史（松見町3丁目町内会）	展示室	加藤修司	30人
11月29日（火）	大多喜城の歴史（まつおプラチナ会）	展示室	加藤修司	28人
11月30日（木）	大多喜城の歴史（千葉市生涯学習センター）	展示室	加藤修司	32人
12月1日（木）	大多喜城の歴史（館山市那古地区公民館）	展示室	加藤修司	21人
12月8日（木）	大多喜城の歴史（スマートコミュニティ）	展示室	加藤修司	22人
1月17日（火）	大多喜城の歴史（男の料理サークル）	展示室	加藤修司	30人
1月20日（金）	展示解説（茂原市教育研究協議会）	展示室	加藤修司	24人
1月25日（水）	展示解説（代田八幡神社）	展示室	加藤修司	70人
1月28日（土）	大多喜城の歴史（稲吟OB会）	展示室	地引尚幸	23人
2月1日（水）	大多喜城の歴史（愛川町区長会）	展示室	加藤修司	20人
2月7日（火）	展示解説（JA八王子）	展示室	加藤修司	26人
2月8日（水）	大多喜城の歴史（香取市社会福祉協議会）	展示室	地引尚幸	19人
2月19日（土）	展示解説（野田市シルバー人材センター）	展示室	加藤修司	20人
2月22日（水）	展示解説（御宿町歴史民俗資料館）	展示室	地引尚幸	13人
2月25日（土）	展示解説（大多喜町国際交流協会）	展示室	地引尚幸	13人
3月1日（水）	大多喜城の歴史（浦賀地域6団体視察研究会）	展示室	加藤修司	24人
3月5日（日）	大多喜城の歴史（クラブツーリズム（株））	展示室	加藤修司	31人
3月5日（日）	大多喜城の歴史（個人御一行）	展示室	地引尚幸	6人
3月7日（火）	大多喜城の歴史（悠悠クラブ）	展示室	加藤修司	42人
3月8日（水）	大多喜城の歴史（JAくまがやゆうゆう会）	展示室	加藤修司	63人
3月9日（木）	大多喜城の歴史 （JAくまがや年金友の会）	展示室	加藤修司	59人
3月9日（木）	展示解説 （ウォーキングサークルAK3）	展示室	加藤修司	38人
3月10日（金）	大多喜城の歴史 （0.5次会）	展示室	加藤修司	12人

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
3月12日（日）	大多喜城の歴史 （粟生納屋親睦会）	展示室	加藤修司	22人
3月12日（日）	大多喜城の歴史 （ビッグホリデー（株）川崎大師 と房総日帰りの旅）	展示室	加藤修司	66人
3月12日（日）	大多喜城の歴史 （JAくまがやゆうゆう会）	展示室	加藤修司	63人
3月14日（火）	大多喜城の歴史 （39会）	展示室	加藤修司	30人
3月22日（水）	展示解説・試着体験 （御宿町国際交流）	展示室、研修館	地引尚幸、高橋 覚、 加藤修司	5人
3月24日（金）	大多喜城の歴史 （小室第1自治会）	展示室	加藤修司	34人
3月28日（火）	大多喜城の歴史 （君津市消費者の会）	展示室	加藤修司	32人
3月28日（火）	大多喜城の歴史 （日本の城と史跡を訪ねる会）	展示室	加藤修司	39人

#### イ 講座等講師（館外）

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
5月12日（木）	甲冑とその時代（市原市南総公民館）	市原市南総公民館	地引尚幸	80人
6月4日（木）	企画展講演会「名所の成立」（大利根分館）	大利根分館	高橋覚	55人
8月31日（水）	講座「江戸風俗図屏風の世界」（市原市立南総公民館）	市原市立南総公民館	地引尚幸	95人
10月8日（土）	講座「水郷の自然と歴史」（大利根分館）	大利根分館	高橋覚	38人
12月3日（土）	千葉再発見講座「本多忠勝と大多喜城」（青葉の森芸術文化ホール）	青葉の森芸術文化ホール	高橋覚	22人
12月6日（火）	家庭教育学級「悲願の大多喜水道」（大多喜町立大多喜小学校）	大多喜町立大多喜小学校	高橋覚	309人
1月27日（金）	講座「房総のツジギリ」（市原市立姉崎公民館）	市原市立姉崎公民館	地引尚幸	36人
2月24日（金）	講座「ツナツリの現地見学」（市原市立姉崎公民館）	市原市立姉崎公民館	地引尚幸	30人

#### 4 市民参画

##### （1）ボランティア

##### ア ボランティアの受入れ

名称	登録者数	延べ活動日数	活動内容
体験教室ボランティア	18人	209日	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」、学習キットを活用した体験学習のサポート

##### イ ボランティア研修

月日	研修内容	場所	担当者等	参加者数
4月12日（火）	年間予定作成、学習キット試着研修	研修館	地引尚幸	12人
7月27日（水）	収蔵資料展研修、学習キット試着研修	展示室、研修館	地引尚幸、加藤修司	14人
11月17日（木）	企画展研修	展示室、研修館	地引尚幸、高橋覚	7人



## 第4 分館海の博物館

### 1 展示観覧支援

#### (1) 展示解説

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4月(29回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	249人
5月(24回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	214人
6月(19回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	109人
7月(34回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	468人
8月(41回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	589人
9月(23回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	225人
10月(20回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	190人
11月(24回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	189人
12月(22回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	164人
1月(26回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	188人
2月(25回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	166人
3月(35回)	展示室の歩き方	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	367人

### 2 講座・観察会等の開催

#### (1) 講座

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月3日(木・祝)	マニアックな無脊椎動物のはなし (イソギンチャク・十脚甲殻類)	奥野淳兒、柳 研介	講座実験室	6人
3月20日(月・祝)	サンゴ礁の生きものたち	立川浩之 本吉正宏	講座実験室	10人

#### (2) 観察会

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月24日(日)	ウミウシを観察しよう	立川浩之、柳 研介	館前の磯	19人
5月8日(日)	海藻を観察しよう	菊地則雄、奥野淳兒	館前の磯	21人
5月21日(土)	鵜原理想郷で海岸植物を観察しよう	由良浩(生態学・環境研究科) 柳 研介	鵜原理想郷	6人
6月5日(日)	エビ・カニ・ヤドカリ探訪	奥野淳兒、本吉正宏	館前の磯	15人
6月19日(日)	はじめての磯あそび	村田明久、本吉正宏	館前の磯	7人
7月3日(月)	磯にすむへんな生きものウォッチ	奥野淳兒、菊地則雄	館前の磯	13人
7月18日(月・祝)	夷隅川の干潟でカニを観察しよう	柳 研介、奥野淳兒	夷隅川河口	3人
7月31日(日)	ウミガメの来る砂浜でビーチクリーンと生きもの観察をしよう	柳 研介、立川浩之	いすみ市和泉浦	7人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月4日(木)	親子で磯の魚を探そう	川瀬祐司、奥野淳兒	館前の磯	19人
8月5日(金)	親子で磯の生きものを探そう	村田明久、菊地則雄	館前の磯	18人
8月13日(土)	水中メガネで海の生きものを観察しよう	柳 研介、川瀬裕司、村田明久	館前の磯	23人

(3) フィールドトリップ

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月5日(木・祝)	磯・いそ探検隊1	柳 研介、菊地則雄、新 和宏(分館長)	館前の磯	20人
5月6日(金)	磯・いそ探検隊2	奥野淳兒、川瀬裕司	館前の磯	0人
5月7日(土)	磯・いそ探検隊3	川瀬裕司、奥野淳兒	館前の磯	12人
5月22日(日)	磯・いそ探検隊4	立川浩之、本吉正宏	館前の磯	2人
7月18日(月・祝)	磯・いそ探検隊5	村田明久、本吉正宏	館前の磯	22人
7月23日(土)	磯・いそ探検隊6	菊地則雄、立川浩之	館前の磯	23人
8月6日(土)	磯・いそ探検隊7	奥野淳兒、本吉正宏	館前の磯	15人
8月18日(木)	磯・いそ探検隊8	菊地則雄、村田明久	館前の磯	24人
8月19日(金)	磯・いそ探検隊9	川瀬裕司、柳 研介	館前の磯	16人
8月21日(日)	磯・いそ探検隊10	柳 研介、奥野淳兒	館前の磯	17人

(4) バックヤードツアー

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月30日(土)	博物館探検隊1	村田明久、奥野淳兒	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	16人
5月1日(日)	博物館探検隊2	川瀬裕司、柳 研介	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	14人
5月2日(月)	博物館探検隊3	立川浩之、村田明久	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	14人
5月4日(水・祝)	博物館探検隊4	菊地則雄、川瀬裕司	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	16人
6月15日(水)	博物館探検隊5	奥野淳兒、立川浩之	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	7人
8月11日(木・祝)	博物館探検隊6	柳 研介、本吉正宏	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	8人
8月12日(金)	博物館探検隊7	村田明久、菊地則雄	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	16人
8月14日(日)	博物館探検隊8	柳 研介、奥野淳兒	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	13人
8月20日(土)	磯・いそ探検隊9(雨天代替)	立川浩之、川瀬裕司	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	9人
11月3日(木・祝)	博物館探検隊10	立川浩之、菊地則雄	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	12人
3月26日(日)	博物館探検隊11	柳 研介、村田明久	展示室、飼育室、標本処理室、大型標本収蔵庫	16人

(5) みんなで工作

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月3日(火・祝)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員) 川瀬裕司	講座実験室	27人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月30日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員) 村田明久	講座実験室	32人
8月7日(日)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員) 立川浩之	講座実験室	14人
8月27日(土)	海藻おしぼを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員) 菊地則雄	講座実験室	10人

(6) 海の体験コーナーイベント

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月2日(土)	海藻おしぼを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	19人
4月16日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	12人
5月15日(日)	微小貝をさがそう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	11人
5月29日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	12人
6月11日(土)	シラスをしらべよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	12人
6月25日(土)	シラスをしらべよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	11人
9月10日(土)	微小貝をさがそう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	16人
9月24日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	18人
10月1日(土)	シラスをしらべよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	14人
10月23日(日)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	2人
11月5日(土)	海藻おしぼを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	20人
11月19日(土)	微小貝をさがそう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	3人
12月3日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	6人
12月17日(土)	シラスをしらべよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	4人
1月14日(土)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	9人
1月28日(土)	海藻おしぼを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	13人
2月11日(土)	微小貝をさがそう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	20人
2月25日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	17人
3月11日(土)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	11人
3月25日(土)	コーラルプリントをしよう	金子美織(体験交流員) 原田佳世子(体験交流員)	展示室	20人

(7) 体験イベント・特別企画

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月4日(土)	第14回勝浦港カツオまつり	新 和宏(分館長)、本吉正宏、 奥野淳兒	勝浦市営墨名駐車場	450人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月11日(土)	そごう第2回ディスカバーちばウィークワークショップ	新 和宏(分館長)、本吉正宏、村田明久	そごう千葉店	26人
8月5日(金)	勝浦海中公園サマーフェスタスタンプリアー	—	展示室	56人
8月19日(金)	勝浦海中公園サマーフェスタスタンプリアー	—	展示室	69人
11月5日(土)	かつうら魅力市	奥野淳兒、本吉正宏、村田明久	キュステ駐車場	620人
11月13日(日)	鴨川青年の家まつり	本吉正宏、近藤佳純、原田佳世子(体験交流員)	鴨川青年の家	58人
11月26日(土)	アート展ワークショップ 新聞紙で海の不思議な生きものを作ろう!	菊地則雄	講座実験室	4人
11月27日(日)	アート展ワークショップ 新聞紙で海の不思議な生きものを作ろう!	菊地則雄	講座実験室	18人
12月24日(土)	アート展ワークショップ 新聞紙で海の不思議な生きものを作ろう!	菊地則雄、柳 研介	講座実験室	21人
12月25日(日)	アート展ワークショップ 新聞紙で海の不思議な生きものを作ろう!	菊地則雄、柳 研介	講座実験室	17人

### 3 アウトリーチ支援

#### (1) 学校対象

##### ア 幼稚園・保育園

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	延べ参加者数
7月13日(水)	鴨川市立小湊幼稚園(展示室・バックヤード解説)	展示室	菊地則雄、原田佳世子(体験交流員)、金子美織(体験交流員)	18人

##### イ 小学校

月日	学校名(事業名)	場所	担当者等	延べ参加者数
5月2日(月)	勝浦市立上野小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	柳 研介	35人
5月12日(木)	小金井市立前原小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	川瀬裕司、立川浩之	94人
5月17日(火)	小金井市立緑小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	川瀬裕司、村田明久	108人
5月19日(木)	小金井市立小金井第三小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏、奥野淳兒	125人
5月24日(火)	小金井市立小金井第四小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏、奥野淳兒	93人
5月27日(金)	いすみ市立大原小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏	85人
5月27日(金)	小金井市立東小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏、川瀬裕司	106人
5月31日(火)	小金井市立小金井第一小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	乃一哲久、川瀬裕司	107人
6月2日(木)	小金井市立本町小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏、柳 研介	66人
6月7日(火)	小金井市立小金井第二小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	立川浩之、奥野淳兒	90人
6月8日(水)	目黒区立緑が丘小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	本吉正宏	52人
6月9日(水)	小金井市立南小学校(展示室・バックヤード解説)	展示室	菊地則雄、柳 研介	93人

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
6月14日（火）	勝浦市立勝浦小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	奥野淳児	48人
9月15日（木）	いすみ市立太東小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	菊地則雄	38人
9月29日（木）	いすみ市立中根小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	川瀬裕司	36人
9月29日（木）	目黒区立田道小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	柳 研介	45人
10月13日（木）	目黒区立緑が丘小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	本吉正宏	44人
10月16日（日）	板橋区立天津わかしお学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	菊地則雄	47人
10月19日（水）	いすみ市立古沢小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	奥野淳児	39人
11月1日（火）	目黒区立五本木小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	本吉正宏、村田明久	79人
11月15日（火）	目黒区立烏森小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	柳 研介	45人
12月8日（木）	鴨川市立天津小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	村田明久	27人
12月15日（木）	目黒区立中目黒小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	本吉正宏、奥野淳児	129人
1月20日（金）	いすみ市立太東小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	川瀬裕司	47人

ウ 中学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
8月4日（木）	千葉大学附属中学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	村田明久	24人
10月13日（木）	渋谷教育学園幕張中学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	川瀬裕司	50人

エ 特別支援学校

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
6月2日（木）	千葉県立夷隅特別支援学校小学部（タッチプール、展示室・バックヤード解説）	展示室	菊地則雄	12人

オ 大学

月日	学校名（事業名）	場所	担当者等	延べ参加者数
7月29日（金）	東京海洋大学（講演、バックヤード解説）	展示室	菊地則雄、柳 研介	108人
8月3日（水）	東京海洋大学（展示室・バックヤード解説）	展示室	菊地則雄、柳 研介	88人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師（館内）

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
4月14日（木）	展示室・バックヤード解説（東京都小金井市教育委員会）	展示室	本吉正宏	16人

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
4月15日（金）	展示室・バックヤード解説（東京都目黒区東山小教員）	展示室	本吉正宏	2人
4月16日（土）	展示室・バックヤード解説（東京都練馬区教育委員会）	展示室	村田明久	20人
4月19日（火）	展示室・バックヤード解説（九十九里自然を守る会）	展示室	柳 研介	6人
5月5日（木）	いすみ市立東小学校（展示室・バックヤード解説）	展示室	本吉正宏	1人
5月7日（土）	展示室・バックヤード解説（学芸大学附属小金井小教員）	展示室	本吉正宏	4人
5月20日（金）	展示室・バックヤード解説（勝浦市教育委員会）	展示室	本吉正宏	3人
5月25日（水）	展示室・バックヤード解説（渋谷教育学園幕張中学校教員）	展示室	本吉正宏	3人
5月31日（火）	展示室・バックヤード解説（安房生物愛好会）	展示室	本吉正宏	3人
6月1日（水）	展示室解説・バックヤード解説（農協観光）	展示室	本吉正宏	2人
6月11日（土）	展示室・バックヤード解説（江東区中学校教育研究会理科部会）	展示室	菊地則雄	2人
6月25日（土）	展示室・バックヤード解説（鴨川市天津小湊ボランティア）	展示室	村田明久	20人
6月28日（火）	展示室・バックヤード解説（東京海洋大教員）	展示室	柳 研介	3人
7月17日（日）	展示室・バックヤード解説（佐倉市岩富地区こども会）	展示室	本吉正宏	30人
8月5日（金）	展示室・バックヤード解説（目黒区教育委員会）	展示室	本吉正宏	30人
8月24日（水）	展示室・バックヤード解説（船橋市丸山公民館）	展示室	立川浩之	45人
9月28日（水）	展示室・バックヤード解説（松戸市民児協）	展示室	本吉正宏	20人
10月12日（水）	展示室・バックヤード解説（西習志野さわやかクラブ）	展示室	柳 研介	22人
10月21日（金）	展示室・バックヤード解説（退職女性校長会）	展示室	本吉正宏	2人
11月4日（金）	展示室・バックヤード解説（退職女性校長会）	展示室	本吉正宏	5人
11月11日（金）	展示室・バックヤード解説（退職女性校長会）	展示室	本吉正宏	88人
12月16日（金）	展示室・バックヤード解説（いすみ市郷土資料館）	展示室	本吉正宏	40人

イ 講座等講師（館外）

月日	事業名（依頼先）	場所	担当者等	参加者数
7月26日（火）	夏休み調べ学習相談会（袖ヶ浦市教育委員会）	袖ヶ浦市立図書館	川瀬裕司	26人

ウ 団体フィールドトリップ

月日	相手先	場所	担当者等	参加者数
4月24日（日）	浦安三番瀬を大切に作る会	館前の磯	村田明久	39人
5月26日（木）	佐倉自然同好会	館前の磯	立川浩之	6人

月日	相手先	場所	担当者等	参加者数
6月3日(金)	千葉県高校理科部会生物分科会	館前の磯	村田明久	8人
6月19日(日)	勝浦市教育委員会	館前の磯	立川浩之	29人
7月7日(木)	安房生物愛好会	館前の磯	奥野淳兒	28人
7月21日(木)	千葉シニア自然大学	館前の磯	菊地則雄	22人
8月1日(月)	千葉県生涯学習課「夢チャレンジ」	館前の磯	川瀬裕司	11人
8月2日(火)	市原市市津公民館	館前の磯	菊地則雄、柳 研介	41人
8月2日(火)	江東区中学校教育研究会理科部会	館前の磯	立川浩之	16人
8月5日(金)	パルシステム福島の子どもたち	館前の磯	立川浩之	48人
8月19日(金)	市川市教育委員会	館前の磯	菊地則雄	15人

## エ 野外実習事業

### (ア) 小学校

月日	学校名	場所	担当者等	参加者数
5月9日(月)	いすみ市立浪花小学校	いすみ市の磯	村田明久	69人
5月23日(月)	板橋区立天津わかしお学校	鴨川市の磯	菊地則雄	33人
6月6日(月)	板橋区立天津わかしお学校・鴨川市立天津小学校	鴨川市の磯	菊地則雄、立川浩之	67人
6月8日(水)	いすみ市立東小学校	館前の磯	村田明久	14人
6月10日(金)	勝浦市立豊浜小学校	勝浦市立豊浜小学校	村田明久	14人
6月20日(月)	勝浦市立豊浜小学校	勝浦市新官の磯	村田明久	55人
6月23日(木)	東京学芸大学附属小金井小学校	館前の磯	川瀬裕司、奥野淳兒	111人
7月7日(木)	勝浦市立総野小学校	館前の磯	村田明久	28人

### (イ) 高等学校

月日	学校名	場所	担当者等	参加者数
6月18日(土)	千葉県立長生高等学校	館前の磯	村田明久	21人
6月22日(水)	千葉県立大原高等学校	勝浦市石の浦海岸	立川浩之、奥野淳兒	13人
7月22日(金)	埼玉県立熊谷西高等学校	館前の磯	奥野淳兒	33人
8月16日(火)	千葉県立長生高等学校	館前の磯	村田明久	21人

### (ウ) 大学

月日	学校名	場所	担当者等	参加者数
4月25日(月) ~28日(木)	東京大学理学部	館前の磯	菊地則雄	60人
5月13日(金)	東京大学新領域	館前の磯	菊地則雄	11人

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1) 職場体験

月日	学校名	日数	人数	担当課科（職員）
11月8日（火）～10日（木）	勝浦市立北中学校	3日	1人	—
合計	1校	3日	1人	

(2) 教員研修

月日	相手先	場所	担当者等	参加者数
8月3日（水）	千葉県総合教育センター	館前の磯、講座実験室	立川浩之、村田明久	21人



## V 情報発信

### 1 出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

#### (1) 出版物・印刷物

本館

名称	規格	頁数	発行数	発行年月日
常設展示パンフレット（一般用） ※増刷	A3（縦音折）	8	22,000	平成28年6月24日 平成29年1月21日
常設展示パンフレット（一般用・英語版）	A3（縦音折）	8	10,000	平成29年3月30日
平成28年度行事案内	A4	8	22,000	平成29年3月15日
平成28年度カレンダー	A2	1	10,000	平成29年3月15日
房総の山のフィールドミュージアム平成28年度のご案内	A4	2	10,000	平成29年3月18日
千葉県立中央博物館研究報告 人文科学 13巻2号	B5	31	700	平成29年3月31日
千葉県立中央博物館自然誌研究報告 特別号10	B5	liv, 410	600	平成29年3月25日
千葉県立中央博物館年報28（平成27年度版）	A4	[119]	PDF	平成29年3月31日
ニュースレター「しいむじな」53号	A4	4	4,000	平成28年6月25日
ニュースレター「しいむじな」54号	A4	4	4,000	平成28年9月25日
ニュースレター「しいむじな」55号	A4	4	4,000	平成28年12月25日
ニュースレター「しいむじな」56号	A4	4	4,000	平成29年3月25日
地学資料集「房総の海岸打ち上げ及び埋め立て地の化石」	A4	26	200	平成29年3月31日
生態園観察ノート ミジンコ	B5	29	2,000	平成29年2月22日
企画展「驚異の深海生物」				
チラシ	A4	2	80,000	平成28年5月18日
ポスター	A2	1	550	平成28年5月18日
ポスター	B3	1	450	平成28年7月15日
ポスター	B1	1	170	平成28年7月15日
解説リーフレット	A4	4	30,000	平成28年7月9日
ワークシート「深海生物ノート」	A5	4	15,000	平成28年7月9日
秋の展示「屏風絵の世界－職人尽絵を中心に－」 チラシ	A4	2	10,000	平成28年9月23日
春の展示「五七五で自然を切り取る：生態園を子どもの目で詠むと」 チラシ	A4	1	8,000	平成29年2月20日
県立中央図書館・県立中央博物館共同企画 「祝日本遺産 北総四都市江戸巡り」 チラシ	A4	2	10,000	平成29年2月28日

※「千葉県立中央博物館年報28（平成27年度版）」は、本館ウェブサイトで公開

大利根分館

名称	規格	頁数	発行数	発行年月日
常設展示パンフレット ※増刷	A4三つ折り	6	4,000	平成 29 年 3 月 17 日
平成 29 年度行事案内 (常設展示パンフレット)	A 4	2	7,000	平成 28 年 3 月 17 日
川のフィールドミュージアムニュースレター「たかつぼ通信」9 号	A 4	4	1,500	平成 28 年 3 月 17 日
企画展「ウナギとサケ-海にかかわる不思議なさかな-」チラシ				
チラシ	A 4	2	15,000	平成 29 年 3 月 28 日
パンフレット	A 4	4	5,000	平成 29 年 3 月 28 日
夏休み展示「妖怪になった動物たち」チラシ	A 5	2	40,000	平成 28 年 7 月 8 日

大多喜城分館

名称	規格	頁数	発行数	発行年月日
常設展示案内パンフレット	A4三つ折り	6	100,000	平成 28 年 11 月 29 日
「大多喜城の歴史」リーフレット ※増刷	B 6	2	50,000	平成 28 年 7 月 8 日
企画展「甦った受難の刀剣～千葉県赤羽刀～」				
チラシ	A 4	2	10,000	平成 28 年 9 月 9 日
ポスター	B 2	1	300	平成 28 年 9 月 9 日
図録	A 4	22	400	平成 28 年 10 月 20 日

分館海の博物館

名称	規格	頁数	発行数	発行年月日
海の博物館利用のしおり ※増刷	A 6 切	2	30,000	平成 29 年 2 月 28 日
平成 29 年度行事案内	A 6 切	8	11,000	平成 29 年 3 月 26 日
海の生きもの観察ノート 2 「海藻を観察しよう」 ※改訂	A 5	28	2,000	平成 29 年 3 月 17 日
収蔵資料展「海の絶滅危惧種」				
ポスター	A 2	1	50	平成 28 年 6 月 28 日
チラシ	A 4	2	40,000	平成 28 年 6 月 28 日
マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」				
ポスター	A 2	1	1,100	平成 29 年 1 月 21 日
チラシ	A 4	2	18,000	平成 29 年 1 月 21 日
リーフレット	A 4	4	5,000	平成 29 年 2 月 6 日
海のアート展「海の不思議ないきもの」				
リーフレット	A 4	2	3,000	平成 28 年 10 月 23 日
ポスター	A 2	1	50	平成 28 年 10 月 23 日

## 2 インターネットによる情報発信

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、収蔵資料等を解説したデジタルミュージアムの公開等を行った。

### (1) ウェブサイト

#### ア ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	361	582	736
山のフィールドミュージアム	15	87	13
大 利 根 分 館	5	28	33
大多喜城分館	12	—	—
分館海の博物館	48	17	66
合 計	421	714	848

#### イ ウェブサイトへのアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	20,444	22,469	24,231	47,508	57,212	32,196	18,593	17,259	14,563	23,844	15,694	17,932	311,945
大 利 根 分 館	10,277	12,006	14,851	18,211	29,683	24,660	19,675	18,263	10,431	11,743	8,777	11,546	190,123
大多喜城分館	5,606	5,313	4,248	4,408	4,861	4,075	4,570	4,227	3,324	3,268	3,320	4,468	51,688
分館海の博物館	4,375	4,802	5,337	6,017	7,456	3,712	2,678	2,354	2,287	2,955	2,700	4,330	49,003
房総の山のフィールド・ミュージアム	660	670	906	1,166	1,257	755	598	660	506	589	560	571	8,898
合 計	41,362	45,260	49,573	77,310	100,469	65,398	46,114	42,763	31,111	42,399	31,051	38,847	611,657

※数値は、サイト訪問者数

### (2) メールマガジン

#### ア メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本館 大 利 根 分 館 大多喜城分館	ちば中央博メール	116～127	12回	毎月10日	18,658
房総の山のフィールド・ミュージアム	しいむじなメール	145～156, 号外	13回	毎月10日	10,066
分館海の博物館	海からのたより	134～145, 145追加	13回	毎月1日	10,892

イ メルマガコラム

(ア) ちば中央博メール「中央博の窓」

回数	記事名	執筆者名	掲載巻次	掲載月
80	「教員のための博物館の日」のご紹介	林 浩二 (生態学・環境研究科)	116	4月号
81	大利根分館企画展「江戸時代房総名所めぐり」のご案内	榎 美香 (大利根分館)	117	5月号
82	企画展「驚異の深海生物—新たなる“深”世界へ—」の御案内	駒井智幸 (動物学研究科)	118	6月号
83	生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」の御案内	宮野 伸也 (生態学・環境研究科)	119	7月号
84	江戸情緒がいっぱい「大多喜城の歴史と絵図」から	加藤修司 (大多喜城分館)	120	8月号
85	自然の音サロン—季節の音を愛でる—	大庭照代 (教育普及課)	121	9月号
86	秋の展示「屏風絵の世界—職人尽絵 (づくしえ)を中心に—」の御案内	内田龍哉 (歴史学研究)	122	10月号
87	企画展「甞(よみがえ)った受難の刀剣—千葉県の赤羽刀—」	高橋 覚 (大多喜城分館)	123	11月号
88	はじめまして、佐山淳史(あつし)です。	佐山淳史 (教育普及課)	124	12月号
89	4館園連携企画作品展覧会(巡回展) 「ちば生きもの科学クラブ 2016～サル仲間と私たち～」の御紹介	下稲葉さやか(動物学研究科)	125	1月号
90	春の展示「五七五で自然を切り取る—生態園を子どもの目で詠(よ)むと—」	林 浩二 (生態学・環境研究科)	126	2月号
91	ボランティア活動に楽しみを	海老澤 誠 (ボランティア)	127	3月号

(イ) ちば中央博メール「コラム 研究室から」

回数	記事名	執筆者名	掲載巻次	掲載月
52	27年待っていた質問	萩野康則(動物学研究科)	116	4月号
53	千葉県のキョン	下稲葉さやか(動物学研究科)	117	5月号
54	ケヤキの花	奥田昌明 (教育普及課)	118	6月号
55	淡水魚よもやま話～メダカ～	後藤 亮 (企画調整課)	119	7月号
56	「水辺の外来種の問題」 (特別寄稿)	鈴木規慈 (千葉県生物多様性センター)	120	8月号
57	キノコの胞子はどこまで飛んで広がるか—見えない壁—	吹春俊光 (環境教育研究科)	121	9月号
58	喪失とノスタルジーの街—稲毛海気館(かいきかん)をめぐる—	相川順子 (教育普及課)	122	10月号
59	日本唯一の「四方懸造り」～緑の岩壁にそびえる笠森寺観音堂～	安川裕樹 (教育普及課)	123	11月号

図	記事名	執筆者名	掲載巻次	掲載月
60	どんぐりが作る森	原 正利 (生態・環境研究部)	124	12月号
61	地球史を見るツールー地層の模様ー	岡崎 浩子 (地学研究科)	125	1月号
62	草花や虫の名前が分からなくなる日	森田利仁 (自然誌・歴史研究部長)	126	2月号
63	迅速測図：明治10年代に作られた関東地方の地図	白井 豊 (生態学・環境研究科)	127	3月号

(ウ) 海からのたより「ノート」

図	記事名	執筆者名	掲載巻次	掲載月
ー	橋に見る災害と復興	本吉正宏 (分館海の博物館)	134	4月
ー	サケガシラー稀種？普通種？深海からの使者	川瀬裕司 (分館海の博物館)	135	5月
ー	レッドデータブックを知っていますか？	立川浩之 (分館海の博物館)	136	6月
ー	海の博物館前の磯で見られるヤドカリ	奥野淳兒 (分館海の博物館)	137	7月
ー	絶滅危惧種のノリ	菊地則雄 (分館海の博物館)	138	8月
ー	台風と海の生きもの	村田明久 (分館海の博物館)	139	9月
ー	クシクラゲの肛門の報道を見て	柳 研介 (分館海の博物館)	140	10月
ー	新(Shin)が提唱し、実践している Interactive Museum はあなたの人生観を変える！	新 和宏 (分館長)	141	11月
ー	世界津波の日	本吉正宏 (分館海の博物館)	142	12月
ー	マアナゴはいったいどこで生まれる？	川瀬裕司 (分館海の博物館)	143	1月
ー	マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」を開催します	立川浩之 (分館海の博物館)	144	2月
ー	混乱する普通種の分類	奥野淳兒 (分館海の博物館)	145	3月

(3) ツイッター

	アカウント名	フォロワー数	ツイート数	リツイート数	開始年月日
本館 大 利 根 分 館 大 多 喜 城 分 館	@chiba_chuohaku	1,652	1,383	3,113	平成25年3月26日
分館海の博物館	@umihaku	793	20	111	平成25年4月18日
合 計	ー	2,445	1,403	3,224	ー

(4) デジタルミュージアムの公開

本館

コンテンツ名	コンテンツ名
中央博資料百選	館蔵浮世絵・屏風画紹介
樹木検索図鑑	房総の植物誌づくりと中央博物館
房総ジオツアー	千葉県の毒きのこ
昆虫標本のつくり方	下総台地と周辺の貝化石
地域の音が出る地図	空から見た千葉県（1987・88年）
維管束植物標本百選	千葉県の滝－所在と成因
ネパールと東南アジアのガ	故・林辰雄氏撮影写真集－昭和30年代の東京湾岸－
梵天にみる房総の出羽三山信仰	生態園植物歳時記
おばあちゃんの畑プロジェクト	カラス大調査
ききみみコレクション	カエル教室
耳をたよりにプロジェクト	浮世絵に見る江戸時代の園芸
音の標本箱	房総のハチ 世界のハチ
野草・雑草検索図鑑	百年前の千葉県「日本博覧図」
房総の山のケモノ	環境教育と千葉県
花の植物画集－カーチス植物学雑誌より－	旅する地球の水

大利根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

大多喜城分館

コンテンツ名	コンテンツ名
甲冑展	火縄銃
武器のデザイン	

分館海の博物館

コンテンツ名	コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑	磯の生きもの図鑑
勝浦深訪	館山の海底

3 マスコミ等を通じた情報発信

マスコミ等を通じて、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1) 記者発表

本館

区分	発表日	内容
資料提供	平成28年6月23日(木)	驚異の深海生物－新たなる深世界へ－
	平成28年7月14日(木)	チーバくんと遊べる・学べる「チーバくんの博物館ツアー」を開催します
	平成28年7月19日(火)	千葉県鋸南町で発見された！新属新種「アワイルカ」の化石を中央博物館で初公開！

区分	発表日	内容
資料提供	平成 28 年 7 月 21 日 (木)	夏休みは県立美術館・博物館へ！
	平成 28 年 8 月 9 日 (火)	奇妙な形をした深海魚 2 種を発見！！－上向きの双眼で何を見る？小さな深海魚ヒカリデメニギス－
	平成 28 年 10 月 11 日 (火)	秋の展示「屏風絵の世界－職人尺絵を中心に－」
	平成 28 年 10 月 18 日 (火)	文化の日は県立美術館・博物館が入館無料です！
	平成 28 年 12 月 13 日 (火)	チーバくんの誕生 10 周年をお祝いしよう！－展示会「まるごとチーバ
	平成 28 年 12 月 27 日 (火)	わずか 1 日の調査で魚種の 8 割を検出－海水からの DNA 解析法で－
	平成 28 年 2 月 21 日 (日)	春の展示「五七五で自然を切り取る－生態園を子どもの目で詠むと－」
知事定例会見	平成 28 年 4 月 14 日 (木)	県立美術館博物館の展覧会イベントについて
	平成 28 年 7 月 1 日 (金)	県立美術館博物館の夏休み中イベントについて
知事会見	平成 28 年 11 月 18 日 (金)	県立博物館・美術館イベントについて

#### 大利根分館

区分	発表日	内容
資料提供	平成 27 年 5 月 22 日 (金)	企画展「母の祈り－利根川下流域の女人信仰－」の開催について
知事定例会見	平成 27 年 4 月 9 日 (木)	県立美術館博物館の展覧会イベントについて
資料提供	平成 28 年 7 月 21 日 (木)	夏休み展示「妖怪になった動物たち」

#### 分館海の博物館

区分	発表日	内容
資料提供	平成 28 年 7 月 5 日 (火)	収蔵資料展「海の絶滅危惧種」について
	平成 29 年 1 月 31 日 (火)	マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」について

#### (2) 行事情報の発信

	件数		件数
本館	252 件	大多喜城分館	72 件
大利根分館	69 件	分館海の博物館	71 件
		合計	464 件

#### (3) メディア掲載

##### ア 職員の取材対応

##### (ア) 新聞・雑誌等

##### 本館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 4 月 12 日 (火)	産経新聞社	春の展示「石材が語る－火山がつくった日本列島－」展について	高橋直樹(地学研究科)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 4 月 19 日 (火)	日本経済新聞社自社千葉支局	「地磁気逆転と田淵の地層」の写真撮影	加藤久佳(地学研究科)、八木玲子(地学研究科)
平成 28 年 4 月 22 日 (金)	千葉日報	春の展示「石材が語る－火山がつくった日本列島－」展について	高橋直樹(地学研究科)

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 5 月 10 日 (火)	千葉日報	日本地質学会が発表した「県の石」について	高橋直樹(地学研究科)
平成 28 年 5 月 12 日 (木)	読売新聞	日本地質学会が表し発た「県の石」について	高橋直樹(地学研究科)
平成 28 年 5 月 12 日 (木)	産経新聞	日本地質学会が発表した「県の石」について	岡崎浩子(地学研究科)、高橋直樹(地学研究科)
平成 28 年 5 月 18 日 (水)	千葉民報社	春の展示「石材が語るー火山がつくった日本列島ー」展について	高橋直樹(地学研究科)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 5 月 24 日 (火)	産経新聞	新種のダイオウグソクムシ化石の写真提供	加藤久佳(地学研究科)
平成 28 年 6 月 7 日 (火)	誠文堂『子供の科学』	新種のダイオウグソクムシ化石の写真提供	加藤久佳(地学研究科)
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	千葉県保険医新聞(千葉県保健協会)	千葉県の古墳の特徴について	萩原恭一(副館長)
平成 28 年 7 月 6 日 (水)	朝日新聞	企画展「驚異の深海生物」について	立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 7 月 7 日 (木)	共同通信社	企画展「驚異の深海生物」について	萩野康則(動物学研究科)
平成 28 年 7 月 14 日 (木)	毎日新聞	環境DNAの研究について	立和名明美(企画調整課)、宮 正樹(生態・環境研究部長)
平成 28 年 7 月 20 日 (水)	稲毛新聞社	中央博物館館長インタビュー	中村祥一(館長)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 7 月 27 日 (水)	千葉日報社	チーバくんの博物館ツアー及び 新種アワイルカについて	伊左治鎮司(企画調整課)
平成 28 年 7 月 28 日 (木)	誠文堂『子供の科学』	日本で見られる代表的な毒きのこについて	吹春俊光(環境教育研究科)
平成 28 年 7 月 31 日 (日)	稲毛新聞社	中央博物館館長インタビュー	中村祥一(館長)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 7 月 31 日 (日)	産経新聞社	企画展「驚異の深海生物」ワークシートと展示内容	下稲葉さやか(動物学研究科)
平成 28 年 7 月 31 日 (日)	朝日新聞	項目:ミニトピックス展「新属新種アワイルカ千葉県鋸南町で化石発見！」	斎木健一(教育普及課)
平成 28 年 7 月 31 日 (日)	産経新聞社	企画展「驚異の深海生物」ワークシートと展示内容	下稲葉さやか(動物学研究科)
平成 28 年 8 月 2 日 (火)	読売新聞東京本社	企画展「驚異の深海生物」について	駒井智幸(動物学研究科)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 8 月 10 日 (水)	千葉日報	奇妙な姿をした深海魚の新種 2 種を発見!	宮 正樹(生態・環境研究部長)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 8 月 10 日 (水)	しんぶん赤旗	奇妙な姿をした深海魚の新種 2 種を発見!	宮 正樹(生態・環境研究部長)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 8 月 14 日 (日)	読売新聞	企画展「驚異の深海生物」関連イベント「深海生物でギョッ！」について	駒井智幸(動物学研究科)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 8 月 25 日 (木)	毎日新聞	企画展「驚異の深海生物」について	萩野康則(動物学研究科)
平成 28 年 9 月 6 日 (火)	誠文堂新光社「子供の科学」	日本で見られる代表的な毒きのこについて	吹春俊光(環境教育研究科)
平成 28 年 10 月 20 日 (木)	朝日新聞	房総半島の外来野生動物「キョン」について	下稲葉さやか(動物学研究科)、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 11 月 1 日 (火)	北海道新聞	80 年ぶりに再発見された深海性のエビ類ツメナガイバラモエビについて	駒井智幸(動物学研究科)
平成 28 年 11 月 11 日 (金)	科学技術振興機構	『サイエンス・ウィンドウ』の取材	大木淳一(生態学・環境研究科)
平成 28 年 12 月 13 日 (火)	千葉日報	セアカゴケグモの千葉県内における分布の拡大について	萩野康則(動物学研究科)
平成 29 年 1 月 5 日 (木)	朝日新聞	房総半島のキョンについて	下稲葉さやか(動物学研究科)
平成 29 年 2 月 28 日 (火)	KKセベストセラーズ	凶鑑について	斎木健一(教育普及課)



取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 29 年 3 月 2 日 (木)	朝日新聞社	図鑑について	斎木健一(教育普及課)
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	教育新聞	平成 29 年春の展示「五七五で自然を切り取る一生態園を子供の目で詠むとー」について	林 浩二(生態学・環境研究科)
平成 29 年 3 月 19 日 (日)	千葉日報社	平成 29 年春の展示「五七五で自然を切り取る一生態園を子供の目で詠むとー」について	林 浩二(生態学・環境研究科)
平成 29 年 3 月 24 日 (金)	朝日新聞千葉総局	中央図書館・中央博物館共同展示「北総四都市江戸巡り」について	立和名明美(企画調整課)

#### 大利根分館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 4 月 2 日 (日)	千葉日報	トピックス展「印半纏の世界」	榎 美香
平成 28 年 5 月 28 日 (土)	千葉日報	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	榎 美香
平成 28 年 6 月 9 日 (木)	朝日新聞	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	榎 美香
平成 28 年 7 月 15 日 (金)	産経新聞	夏休み展示「妖怪になった動物たち」	糠谷 隆
平成 28 年 7 月 24 日 (日)	千葉日報	夏休み展示「妖怪になった動物たち」	糠谷 隆
平成 28 年 8 月 16 日 (火)	読売新聞	夏休み展示「妖怪になった動物たち」	糠谷 隆
平成 28 年 8 月 18 日 (木)	エリート情報 (香取)	妖怪になった動物たち開催中	糠谷 隆

#### 大多喜城分館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 4 月 3 日 (日)	千葉日報	大多喜城分館開催の「ユニセフラブウォーク in 大多喜の取材」	地引尚幸、立和名明美(企画調整課)
平成 28 年 4 月 5 日 (火)	読売新聞	「わがまち空から」に掲載のため、大多喜城の歴史等の取材	地引尚幸、加藤修司
平成 28 年 5 月 26 日 (木)	浦安読売	浦安市立博物館発行史料集「下総行徳領猟師種蠣記録」について	高橋 覚
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	関東電気保安協会	広報誌『お客様こんにちは』掲載のための外観・展示取材	高橋 覚
平成 28 年 7 月 29 日 (金)	産経新聞	大多喜城の歴史について	加藤修司
平成 28 年 10 月 21 日 (金)	千葉日報	企画展「甦った受難の刀剣―千葉県の赤羽刀―」	地引尚幸、高橋 覚
平成 29 年 3 月 2 日 (木)	サンデー毎日	大多喜城の歴史と分館の概要	高橋 覚
平成 29 年 3 月 17 日 (金)	アド・グリーン	大多喜城の歴史等について	加藤修司

#### 分館海の博物館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 5 月 13 日 (金)	JAFMATE	展示室内撮影	立川浩之
平成 28 年 7 月 26 日 (火)	千葉日報	収蔵資料展「海の絶滅危惧種」について	柳 研介
平成 28 年 8 月 23 日 (火)	産経新聞	収蔵資料展「海の絶滅危惧種」について	柳 研介
平成 28 年 8 月 27 日 (土)	シティライフ	分館海の博物館行事「みんなで工作海の生きもの 海藻おしばを作ろう」について	菊地則雄

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 12 月 25 日 (日)	シティライフ	分館海の博物館・海のアート展「海の不思議ないきもの」及関連ワークショップについて	菊地則雄
平成 29 年 2 月 10 日 (金)	朝日新聞	分館海の博物館マリンサイエンスギャラリーについて	立川浩之

(イ) テレビ・ラジオ等

本館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 4 月 8 日 (金)	フジテレビ	タケノコの成長の仕方と食べ方について	天野 誠 (植物学研究科)
平成 28 年 5 月 27 日 (金)	テレビ東京	カタツムリがブロック塀に集まっているのは何故か	黒住耐二 (動物学研究科)
平成 28 年 6 月 3 日 (金)	テレビ朝日	地球温暖化を示すきのこの件	吹春俊光 (植物学研究科)
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	千葉テレビ	企画展「驚異の深海生物」の展示作業について	駒井智幸 (動物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	NHK「サイエンスZERO」	水をくんで調べれば、生息する魚の種類が分かる新技術	宮 正樹 (生態・環境研究部長)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 7 月 12 日 (火)	株式会社ジェイコム千葉テレビ	企画展「驚異の深海生物」について	駒井智幸 (動物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 7 月 18 日 (月)	千葉テレビ	房総の海の森の物語ー海と日本プロジェクトー「海の物語ー君も海藻博士」について	立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 7 月 20 日 (水)	NHK千葉放送	ミニトビックス展 千葉県鋸南町で発見された新属新種「アワイルカ」の化石を中央博物館で初公開について	伊左治鎮司 (企画調整課)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 8 月 2 日 (火)	Bayfm	企画展「驚異の深海生物」について中継レポート	駒井智幸 (動物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 8 月 9 日 (火)	フジテレビ	千葉県内袖ヶ浦周辺で見られるハッカンのについて	大庭照代 (教育普及課)
平成 28 年 8 月 10 日 (水)	NHK千葉放送	奇妙な姿をした深海魚の新種 2 種を発見!	宮 正樹 (生態・環境研究部長)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 8 月 14 日 (日)	千葉テレビ	企画展「驚異の深海生物」関連イベント「深海生物でギョッ!」について	駒井智幸 (動物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 8 月 16 日 (火)	千葉テレビ	企画展「驚異の深海生物」について	立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 9 月 6 日 (火)	テレビ朝日	千葉県のキョンに付着したマダニ類について	下稲葉さやか (動物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 9 月 13 日 (火)	テレビ朝日スーパー J チャンネル	野生動物とダニの関係について	友田暁子 (資料管理研究科)
平成 28 年 10 月 11 日 (火)	テレビ朝日グッドモーニング	野生の毒きのこについて	吹春俊光 (環境教育研究科)
平成 28 年 10 月 18 日 (火)	テレビ朝日報道局スーパー J チャンネル	野生の毒きのこについて	—
平成 28 年 10 月 19 日 (水)	テレビ朝日報道局スーパー J チャンネル	野生の毒きのこについて	吹春俊光 (環境教育研究科)
平成 28 年 10 月 26 日 (水)	千葉テレビ 報道情報局	秋の展示「屏風絵の世界一職人尽絵を中心に」の展示内容	内田龍哉 (歴史学研究科)
平成 28 年 11 月 3 日 (木)	J : COM	自然誌フェスタ千葉の取材	伊左治鎮司 (企画調整課)
平成 28 年 11 月 6 日 (日)	テレビ朝日	「新・3大そっくりな花(仮)」について	天野 誠 (植物学研究科)、立和名明美 (企画調整課)
平成 28 年 11 月 13 日 (日)	TBSテレビ コラボレーション	インドネシア・パナイタン島の植物と動物 (シカ類) について	天野 誠 (植物学研究科)、下稲葉さやか (動物学研究科)

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 11 月 18 日 (金)	テレビ埼玉	埼玉県立自然の博物館特別展紹介のテレビ取材に貸し出し中の中央博物館資料が含まれる	—
平成 28 年 12 月 1 日 (木)	NHK 千葉放送	外房太東崎沖の海底に広がる器械根という海底地形の成り立ちと生物相についての取材	八木令子(地学研究科)、宮田昌彦(生態学・環境研究科)
平成 28 年 12 月 20 日 (火)	日本テレビ	項目：カタツムリの殻に油性マジックで字を書いても消えるか?	黒住耐二(資料管理研究科)
平成 28 年 12 月 22 日 (木)	NHK	成田山新勝寺の立地や歴史について	岡崎浩子(地学研究科)
平成 29 年 1 月 11 日 (水)	フジテレビ	『日本博覧図 初編』の「千葉県佐倉同協社全図」の放映について	豊川公裕(歴史学研究科)
平成 29 年 1 月 17 日 (火)	テレビ東京	「チーバくん」及「まるごとチーバくん展」について	立和名明美(企画調整課)
平成 29 年 1 月 19 日 (木)	読売テレビ(日本テレビ)	展示室の鳥剥製およびバードカービンについて	桑原和之(環境教育研究科)
平成 29 年 1 月 27 日 (金)	ジュピターテレコム	「まるごとチーバくん展」について	立和名明美(企画調整課)
平成 29 年 1 月 31 日 (火)	読売テレビ(日本テレビ)	展示室の鳥剥製およびバードカービンについて	桑原和之(環境教育研究科)
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	NHK エンタープライズ	映像にのせるテロップの監修	天野 誠(植物学研究科)
平成 29 年 3 月 22 日 (水)	千葉テレビ放送	中央図書館・中央博物館共同展示「北総四都市江戸巡り」について	豊川公裕(歴史学研究科)
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	NHK エンタープライズ	映像DVD「花紀行」で収録予定の映像にのせるテロップの監修	天野 誠(植物学研究科)
平成 29 年 3 月 29 日 (水)	ケーブルテレビネット 296	砂浜の植物についての講演を現地でカメラ取材	由良 浩(生態学・環境研究科)

#### 大多喜城分館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 4 月 23 日 (土)	文化放送	ゴールデンウイークお勧めスポットについて	地引尚幸
平成 28 年 4 月 24 日 (日)	(株)ユニット	大多喜城の外観と展示風景の映像撮影	加藤修司
平成 28 年 5 月 21 日 (土)	ドリーム・ワン	フジテレビ『とくダネ』の撮影	加藤修司
平成 28 年 7 月 9 日(土)・10 日(日)	NEXTEP	JAL 機内ビデオのための展示取材	高橋 覚、加藤修司
平成 28 年 10 月 13 日(木)	NHK 千葉放送局	大多喜城と城下の歴史について	高橋 覚

#### 大利根分館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 6 月 2 日 (木)	チバテレビ	企画展「江戸時代房総名所めぐり」	糠谷 隆
平成 28 年 9 月 17 日(土)	テレビ東京	『おはスタ』 今のモノと昔のモノに関連した資料について	榎 美香

分館海の博物館

取材日	取材機関等	内容	対応者
平成 28 年 6 月 15 日 (水)	NHK 千葉放送局	海の博物館の紹介	奥野淳兒
平成 28 年 7 月 16 日 (土)	KBC 九州朝日放送	有明海で採集されたイソギンチャク類の同定と生態についてのコメント	柳 研介
平成 28 年 8 月 25 日 (木)	NHK 千葉放送局	NHK・FMラジオ出演 収蔵資料展「海の絶滅危惧種」について	柳 研介

イ メディア掲載実績

(ア) 新聞・雑誌等

本館

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 4 月 2 日 (土)	読売新聞	千葉遺産 鋸山の石切り場跡(富津市、鋸南町) まるで要塞 栄えた採石地
平成 28 年 4 月 21 日 (木)	産経新聞	鋸山の石切物語 上 歴史残る登山道 近代化支えた房州石
平成 28 年 4 月 22 日 (金)	読売新聞	学校自慢 学芸員と探る 動植物の謎 三島小学校(君津市)
平成 28 年 5 月 13 日 (金)	読売新聞	「県の石」に房州石認定 千葉石、木下貝層の貝化石群も
平成 28 年 5 月 14 日 (土)	日本経済新聞	千葉の地層 磁場逆転刻む 歴史をひもとく「チバニアン」時代名の候補 ワンポイント:千葉県立中央博物館で展示されている磁場逆転期を含む地層の標本
平成 28 年 5 月 19 日 (木)	千葉日報	「房州石」県の石認定 近代化に貢献、新種の鮫物も (日本地質学会)
平成 28 年 5 月 22 日 (日)	千葉日報	火山の歴史ひもとく 石材で日本列島探る 千葉県立中央博で企画展
平成 28 年 6 月 5 日 (日)	ちば民報	県立中央博物館 展示ワクワク 石材が語る列島
平成 28 年 6 月 7 日 (火)	ニュートン 8 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 8 日 (水)	理科教育ニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 15 日 (水)	千葉銀社内報	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 16 日 (木)	毎日新聞	小中学生らが満喫 各施設無料に
平成 28 年 6 月 20 日 (月)	千葉日報	郷土の人の本「新版 形とくらしの雑草図鑑」(岩瀬徹・飯塚和子著)
平成 28 年 6 月 20 日 (月)	千葉ウオーカー夏号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 21 日 (火)	ぐるっと千葉 7 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 21 日 (火)	観光情報 7 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 25 日 (土)	あでるは 7・8 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 26 日 (日)	もぎたてラジオ千葉ドリーム	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	千葉市観光情報ニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 5 日 (火)	県民だより	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 7 日 (木)	朝日新聞	世界の深海生物 謎に迫る 県立中央博物館 9 日から企画展
平成 28 年 7 月 7 日 (木)	読売 KODOMO 新聞	海辺の植物を探しに行こう[富津公園]
平成 28 年 7 月 7 日 (木)	報道配信	企画展「驚異の深海生物」関連

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 7 月 8 日(金)	千葉経済新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 8 日(金)	朝日新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 9 日(土)	県教委ニュース 182	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 9 日(土)	報道ニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 9 日(土)	船橋よみうり新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 10 日(日)	高田純次日曜テキトオールノ	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 12 日(火)	毎日新聞「遊ナビ」	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 13 日(水)	デイリーニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 15 日(金)	ニュースソルト	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 16 日(土)	千葉日報	深海生物の生態探る 県立中央博物館 400 種以上集め企画展
平成 28 年 7 月 18 日(月)	報道ニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 20 日(水)	退互たより第 62 号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 20 日(水)	『福利千葉』No214	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 21 日(木)	ぐるっと千葉 8 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 21 日(木)	観光情報 8 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 22 日(金)	県教委ニュース 183	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 23 日(土)	ウイークリー千葉	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 25 日(月)	日経サイエンス	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 28 日(木)	毎日新聞	潜らなくても魚を特定 くんだ水を調べる「環境 DNA」分析法
平成 28 年 7 月 29 日(金)	シャキット	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 30 日(土)	産経新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 31 日(日)	稲毛新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 7 月 31 日(日)	生命のにぎわいとつながり	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 2 日(火)	千葉日報	チーバくんと学ぼう 展示物の解説ツアー 夏休み、中央博で毎週水曜日
平成 28 年 8 月 2 日(火)	ミラクル	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 2 日(火)	マリオン	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 4 日(木)	日経マンスリー	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 5 日(金)	稲毛新聞	今月の人 県民の皆様の知的好奇心を満足させられる博物館を目指したい 千葉県立中央博物館館長・中村祥一さん 57 歳
平成 28 年 8 月 8 日(月)	読売新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 9 日(火)	県教委ニュース 184	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 10 日(水)	千葉県保険医新聞	房総半島の主な古墳 取材協力施設
平成 28 年 8 月 10 日(水)	NHK ニュース	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 10 日(水)	千葉日報	企画展「驚異の深海生物」関連

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 8 月 11 日(木)	千葉日報	1992 年、鋸南で発見の化石 新種だった 命名「アワイルカ」 県立中央博物館で公開
平成 28 年 8 月 11 日(木)	千葉日報	発見！！深海魚 2 新種 おちょぼ口、双眼鏡のような目 中央博で標本展示
平成 28 年 8 月 14 日(日)	報道ニュース	企画展「驚異の深海生物」
平成 28 年 8 月 15 日(月)	読売新聞	深海生物にギョッ！ さかなクンとクイズ 県立中央博物館
平成 28 年 8 月 19 日(金)	グッと！金よう	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 19 日(金)	東京新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 19 日(金)	千葉日報	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 20 日(土)	千葉日報	県立中央博「アワイルカ」初公開 鋸南町で発見の新種化石
平成 28 年 8 月 20 日(土)	赤旗	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 21 日(日)	ぐるっと千葉 9 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 21 日(日)	観光情報 9 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 24 日(水)	県教委ニュース 185	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 25 日(木)	あでるは 9・10 月号	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 8 月 26 日(金)	ニューファミリーけいよう	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 9 月 1 日(木)	旅鶴 2016 秋号	世界遺産と地方創生 房総地どり＋千葉県立中央博物館 カゴの中の神秘、千葉石
平成 28 年 9 月 1 日(木)	日経新聞	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 9 月 3 日(土)	毎日新聞	不思議な姿形に興味津々!! 「深海生物展」 県立中央博物館 来場者約 3 万人
平成 28 年 9 月 4 日(日)	NHK ニュース朝・昼	企画展「驚異の深海生物」関連
平成 28 年 9 月 10 日(土)	子供の科学 79(10)	毒キノコランキング
平成 28 年 9 月 10 日(土)	千葉日報	ジャンボタニシの生態学ぶ 長南小、専門家招き特別授業
平成 28 年 9 月 14 日(水)	千葉日報	企画展「驚異の深海生物」について
平成 28 年 9 月 27 日(火)	朝日新聞	手賀沼浄化 でも… 「水草戻らず漁獲量減少」 元教諭と教え子 生態学本の改訂版 『手賀沼の生態学 2016』
平成 28 年 10 月 17 日(月)	朝日新聞	世代つなぐ 野ばらの園 佐倉の施設、品種保存で海外も注目
平成 28 年 11 月 15 日(火)	沖縄タイムス社	琉球独特の技法紹介 19 日「螺鈿と文化」研究会報告会(宮里正子著)
平成 28 年 11 月 16 日(水)	琉球新報社	琉球の漆文化と科学 螺鈿と文化」に寄せて：輝く魅力最新報告 銭蔵東地区の発掘成果も(岡本亜紀著)
平成 28 年 12 月 15 日(木)	千葉日報	有毒の特定外来生物 セアカゴケグモ 美浜区中心に発見相次ぐ
平成 28 年 12 月 24 日(土)	日本経済新聞	大人もうっとりアートな生物図鑑
平成 28 年 12 月 29 日(木)	日本経済新聞	チーバくん来月で 10 歳 県、中央博物館などで催し
平成 29 年 1 月 3 日(火)	船橋よみうり 1126	無口な友達を探して 図鑑片手にキノコ散策
平成 29 年 1 月 4 日(水)	ちばざん Lounge 73	博物館&美術館めぐり リアルな房総を発見するミュージアム・トリップへ 千葉県立中央博物館
平成 29 年 1 月 11 日(水)	朝日新聞	チーバくん 10 周年「世界へ」
平成 29 年 1 月 11 日(水)	読売新聞	チーバくん 10 周年展 県立中央博物館

掲載日	媒体名	内容
平成 29 年 1 月 12 日(木)	千葉日報	チーバくん 10 歳
平成 29 年 1 月 12 日(木)	千葉日報	10 年の活躍振り返る 中央博でチーバくん展
平成 29 年 1 月 12 日(木)	読売新聞	チーバくん 10 歳 ファン 200 人祝う
平成 29 年 1 月 14 日(土)	奄美新聞	奄美・沖縄諸島先史学の最前線 1 1.22 シンポ シンポジウムによせて (高宮広士)
平成 29 年 1 月 17 日(火)	南海日日新聞	奄美・沖縄諸島先史学の最前線 鹿児島大学重点領域研究シンポジウム 1 開催に寄せて (高宮広士)
平成 29 年 1 月 23 日(月)	奄美新聞	南西諸島の遺伝的な連続性確認 鹿大島嶼研シンポ「奄美・沖縄諸島先史学の最前線」
平成 29 年 1 月 23 日(月)	南海日日新聞	先史時代の謎に迫る 奄美市でシンポジウム 専門家 6 氏報告
平成 29 年 1 月 24 日(火)	毎日新聞	ありがとうチーバくん 誕生 10 周年展 歩み振り返る写真やグッズ 505 点 県立中央博物館
平成 29 年 3 月 30 日(木)	朝日新聞	北総 4 市江戸時代の町並み 県立中央博物館で展示

#### 大利根分館

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 4 月 28 日(木)	千葉日報	印半纏の魅力を紹介 40 点、懐かしい名店も 香取の大利根分館
平成 28 年 6 月 2 日(木)	チバテレビ	房総を浮世絵でぐるり 香取の大利根分館 江戸期の県内名所を紹介
平成 28 年 6 月 5 日(日)	千葉日報	房総を浮世絵でぐるり 香取の大利根分館 江戸期の県内名所を紹介
平成 28 年 6 月 17 日(金)	朝日新聞	房総の名所、浮世絵でぐるり 香取で展示 北斎・広重など 30 点
平成 28 年 7 月 27 日(水)	千葉日報	妖怪になった動物紹介 香取・大利根分館で企画展 剥製など 85 点
平成 28 年 7 月 31 日(日)	産経新聞	妖怪になった動物紹介 香取・大利根分館で企画展 剥製など 85 点
平成 28 年 8 月 18 日(木)	読売新聞	天狗や河童に興味津々 香取で妖怪展
平成 28 年 8 月 27 日(土)	エリート情報 (香取)	妖怪になった動物たち開催中
平成 28 年 9 月 19 日(月)	テレビ東京	古い道具と昔のくらし展にみる今のモノと昔のモノについて

#### 大多喜城分館

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 4 月 10 日(日)	読売新聞	わがまち空から 「房総の小江戸」一望 大多喜城 (大多喜町)
平成 28 年 9 月 16 日(金)	千葉日報	戦国ロマンに浸って 大多喜城で収蔵資料展 本多親子勇姿の絵
平成 28 年 10 月 22 日(土)	千葉日報	妖しい光 放つ名刀 県立中央博物館大多喜城分館企画展始まる 「赤羽刀」来場者を魅了

#### 分館海の博物館

掲載日	媒体名	内容
平成 28 年 4 月 1 日(金)	読売新聞	「幻」シーワールドにも イソギンチャク「種類不明」が……
平成 28 年 8 月 2 日(火)	千葉日報	開発で“消えた”90 種 勝浦海の博物館 自然の大切さ訴える
平成 28 年 9 月 24 日(土)	シティライフ外房長生夷隅版	色と形がユニークな海藻押し葉でアート作品
平成 29 年 1 月 21 日(土)	シティライフ市原版	勝浦の海に広がる生き物たちの特別な世界へ
平成 29 年 1 月 28 日(土)	シティライフ外房長生夷隅版	会ってみたい、自分が生み出す不思議ないきもの 勝浦の海に広がる生き物たちの特別な世界へ

(イ) 新聞連載

掲載日	媒体名	内容	執筆者
平成 28 年 8 月 8 日(月)	千葉日報	海の絶滅危惧種 1 アオギス 昭和 30 年代に消えた魚	柳 研介(分館海の博物館)
平成 28 年 8 月 9 日(火)	千葉日報	海の絶滅危惧種 2 ハマガニ 河口干潟周辺で再発見	柳 研介(分館海の博物館)
平成 28 年 8 月 10 日(水)	千葉日報	海の絶滅危惧種 3 ハマグリ 純粋な東京湾産は幻	柳 研介(分館海の博物館)
平成 28 年 8 月 11 日(木)	千葉日報	海の絶滅危惧種 4 ハマウツボ 良好な環境でのみ生育	柳 研介(分館海の博物館)

4 郵メンバー

郵メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度で、平成 28 年度は 42 名の申込者を得た。



## VI 千葉県立博物館ネットワーク

### 1 千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括業務を行った。現在は、第3期システム（平成24年度～28年度）の運用中である。

### 2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」を開催した。

- ・開催日時 平成28年10月29日（土） 13:00～16:15
- ・会場 千葉県立現代産業科学館
- ・内容 演題 魅力あるちばの鉄道路線と走るしくみ  
講師 鈴木淳一（千葉県立現代産業科学館 学芸課長）  
演題 議事堂の扉―津田信夫の業績  
講師 中松れい（千葉県立美術館 主任上席）
- ・参加者数 37人

## VI 入館者状況

### 1 月別入館者数

本館（生態園入園者含む）

月	開館日数	総入館者数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	9,711	9,385	1,168	1,121	47	8,217	7,439	1	777
5月	26	11,990	10,632	1,586	1,475	111	9,046	8,154	2	890
6月	26	8,149	7,493	828	767	61	6,665	5,862	7	796
7月	31	20,846	20,394	4,680	4,374	306	15,714	11,568	83	4,063
8月	31	31,490	31,295	8,482	7,553	929	22,813	15,387	202	7,224
9月	23	16,237	15,557	4,186	3,949	237	11,371	8,452	3	2,916
10月	20	8,737	7,475	808	764	44	6,667	5,989	0	678
11月	26	14,398	12,900	908	847	61	11,992	11,026	8	958
12月	23	10,946	10,071	651	608	43	9,420	9,020	0	400
1月	23	12,278	11,254	2,393	2,275	118	8,861	7,660	0	1,201
2月	24	11,203	10,254	1,034	983	51	9,220	8,552	3	665
3月	27	10,611	10,146	1,118	1,025	93	9,028	8,137	0	891
合計	306	166,596	156,856	27,842	25,741	2,101	129,014	107,246	309	21,459
通算	8,481	4,666,031	4,043,114							
月	開館日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	3	326	26	26	0	300	31	0	269
5月	26	20	1,358	321	302	19	1,037	178	81	778
6月	26	15	656	45	12	33	611	135	0	476
7月	31	13	452	77	77	0	375	182	35	158
8月	31	6	195	9	9	0	186	119	0	67
9月	23	14	680	75	56	19	605	129	2	474
10月	20	18	1,262	54	36	18	1,208	276	20	912
11月	26	26	1,498	51	42	9	1,447	249	21	1,177
12月	23	15	875	113	42	71	762	186	16	560
1月	23	11	1,024	4	4	0	1,020	227	57	736
2月	24	19	949	140	120	20	809	144	0	665
3月	27	10	465	27	26	1	438	52	0	386
合計	306	170	9,740	942	752	190	8,798	1,908	232	6,658
通算			607,401							

### 生態園

月	開館日数	計
4月	26	5,174
5月	26	4,537
6月	26	3,169
7月	27	5,452
8月	26	6,969
9月	23	3,979
10月	20	3,772
11月	26	6,570
12月	23	6,490
1月	23	3,853
2月	24	5,792
3月	27	5,169
合計	297	60,926
通算	8,412	3,002,344

大利根分館

月	開館 日数	総入館者 数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	536	536	73	72	1	463	378	0	85
5月	27	1,243	1,212	246	236	10	966	765	0	201
6月	29	4,781	4,435	676	664	12	3,759	3,410	8	341
7月	27	1,083	1,055	265	244	21	790	463	6	321
8月	26	1,117	1,097	294	285	9	803	391	0	412
9月	27	509	489	72	71	1	417	347	0	70
10月	3	245	14	0	0	0	14	11	0	3
11月	7	3,166	2,942	0	0	0	2,942	2,799	11	132
12月	4	191	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	5	155	3	0	0	0	3	3	0	0
2月	9	325	18	0	0	0	18	14	0	4
3月	6	204	119	0	0	0	119	110	3	6
合計	196	13,542	11,920	1,626	1,572	54	10,294	8,691	28	1,575
通算	1,729	192,044	108,682							
開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）				
			有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下	
4月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	27	2	31	0	0	0	31	2	0	29
6月	29	10	346	5	5	0	341	341	0	0
7月	27	1	28	0	0	0	28	28	0	0
8月	26	1	20	0	0	0	20	20	0	0
9月	27	1	20	0	0	0	20	20	0	0
10月	3	2	231	0	0	0	231	61	0	170
11月	7	4	224	1	1	0	223	51	40	132
12月	4	4	191	0	0	0	191	41	0	150
1月	5	7	152	0	0	0	152	22	0	130
2月	9	8	307	0	0	0	307	77	0	230
3月	6	2	85	0	0	0	85	13	0	72
合計	196	42	1,635	6	6	0	1,629	676	40	913
通算			83,375							

大多喜城分館

月	開館 日数	総入館者 数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	14,104	13,710	4,765	4,640	125	8,945	7,756	0	1,189
5月	26	14,708	13,722	6,249	6,007	242	7,473	5,869	15	1,589
6月	26	7,163	6,377	2,221	2,154	67	4,156	3,695	3	458
7月	25	7,207	6,795	2,640	2,588	52	4,155	3,251	24	880
8月	26	9,216	9,007	3,573	3,352	221	5,434	3,725	14	1,695
9月	26	7,660	7,035	2,367	2,252	115	4,668	4,126	0	542
10月	23	8,680	7,984	2,847	2,782	65	5,137	4,435	0	702
11月	26	9,932	8,742	2,907	2,846	61	5,835	5,165	3	667
12月	21	5,747	5,541	1,950	1,903	47	3,591	3,187	0	404
1月	24	6,234	6,087	2,082	2,027	55	4,005	3,441	0	564
2月	24	5,700	5,543	2,165	2,089	76	3,378	2,904	0	474
3月	27	10,575	9,947	3,878	3,660	218	6,069	4,974	0	1,095
合計	300	106,926	100,490	37,644	36,300	1,344	62,846	52,528	59	10,259
通算	3,014	845,105	770,858							
開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）				
			有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下	
4月	26	14	394	157	90	67	237	77	113	47
5月	26	33	986	336	158	178	650	484	0	166
6月	26	26	786	305	174	131	481	218	0	263
7月	25	5	412	76	57	19	336	170	0	166
8月	26	5	209	46	46	0	163	46	0	117
9月	26	16	625	167	167	0	458	201	36	221
10月	23	20	696	174	134	40	522	359	0	163
11月	26	38	1,190	236	125	111	954	908	10	36
12月	21	7	206	21	21	0	185	185	0	0
1月	24	4	147	31	31	0	116	116	0	0
2月	24	6	157	20	20	0	137	137	0	0
3月	27	16	628	63	63	0	565	519	45	1
合計	300	190	6,436	1,632	1,086	546	4,804	3,420	204	1,180
通算			74,247							

分館海の博物館

月	開館 日数	総入館者 数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	5,686	5,531	2,802	2,697	105	2,729	1,298	26	1,405
5月	26	9,496	8,639	4,480	4,290	190	4,159	1,979	0	2,180
6月	26	3,563	2,750	1,176	1,145	31	1,574	1,008	5	561
7月	27	6,286	5,765	2,879	2,781	98	2,886	1,138	0	1,748
8月	31	12,606	12,082	6,027	5,551	476	6,055	1,929	2	4,124
9月	24	3,579	3,257	1,793	1,701	92	1,464	729	3	732
10月	22	3,375	2,945	1,518	1,475	43	1,427	769	0	658
11月	26	2,861	2,480	1,015	978	37	1,465	948	11	506
12月	21	2,241	1,914	990	947	43	924	518	0	406
1月	24	3,235	3,188	1,653	1,580	73	1,535	708	0	827
2月	24	2,908	2,880	1,558	1,477	81	1,322	751	0	571
3月	27	5,554	5,480	2,702	2,507	195	2,778	1,378	0	1,400
合計	304	61,390	56,991	28,593	27,129	1,464	28,318	13,153	47	15,118
通算	5,537	2,120,439	1,954,906							
	開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	4	155	69	63	6	86	42	13	31
5月	26	11	857	121	121	0	736	37	0	699
6月	26	13	813	88	88	0	725	100	20	605
7月	27	13	521	236	86	150	285	89	0	196
8月	31	14	524	162	69	93	362	153	39	170
9月	24	7	322	33	33	0	289	50	0	239
10月	22	11	430	44	44	0	386	118	0	268
11月	26	8	381	97	71	26	284	145	0	139
12月	21	5	327	75	75	0	252	29	0	223
1月	24	1	47	0	0	0	47	3	0	44
2月	24	1	28	28	28	0	0	0	0	0
3月	27	3	74	41	41	0	33	33	0	0
合計	304	91	4,479	994	719	275	3,485	799	72	2,614
通算			165,533							

## 2 団体入館状況

### 本館（生態園を含む）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	5	3	3	20	5	2	11	15	8	1	7	13	91	40.1%
葛南	5		1	2			2	1	1	2	1	7	22	9.7%
東葛飾				5				1	2			2	10	4.4%
北総	1	1	3	17	3		1	2	2	1	3	6	40	17.6%
東上総				5			2		1	2		7	17	7.5%
南房総				10	3		1	1	3			5	23	10.1%
県外	6	1	2			2		1	4		1	6	23	10.1%
海外												1	1	0.5%
合計	17	5	9	59	11	4	17	21	21	6	12	47	227	
割合	7.5%	2.2%	4.0%	26.0%	4.8%	1.8%	7.5%	9.3%	9.3%	2.6%	5.3%	20.7%		

### 大利根分館（来館者のみ）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市													0	0.0%
葛南				2									2	3.7%
東葛飾	1			1								1	3	5.6%
北総		1	1	17							7	7	33	61.1%
東上総				3									3	5.6%
南房総				1							1	1	3	5.6%
県外				4							3	3	10	18.5%
海外													0	0.0%
合計	1	1	1	28	0	0	0	0	0	0	11	12	54	
割合	1.9%	1.9%	1.9%	51.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.4%	22.2%		

### 大多喜城分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市		1	1			1					1	9	13	6.7%
葛南												18	18	9.3%
東葛飾												11	11	5.7%
北総			1						1	1		8	11	5.7%
東上総		4	3	4			1		1	2		6	21	10.9%
南房総				1								9	10	5.2%
県外	1			12		22			1	1		72	109	56.5%
海外													0	0.0%
合計	1	5	6	16	0	23	1	0	3	4	1	133	193	
割合	0.5%	2.6%	3.1%	8.3%	0.0%	11.9%	0.5%	0.0%	1.6%	2.1%	0.5%	68.9%		

### 分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	1		2									1	4	4.3%
葛南								2				5	7	7.6%
東葛飾												1	1	1.0%
北総										1		1	2	2.1%
東上総		1		8					1			7	17	18.6%
南房総			1	2					2			4	9	9.8%
県外	3	1	3	26			1			3		14	51	56.0%
海外													0	0.0%
合計	4	2	6	36	0	0	1	2	3	4	0	33	91	
割合	4.3%	2.1%	6.5%	39.5%	0.0%	0.0%	1.0%	2.1%	3.2%	4.3%	0.0%	36.2%		

※20名以上のグループを団体とした。

3 種類・地域内訳

本館（生態園を含む）

群	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	
	千葉市	5	3	3	20	5	2	11	15	8	1	7	13	93	
葛南	市川市			1	1			1					2	5	
	船橋市	1			1					1	1		4	8	
	習志野市							1	1		1			3	
	八千代市	4										1	1	6	
	浦安市													0	
東葛飾	松戸市								1					1	
	野田市													0	
	柏市				3								1	4	
	流山市													0	
	我孫子市												1	1	
	鎌ヶ谷市				2					2				4	
北総	銚子市	1											1	2	
	成田市			1	8						1		2	12	
	佐倉市				1					1				2	
	旭市				2								1	3	
	四街道市		1			2		1				2		6	
	八街市			1	2	1			2			1		7	
	印西市				1								2	3	
	白井市				2					1				3	
	富里市													0	
	匝瑳市			1	1									2	
	香取市													0	
	栄町													0	
	酒々井町													0	
	神崎町													0	
	多古町													0	
	東庄町													0	
	東上総	茂原市									1	2		2	5
		東金市				1									1
		勝浦市				1									1
山武市								1						1	
いすみ市					1								2	3	
横芝光町					1									1	
芝山町														0	
九十九里町														0	
大網白里市													1	1	
白子町														0	
長柄町														0	
長南町					1				1					2	
睦沢町														0	
一宮町													2	2	
御宿町														0	
大多喜町													0		
長生村													0		
南房総	館山市													0	
	木更津市									1			2	3	
	市原市				5	1		1	1	1			1	10	
	鴨川市				2									2	
	君津市													0	
	富津市				1									1	
	袖ヶ浦市					2				1				3	
	南房総市				2								2	4	
鋸南町													0		
県外	6	1	2				2		1	4		1	6	23	
海外													1	1	
合計	17	5	9	59	11	4	17	21	21	6	12	47	229		

件名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都	6	1	2			2		1	4		1	4	
栃木県												1	
神奈川県												1	

※20名以上のグループを団体とした。

大利根分館

群	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	
	千葉市													0	
葛南	市川市				1									1	
	船橋市													0	
	習志野市													0	
	八千代市	1			1									2	
	浦安市													0	
東葛飾	松戸市													0	
	野田市													0	
	柏市													0	
	流山市													0	
	我孫子市													0	
	鎌ヶ谷市													0	
	北総	洵子市												0	
	成田市												0		
	佐倉市												0		
	旭市				1								1		
	四街道市												0		
	八街市												0		
	印西市												0		
	白井市												0		
	富里市												0		
	匝瑳市				1								1		
	香取市			1	10								11		
	栄町												0		
	酒々井町												0		
	神崎町				2								2		
	多古町				1								1		
	東庄町				3								3		
東上総	茂原市				1									1	
	東金市													0	
	勝浦市													0	
	山武市				1									1	
	いすみ市													0	
	横芝光町													0	
	芝山町													0	
	九十九里町													0	
	大網白里市				1									1	
	白子町													0	
	長柄町													0	
	長南町													0	
	睦沢町													0	
	一宮町													0	
	御宿町													0	
	大多喜町													0	
	長生村													0	
	南房総	館山市													0
		木更津市													0
		市原市													0
鴨川市														0	
君津市														0	
富津市														0	
袖ヶ浦市					1									1	
南房総市														0	
鋸南町													0		
県外				4									4		
海外													0		
合計		1	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	30		

※20名以上のグループを団体とした。

大多喜分館

群	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市		1	1			1					1	9	13
	市川市												3	3
	船橋市												8	8
	習志野市												1	1
	八千代市												2	2
東葛飾	浦安市												4	4
	松戸市												1	1
	野田市												2	2
	柏市												3	3
	流山市													0
	我孫子市												4	4
北総	鎌ヶ谷市												1	1
	銚子市										1			1
	成田市												5	5
	佐倉市												2	2
	旭市				1									1
	四街道市									1				1
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市													0
	香取市													0
	栄町													0
	酒々井町												1	1
	神崎町													0
	多古町													0
	東上総	東庄町												
東上総	茂原市										1		2	3
	東金市													0
	勝浦市													0
	山武市													0
	いすみ市				3	1				1				5
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町												1	1
	大網白里市													0
	白子町													0
	長柄町													0
	長南町					2								2
	睦沢町													0
	一宮町										1		1	2
	御宿町													0
	大多喜町				4	1			1				1	7
	長生村												1	1
南房総	館山市												1	1
	木更津市												2	2
	市原市												2	2
	鴨川市													0
	君津市												2	2
	富津市													0
	袖ヶ浦市				1								2	3
	南房総市													0
鋸南町													0	
県外		1			12		22			1	1	72	109	
海外													0	
合計		1	5	6	16	0	23	1	0	3	4	1	133	193

件名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
茨城県												5	
福島県												4	
群馬県												3	
埼玉県												20	
東京都	1			12		22						21	
神奈川県									1	1		16	
愛知県												1	
大阪府												2	

※20名以上のグループを団体とした。



分館海の博物館

群	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	
	千葉市	1		2									1	4	
葛南	市川市								1					1	
	船橋市												3	3	
	習志野市												1	1	
	八千代市								1					1	
	浦安市												1	1	
東葛飾	松戸市												1	1	
	野田市													0	
	柏市													0	
	流山市													0	
	我孫子市													0	
	鎌ヶ谷市													0	
北総	洵子市													0	
	成田市													0	
	佐倉市													0	
	旭市													0	
	四街道市												1	1	
	八街市													0	
	印西市													0	
	白井市										1			1	
	富里市													0	
	匝瑳市													0	
	香取市													0	
	栄町													0	
	酒々井町													0	
	神崎町													0	
	多古町													0	
	東上総	東上総		1							1				2
		東金市													0
勝浦市					3									3	
山武市														0	
いすみ市					5								2	7	
横芝光町														0	
芝山町														0	
九十九里町														0	
大網白里市													1	1	
白子町														0	
長柄町														0	
長南町														0	
睦沢町														0	
一宮町														0	
御宿町														0	
大多喜町													1	1	
長生村												3	3		
南房総	館山市												1	1	
	木更津市													0	
	市原市												2	2	
	鴨川市				2					2				4	
	君津市													0	
	富津市													0	
	袖ヶ浦市			1									1	2	
	南房総市													0	
鋸南町													0		
県外		3	1	3	26			1			3		14	51	
海外														0	
合計		4	2	6	36	0	0	1	2	3	4	0	33	91	

件名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
茨城県	1									1			
栃木県												1	
埼玉県		1										4	
東京都	2		2	25			1			1		6	
神奈川県			1	1						1		1	
静岡県												1	
沖縄県												1	

※20名以上のグループを団体とした。

## VIII 予算・決算

### 1 歳入決算

	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	計
入場料収入	11,586,980円	396,650円	8,128,550円	5,718,640円	25,830,820円
駐車場収入				10,141,600円	10,141,600円
その他の収入	8,080,042円	28,633円	118,733円	44,778円	8,272,186円
計	19,667,022円	425,283円	8,247,283円	15,905,018円	44,244,606円

### 2 歳出決算

#### (1) 本館

	決算額	構成比	内訳
展示事業費	13,027,467円	7.20%	企画展開催等
普及事業費	38,707,792円	21.41%	展示解説員等 6,105,176円 博物館情報システム 30,542,148円 要覧等印刷費 468,968円 房総の山のフィールド・ミュージアム 1,513,000円 その他 78,500円
調査研究費	1,777,015円	0.98%	調査研究費 371,826円 重点研究事業 1,147,529円 シンポジウム 80,000円 研究報告書印刷 177,660円
資料収集保存費	1,300,386円	0.72%	
維持管理費	119,225,029円	65.94%	一般運営費(光熱費等)、館管理業務(警備・清掃等)
施設整備費	6,781,860円	3.75%	施設整備(既存設備等改修)
計	180,819,549円		

#### (2) 分館

	決算額	内訳
大 利 根 分 館	16,933,511円	展示・普及・維持管理等
大 多 喜 城 分 館	24,214,571円	展示・普及・維持管理等
分館海の博物館	72,056,999円	展示・普及・調査研究(資料収集を含む)・維持管理等

### 3 外部資金(予算)

事業	種類	金額
調 査 研 究	文部科学省科学研究費補助金(研究代表者)	19,100,000円
	文部科学省科学研究費補助金(研究分担者)	2,425,000円
	その他助成金 環境研究総合推進費(環境省) 戦略的創造研究推進事業(国立研究開発法人科学技術振興機構) 研究助成プログラム「理想の追求」(一般財団法人キャノン財団) 全国科学博物館活動等助成事業(一般財団法人全国科学博物館振興財団) 一般研究助成(公益財団法人 発酵研究所) 研究助成事業(財団法人 海苔増殖振興会) 基礎科学研究助成(公益財団法人 住友財団) 助成事業(財団法人 ホクト生物科学振興財団)	29,590,601円
展 示 ・ 教 育 普 及	(公財)日本海事科学振興財団「海の企画展」支援事業	6,690,000円
	平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」(注)	2,120,000円

(注)「千葉県博図公連携事業実行委員会」(事務局:千葉県立中央博物館/構成団体:千葉県立中央博物館、千葉県立西部図書館、八千代市立郷土博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、君津市教育委員会)で採択

## Ⅹ 組織・運営

### 1 千葉県博物館協議会

(任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

分野	氏名	役職等
学校教育	中原 章子	千葉県立佐倉南高等学校長
学校教育	柳谷 昌代	千葉市立海浜打瀬小学校長
社会教育	鶴澤 登美子	元佐倉市教育委員会教育次長
家庭教育	細井 和美	千葉県子ども会育成連合会副会長
学識経験者	岡本 東三	千葉大学名誉教授
学識経験者	齊藤 泰嘉	筑波大学名誉教授
学識経験者	高橋 正	東邦大学理学部長
学識経験者	常光 徹	国立歴史民俗博物館名誉教授
学識経験者	西田 治文	中央大学理工学部教授
学識経験者	米本 信	NHK サービスセンター理事長

※分野ごとに五十音順

### 2 職員

( ) 内は研究分野／〔併〕は千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター併任

館 長 中村 祥一  
副 館 長 澁谷 重明  
副 館 長 萩原 恭一 (日本考古学)  
副 館 長 内藤 正寿

#### 庶務部

##### 庶務課

庶務部長 (兼)

庶務課長事務取扱

副 主 幹 田中 文昭  
副 主 幹 小出 さゆり  
主 査 丸山 茂喜  
副 主 査 霞 有理  
主 事 長谷 久夫  
主任事務員 千田 佳輝  
主任事務員 佐藤 久美子

#### 教育普及課

教育普及課長 齋木 健一 (古植物学)  
主任上席研究員 相川 順子 (近代美術史)  
主任上席研究員 安川 裕樹 (博物館活用)  
主任上席研究員 奥田 昌明 (古環境学)  
主任上席研究員 大庭 照代 (生物音響学)  
上 席 研 究 員 雑賀 弘之 (博物館活用)  
上 席 研 究 員 田中 務 (博物館活用)  
研 究 員 佐山 淳史 (日本民俗学)

#### 企画調整課

企画調整課長 幅 大 (美術史)  
主任上席研究員 立和名 明美 (日本考古学)  
主任上席研究員 伊左治 鎮司 (古生物学)  
研 究 員 後藤 亮 (生物系統地理学)

#### 自然誌・歴史研究部

自然誌・歴史研究部長 森田 利仁 (古生物学)  
主 席 研 究 員 大野 啓一 (群落生態学)

#### 地学研究科

主席研究員 (兼)  
地 学 研 究 科 長 岡崎 浩子 (堆積学)  
主任上席研究員 高橋 直樹 (地質学・岩石学)  
主任上席研究員 八木 令子 (地形学)  
主任上席研究員 加藤 久佳 (古生物学)

#### 動物学研究科

動物学研究科長 萩野 康則 (土壌動物学)  
主任上席研究員 駒井 智幸 (動物分類学-甲殻類)  
主任上席研究員 高山 順子〔併〕 (海洋生物学)  
研 究 員 栗田 隆気〔併〕 (爬虫両生類学)  
研 究 員 下稲葉 さやか (哺乳類学)

#### 植物学研究科

主席研究員 (兼)  
植物学研究科長 古木 達郎 (蘚苔類分類学)  
主任上席研究員 原田 浩 (地衣類分類学)  
主任上席研究員 天野 誠 (植物細胞分類学)  
主任上席研究員 御巫 由紀〔併〕 (植物分類学)  
研 究 員 山本 伸子 (植物分類学)

#### 歴史学研究科

主席研究員 (兼)  
歴史学研究科長 内田 龍哉 (日本近世史)  
主任上席研究員 豊川 公裕 (日本近現代史)  
上 席 研 究 員 田邊 由美子 (動物考古学)

#### 資料管理研究科

主席研究員 (兼)  
資料管理研究科長 齊藤 明子 (昆虫分類学)  
主任上席研究員 黒住 耐二 (貝類学)  
主任上席研究員 友田 暁子 (図書資料論)

#### 大根分館

主任上席研究員 榎 美香 (民俗学・民具学)  
主任上席研究員 糠谷 隆 (水産学)  
主任上席研究員 豊田 佳伸 (日本考古学)

#### 大多喜城分館

主 席 研 究 員 地引 尚幸 (日本民俗学)  
主任上席研究員 高橋 覚 (日本近世史)  
主任上席研究員 加藤 修司 (日本考古学)  
副 主 査 丸 美由紀  
主 任 用 務 員 中村 英美

#### 生態・環境研究部

生態・環境研究部長 宮 正樹 (分子系統学)  
主 席 研 究 員 原 正利 (森林生態学)

<b>生態学・環境研究科</b>		
主席研究員(兼)		
生態学・環境研究科長	由良 浩	(植物実験生態学)
主席研究員	白井 豊	(歴史地理学)
主任上席研究員	林 紀男	(微生物生態学)
主任上席研究員	林 浩二	(植物生態学・環境教育)
主任上席研究員	宮田 昌彦	(藻類分類学)
主任上席研究員	宮野 伸也	(社会性昆虫学)
主任上席研究員	島立 理子	(民俗学・日本近代史)
主任上席研究員	小田島 高之	(地理学)
主任上席研究員	大木 淳一〔併〕	(地質学)
主任上席研究員	尾崎 煙雄	(森林生態学)
<b>環境教育研究科</b>		
環境教育研究科長	桑原 和之	(鳥類学)
主任上席研究員	吹春 俊光	(菌学)
主任上席研究員	倉西 良一	(水生昆虫学)
嘱託職員(体験交流員)	田中 朋子	
嘱託職員(体験交流員)	吉田 聖子	

嘱託職員(体験交流員)	勝部 章子
<b>分館海の博物館</b>	
分館長	新 和宏 (古生物学)
	本吉 正宏 (歴史学)
副主査	近藤 佳純
主査	高木 慎哉
主任上席研究員	川瀬 裕司 (魚類生態学)
主任上席研究員	立川 浩之 (海洋生物学)
主任上席研究員	奥野 淳兒 (動物分類学-甲殻類)
主任上席研究員	菊地 則雄 (藻類学)
主任上席研究員	柳 研介 (動物分類学)
主任上席研究員	村田 明久 (海洋生態学)
嘱託職員(体験学習指導員)	金子 美織
嘱託職員(体験学習指導員)	原田 佳世子
嘱託職員(その他)	古根村 美吹

### 3 分掌

#### (1) 庶務部

庶務課	・庶務、会計、施設管理に関すること
教育普及課	・教育普及、本館来館者対応に関すること ・「体験学習室」の維持管理に関すること
企画調整課	・館事業の企画運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること

#### (2) 自然誌・歴史研究部

地学研究科	・地学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・「房総の地学」展示室の維持管理に関すること
動物学研究科	・動物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・「生物の分類」「海洋」展示室の維持管理に関すること
植物学研究科	・植物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・「房総の生物」展示室の維持管理に関すること
歴史学研究科	・歴史分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・「房総の歴史」展示室の維持管理に関すること
大利根分館	・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること
大多喜城分館	・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること
資料管理研究科	・博物館資料に関する研究、収蔵資料の統括、収蔵庫の維持管理、図書資料の管理に関すること

#### (3) 生態・環境研究部

生態学・環境研究科	・生態環境分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・生態園の運営、維持管理に関すること ・房総の山のフィールド・ミュージアムに関すること
環境教育研究科	・環境教育分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること ・「自然と人間のかかわり」展示室の維持管理に関すること

#### (4) 分館海の博物館

・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
・分館海の博物館の博物館事業に関すること

### 4 運営推進チーム

各部課科の横断的業務は、各課科職員により構成された以下の運営推進チームにより、企画運営を行った。  
企画広報チーム／教育普及チーム／展示チーム／資料情報チーム／調査研究チーム／安全管理委員会／衛生委員会

■開館時間・休館日

(1) 本館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 大利根分館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
10月1日～3月31日（予約団体のみ見学可）
- ウ 臨時開館日 平成27年6月1日（月）、6月8日（月）、6月15日（月）、6月22日（月）

(3) 大多喜城分館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）
- ウ 臨時開館日 平成28年1月2日（土）、1月3日（日）
- エ 臨時休館日 平成27年7月12日（火）・13日（水）、10月18日（火）・19日（水）・20日（木）、  
12月13日（火）・14日（水）、平成28年1月5日（木）

(4) 分館海の博物館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）
- ウ 臨時開館日 平成27年6月15日（月）、8月3日（月）、8月10日（月）、8月17日（月）、  
8月24日（月）、8月31日（月）、平成28年1月2日（土）、1月3日（日）
- エ 臨時休館日 平成27年5月8日（金）、6月16日（火）、9月1日（火）、9月2日（水）、  
12月15日（火）、12月16日（水）、平成28年1月13日（水）、1月14日（木）

■入場料

	本館				大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館			
	通常期間		企画展期間		通常期間		企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一般	300円	240円	500円	400円	200円	160円	300円	240円
高校生・大学生	150円	120円	250円	200円	100円	80円	150円	120円

※団体は20名以上

※65歳以上の者、小・中学生以下の者、障害者（身体障害者、知的障害者又は精神障害者をいい、これらの者を介護する者を含む）は無料

※6月15日（県民の日）、11月3日（文化の日）は入場無料

※生態園は入場無料

■年間パスポート

	本館		大利根分館・大利根分館・分館海の博物館	
	料金	企画展追加料金	料金	企画展追加料金
一般	1,500円	200円	1,000円	100円
高校生・大学生	750円	100円	500円	50円

■所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先）

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

電話 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館

〒287-0816 香取市佐原ハ4500

電話 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館

〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481

電話 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾123

電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

## 千葉県立中央博物館年報29（平成28年度版）

編集・発行 千葉県立中央博物館  
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2  
電 話 043-265-3111 F A X 043-266-2481  
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>  
発 行 日 平成30年3月31日